別　冊

一般競争入札

新潟県有地売却のご案内

【教職員住宅 37 号宿舎（長岡市）】

入札日：令和９年１月 19 日

別冊「建築工事設計図等」

※建築時の設計図面等で作成しています。

令和８年度

新　潟　県

昭和55年度

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築工事設計図

図面リスト

NO	図面名称	SCALE
0		
1	図面リスト	
2	特記仕様・1	
3	特記仕様・2	
4	案内図　配置図	1：250
5	面積表	
6	仕上表	
7	各階平面図	1：100
8	立面図	1：100
9	断面図	1：100
10	単身者用平面詳細図	1：20
11	世帯者用平面詳細図	1：20
12	単身者用 矩計図	1：20
13	世帯者用 矩計図・1	1：20
14	世帯者用 矩計図・2	1：20
15	床伏図	1：50
16	天井伏図	1：50
17	階段 平面詳細図	1：20
18	階段 断面詳細図	1：20
19	各部詳細図	1：20
20	各部詳細図	1：3
21	単身者用 展開図	1：50
22	世帯者用 展開図・1	1：50
23	世帯者用 展開図・2	1：50
24	金属製建具配置図	1：100
25	金属製建具表	1：50
26	木製建具配置図	1：100
27	木製建具表	1：50
28	各部詳細図・3	1：20

NO	図面名称	SCALE
	構造	
29	基礎伏図　各階伏図	1:100
30	階段 配筋詳細図	1:30
31	1･2階 耐力壁配筋図	1:30
32	3階　耐力壁配筋図	1:30　1:5
33	基礎 配筋詳細図	1:30　1:20
34	A･C･D通り配筋詳細図	1:30
35	F･E･B通り配筋詳細図	1:30
36	1-2　通り配筋詳細図	1:30
37	3　通り配筋詳細図	1:30
38	7･6　通り配筋詳細図	1:30
39	1-3階スラブ配筋詳細図	1:30
40	R階　スラブ配筋詳細図	1:30
41	梁断面リスト	1:30
42	NO1　4t型受水槽上家標準詳細図	1:30　1:20
43	NO2　4t型受水槽上家標準詳細図	1:30

課長	課長補佐	主任	係		

工事

図面リスト図		図番	43枚 No. 1
縮尺		昭和55年8月15日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事　登録番号	新潟県建築設計協同組合	
管理建築士	電話65－4746～7		

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築　**工事特記仕様書**

工事場所　新潟県胎内市黄沢37番12ほか

建築工事特記仕様

1．図面及び本特記仕様書に記載されない事項は、すべて新潟県建築工事共通仕様書（昭和52年版）による。

2．特記仕様

(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
特記事項は◉印のついたものを適用する。

(2) ◉印のない場合は ※印のあるものを適用する。
⊙印と ㊟印のある場合はともに適用する。

(3) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目又は当該表を示す。

1 一般共通事項

項目	特記事項
(1) 適用基準等	設計図書等の優先順位は次の通りとする。 1．現場説明書　2．特記仕様書　3．図面　4．共通仕様書　5．設計書
(2) 建築材料等	建築工事写真撮影要領（新潟県土木部制定 S 56. 9 ） 建築材料の製造所・製品及び施工業者などは、建築資材製造者等指定名簿（新潟県土木部制定 S 55. 4 ）及び特記されたものとする。
(3) 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書（昭和52年版）に記載されていない特別な材料などの工法は、当該製品の指定工法による。ただし、資料を提出し監督員の承諾を受ける。
(4) 発生材の処理	◉構外搬出適切処理　・発生材調書とともに監督員に引渡す。 ・構内に集積　・監督員の指示により処理
(5) 設備工事との取合い	図示した部分の鉄筋コンクリート部の貫通箇所、開口部の補強、及びその他の壁、天井のボード類の切込箇所の下地の補強を行う。 設備関係のスリーブ　㊟別途　・含む。 設備機器の位置取合いなどの検討する施工図を提出し監督員の承諾を受ける。
(6) 工事写真等	建築工事写真撮影要領により撮影し、工事完了後整理の上監督員に提出する。 工事施工状況写真　㊟1部　・　部提出する。 完成写真　・2部　⊙3部　・4部　提出する。 完成写真は◉カラー写真とする。　・カラー写真は監督員の指示による。 ・特別完成写真　※写真専門業者の撮影した外観カラー写真を　部提出する。 大きさ　・半紙　・四つ切り　・六つ切り　・八つ切り　・キャビネ判

2 仮設工事

項目	特記事項
1．監督員事務所等	監督員事務所・1号　・2号　・3号　・4号　・5号　・　㎡　(2.3.1.表) 仮設事務所の中に監督員用空間を　㎡程度確保する。
2．監督員用備品等	監督員用備品として、下記のものを工事期間中常備する。 ◉冠帽 2 個　ただし、新潟県のマーク及び新潟県土木部　㊟建築住宅　課を記入。 地……白　マーク文字……黒 ・命綱　組　◉雨具 2 着　◉長靴 2 足　・その他
3．工事用水	構内既存の施設　※利用できる。(※有償・無償)　・利用できない。
4．工事用電力	構内既存の施設　※利用できる。(※有償・無償)　◉利用できない。
5．仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

3 土工事

項目	特記事項
1．埋めもどし、及び盛土	・A種　※B種　(3.2.1.表)
2．残土処分	※構内指示の場所に散ならし　・構内指示の場所にたい積 ・構外搬出適切処理　・構外指示の場所に　・たい積　・散ならし
3．山止め	・簡易鋼矢板　長さ　m 内外（・パイプロハンマー打ち・モンケン打ち） ・鋼矢板（腹起しとも）長さ　m 内外（・パイプロハンマー打ち・　）

4 地業工事

項目	特記事項
1．試験ぐい	試験ぐいは、◉本ぐいを兼用する。　・兼用しない。(図示の位置で行う。)
2．既製くい地業	長さ等　※本ぐい長さ＋2m　本　⊙ϕ300^{mm}×40 m　2 本 載荷試験　・実施する。箇所（最大荷重　）◉実施しない。 くいの種類 ◉遠心力鉄筋コンクリートくい　JIS A 5310　㊟1種　・2種 ・プレストレストコンクリートくい　JIS A 5335　※A種　・B種　・C種 ・高強度プレストレストコンクリートくい　・ ・鋼管ぐい　JIS A 5525　・H形鋼ぐいJIS A 5526 継手　※アーク溶接　・ 施工法　※打撃工法　・振動式　・埋込工法　・ ・打撃工法　◉ディーゼルハンマー　・三点支持式　・ブーム式　・ ・モンケン式　※二本子式又は、組やぐら式　・ ・プレボーリング式　※三点支持式　・ ・堀削深さ（　　m） ・オーガーの径（・320　・350　・400　・　） ・ベントナイト安定液（・使用する。・使用しない。） ・
3．場所打ちコンクリートくい地業	コンクリートの種別　・A種（210以上）　・B種（270以上）　(4.4.1表) 鉄筋の種別　・異形鉄筋（※SD30　・SD35）　(5.1.1.) ・丸　鋼（※A種　・B種）　(5.1.1表) 掘削孔周壁の崩落防止工法 ・ベントナイト安定液使用（静止掘削） ・でい水の水頭圧　・全長にケーシングチューブ使用
4．ピヤ地業	コンクリートの種別　・A種（210以上）　・B種（270以上）　(4.5.1.表) 鉄筋の種別　・異形鉄筋（※SD30　・SD　）　(5.1.1) ・丸　鋼（※A　種　・B種）　(5.1.1表)
(5) 割ぐり石及び玉石地業	種別　◉割ぐり石地業　㊟玉石地業 目つぶし砂利の種別　㊟砂利　・砕石
(6) 砂利地業	種別　※砂利敷き締固め　◉砂利敷き 砂利の種別　◉砂利 40 mm　・砕石 40 mm
(7) 捨コンクリート地業	種別　㊟レデーミクストコンクリート　㊟I類　・II類）㊟C種　・　(6.9.1.表) ・工事現場練りコンクリート（※手練り　・機械練り） 調合及び計量　・1：3：6　・重量計量　・容積計量（　）
	強度試験　◉省略することができる。　・実施する。
	単位セメント量の最小値　㊟制限しない。　・制限する。
	骸骨材　㊟砂利 25 mm　・砕石　mm

5 鉄筋工事

項目	特記事項
(1) 鉄筋の種別	・異形鉄筋　㊟SD30　・SD35　(5.1.1) ・丸　鋼　※A　種　・B　種　(5.1.1表)
2．溶接金網	網目の寸法、形状　・　・線径　(5.1.3)
(3) 鉄筋の継手	㊟重ね継手　・圧接継手（径　mm以上）　(5.2.1)
4．耐久上不利な箇所の最小かぶり厚さ加算箇所	施工箇所 | 5.2.5表の値に加える寸法　(5.2.2)
5．帯筋の組立の形	※H形　・W－I形　・W－II形　・S形　(5.2.7図)
6．耐震壁等の継手長さ及び定着長さ	施工箇所 | 継手長さ | 定着長さ　(5.2.7) ◉耐震壁　・ | ㊟ S_1 ・ S_2 | ・ S_1 ㊟ S_2 ◉土圧などを受ける壁　・ | ㊟ S_1 ・ S_2 | ・ S_1 ㊟ S_2
(7) 壁開口部の補強	㊟A形　・B形　・図面による。　(5.2.9表)　(5.2.10表)
(8) 土間コンクリートの補強	・A形　・B形　・図面による。　(5.2.40図)
9．補強筋に丸鋼を使用する箇所	下記の箇所の鉄筋はD13を13φに、D10を9φに読み替えるものとする。 ・腹筋　(5.2.16図) ・基礎接合部の補強筋　(5.2.21図) ・パラペット及び外部に面する腰壁、垂れ壁の先端の補強筋　(5.2.8 表) ・壁の交差部及び端部の鉄筋　(5.2.25図) ・床版の受け筋　(5.2.28図) ・床版開口部の斜め補強筋　(5.2.37図) ・屋根床版の出すみ及び入すみ部の補強筋　(5.2.38図) ・壁つき床板の補強筋　(5.2.39図) ・土間コンクリートの補強筋　(5.2.40図)

6 コンクリート工事

項目	特記事項
(1) レデーミクストコンクリート	類別　※I類　・II類　(6.1.1 表)
(2) セメント	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　・早強ポルトランドセメント　(6.2.1)
(3) コンクリートの骨材（軽量コンクリートを除く。）	粗骨材　※砂利　・砕石　・砂利と砕石の混合（　　゜/wt 以下）　(6.2.2) 細骨材　※洗砂　・
(4) 混和材料	※混和剤　㊟AE剤　㊟AE減水剤標準形　・　(6.2.4) ・混和材　※フライアッシュ（JIS A 6201）　・
(5) 普通コンクリート	設計基準強度（kg/㎠）　・210　◉180　・150　・135　・ ※練強筋の入った土間コンクリート等も含む。（排水槽上面）
6．軽量コンクリート	種別 | 強度 | 施工箇所 | 気乾単位容積重量（t/㎥）　(6.7.1 表)
7．寒中コンクリート	・年　月　日から　年　月　日の間に打設するコンクリートは寒中コンクリートの項を適用する。　※適用しない。　(6.8.1)
8．無筋コンクリート	※6.9.1表による。　(6.9.1 表) ・A種（180kg/㎠）施工箇所 ・B種（150　〃　）施工箇所 ・C種（135　〃　）施工箇所
9．現場練りコンクリート	・手練り　・機械練り（設計強度　kg/㎠） ・容積調合1：3：6　施工箇所 ・現場計量（・容積　・重量）施工箇所　(6.10.3)
(10) 強度試験	㊟強度を指定されたコンクリートは必ず強度試験を実施する。　(6.11.4表) ・下記の無筋コンクリート等は強度試験を省略することができる。
11．床コンクリートこて仕上げ	種別 | 施工箇所　(6.12.1表) ・A　種 | ※B　種 | ・C　種 | ※一般屋根防水下地　・
12．打放し用せき板	厚さの（ ）内数値は合板の厚さとする。　(6.13.2表) 種別 | 厚さ | コーン穴の仕上面 | 施工箇所 ・A　種 | (15)㎜ | ・面うち・面と同一 | B　種 | (12)㎜ | ・面うち・面と同一 | ◉C　種 | (12)㎜ | ・面うち◉面と同一 | バラペット外側及び、バルコニー外下面 ・ | ㎜ | ・面うち・面と同一 |
	板材使用の場合、◉代用樹種の取扱いは木工事の項を適用する。・適用しない。

7 鉄骨工事

項目	特記事項
(1) 鋼材	※SS41、SSC41の規格品　◉SS41、SSC41の適合品
2．高力ボルト	※JIS B 1186の規格品　セットの種類　※2種（F10T）　・　(7.2.2)(7.4.2表) ・特殊高力ボルト　セットの種類　※JIS型の2種同等　・
3．溶接完了後の検査	試験の種別 | 試験箇所及び試験数　(7.5.9) ・ | ・ | ・ |
(4) さび止め塗装	素地ごしらえ　・A種　㊟B種　塗り回数（工場塗装）㊟1回　・2回　(17.2.2表) 種別　※A種（JIS K 5622～5625）　(17.4.3表) ・B種（JIS K 5628） ・C種（JIS K 5621）
(5) アンカーボルトの埋込及び埋込み	工法　・A種　※B種　◉C種　(7.8.1表)
6．柱底ならし仕上げ	工法　・A種　※B種　(7.8.2表)
(7) 軽量形鋼構造	鋼材　※JIS G 3350のSSC41の規格品　・ 丸鋼　※5.1.1表のA種　・B種　(5.1.1表)
8．鉄骨の製作所	・建設省告示45号第1308号に基づき特定行政庁が認定した施工業者 ・社内検査規準を有する施工業者 ・

8 ブロック工事

項目	特記事項
(1) 空胴コンクリートブロック	※普通ブロック　・　◉化粧視認外装 ・帳壁　・規格品（※A種・B種・C種）※適合品（※A種・B種・C種）　(8.1.2) ・耐力壁　※規格品（・A種・B種※C種）・適合品（・A種・B種※C種）　(8.2.2) ・防水形ブロック　※C種適合品　・ ◉適合品ブロックはJIS規格表示許可工場の製品に限定しない。　・限定する。 ・両面化粧積み施工箇所 ◉片面化粧積み施工箇所　P.S.
2．鉄筋の種別	◉異形鉄筋　㊟SD30　・SD35 ・丸　鋼　※A　種　・B　種　(5.1.1表)

及びALCパネル工事

項目	特記事項
(3) れんが	◉普通れんが　※市販品(並焼2等規格外品)　・ ・耐火れんが　※JIS R 2304の規格品(・8種・9種)　・ ・れんが型コンクリートブロック　※市販品　・ ・異形鉄筋　※SD30　・SD35 ・丸　鋼　※A種　・B種　(5.1.1表) ・補強鉄線　※JIS G 3352（普通鉄線）又はJIS G 3351（溶接金網） 設計基準強度　・Fc＝　kg/㎠　強度上の水セメント比　※70°/wt 以下
4．プレキャストコンクリート	目地用鉄筋　・A種　※B種　・SD30　・SD35　(5.1.1表)
5．ALCパネル	シーリング材　ALCとALCの取合い　・A種　※B種　・C種　(22.1.2表) ALCと金属の取り合い　※A種　・B種 間仕切パネル工法　・A種　※B種　(8.5.2表) ※ALCパネルの種類、性能等は下表による。 施工箇所 | 品質・種別 | 厚さ | 許容荷重 | 耐火時間

9 防水工事

項目	特記事項
(1) アスファルト防水	種別　屋根　◉ストレート工法　施工場所　本体　(9.1.1～5表) ・　一　工法　施工場所　(9.1.1～5表) ・　施工場所 屋内　◉ストレート工法　・　乾燥室　(9.1.5表) 地下室・　工法　貯水槽・　工法　(9.1.5表) アスファルト　㊟3種　・　アスファルトルーフィング　㊟35kg品　・ 屋根露出防水層の保護　㊟保護塗装（2回）を行う。　・ 砂付ルーフィングの原紙　・無機質とする。　◉限定しない。
2．防水層押え	防水層の保護　※9.1.4(a)による。　・　(9.1.4.a)
3．合成高分子ルーフイング防水	伸縮目地　・合成樹脂発泡材　・エラスタイト　・　(9.1.4.c) 施工箇所 | 品質・種別 | 厚さ、工法等 ※施工は指定メーカー又はその指定業者の責任施工とする。
4．合成高分子塗り防水	仕上　※露出工法（保護塗装を2回行う。）　・ 施工箇所 | 品質・種別・工法 ※施工は指定メーカー又はその指定業者の責任施工とする。
5．ポリエチレンフイルム	・土間コンクリート下に敷く。　・敷かない。 厚さ　・0.1㎜　・0.15㎜　・
(6) 防水の保証等	※防水工事は責任施工とし、請負者連名の保証書を提出する。 保証期間 ◉アスファルト防水　◉ストレート工法　10 年間 ◉　工法　年間 ・　工法　年間 ◉その他の防水　◉ウレタンゴム防水　工法　5 年間（排水溝） ・　工法　年間

10 石工事

項目	特記事項
1．自然石張り及び敷石、階段石	石材及び仕上げの種別　(12.2.1表～2表、10.3.1表) 施工箇所 | 石材種別(産地名称等) | 仕上げの程度 10．．．表の 10．．．表の
2．テラゾブロック張り	種石の種類　※大理石　・花こう岩　・
3．擬石張り	仕上げの種別　・10.2．表の　とする。　・洗出し仕上げ
4．シーリング	種石の種類　※花こう岩　・大理石　・ ※シーリングは22章1節による。材種　・A種　・B種　・　(22.1.2表)

11 タイル工事

項目	特記事項
(1) 陶磁器質タイル張り	タイルの種別　※JIS A 5209の規格品とする。 ※張付工法及び形状、寸法、種別は下表による。　(11.1.4表) 施工箇所 | タイルの種別・品質 | 形状寸法 | 工法 | その他 浴室床 | 黒釉・磁器質 | 45mm×45mm | ボイド貼り | 浴室壁 | 艶消・磁器質 | 45mm×95mm | 圧着貼り | 玄関床 | 磁器質 | 60mm×60mm | | 花壇 | 磁器質 | 227mm×60mm | 縁とけ貼り |
2．外壁タイルの接着力試験	伸縮目地のシーリング材　・A種　・B種　・　(22.1.2表) ・試験を行う。　・行わない。

12 木工事

項目	特記事項
(1) 木材	木材の含水率　㊟A種　・B種　(12.1.1表) 樹種構造材　◉すぎ　◉まつ　・ひのき　・北洋材　・ 下地材　◉まつ又はすぎ　・北洋材　・ 造作材　◉すぎ　◉まつ　・ひのき　・北洋材　・ ※造作材のうち建具のつり元わく及び浴室などの水掛かり部分の造作材はひのきとする。 北洋材はソ連（ナホトカ、ウラジオストック、ワニノなど）から輸入する木材で、えぞまつ（とどまつを含む。）赤まつ、紅まつ、落葉樹（主として ソ連からまつ）などの樹種をいう。 代用樹種　※代用樹種は、12.1.3表と下記表により監督員の承諾を得て使用する。 ◉代用樹種を認めない箇所（杉材：造作材、エリア框、ケヤブリ敷居　） ◉造作材でラワン材の図面特記がある場合は代用樹種を認めない。 12.1.3表以外の代用樹種の取扱い（北洋材の指定がある場合）

区分	樹種	代用樹種	
構造材	北洋材	まつ	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、からまつ、米まつ
		すぎ	もみ、つが、米つが、米とうひ、米赤すぎ、米もみ、えぞまつ、とどまつ
		ひのき	ひば、米ひ、米ひば、台ひ
下地材	北洋材	すぎ	もみ、つが、えぞまつ、とどまつ、米つが、米もみ
		まつ	米赤すぎ、米すぎ
造作材	北洋材	すぎ	もみ、つが、米とうひ、米つが、米もみ、米赤すぎ、米すぎ
		まつ	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、五葉まつ
		ひのき	ひば、米ひ、米ひば、台ひ

12 木工事

項目	特記事項
	等級　構造材及び下地材　※1等（見本湖すぎ1号小割） ただし、小屋材及びつり木受丸太は2等
	造作材　㊟A種　・B種　(12.1.2表)
	表面仕面げ　・A種　◉B種　・C種　材料厚さ　◉下地材は引き直す寸法　(12.1.4表) 化粧薄板の樹種　・　厚さ・　mm　なし、造作材は仕上がり寸法とする。
2．化粧ばり用集成材	集成材を構成する単材の樹種　・　厚さ・　mm
3．造作用集成材	・防あり処理をする。　・しない。　・防あり剤（　）
4．防あり処理	㊟ラワン材は防虫処理をする。㊟熱処理　・薬液浸せき処理　・　)
(5) 防虫処理	

13 屋根及びといい工事

項目	特記事項
1．長尺亜鉛鉄板ぶき	形式　・瓦棒ぶき　※心木なし　・心木付　※通しつり子　・部分つり子 ・平ぶき　・平巻はぜ　・立巻きはぜ ・折板ぶき 材種　・着色亜鉛鉄板　・亜鉛鉄板（塗装なし）　・折板（　） 寸法　・着色亜鉛鉄板　厚さ※0.4㎜　・　㎜ ・折板　厚さ　・　㎜　折板の高さ　・　㎜ 工法　つり子の留付け金物　・鉄骨下地（　）・間隔（　内外） ・木造下地（　）・間隔（　内外） 軒先等の留付け金物　・鉄骨下地（　）・間隔（　内外） ・木造下地（※座付スクリュークギ）・間隔（※200㎜内外） 下ぶきの材料　※アスファルトルーフィング22kg/21㎡　・
2．波形石綿スレートぶき（外壁を含む。）	留付け工法の種別　・一般地域工法 ※強風地域工法（多雪地域工法もこれに準ずる。） スレートの種類（JIS A 5403）　・大波　・
(3) といい	材種　・軒どい　※JIS A 5706（硬質塩化ビニール雨どい）の規格品　(13.3.1表) ◉樋どい　㊟JIS K 6741（硬質塩化ビニール雨樋）の規格品　V.P ・JIS G 3442（水道用亜鉛めっき鋼管）の規格品 ・保護管　※JIS G 3442（水道用亜鉛めっき鋼管）の規格品 ・ とい受け金物　※13.3.2表による。　◉市販品　・図面による。　(13.3.2表) 鋼管製といの防露　※13.3.4表による。　・　(13.3.4表) 掃除口の設置　㊟設置する。　・設置しない。　(13.3.7)

14 金属工事

項目	特記事項
(1) ステンレス鋼	材質　㊟SUS 304 施工箇所　竪樋、雨入谷廻り、屋上水切り ・SUS 430 施工箇所　表面処理はJIS G 4305のNo.2B
(2) 表面処理	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 ㊟無着色陽極酸化皮膜　・着色陽極酸化皮膜 皮膜の厚さ　・A種　・B種　・C種　・D種　(14.2.1表) 着色陽極酸化皮膜の種類　・A種　◉B種　(14.2.2表) 表面処理の試験　・実施する。　◉行わない。 鉄の亜鉛めっき 種類　◉A類　・B類　・C類　(14.2.3表) A類の溶融亜鉛めっきの亜鉛の付着量　・A種　・B種　◉C種　(14.2.4表) B類の電気亜鉛めっきの種類　・A種　・B種　・C種　(14.2.5表) C類の表面処理亜鉛めっき鉄板の亜鉛の呼び付着量（JIS G 3302－70） g/㎡　・183　・244　・305　・381 亜鉛めっき面の試験　・行う。　㊟行わない。 適用区分（特記する箇所のみ） 施工箇所 | 材質 | 表面処理の区分 ダクト | 鉄鋼 | ハロン6種
3．軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地	野縁などの種別　・A種　※B種一般形　・B種特殊形　・　(14.4.1表) 間柱及びランナーの種別　・A種　※B種　・　(14.5.1表) 開口部額の補強材の種別　・A種　※B種　・　(14.5.2表)
4．金属成形板張り（外壁等の鉄板張りを含む。）	材質　※14.2.3(a)(3)による亜鉛めっき品とする。(附属材料とも) 材種及び表面処理の適用区分（2の表面処理による。） 施工箇所 | 材質形状 | 表面処理の区分 取付け用小ねじ及びびくぎの類　※ステンレス（SUS 304）　・ 天井下地材　・A種　施工箇所　(14.4.1表) ・B種一般形　施工箇所 ・B種特殊形　施工箇所
5．パイプ類	材質 | 施工箇所 ステンレス（SUS 304） | 白瓦斯管（JIS G 3442） |

課長	課長補佐	主任	係

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築　工事

特記仕様　枡　図番　43 枚　No. 2

縮尺　　昭和55年 8月15日

審査		設計	
関係者	新潟県知事　登録番号	新潟県建築設計協同組合	
管理建築士	電話565－4746－7		

建築工事特記仕様書（そのI）　**新潟県土木部**

14 金属工事

⑥ 手すり，タラップ類，その他金属材料

材種及び表面処理の適用区分（２の表面処理による。）

施工箇所	材質形状	表面処理の区分
タラップ	鋳鋼	A種 C種

15 左官工事

1．防火材料

防火材料又は耐火被覆の指定

指定材料	施工箇所及び工法，仕上げ等

② 合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付け

㊟吹付材は ＪＩＳＡ6909による。 ＊

種類 ⊙ 外装用Ａ種（既視合形）

3．複層模様吹付け

※吹付材は ＪＩＳＡ6910による。 ＊

種類 ※セメント系複層模様吹付材 ＊

4．ロックウール吹付け

材種 ＪＩＳＡ9504の ※１号 ＊２号 ＊３号

種別 ＊耐火被覆用（１の表に記入する。） ＊一般用 (15.6.1表)

厚さ ＊ ㎜ 施工箇所

＊ ㎜ 施工箇所

色及び仕上げ ※原色 ＊着色 ※こて仕上げ ＊吹付けのまま

施工者 ※耐火，防火被覆の場合は吹付材製造業者の指定する施工者とする。

5．ＡＬＣパネル用特殊プラスター塗り

材料の種別及び塗り厚

＊Ａ種 ※Ｂ種 (15.7.1表)

6．人造石塗り

人造石とぎ出しの種石の種別 ＊Ａ種（カナリヤの類）＊Ｂ種（寒水，じゃ紋の類） (15.8.1表)

7．合成樹脂塗り床

＊アクリル系 厚さ ＊３㎜ ＊５㎜

＊エポキシ系 厚さ ＊３㎜ ＊５㎜

＊ 厚さ ＊ ㎜

16 建具工事

① アルミニウム製建具

類別 ㊟Ａ類，Ｂ類の箇所別及びわく見込みは図面による。

㊟防火戸の箇所別は図面による。

⊙ 製造は ＢＬ-Ｋとし 製作メーカーは ＢＬ-Ｋ製品指定メーカーとする。

気密性による種類 ＊Ａ類 ＊８ ＊２ (16.1.3表)

⊙Ｂ類 ※８ ＊２ ⊙1号

水密性による種類 ＊Ａ類 ＊25 ＊35 ＊50 (16.1.4表)

⊙Ｂ類 ※25 ⊙35 ＊50

表面処理 ㊟無着色陽極酸化皮膜 14.2.1表の ＊Ｂ種 ㊟Ｃ種 (16.1.3)

＊着色陽極酸化皮膜 14.2.2表の ＊Ａ種 ＊Ｂ種

出入口のくつずり ㊟図面による ＊ステンレス（ＳＵＳ304）

材種 ※アルミニウム合金 ＊ステンレス（ＳＵＳ304） ＊鋼板

わく見込み ＊ ㎜以上 ＊ ㎜

出入口のくつずり ※ステンレス（ＳＵＳ304） ＊

※壁部分の表面仕上材の材種は図面による。

※壁部分の表面仕上材は防火材料の認定表示のあるものとする。

＊下記施工箇所部分の表面仕上材は防火材料の認定表示を必要としない。

施工箇所

2．組立間仕切

③ 鋼製建具

※防火戸の指定及び閉鎖機構，連動機能，非常時の使用は図面による。 (16.2.1)

⊙ 製造は ＢＬ-Ｋとし 製作メーカーは ＢＬ-Ｋ製品指定メーカーとする。

出入口のくつずり ※ステンレス（ＳＵＳ304） ＊鋼板

4．鋼製巻込みシャッター

製造所に日本サッシ協会の正会員を ＊加える。 ＊加えない。

※形式及び機構，開閉機能の種類は図面による。 (16.5.2)(16.5.1表)

ガイドレール及びまぐさ，座板，座板の包み板，開閉器類のカバー (16.5.2表)

※ステンレス（ＳＵＳ304） ＊鋼板 (16.2.2(a)(1)) ＊図面による。

5．軽量シャッター

※形式及び開閉機能の種類は図面による。 (16.6.1表)

⑥ 木製建具

建具材の種別 ＊Ａ種 ㊟Ｂ種 ＊Ｃ種 (16.7.1表)

樹種 ⊙16.7.2表による。＊北洋材（※つり元となる部材及び定規縁はひのきとする。）

代用樹種 ㊟木工事の項による代用樹種を認める。 ＊認めない。

＊認めない箇所（ ）

フラッシュ戸の表面板の厚さ ＊Ａ種 ※Ｂ種 ⊙図面による。 (16.7.3表)

普通合板の樹種等 ㊟16.7.1(b)(2)による。 ＊図面による。 (16.7.1)

⑦ 建具金物

㊟建具金物は図面で指定された品以外は16.8.5表による。 (16.8.5表)

マスターキー ＊グランドマスターキー装置付とする。

⊙マスターキー装置付とする。 ＊マスターキー装置は付けない。

マスターキー装置付とする建具 ⊙金属製建具（ S2 ）

＊木製建具（ ）

銘札 ㊟塩化ビニル製，文字書き入れ（権円形） 数量 ㊟錠前１組に１枚とする。

⑧ ガラス

材料 ※16.9.1.(a)による。 ＊図面による。 (16.9.1)

ガラスの使用区分 ㊟図面による。 ＊

パテの使用区分 ㊟16.9.1表による。 ＊

シーリング材の適用箇所及び種別 ※図面による。 ＊

ガラスの落し入れ工法 ※行わない。＊図面で指定する箇所のみ行う。

⑨ 網戸

網 ＊ステンレス網 施工箇所 ※図面による。 ＊

グラスファイバー網 施工箇所 ※図面による。 ＊

⊙サラン網 施工箇所 ㊟図面による。 ＊

形式 ＊固定式 ⊙可動式 ＊図面による。

⑩ 雨掛かり部分等の建具廻シーリング材

⊙Ｂ種 施工箇所（シリコーン系シーリング材，２成分形） Ａ-1，Ａ-Ｂ (22.1.2表)

⊙Ｄ種 施工箇所 Ａ-2～Ａ-4，Ｓ５-1及び上記以外の箇所

＊

17 塗装工事

1．防火材料

防火塗料使用箇所

防火塗料種別	施工箇所

② 素地ごしらえ

鉄面 ＊Ａ種 ㊟Ｂ種 (17.2.2表)

コンクリート，モルタル，プラスター面 ＊Ａ種 ㊟Ｂ種 (17.2.4表)

ボード面 ＊Ａ種 ㊟Ｂ種 (17.2.5表)

③ 見え隠れ部分のさび止め塗料塗り（さび止め仕上げの場合を含む）

材料・調製塗具面 ＊Ａ種（ＪＩＳＫ5622～5625）㊟Ｂ種（ＪＩＳＫ5628）＊Ｃ種（ＪＩＳＫ5621） (17.4.3表)

⊙鉄骨面 ※Ａ種（ＪＩＳＫ5622～5625）⊙Ｂ種（ＪＩＳＫ5628）＊Ｃ種（ＪＩＳＫ5621）（ ＊ ）

⊙その他鉄部 ※Ａ種（ＪＩＳＫ5622～5625）⊙Ｂ種（ＪＩＳＫ5628）＊Ｃ種（ＪＩＳＫ5621）（ ＊ ）

＊亜鉛めっき面※Ａ種（ＪＩＳＫ5627） ＊Ｂ種（ＪＩＳＫ5621） (17.4.6表)

工法 ※組立後現場で補修塗施工後に下記回数を塗装する。（工場塗装１回施工後）

＊１回塗り，施工箇所

＊２回塗り，施工箇所

④ 調合ペイントの塗料種別

調合ペイントの品質 ㊟ＪＩＳ規格品 ＊規格外品

合成樹脂調合ペイントの種別 屋外 ㊟２種 ＊ 屋内 ㊟１種 ＊

⑤ 木部調合ペイント塗り

油性調合ペイント塗り (17.4.1表)

※３回塗り 施工箇所

＊２回塗り 施工箇所

合成樹脂調合ペイント塗り (17.4.2表)

※３回塗り 施工箇所

⊙２回塗り 施工箇所 潤滑ドア

⑥ 鉄面調合ペイント塗り

さび止め塗料の種別 (17.4.3表)

※Ａ種 施工箇所

⊙Ｂ種 施工箇所 隔板枠，潤滑付金物，ボルト

＊Ｃ種 施工箇所

＊17.4.3表による。

油性調合ペイント塗り（さび止め塗料２回塗り……工場又は取付け前１回現場組立後１回） (7.4.4表)

＊３回塗り 施工箇所

＊２回塗り 施工箇所

合成樹脂調合ペイント塗り（さび止め塗料２回塗り…工場又は取付け前１回現場組立後１回） (17.4.5表)

＊Ａ種（３回塗り）施工箇所

㊟Ｂ種（２回塗り）施工箇所 隔板枠，潤滑金具，感じとポルト，潤滑付金物

⊙ただし、塗り回数にはさび止め塗料塗りの回数は含まない。 ボルト 錆止め下塗

⑦ 亜鉛めっき面調合ペイント塗り

さび止め塗料の種別 (17.4.6表)

㊟Ａ種（ＪＩＳＫ5627）施工箇所 ダラップ，アンテナ架台

＊Ｂ種（ＪＩＳＫ5621）施工箇所

＊17.4.4(b)による。

⑧ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

品質 ㊟ＪＩＳＫ5663 ＊規格外品 工法 ＊Ａ種 ㊟Ｂ種 (17.5.1表)

⑨ 塩化ビニル樹脂エナメル塗り

品質 ㊟ＪＩＳＫ5582 ＊規格外品 工法 ＊Ａ種 ㊟Ｂ種 (17.7.1表)

10．アルミニウムペイント塗り

品質 ※ＪＩＳＫ5492（１種） ＊規格外品 工法 ※２回 ＊ 回

11．フタル酸樹脂エナメル塗り

木部 ＊Ａ種 ※Ｂ種 品質 ※ＪＩＳＫ5572 ＊ (17.8.1表)

鉄面及び亜鉛めっき面 ＊Ａ種 ※Ｂ種 (17.8.2表)

⑫ オイルスタイン，クリヤラッカーセラックニス塗り

木部 ＊Ａ種 ※Ｂ種 品質 ㊟ＪＩＳＫ5531 ⊙オイルスタイン１回塗 クリヤラッカー２回塗り (17.9.1表)

＊２回塗り ＊１回塗り (17.10.1表)

13．油性ステイン塗り

⑭ 木部防腐剤塗り

種別 ※ＪＩＳＫ2470（クレオソート油） ⊙規格外品

回数 ㊟２回塗り ＊１回塗り （量工並みは３回塗り）

15．マスチック塗材塗り

種別 ＊マスチック塗材Ａ（外装用） ＊マスチック塗材Ｂ（内装用）

＊マスチック塗材Ｃ（内外装用）

＊マスチック塗材Ａ及びＢ２上塗用アクリルエナメルを２回塗付ける。＊塗付けない。

施工業者 ※マスチック塗材施工協会の会員で、同協会が実施する技能検定に合格した技能者を有する業者

⑯ 塗装業者

※日本塗装工業会の会員とする。 ⊙限定しない。

18 内装工事

1．防火材料

※防火材料の指定は各項目の特記事項によるほか、天井及び壁の仕上材はすべて防火材料の認定表示のあるものとする。

＊防火材料の指定は各項目の特記事項による。

2．ビニル床シート

ＪＩＳＡ5707 ※一般用 ＊ 厚さ ※2.5㎜ ＊ ㎜

3．リノリウムシート

厚さ ※２㎜ ＊ ㎜ 色柄 ＊

4．ゴムシート

厚さ ※４㎜ ＊ ㎜ 色柄 ＊

5．ビニル床タイル

※JISA5705 ※半硬質ビニルアスベストタイル ＊

厚さ ※２㎜ ＊ ㎜

6．ビニル巾木

高さ ※100㎜ ＊ ㎜ 厚さ ※２㎜ ＊ ㎜

7．ゴムタイル

厚さ ＊ ㎜ 色柄、種別 ＊

⑧ 石こうボードその他ボード張り

㊟石こうボード、その他ボード類で天井及び壁に使用されるものはすべて防火材料の認定表示のあるものとする。

＊下記施工箇所部分については、防火材料の認定表示を必要としない。

施工箇所

⑨ 合板張り

離目処理工法 ※適用する。 施工箇所

⊙適用しない。 施工箇所

※合板の類で天井及び壁に使用されるものは、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。

⊙下記施工箇所部分については、防火材料の認定表示を必要としない。

施工箇所 押入壁－普通合板

玄関、台所一部壁－特殊加工化粧合板

材種及び工法等 (18.3.3表)

種別	工法	材種、厚さ及び施工箇所
普通合板 Ⅰ類	＊Ａ種	
	⊙Ｂ種	押入床 厚12㎜
普通合板 Ⅱ類	＊Ａ種	
	⊙Ｂ種	押入壁 天井 厚9.5㎜
天然木化粧合板	＊Ａ種	
	＊Ｂ種	

19 内装工事

⑩ 内装用のくぎ類

種別	工法	材種、厚さ及び施工箇所
特殊加工化粧合板	＊Ａ種	
	⊙Ｂ種	玄関、台所、押入 厚2.7㎜
	＊Ａ種	
	＊Ｂ種	

㊟浴室、洗面所、脱衣室、便所、湯沸室、ちゅう房、台所、押入、ロッカー類、棚類、などさびやすい箇所、及び紙張り、布張り、さびの発生しやすい塗料下地などに使用する内装用小ねじ、くぎ類はステンレス（ＳＵＳ304）又は黄銅製とする。

㊟その他の内装用に使用する小ねじ、くぎ類は下記による。

材種	施工箇所
＊ステンレス（SUS304）	
⊙ステンレスカラーネール	玄関ブラント台板貼り
＊黄銅	
＊	

⑪ フローリング張り

名称	樹種	等級	板厚	寸法	工法
＊フローリングボード（18.4.1表）	＊	※1.2等込	※15	※巾64～75	＊一般張り
	＊	＊1等	＊	＊	＊特殊張り
⊙天然木化粧複合フローリング（18.4.2表）	⊙ ダラ	＊A種	＊		
	＊	㊟B種	＊12		⊙一般張り
＊フローリングブロック（18.4.3表）	＊		※15	※303×303	
	＊		＊	＊	
＊モザイクパーケット	＊				
	＊				

12．紙及び布張り

材料 ※防火材料の認定表示のあるものとする。

＊下記施工箇所部分については防火材料の認定表示を必要としない。

施工箇所

13．畳敷き

14．じゅうたん敷き

＊Ａ種 ㊟Ｂ種 ㊟畳床は防虫処理を行ったものとする。

⊙ ＪＩＳＡ9211による ポリエチレンサンドイッチ畳床を使用しても良い。 (18.6.1表)

材料 ※18.7.1表による。 ＊

毛足 ※７㎜ ＊

※帯電防止用ステンレスファイバーを混紡しない。 ＊混紡する。

下敷き材 ＊麻フェルト ＊獣毛フェルト ＊ゴム ※黄麻フェルト

厚さ ※８㎜ ＊

検査証明書 ＊添付する。 ＊必要としない。

15．保温、吸音材

⊙合成樹脂発泡材 ㊟フォームポリスチレン連続押出し成形品 厚さ ⊙25㎜ ⊙30㎜

＊ロックウール吸音材 ※ＪＩＳＡ6303ロックウール吸音材 ※１号 ＊２号

＊ロックウール保温材 ※ＪＩＳＡ9504ロックウール保温材 ※１号 ＊２号 ＊３号

＊グラスウール吸音材 ※ＪＩＳＡ6306吸音用グラスウールボード ※１号 ＊２号

＊グラスウール保温材 ※ＪＩＳＡ9505グラスウール保温材 ※１号 ＊２号

＊繊維吸音板 ※ＪＩＳＡ5905インシュレーションボード ※Ａ級 ＊

＊吸音用石膏ボード ※ＪＩＳＡ6301吸音用あなあきせっこうボード(9㎜) 裏打ち紙 ※石綿紙 ＊グラスペーパー ＊

⊙木毛セメント板 ㊟ＪＩＳＡ5404繊維木毛セメント板 ＊ 厚さ ⊙20㎜

＊

＊

20 給水工事

1．遠心力鉄筋コンクリート管及び鉄筋コンクリート管

継手 ※カラー継手又はソケット管接合

＊ゴム輪接合（ＪＩＳＫ6353）

2．地業の材料

※クラッシャーラン ※40㎜ ＊ 25 ㎜

＊砂利 ※40㎜ ＊ ㎜

＊砕石 ※40㎜ ＊ ㎜

21 植栽工事

1．芝張り

種別 ※こうらい芝 ＊野芝 ＊

工法 ＊目地張り ＊施工箇所

＊べた張り ＊施工箇所

＊筋芝張り ＊施工箇所

客土 ＊行う。 ＊行わない。

2．吹付け材

種子の量 ＊

酸性測定 ＊行う。 ＊行わない。 硬度測定 ＊行う。 ＊行わない。

被膜養生 ＊行う。 ＊行わない。

3．補償

補償期間 ※引渡しの日から１年間 ＊ 年間 ＊ 年 月 日迄

22 雑工事

① シーリング材

耐久性 ※１級 ＊２級 (22.1.1表)

種別		施工箇所 (22.1.2表)
A種	シリコンシーリング材（１成分形）	
B種	シリコーンシーリング材（２成分形）	パルコニー手摺、竪水樋ボンド亜架台及び底廻り、A-1、A-B
	ポリサルファイドシーリング材	
C種	ウレタンシーリング材（２成分形）	
	水性アクリルシーリング材（２成分形）	
D種	油性コーキング材	A-2～A-4，S5-1及び上記以外の箇所

22 雑工事

② コーナービード

材種 ※ステンレス鋼 ＊鉄鋼 ＊塩化ビニル 高さ ＊天井まで ＊1.8m（定尺もの）

③ 階段滑り止め

材種 ※ステンレス鋼（厚型アンカー付） ⊙真鍮 ＊ゴム（アンカー付き）

型式 ＊ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ＊タイヤなし

④ 黒板、掲示板

材種 黒板 ※鋼製 ＊木製 ＊ほうろう黒板

掲示板 ㊟ビニールレザー貼面張り ＊

わく ※アルミニウム製 ⊙ ステンレス製 ⊙ 鉄(スリーブ)

⑤ スリーブ

材種 ＊鋼管 ＊つば付鋼管 ＊硬質塩化ビニル管 ※亜鉛鉄板(つば付き) (22.3.1表)

厚0.4㎜以上

⑥ カーテン及びカーテンレール

カーテン ※防炎加工を行ったものとする。

布地の品質 ＊

形式 ＊片引き ＊引分け

機構 ＊手引き ＊ひも引き ＊電動 ＊

ひだの種別 ＊Ａ種 ＊Ｂ種 ＊Ｃ種 (22.4.1表)

カーテンレール ⊙ステンレス（ＳＵＳ430） ＊アルミニウム製（押出し成形品）

＊鋼板製 ＊

7．ベネシャンブラインド

材質 ※アルミニウム合金製 ＊鋼製

厚さ ※0.15㎜ ＊ 0.2㎜ ＊ ㎜ 巾 ※34.0㎜ ＊48.5㎜

形状 ※Ｃ型 ＊Ｓ型 開閉機構 ＊ギャー式 ＊コード式

8．砂利敷き

建物周囲等 ＊Ａ種 ※Ｂ種 材種 ※砂利 ㎜ ＊砕石 ㎜ (22.6.1表)

通路等 ※Ａ種 ＊Ｂ種 材種 ※砂利 ㎜ ＊砕石 ㎜

9．間知石及び間知ブロック積み

間知石の材種 ＊

間知ブロックの形状 ＊

コンクリート 基礎 ※Ａ種 ＊Ｂ種 ＊Ｃ種 ＊ (6.9.1表)

裏込 ＊Ａ種 ※Ｂ種 ＊Ｃ種 ＊

伸縮目地の材種 ＊ (22.1.2表)

10．敷地境界石標

種別 ＊Ａ種 ＊Ｂ種 (22.8.1表)

⑪ 積雪表示板

㊟塩化ビニル製（白）、ステンレス化粧ナット（6㎜）4本締め、文字書入れ

寸法 ㊟200×180×5（内わくは180×160とする。） ＊

⑫ 室名札

材種 ㊟塩化ビニル製 ＊アクリル樹脂製 ＊

寸法 ※260×80×5 ⊙ 2川0×135×5

受金具＊ステンレス（ＳＵＳ30Ｕ） ＊

13．点検口

形式 ＊突出型 ケ所 ⊙掛け型 12ケ所 ※文字書入れ ＊文字彫込み ⊙書体なし

天井 ※アルミニウム製 ＊ 寸法＊450×450 ＊600×600

床 ※アルミニウム製 ＊ 寸法＊450×450 ＊600×600

14．鍵箱

形式 ＊30本 ＊60本 ＊120本 ＊200本 材種 ※鋼製（既製品） ＊

⑮ 既製流し台の類

形式 ＊ＫＪ部品 ＊市販型 ⊙ BL-K SG-1800型

㊟水槽は深しぼりとし、水切部との接合はシーム溶接とする。（トラップ付き）（V.P.接続用）

材質 ＊ステンレス（ＳＵＳ304） ⊙ステンレス（ＳＵＳ430） ＊

追加特記事項

1．風呂釜	バランス型風呂釜で空焚き防止装置付きとし、カス供給者の承認を得る事。
2．文字書き	各ドアー、掲示板、集合郵便受け箱には、戸番号を記入する。書体は丸ゴシック体とする。
3．手摺（パルコニー、和室）	アルミ製でBL、KJ製品でし、形状、寸法はBL KJメーカーの仕様による。
4．浴槽	BL KJ製品で FRPの800型とする。2カエアロン付き、据置型。

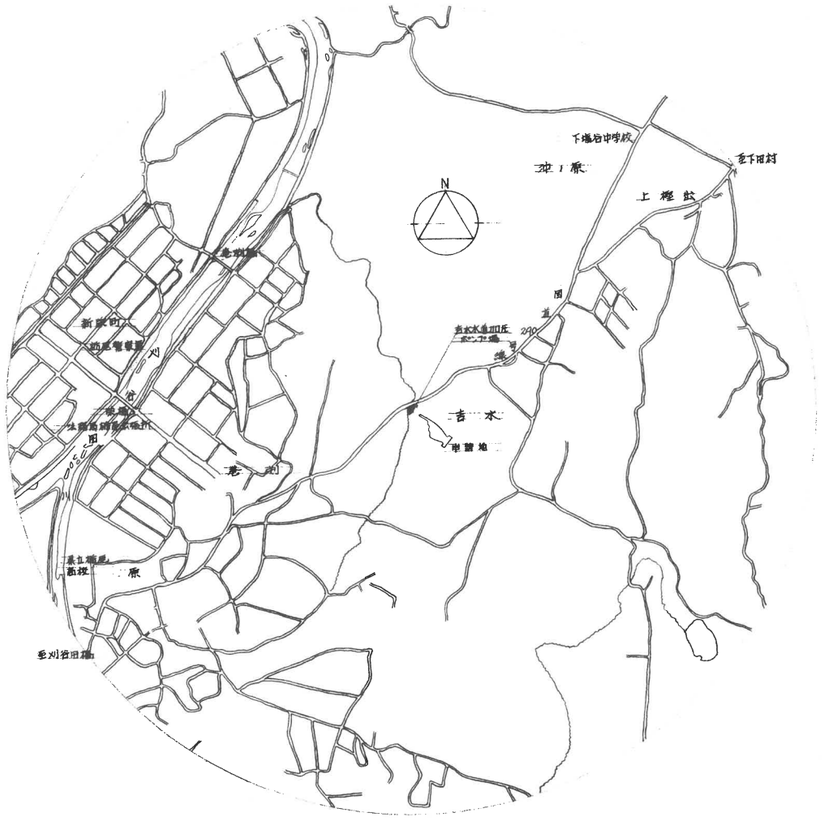
課長	課長補佐	主任	係

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

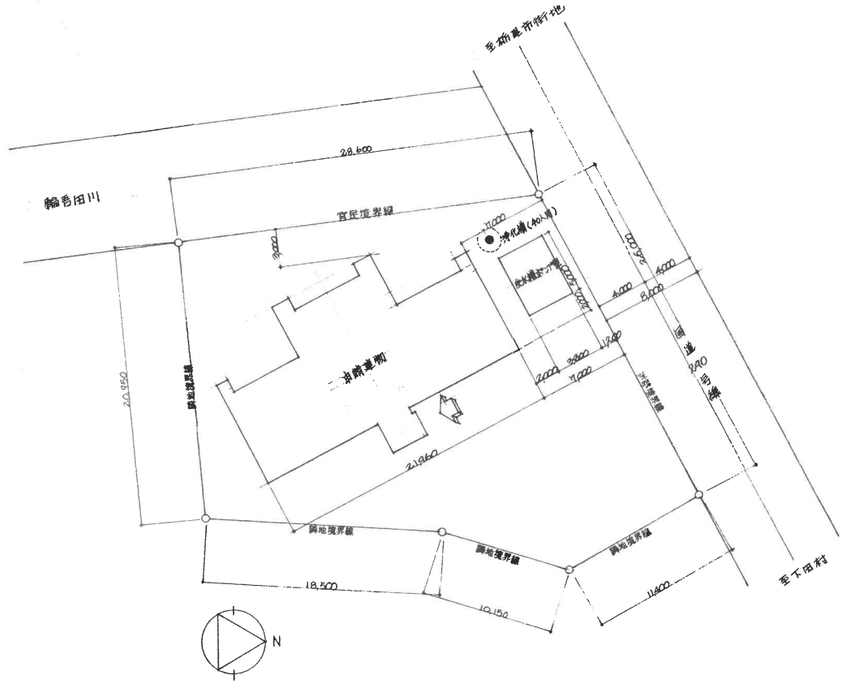
特記仕様書 図番 43枚 No. 3

縮尺		昭和55年8月15日
審査	設計	
監督者	新潟県建築設計協同組合	
管理建築士	電話565－4746－7	

建築工事特記仕様書（そのⅡ） 新潟県土木部



案 内 図

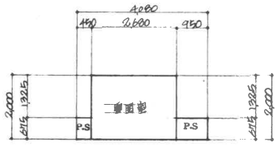


配 置 図 S:1/250

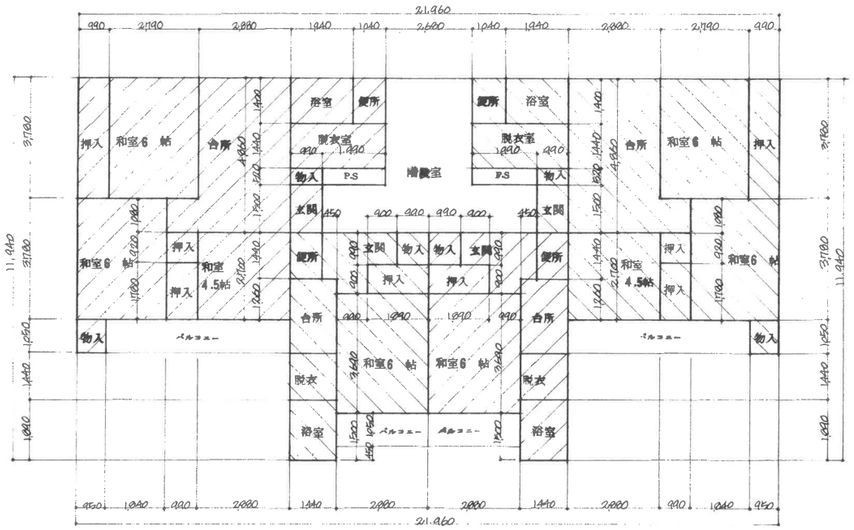
課長 係長 補佐			主任	係			

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

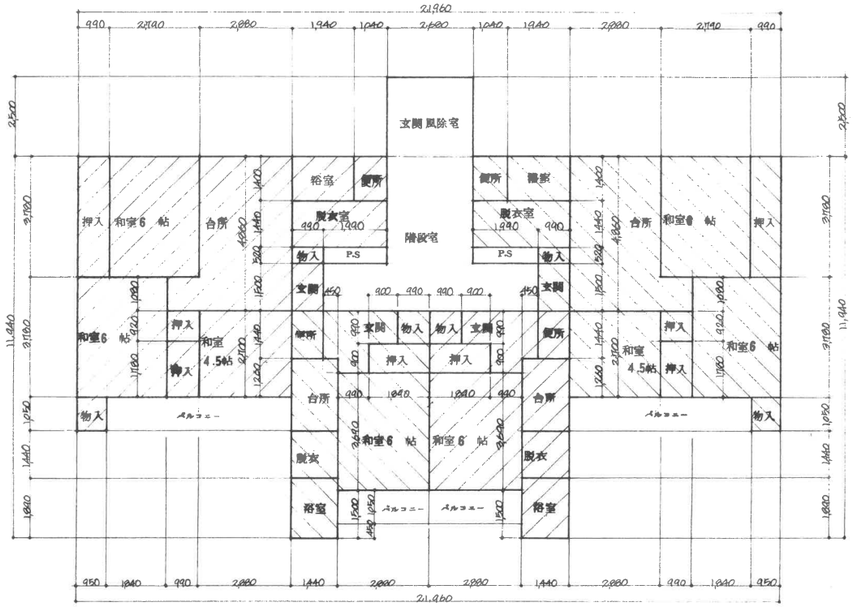
案内図・配置図		図番	43 枚 No. 4
縮尺	S:1/250	昭和 35年 8月 15日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 許諾番号（八第640号）知事系 一級建築士 三富 [illegible]		
管理建築士	新潟県建築設計協同組合 電話65-4746-7 登録第9200号 一級建築士 山本 [illegible]		



塔屋床面積求積図



2・3階床面積求積図



1階床面積求積図

面積表

建築面積	203.9158 + 5.71×0.05×2 + 5.76×0.05 + 2.4×0.2			205.2548	m²
延べ面積	604.6523 + 18.039			622.6913	m²
床面積	車用部分・P.S.・階段室・玄関				
塔屋床面積	2.68×2.00 + 0.95×0.675 + 0.45×0.675	6.305			
3階床面積	(3.78+3.78)×2.196 + (1.05+1.44+1.89)×(1.44+2.88+1.44+2.88)+0.95×1.05×2 − 1.5×(2.88+2.88)	197.2158	(5.76×1.05+5.71×1.05×2) × 1/3	6.013	m²
2階床面積		197.2158	全上	6.013	m²
1階床面積	全上 + 2.5×2.68	203.9158	全上	6.013	m²
延べ面積		604.6524		18.039	m²
1戸当り平均面積	604.6524 + 18.039 × 1/12			51.89095	m²

○ 世帯着用（1戸当り）

区分	計算式	計	
床面積	(0.99+2.79+2.88)×(3.78+3.78)+(1.94+1.04)×(1.4+1.44)+(0.52+1.5)×0.99 + 1.05×0.95	61.8101	m²
バルコニー	(1.84+0.99+2.88)×1.05×1/3	※1.9985	m²
計		63.8086	m²

※ バルコニー占用面積の1/3は床面積に算入する。

○ 単身着用（1戸当り）

区分	計算式	計	
床面積	(1.44+2.88)×(3.69+0.9+0.99)+1.44×1.5	26.2656	m²
バルコニー	2.88×1.05×1/3	1.008	m²
計		27.2736	m²

○ 単位住戸面積（12戸・M²）

区分	1ヶ所当り面積	計算式	住戸1当り床面積	
階段室	1.99×1.5×2+2.68×4.86=18.9948	18.9948×1/4	4.7487	m²
風除室	2.68×2.5=6.7	6.7×1/12	0.5583	m²
P.S.	1.99×0.52×2×3+0.95×0.675+0.45×0.675=7.1538	7.1538×1/12	0.59615	m²
壁囲壁	2.68×2=5.36	5.36×1/12	0.4466	m²
計			6.34975	m²

単位住戸部屋別面積表

部屋別	計算式	合計	
玄関	0.99×1.5	1.485	m²
	0.45×1.44+0.99×1.89+0.9×0.99	3.4101	m²
台所	2.88×4.86+0.99×1.08	15.066	m²
	1.44×(1.05+1.26)	3.3264	m²
和室6帖 A	2.79×3.78	10.5462	m²
	2.88×3.69	10.6272	m²
押入	0.99×3.78	3.7422	m²
	1.89×0.9	1.701	m²
和室6帖 B	(0.95+1.84)×3.78	10.5462	m²
押入	0.99×0.92	0.9108	m²
和室4.5帖	2.88×2.7	7.776	m²
押入	0.99×1.78	1.7622	m²
脱衣室	(0.99+1.99)×1.44	4.2912	m²
	1.44×1.44	2.0736	m²
浴室	1.94×1.4	2.716	m²
	1.44×1.89	2.7216	m²
便所	1.04×1.4	1.456	m²
	0.99×1.44	1.4256	m²
物入	0.99×0.52	0.5148	m²
	0.99×0.99	0.9801	m²
バルコニー物入	0.95×1.05	0.9975	m²
小計		61.8101	m²
		26.2656	m²
バルコニー	(1.84+0.99+2.88)×1.05×1/3	1.9985	m²
	2.88×1.05×1/3	1.008	m²
合計		63.8086	m²
		27.2736	m²

註）上段の数字は世帯着用．下段の数字は単身着用を示す。

課長	係長 補佐		主任 係		
新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事					
面積表 図		図番	43 枚 No. 5		
縮尺		昭和55年 8月15日			
審査		設計			
開設者	新潟県知事	登録番号	一級建築士 三富		
管理建築士	新潟県建築設計協同組合				
	電話65—4746—7	登録事務所	一級建築士山本武夫		

外部仕上表

屋根	アスファルト防水保護塗装(露出工法ーD-1工法)　均しモルタル厚15下地	風除室 外壁	モルタル塗り刷毛引き仕上げ　合成樹脂エマルション砂壁状吹き付け	屋上マンホール蓋	φ746　t=10　SOP.塗り　鍵付き(公団型)
笠木	ステンレス板の4加工(SUS 304)仕上げ No.2B	〃 地覆	モルタル塗り刷毛引き仕上げ　H=1180	ルーフドレイン	屋上 φ100(屋上用)、バルコニー φ100(バルコニー用)、風除室 φ50(屋上用)
	普通型枠打放し、合成樹脂エマルション砂壁状吹き付け	〃 笠木	防水モルタル塗り金ゴテ仕上げ	縦樋	硬質塩化ビニル管 φ100、φ50、支持金物、プラスチック既成品
	モルタル塗り刷毛引き仕上げ　合成樹脂エマルション砂壁状吹き付け	〃 屋根	防水モルタル塗り金ゴテ仕上げ	床下換気口	丸型換気パイプ φ150、プラスチック製固定ガラリ付き
	モルタル塗り刷毛引き仕上げ　H=1,260　(バルコニー側 H=1,260)			バルコニー手摺	BL-K製品アルミ手摺　(足かかりより H=1,100以上)
	アルミサッシシルバー　見込70　網戸付(金属製建具表示部分のみ)	和室風呂 外壁	モルタル塗り刷毛引き仕上げ　合成樹脂エマルション砂壁状吹き付け	和室手摺	BL-K製品浴室用アルミ手摺
		〃 屋根	防水モルタル塗り金ゴテ仕上げ	テレビアンテナ支持台	鋼製亜鉛メッキ　(既成品)　5ヒーロ3型
バルコニー笠木	防水モルタル塗り(手摺下)、防水モルタル塗り金ごて仕上げ(コンクリート手摺廻り)			雨樂水槽受け台	コンクリート打設、防水モルタル塗り金ごて仕上げ　W=250、L=2500、H=500
〃 内壁	モルタル塗り刷毛引き仕上げ　合成樹脂エマルション砂壁状吹き付け	PS.立ちあがり外壁	モルタル塗り刷毛引き仕上げ　合成樹脂エマルション砂壁状吹き付け	花壇	コンクリート打設、レンガタイル貼り、笠木 レンガ貼り
〃 床	防水モルタル塗り(立ちあがり CL+150)目地切り仕上げ	〃 屋根	防水モルタル塗り金ゴテ仕上げ		

内部仕上表

	室名	床	巾木	腰	壁	天井	天井高		備考
	玄関	モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ	プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り(455×910)	2,460		懐手摺(ダイカスト製)玄関用2ヶ所、世帯当用4ヶ所 床下換気パイプ(塩ビ製)φ20、L=190
	和室6帖(A)	畳敷き	畳寄せ	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9(天井用)目違い貼り(455×2730)	2,300		室内換気パイプ φ100、丸型レジスター φ100 スクリーンエルボ付
	和室8帖(B)	畳敷き	畳寄せ	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9(天井用)目違い貼り(455×2730)	2,300		室内換気パイプ φ100、丸型レジスター φ100 スクリーンエルボ付
	和室4.5帖	畳敷き	畳寄せ	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9(天井用)目違い貼り(455×2730)	2,300		室内換気パイプ φ100、丸型レジスター φ100 スクリーンエルボ付
	押入	ラワン合板(1類)厚5.5 貼り	雑巾摺り	ラワン合板(2類)厚2.5 突き付け貼り	ラワン合板(2類)厚2.5 突き付け貼り	ラワン合板(2類)厚2.5 突き付け貼り	2,300		プラスチック製換気ガラリ 110×215
	台所	合板フロアー厚12 貼り	ラワン H=60　O.S.C.L.塗り	パルプセメント板 厚6 V.E.塗り プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	パルプセメント板 厚6 V.E.塗り プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	2,330		棚、流し台 BL-K SG-1800型
	脱衣	合板フロアー厚12 貼り	ラワン H=60　O.S.C.L.塗り	プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	2,100		脱衣棚組、ステンレスC型 カーテンレール(シングル)
	便所	合板フロアー厚12 貼り	ラワン H=60　O.S.C.L.塗り	プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	プリント合板厚2.7t 突き付け貼り	化粧石膏ボード厚9 突き付け貼り	2,200		
	浴室	磁器質複モザイクタイル25×25貼り(施釉)		半磁器質タイル76×76貼り(施釉)	半磁器質タイル76×76貼り(施釉)	石綿セメント板厚9目違い貼り A-EmP塗り	2,255		換気パイプ φ100、内部レジスター、外部ガラリ付き 木部 V.E.塗り、浴槽、巻
	玄関風除室	モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ A-EmP塗り	モルタル塗り金ごて仕上げ A-EmP塗り	合板型枠打ち放し、色セメント吹き付け	2,450		集合郵便受け箱 設計荷重標識表示板、階段室連絡板
	階段室	モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ A-EmP塗り	モルタル塗り金ごて仕上げ A-EmP塗り 手摺壁:モルタル塗り金ごて仕上げ A-EmP塗り	一般階:合板型枠打ち放し 色セメント吹き付け 最上階:木毛セメント板厚20打ち込み 色セメント吹き付け			笠木モルタル塗り金ごて仕上げ A-EmP塗り 屋上マンホール 1ヶ所
	男便所	防水モルタル塗り金ごて仕上げ	防水モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ、色セメント吹き付け	モルタル塗り金ごて仕上げ、色セメント吹き付け	合板型枠打ち放し、色セメント吹き付け	1,700		単身便所換気ダクト 角パイプ 11-100×100×2.3 SOP.
	廊下	モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ	モルタル塗り金ごて仕上げ A-EmP塗り	モルタル塗り金ごて仕上げ、A-EmP塗り	合板型枠打ち放し、色セメント吹き付け	2,650		

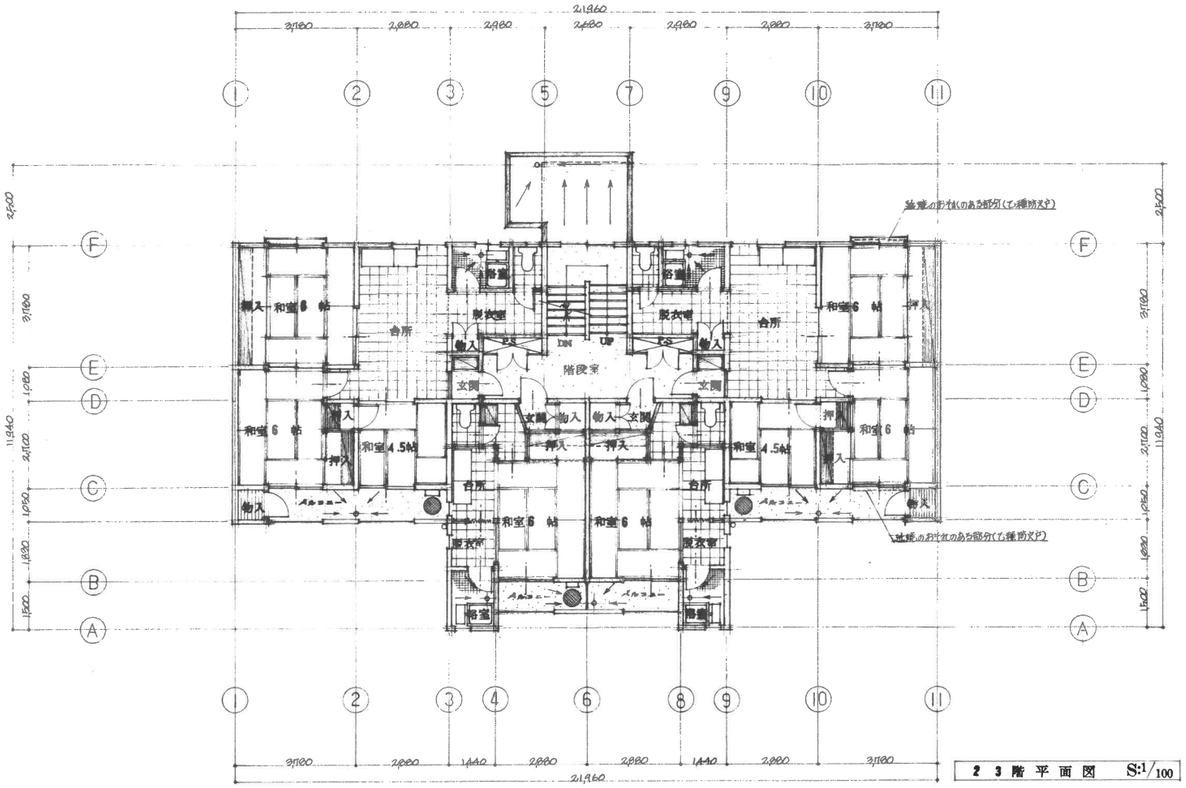
V.E.	ビニール系エナメル(塩ビ系)2回塗り	早	材 種
O.S.C.L.	オイルステイン、クリヤラッカー塗り	比	アレート
	オイルステイン1回、クリヤラッカー2回塗り	〃	直 任
A-EmP	アクリル系エマルションペイント2回塗り	⑩	南 陽
	モルタル面はシーラー下地上2回塗り		
S.O.P.	合成樹脂調合ペイント(木部2回、鉄部仕上3回、錆止め2回塗り、亜鉛メッキ処理面は2回、錆止め2回塗り		

(註記) 台所、便所、玄関ホール、見え掛り木部は O.S.C.L.塗りとする。
浴室、押、廻り縁は杉材とし、V.E.塗りとする。

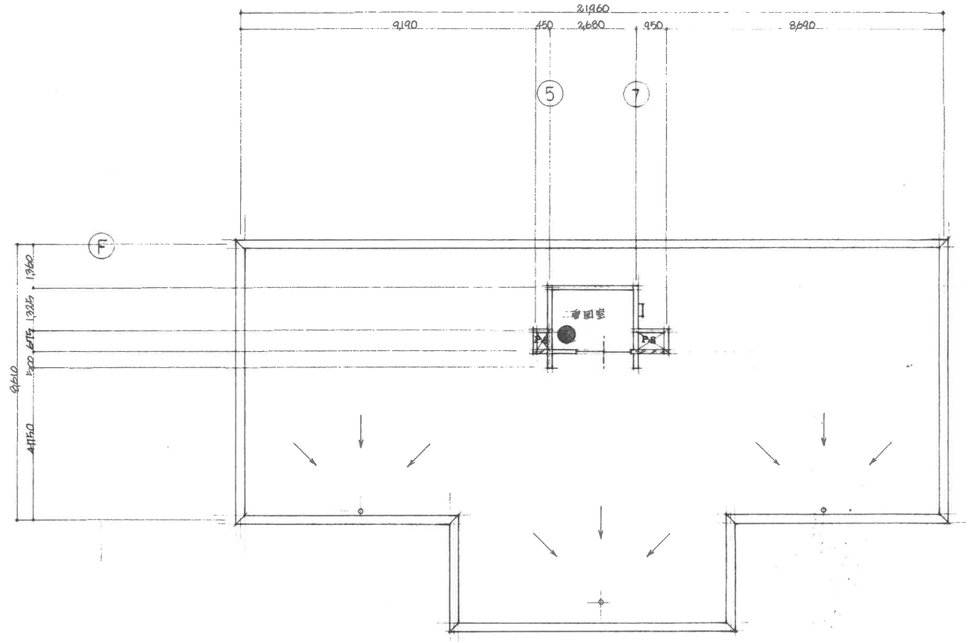
課長	課長補佐		主任	係			

新潟県教職員住宅第11号宿舎建築 工事

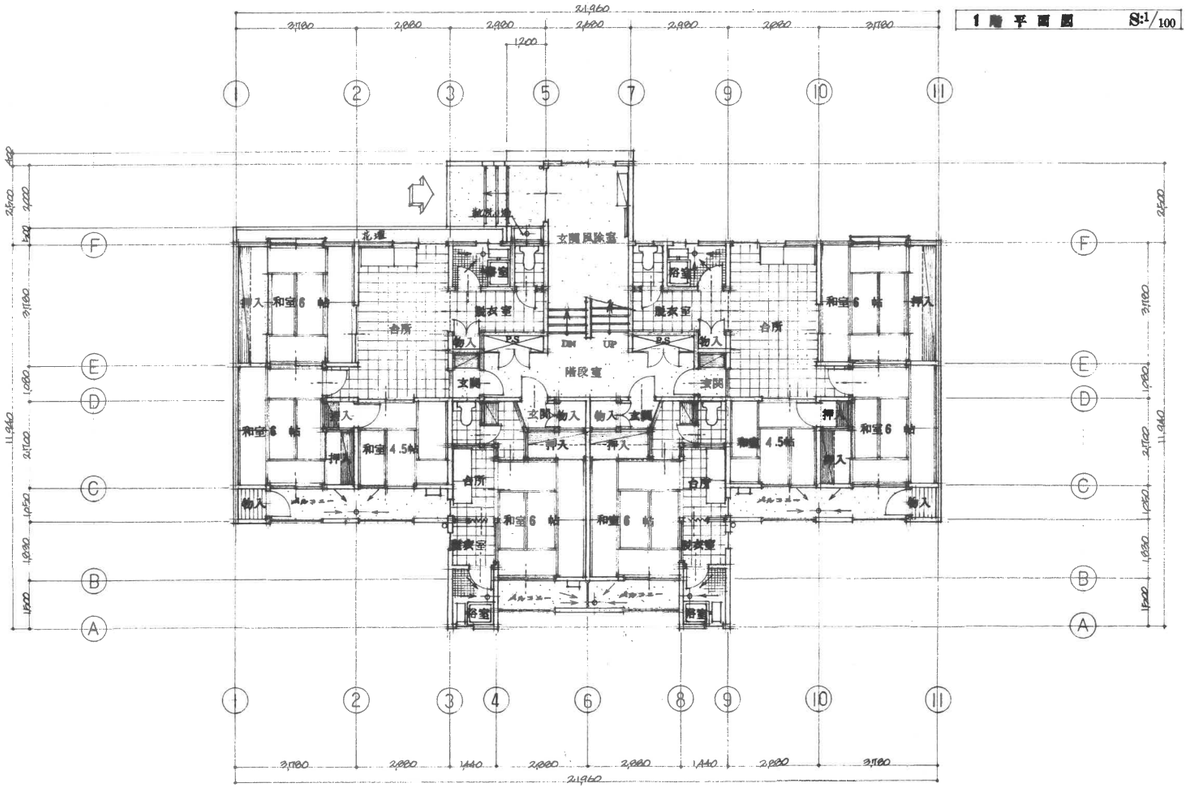
仕上表	図	図番	43枚 No. 6
縮尺		昭和55年8月15日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号		
管理建築士	新潟県建築設計協同組合 電話65−4746〜7	登録第9200号 一級建築士 山本史夫	



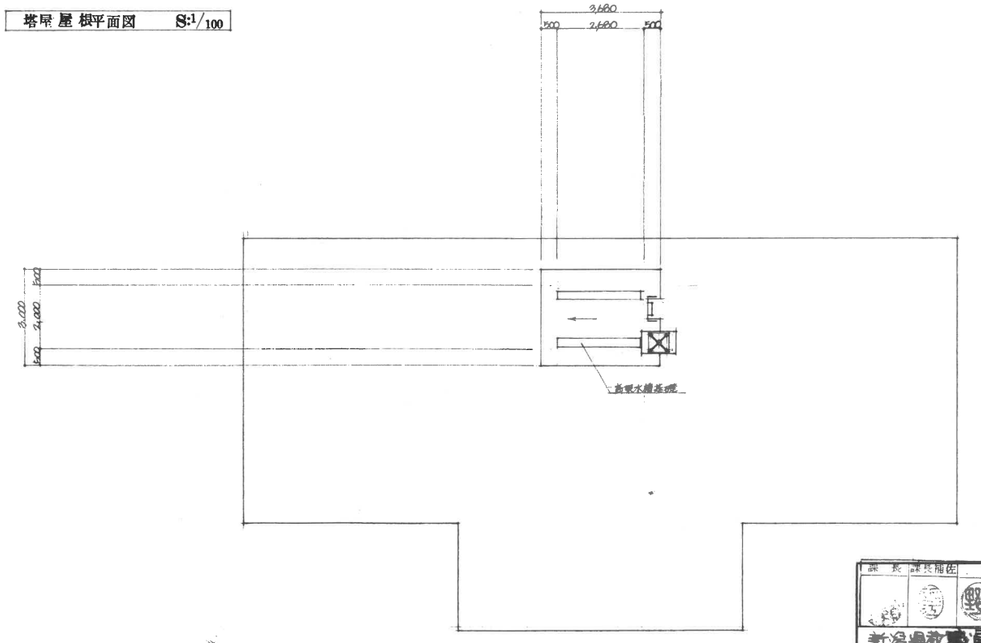
2 3 階 平 面 図 S:1/100



塔屋平面図 S:1/100



1 階 平 面 図 S:1/100



塔屋屋根平面図 S:1/100

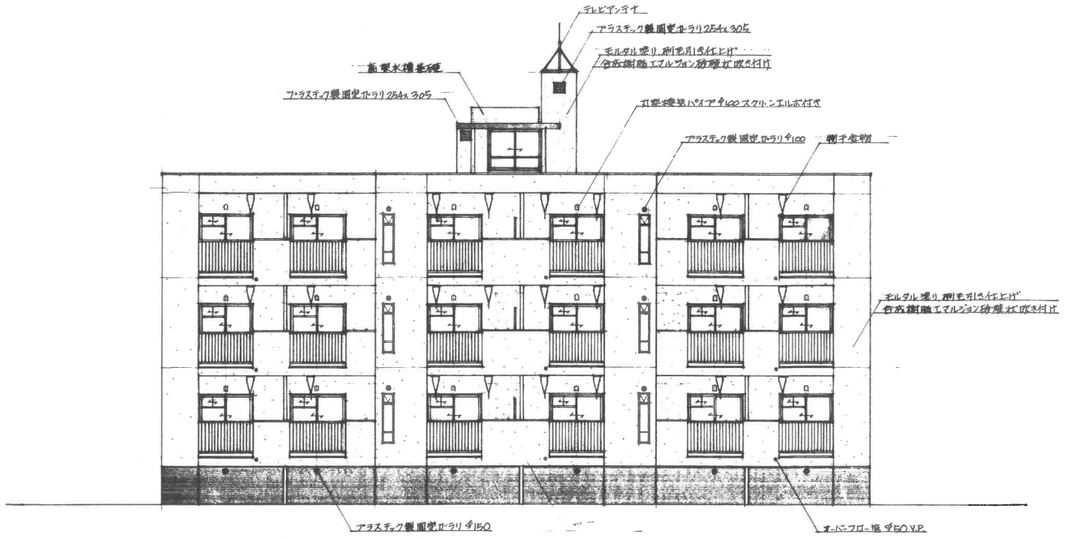
尺 例

	鉄筋コンクリート造壁
	コンクリートブロック造壁
	木造壁

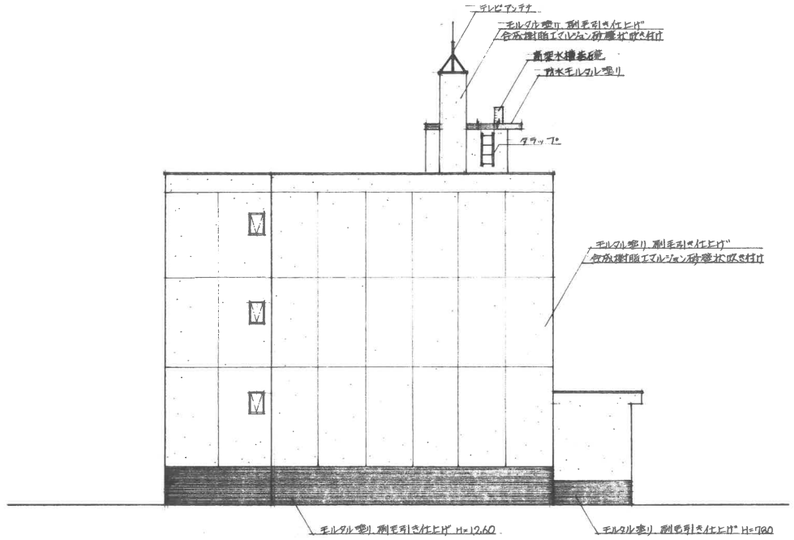
課長	課長補佐		主任	係		

新潟県教職員住宅第27号宿舎建築 工事

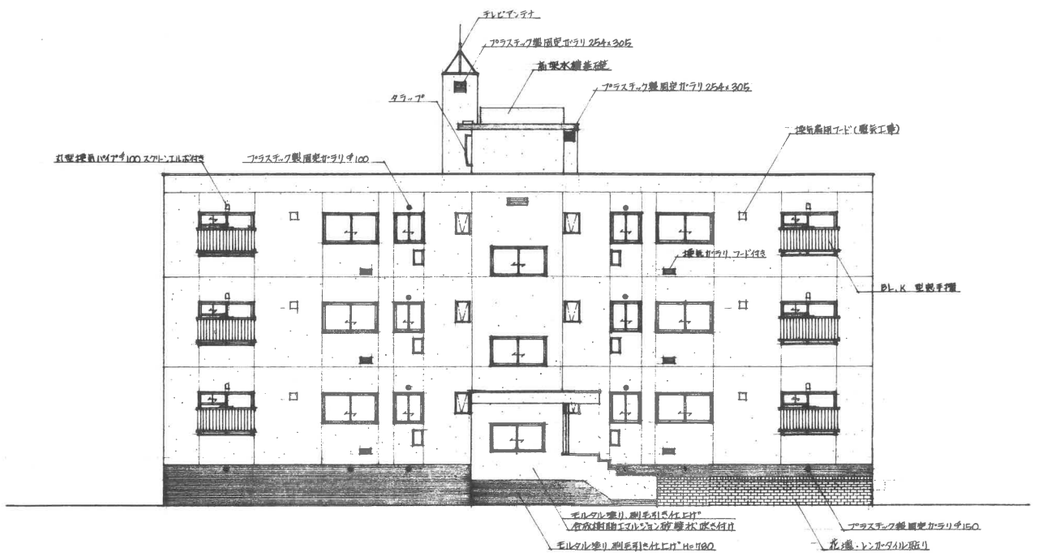
各階平面図		図番	43 枚 No. 7
縮尺	S:1/100		昭和55年 8月15日
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号（ハ）第640号	建築士 三富	
	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65—4746～7 登録第9200号 一級建築士山本		



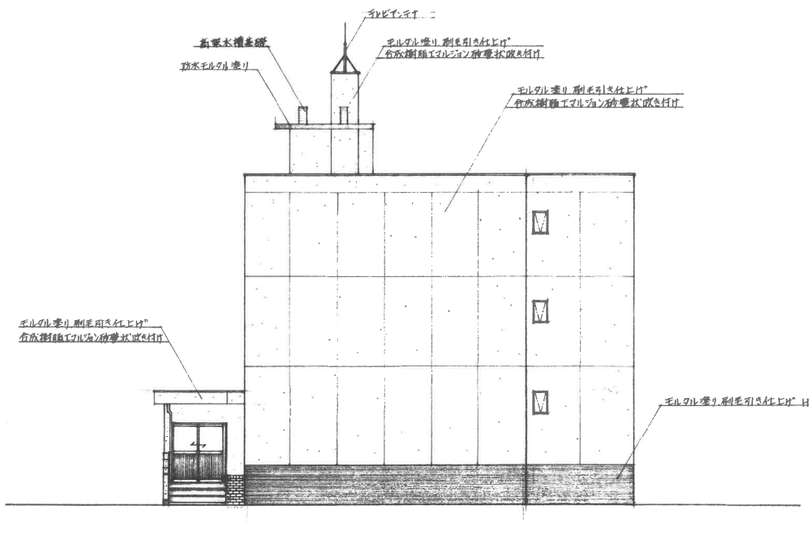
西側立面図 S:1/100



南側立面図 S:1/100



東側立面図 S:1/100



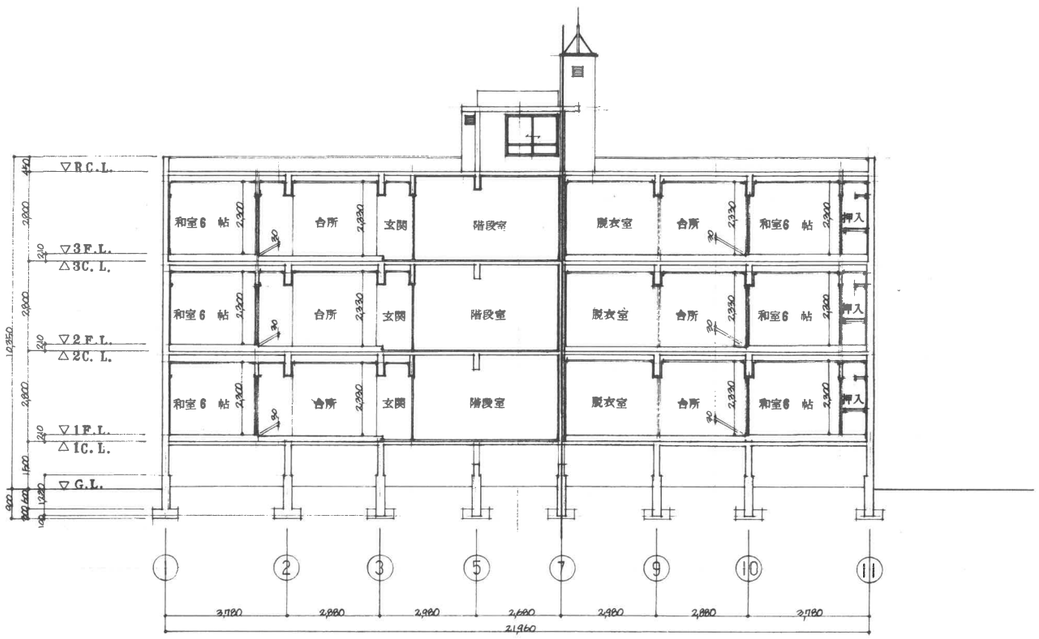
北側立面図 S:1/100

課長	課長補佐	主任	係

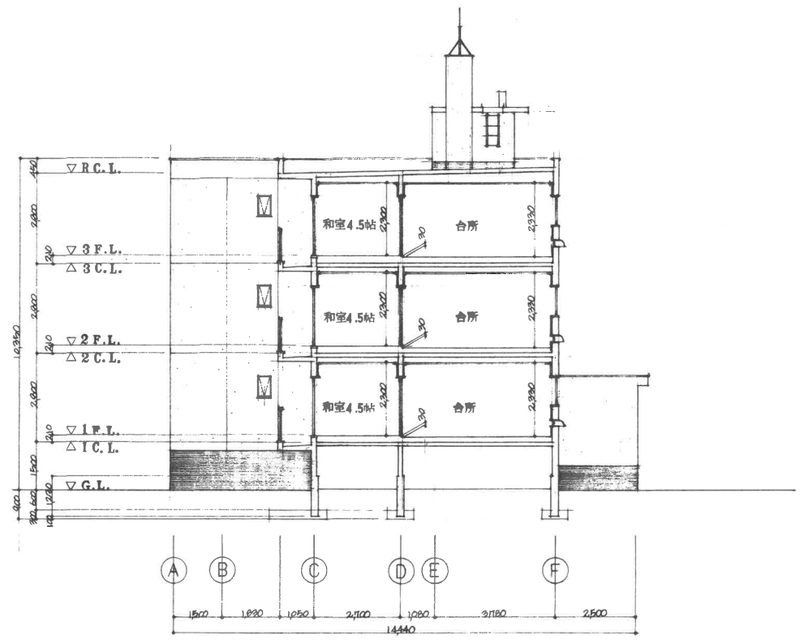
新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

立面図

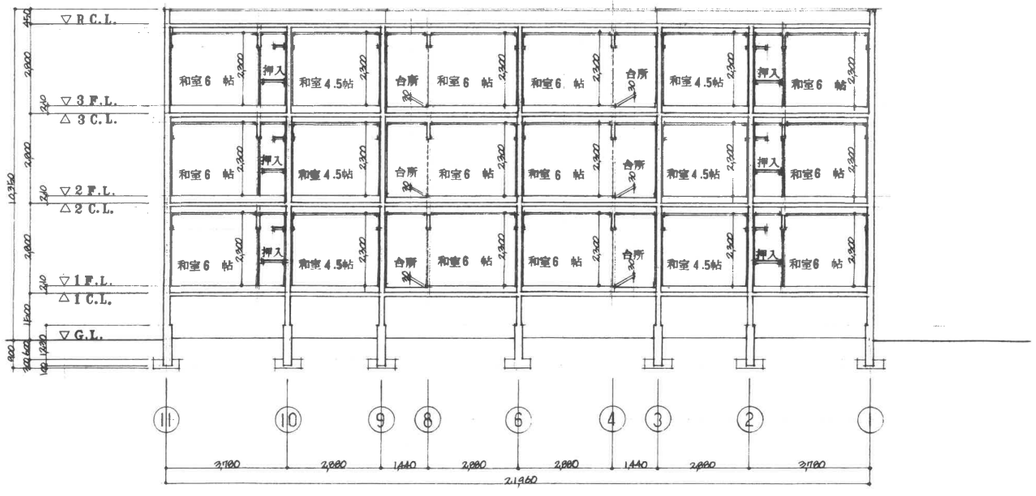
図番	43 枚 No. 8
縮尺	S:1/100
	昭和55年 8月15日
審査	設計
開設者	新潟県知事 登録番号(ハ-第640号)理事長 一級建築士 三輪 雄 新潟県建築設計協同組合
管理建築士	電話65—4746～7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫



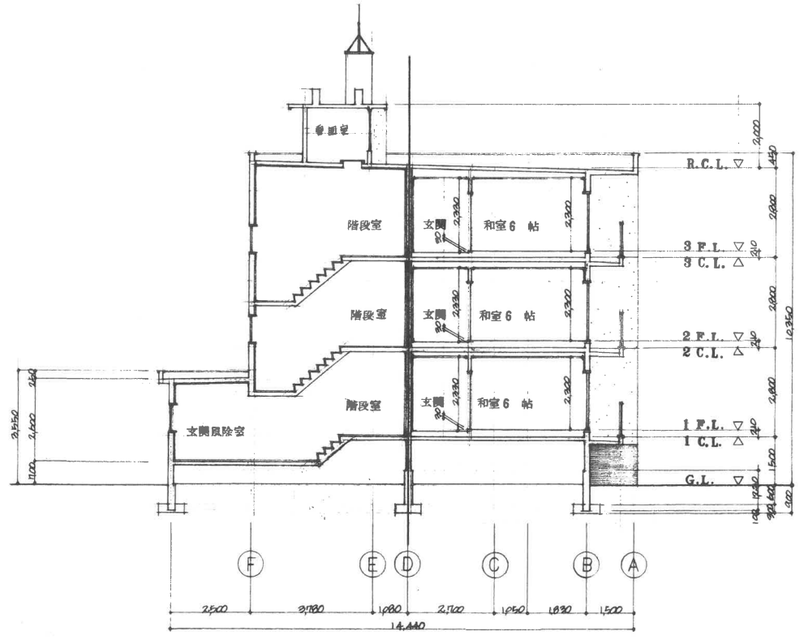
A～A'断面図 S:1/100



C～C'断面図 S:1/100



B～B'断面図 S:1/100

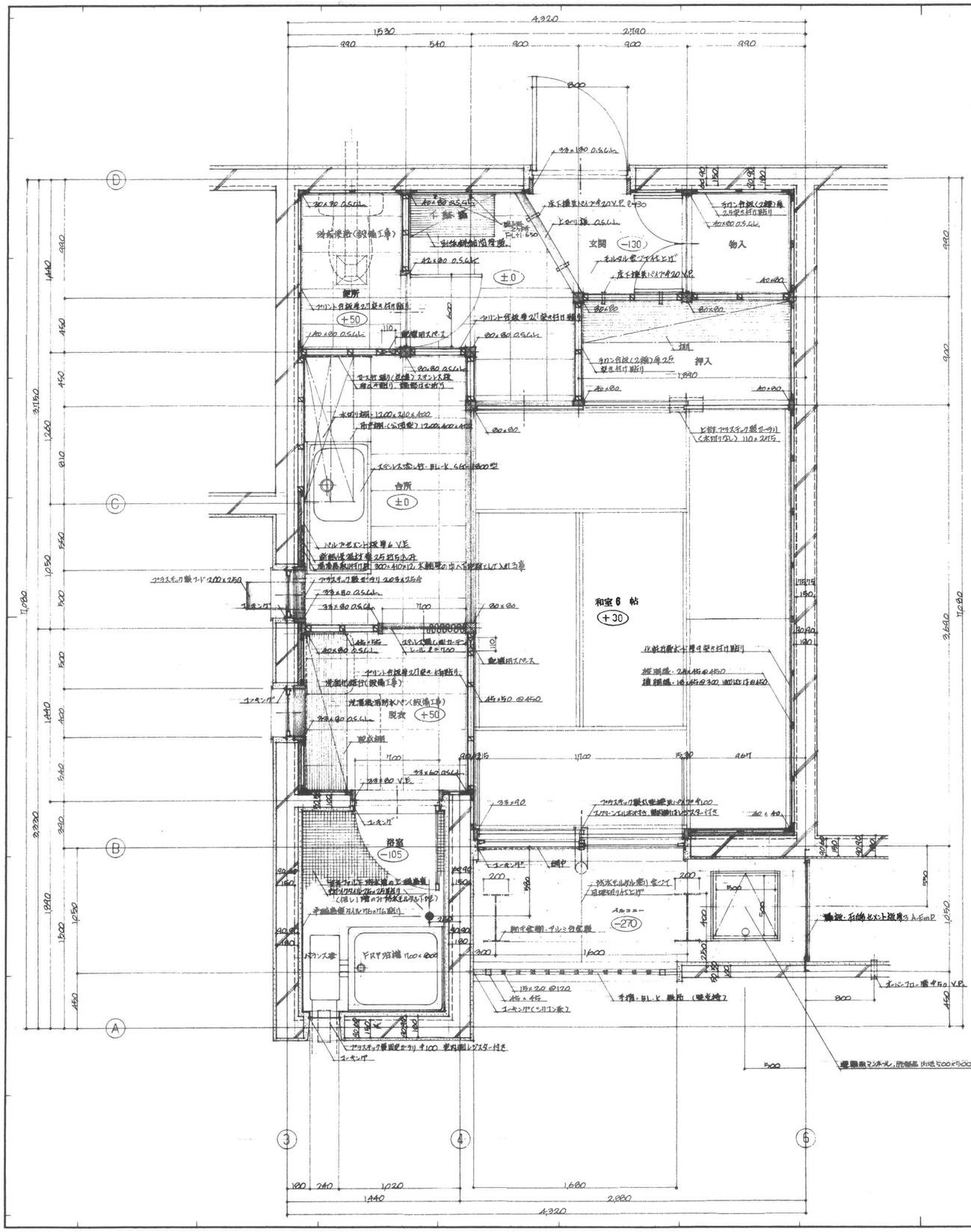


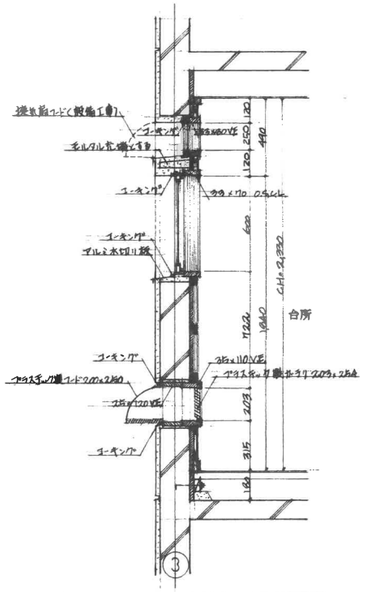
D～D'断面図 S:1/100

課長	係長	補佐	主任	係	

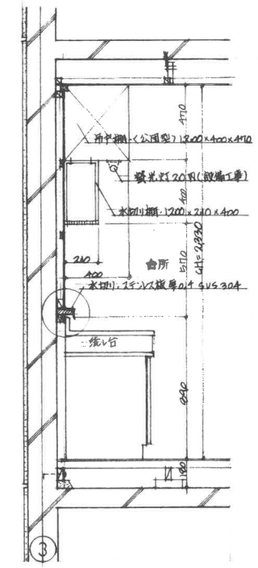
新潟県教職員住宅37号寄宿舎建築 工事

断面図		図番	43枚 No. 9
縮尺	S:1/100		昭和55年8月15日
審査		設計	
開設者	新潟県知事	登録番号	1(ハ)第640号 1級事務 一級建築士 三富 建
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話65—4746—7	登録第9206号	一級建築士 山本武平

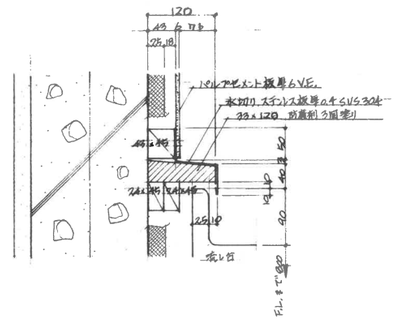




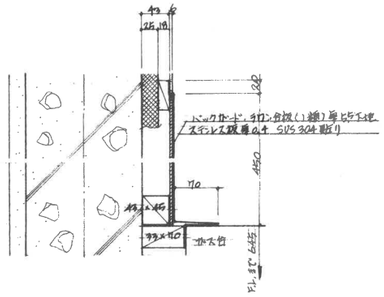
台所・給気口廻詳細図　S:1/20



流し台揚付け詳細図　S:1/20



流し台水切り詳細図　S:1/5



ガス台バックガード詳細図　S:1/5

課長	課長補佐		主任	係	

新潟県教職員住宅第37号者住建築　工事

単身者用平面詳細図		図番	43 枚 No. 10
縮尺	S:1/20		昭和 55年 8月 15日
審査		設計	
開設者	新潟県知事　登録番号（ハ）第641号　一級建築士　三喜建二		
	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65−4746〜7　登録第5290号　一級建築士　山本良太		

和室6帖 A

和室6帖 B

和室4.5帖

押入

物入

洗面脱衣室

浴室

便所

台所

玄関

下駄箱

廊下

バルコニー

曹間室

3,320

2,990

1,890

2,490

3,160

2,190

1,680

1,840

2,030

4,660

1,990

2,480

1,940

1,500

2,100

1,920

1,780

1,250

1,200

2,840

2,000

1,500

1,600

1,400

1,300

1,150

1,100

1,050

1,000

950

900

850

800

750

700

650

600

550

500

450

400

350

300

250

200

150

100

90

80

60

50

40

30

15

F

E

D

C

1

2

3

5

浴室 −105

和室6帖 A +30

台所 ±0

和室6帖 B +30

和室4.5帖 +30

洗面脱衣室 +50

便所 +100

曹間室 +100

バルコニー −270

玄関 −130

物入 +30

押入 +30

台所棚取り付け詳細図 S:1/20

脱衣室脱衣棚取り付け詳細図 S:1/20

浴室引き違い窓平面詳細図 S:1/20

バルコニー断面図 S:1/20

課長	係長補佐		主任	係

新潟県教職員住宅第7ブロック建築 工事

世帯者用平面詳細図

図番 43枚 No. 11

縮尺 S:1/20

昭和55年8月15日

審査 設計

開設者 新潟県知事 登録番号(ハ-1)第60号 1級建築士 三浦 清

新潟県建築設計協同組合

管理建築士 電話65−4746〜7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫

新潟県教職員住宅第3号宿舎建築　工事

縮尺	S=1/20	設計	図番	No. 12 / 43 枚
審査			昭和55年8月15日	
開設者	新潟県知事	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65−4746−7	登録第920U号 一級建築士山口武男		

単身者用矩計図

単身者用矩計図　S:1/20

和室 6 帖

和室 6 帖

台所

食堂

浴室

洗面

玄関

ポーチ

ベランダ

△R.C.L.

△2C.L.

△3C.L.

△G.L.

△1C.L.

△2F.L.

△3F.L.

△1F.L.

和室6 帖 A

和室6 帖 B

和室4.5帖

台所

▽RCL.水上

▽RCL.水下

▽3CL.

▽2CL.

▽1CL.

▽GL.

▽3F.L.

▽2F.L.

▽1F.L.

世帯者用 矩計図 S:1/20

新潟県建築設計協同組合	新潟県建築設計協同組合 37号宅占建築 工事
世帯者用矩計図	S:1/20
昭和55年8月15日	図番 No.13 43枚
新潟県建築設計協同組合	電話865-4746-7

新潟県教職員住宅第27号他官舎建築工事

世帯者用矩計図

縮尺 S=1/20

図番 No. 14

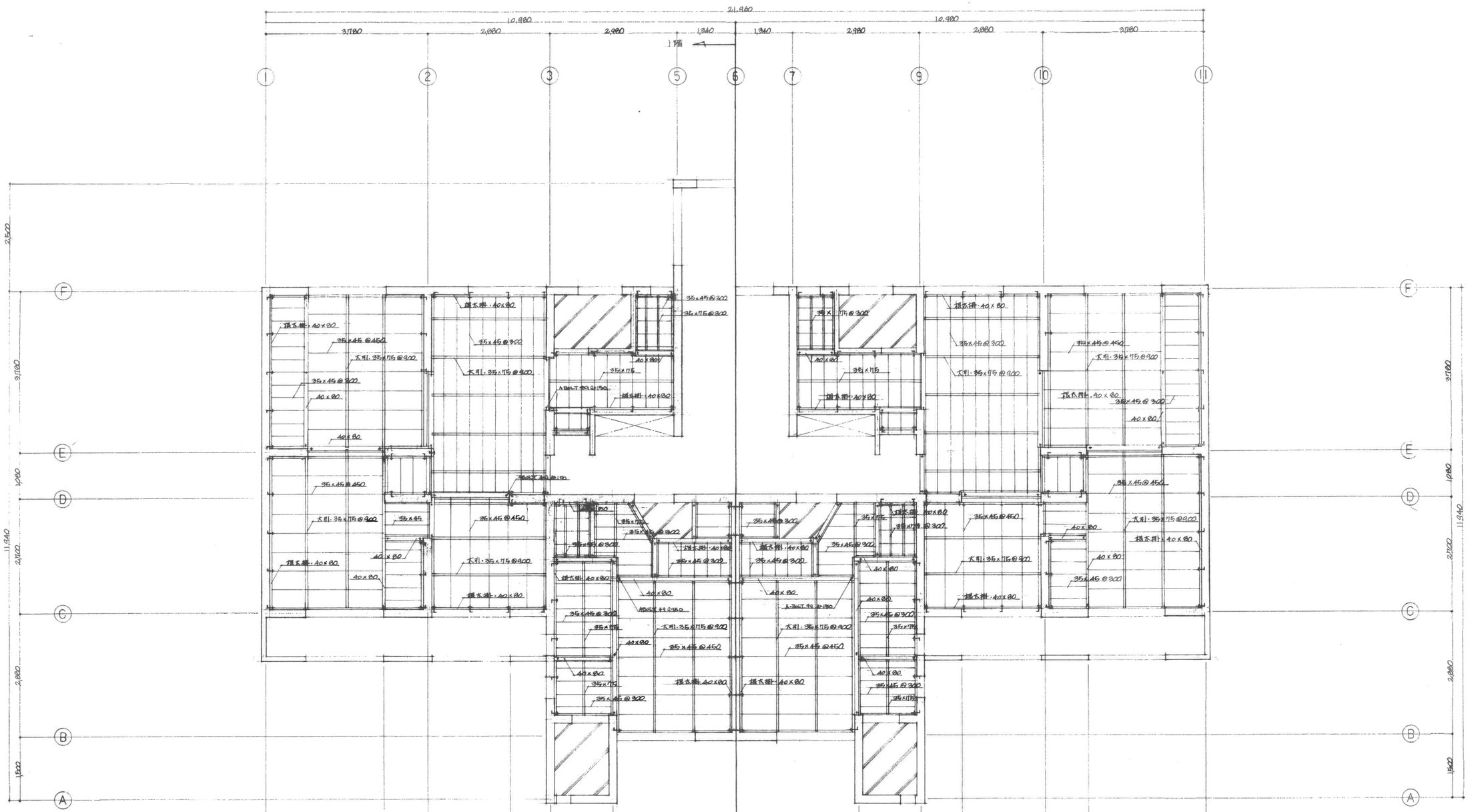
昭和55年8月15日

設計 新潟県建築設計協同組合

監理 建築士

世帯者用矩計図 S:1/20

P.S.ｶﾗ-詳細図 S:1/5



床伏図 S:1/50

部材リスト

土台	40×80
大引	35×115
根太掛	40×80
根太	35×45
便所根太	35×115
アンカーボルト	φ9 @=150

課長	課長補佐		主任	係	

新潟県教職員住宅第3179号各合建築 工事

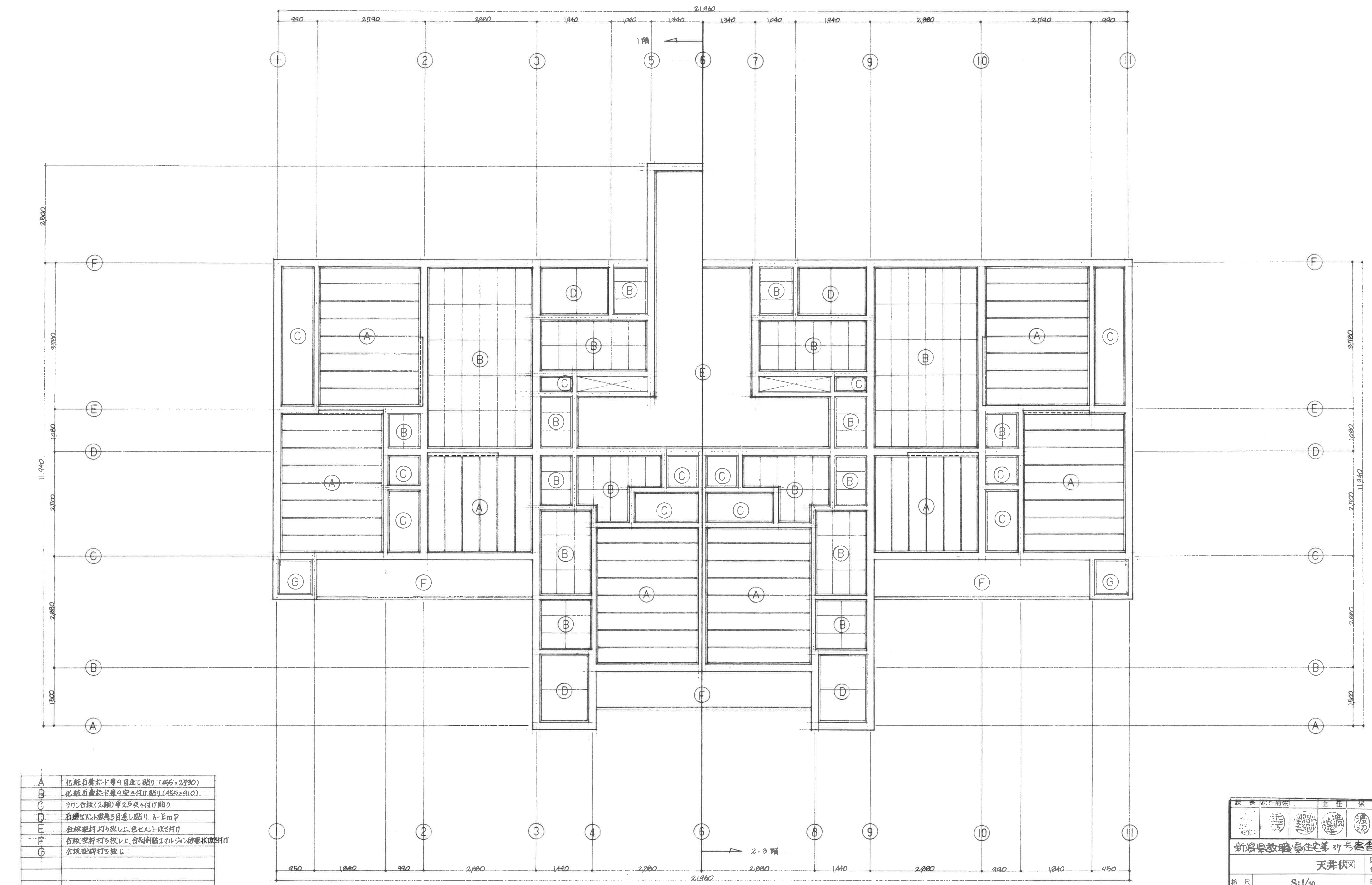
床伏図

図番 43枚 No. 15

縮尺 S:1/50

昭和55年8月15日

審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号(六)第640号 理事長 一級建築士 三倉 達	新潟県建築設計協同組合	
管理建築士	電話65—4746～7 登録第9209号 一級建築士 山古武夫		



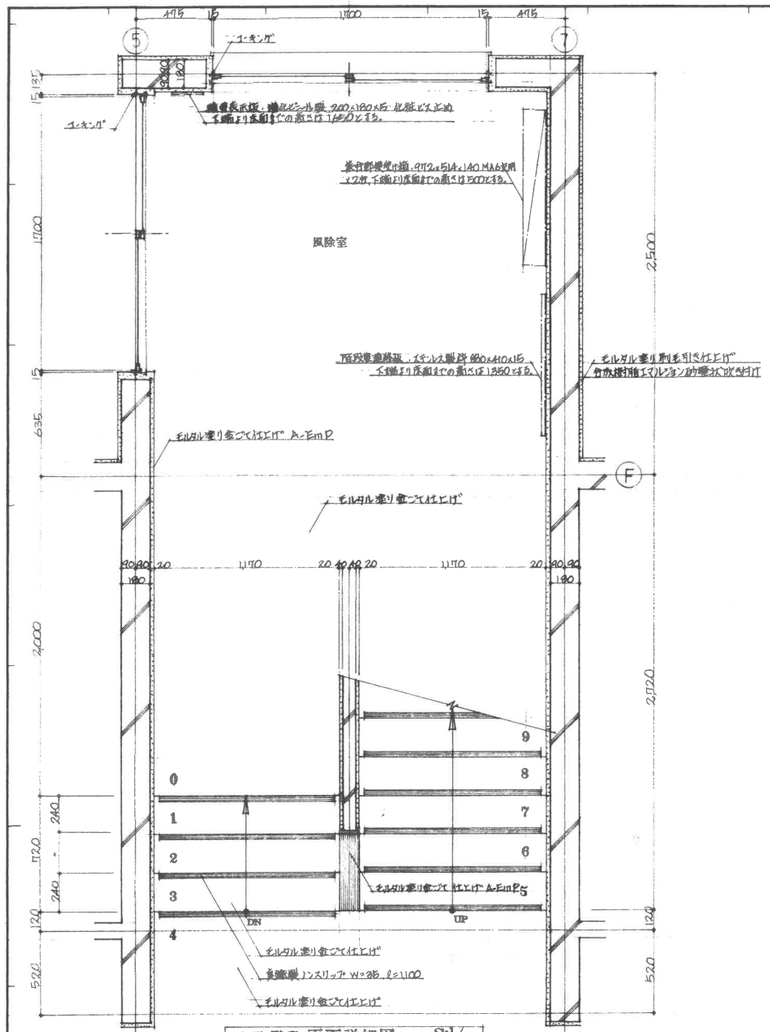
天井伏図　S:1/50

A	化粧石膏ボード厚9目透し貼り (455×2,730)
B	化粧石膏ボード厚9突き付け貼り (455×910)
C	ラワン合板(2類)厚2.5突き付け貼り
D	石綿セメント板厚3目透し貼り A-EmP
E	合板型枠打ち放し上、色セメント吹き付け
F	合板型枠打ち放し上、合成樹脂エマルジョン砂壁状吹き付け
G	合板型枠打ち放し

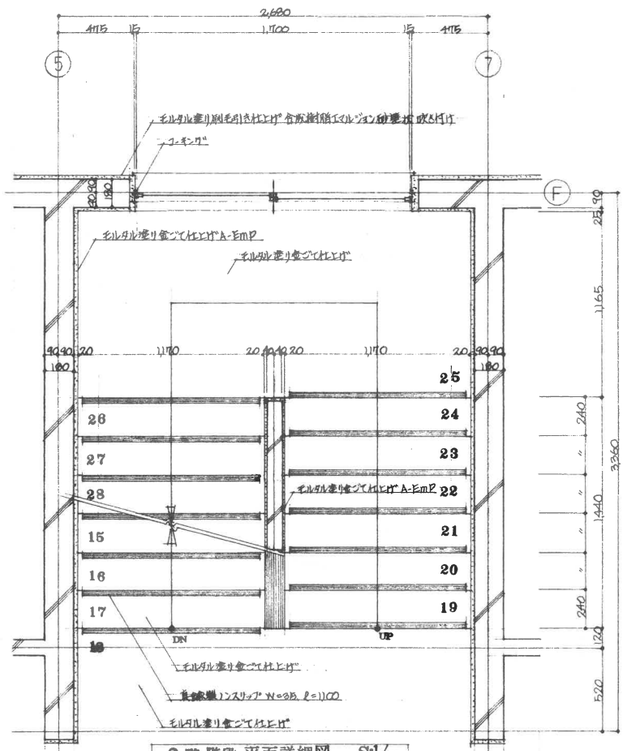
課長	課長補佐		主任	係		

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築　工事

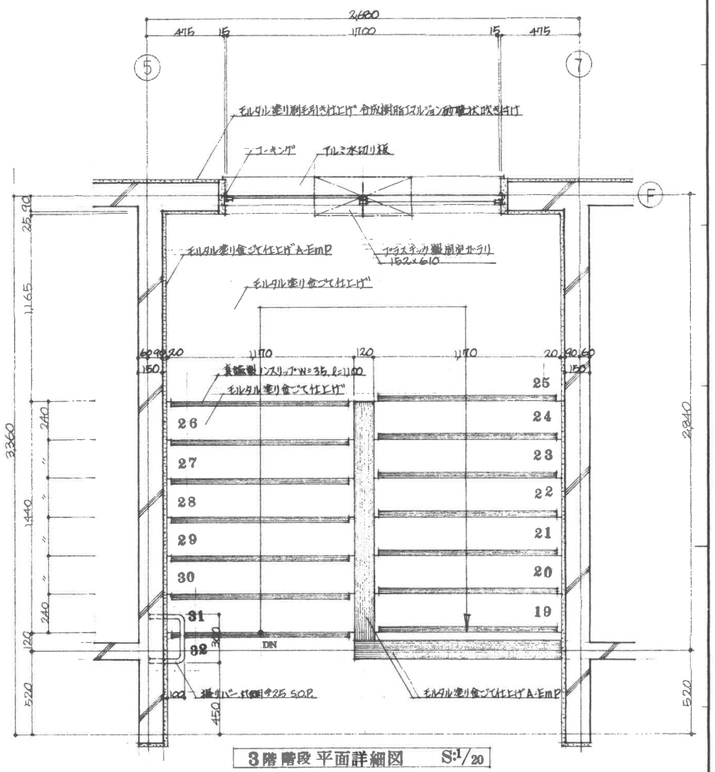
天井伏図	図番	43枚 No. 16
縮尺	S:1/50	昭和55年8月15日
審査		設計
開設者	新潟県知事　登録番号（ 第 号）理事長　一級建築士 新潟県建築設計協同組合	
管理建築士	電話65−4746〜7　登録第9200号　一級建築士山本武夫	



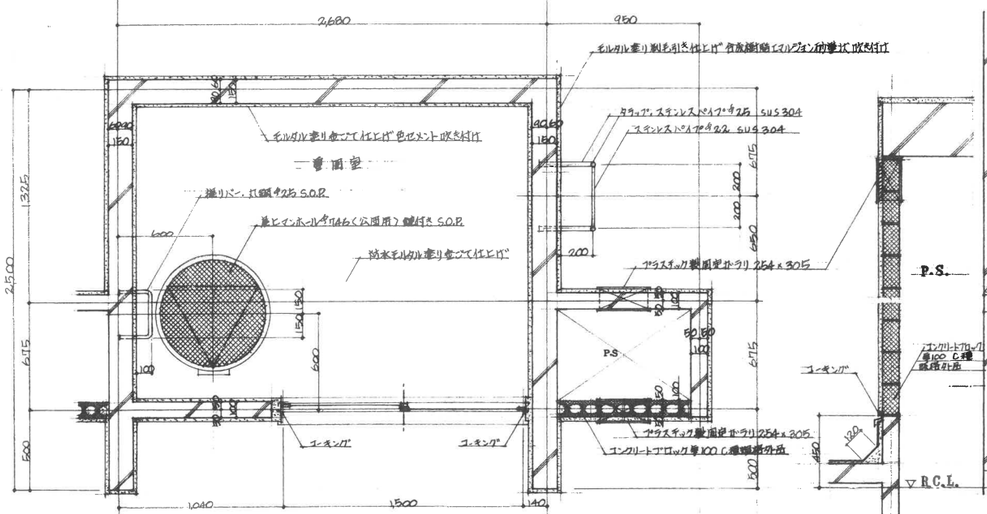
1階階段 平面詳細図 S:1/20



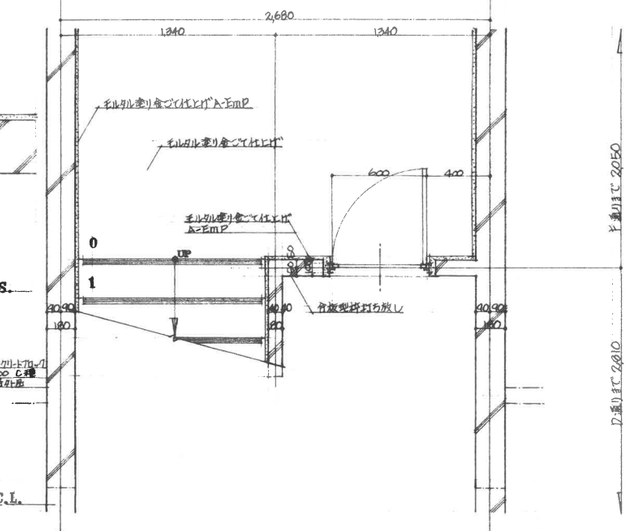
2階階段 平面詳細図 S:1/20



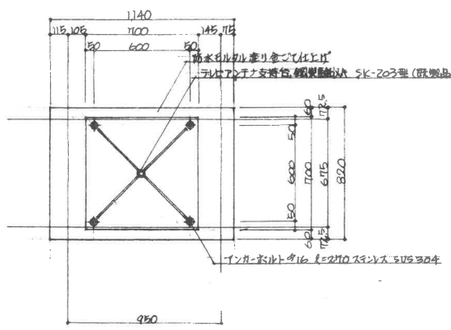
3階階段 平面詳細図 S:1/20



塔屋 平面詳細図 S:1/20



階段下 床下点検口詳細図 S:1/20



TVアンテナ部 平面詳細図 S:1/20

課長	課長補佐	主任	係

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

階段 平面詳細図 図番 43枚 No. 17

縮尺 S:1/20 昭和55年 8月15日

審査			設計		

開設者 新潟県知事 登録番号(ハ-第640号)理事長 [illegible] 一級建築士 三嘉 [illegible]

新潟県建築設計協同組合

管理建築士 電話65—4746—7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫

新潟県建築設計協同組合

階段 断面詳細図

S:1/20 ・ S:1/5

昭和55年8月15日

No. 18

43枚

新潟県知事 登録第5200号 一級建築士 ○○○

階段断面詳細図 S:1/20

P.S. 詳細図 S:1/20

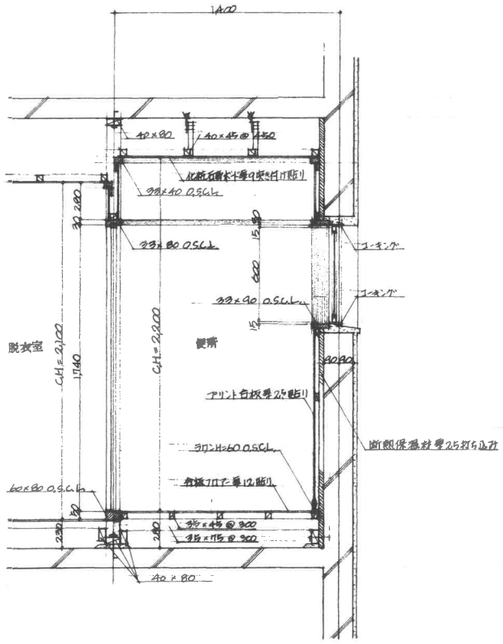
断面詳細図 S:1/20

屋根面

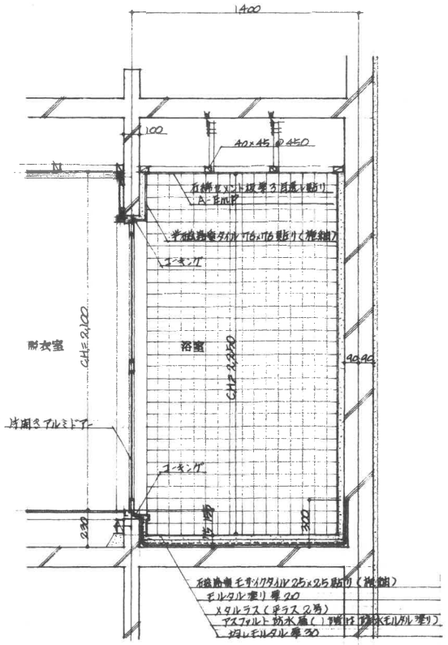
壁面

S:1/20

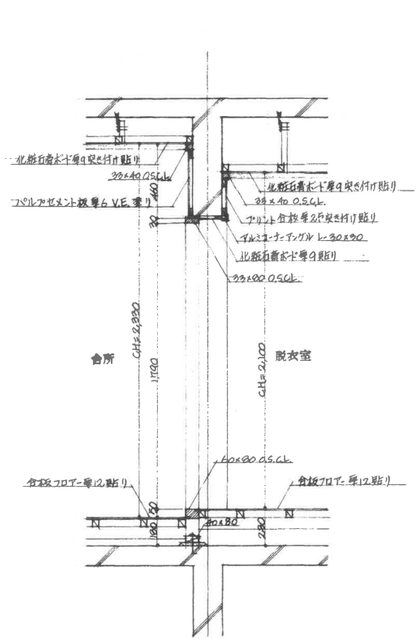
S:1/5



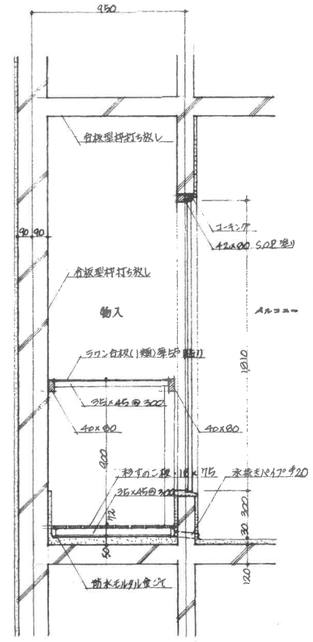
A～A'断面詳細図 S:1/20



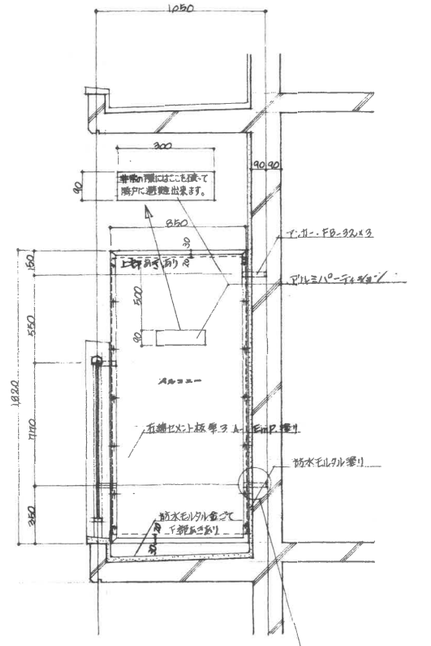
B～B'断面詳細図 S:1/20



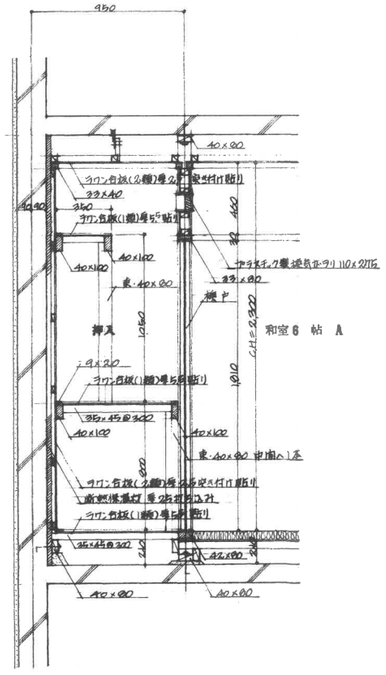
C～C'断面詳細図 S:1/20



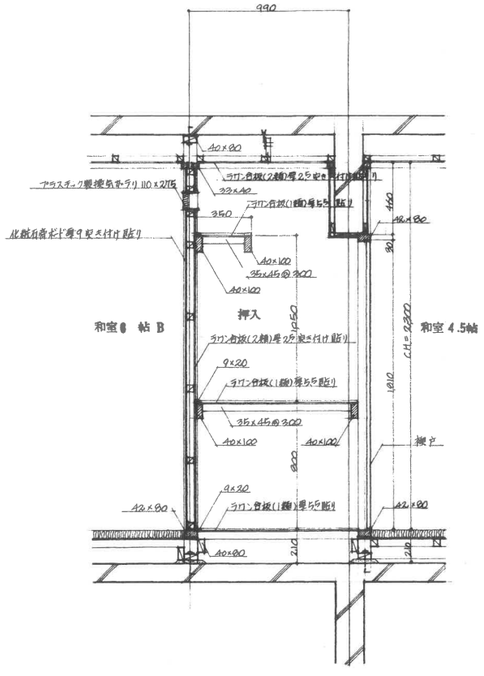
D～D'断面詳細図 S:1/20



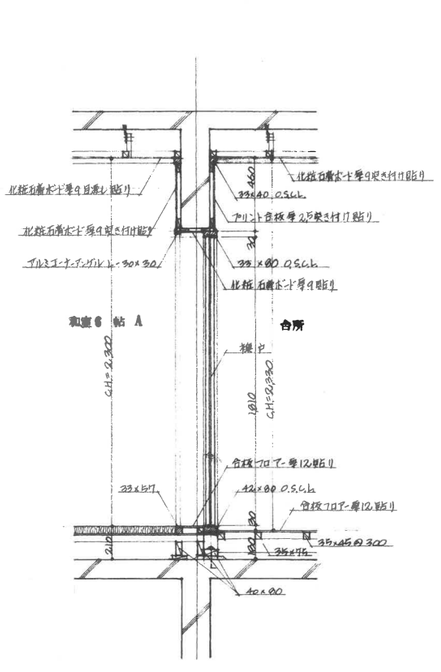
E～E'断面詳細図 S:1/20



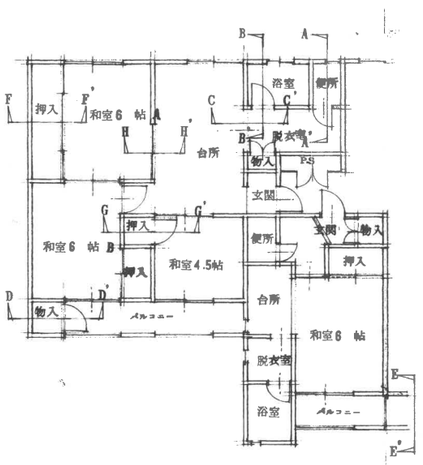
F～F'断面詳細図 S:1/20



G～G'断面詳細図 S:1/20



H～H'断面詳細図 S:1/20

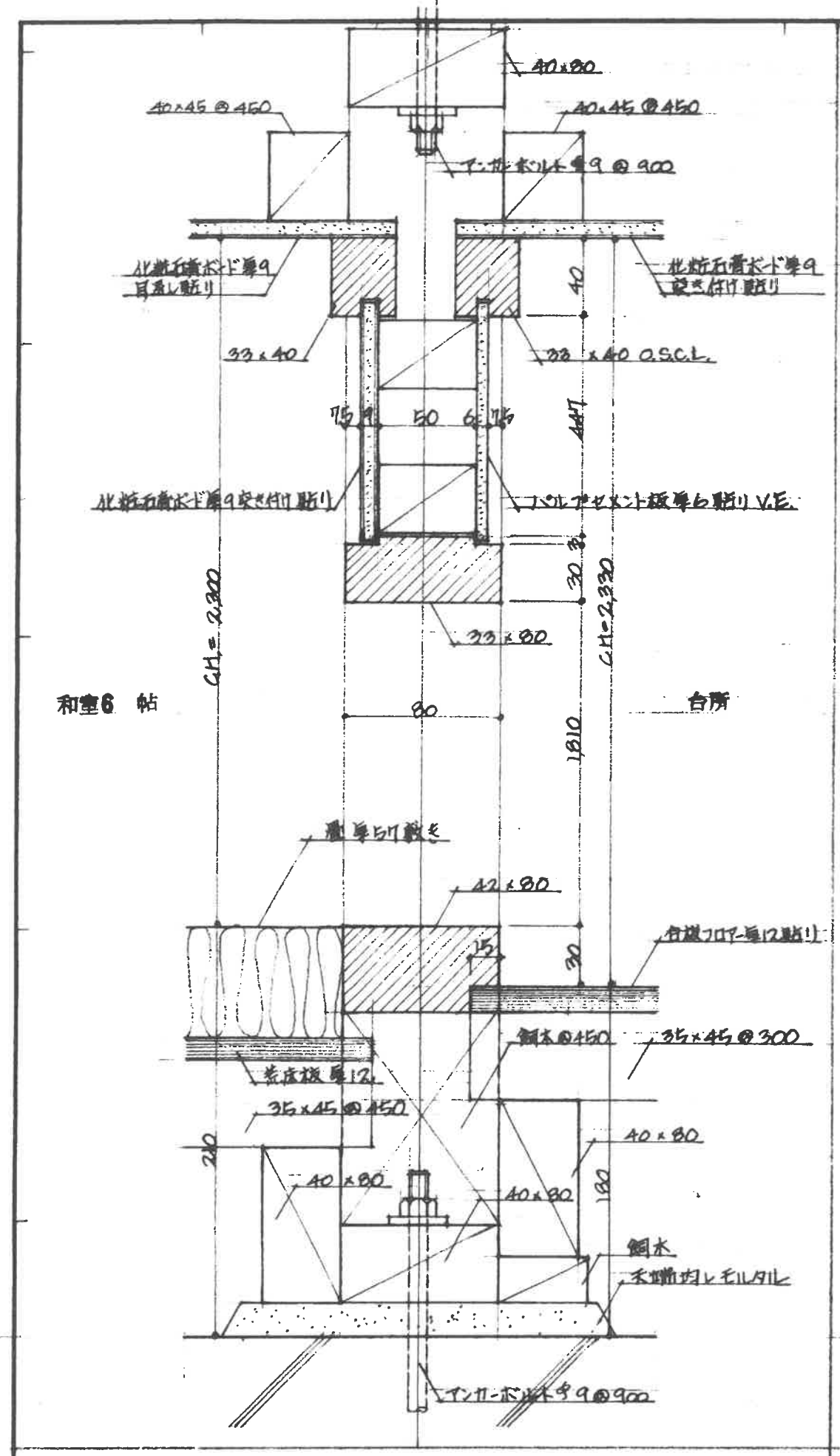


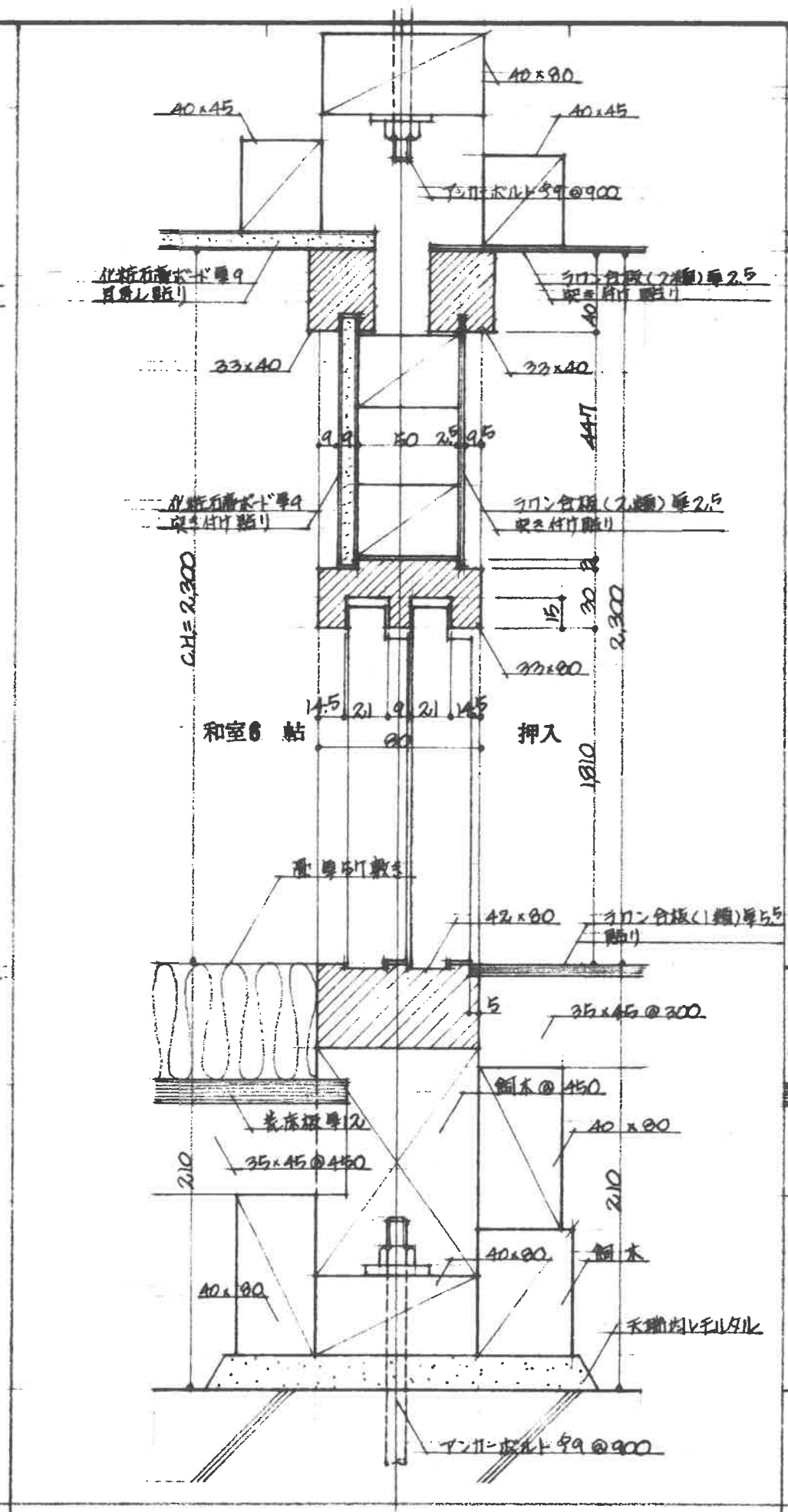
断面詳細図キープラン

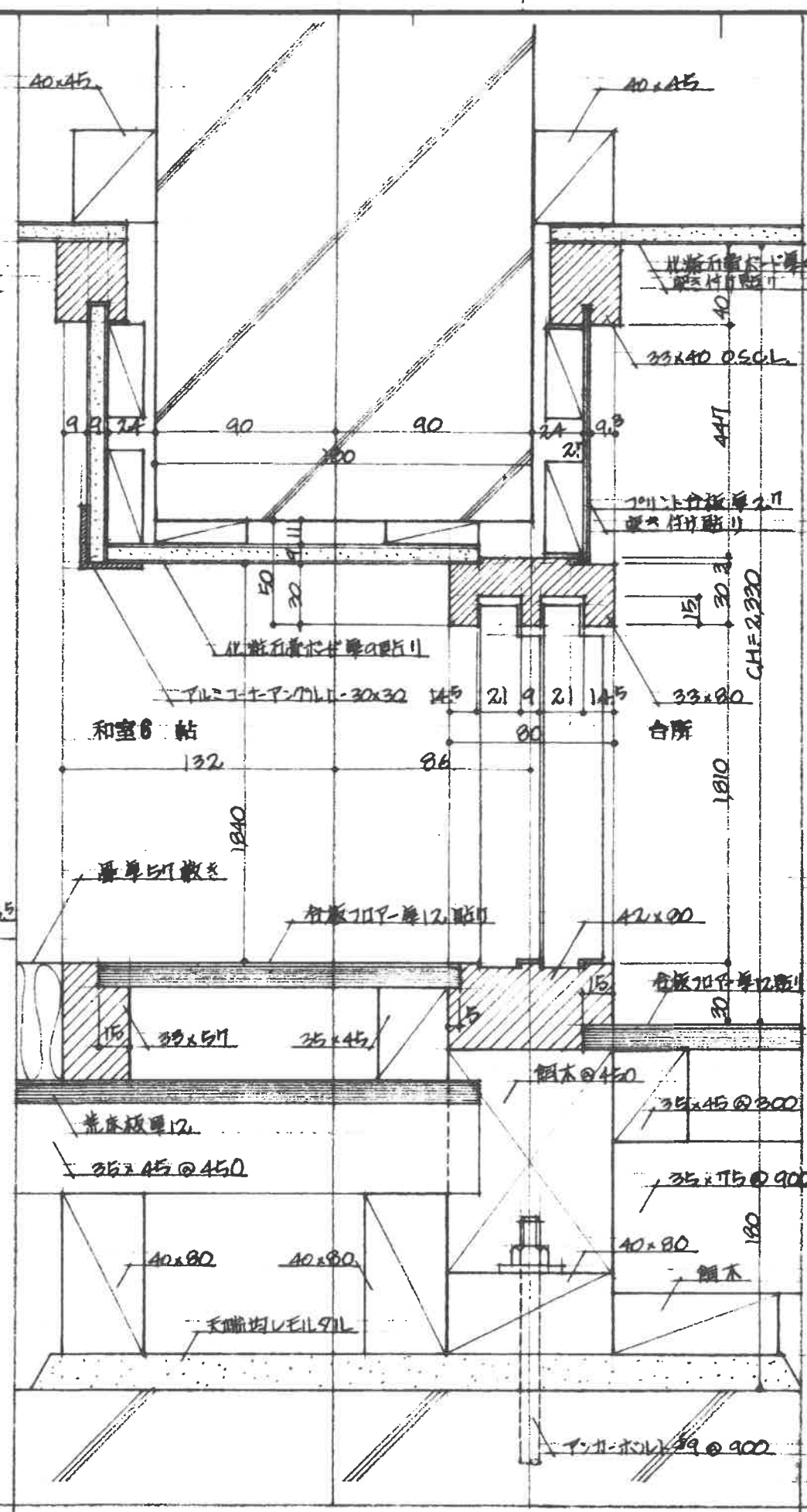
課長	課長補佐		主任	係		
	正子	鈴木	遠藤	渡辺		

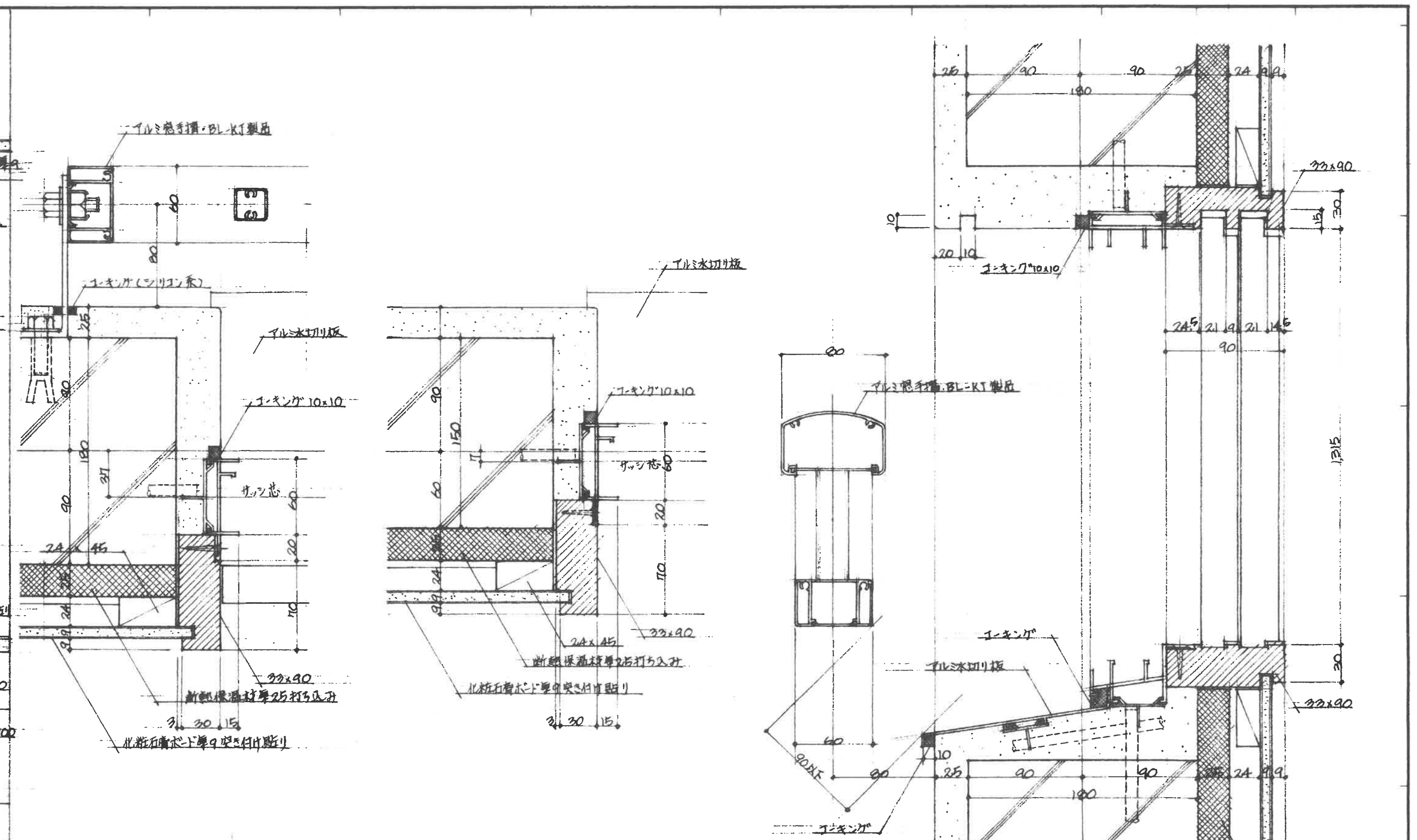
新潟県教職員住宅第29号宿舎建築工事

詳細図		図番	43 枚 No. 19
縮尺	S:1/20	昭和 55年 8月 15日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事	登録番号 (ハ)第1960号 専業	一級建築士 二星 清
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話65－4746－7	登録第6200号	一級建築士 吉山 本兵夫

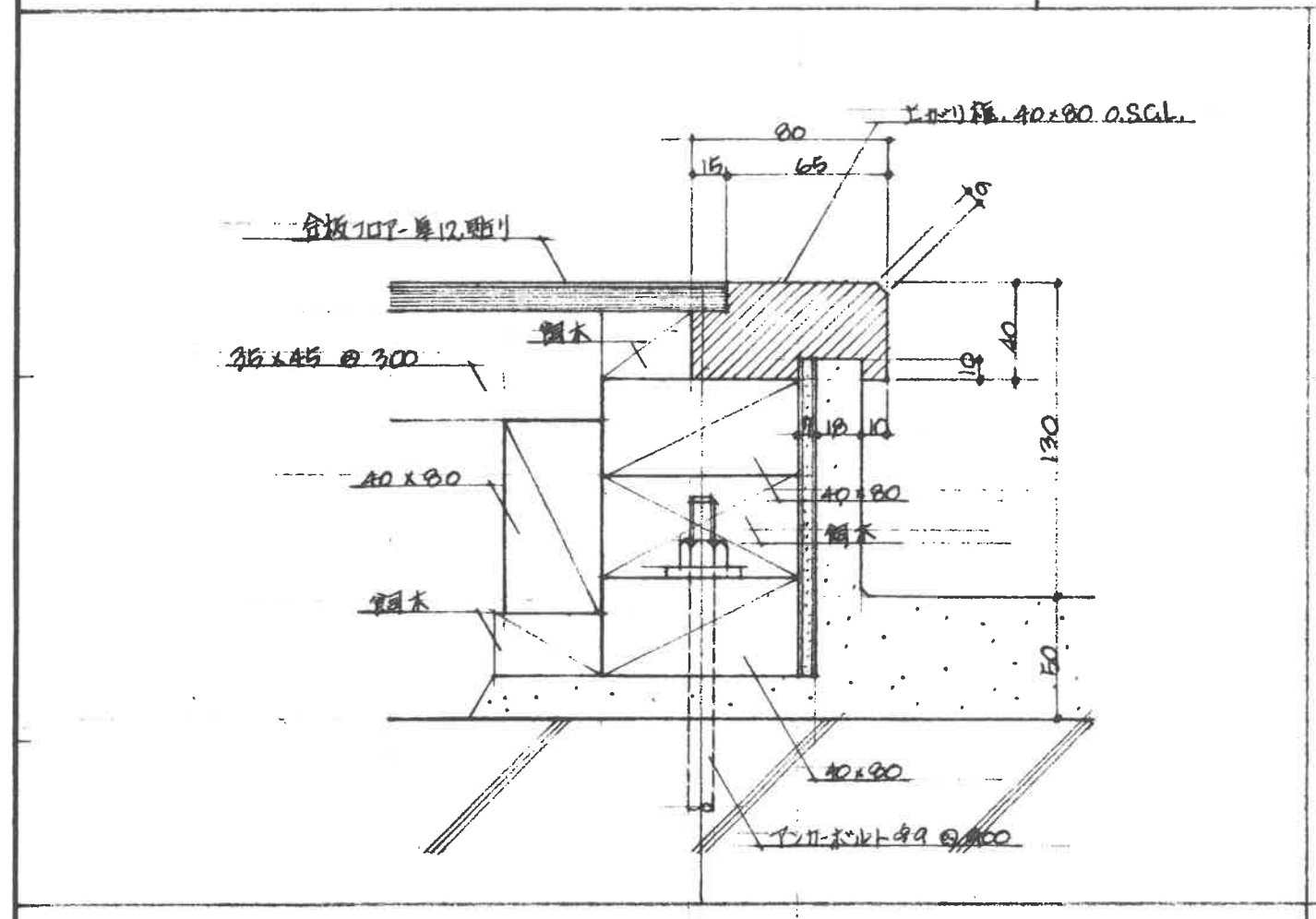

和室6帖～台所(単身者用)詳細図 S:1/3

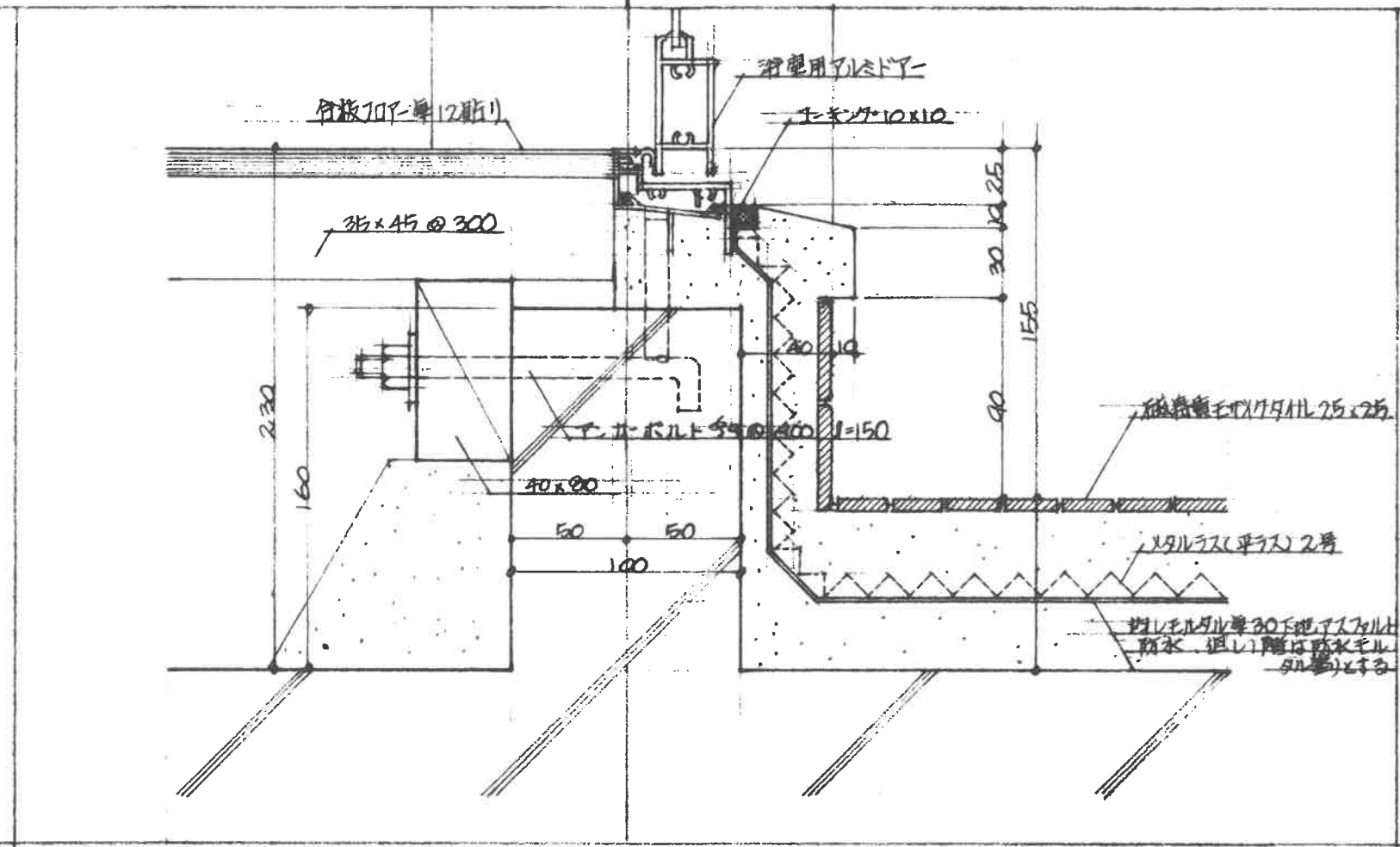

和室6帖～押入 詳細図 S:1/3

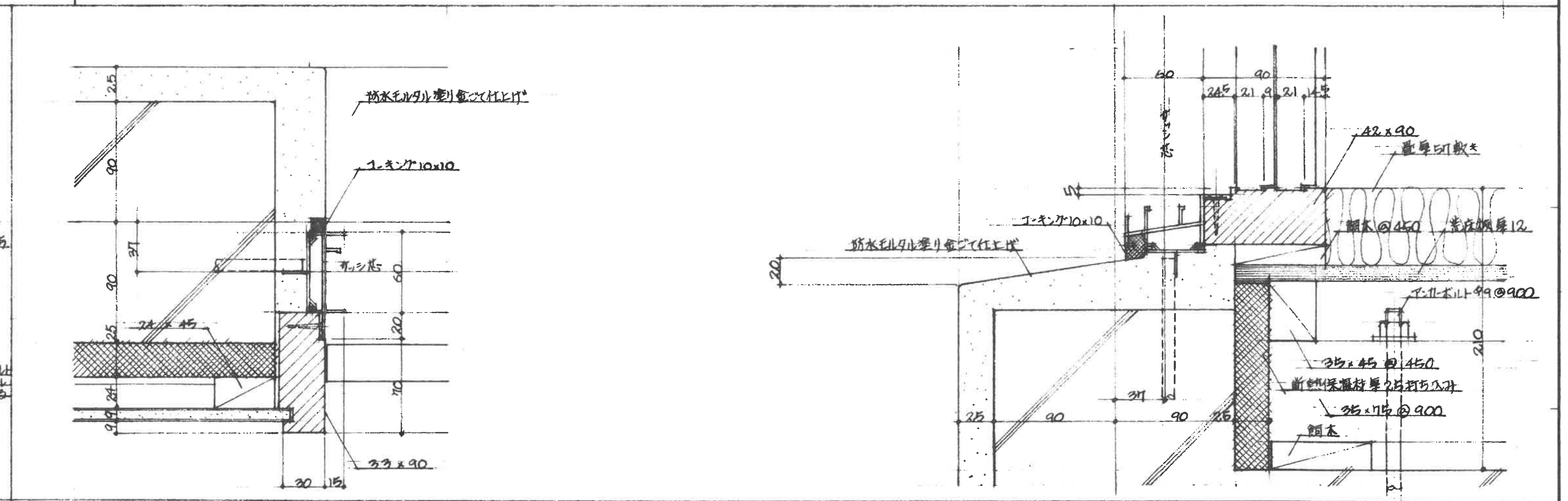

和室6帖～台所(世帯者用)詳細図 S:1/3

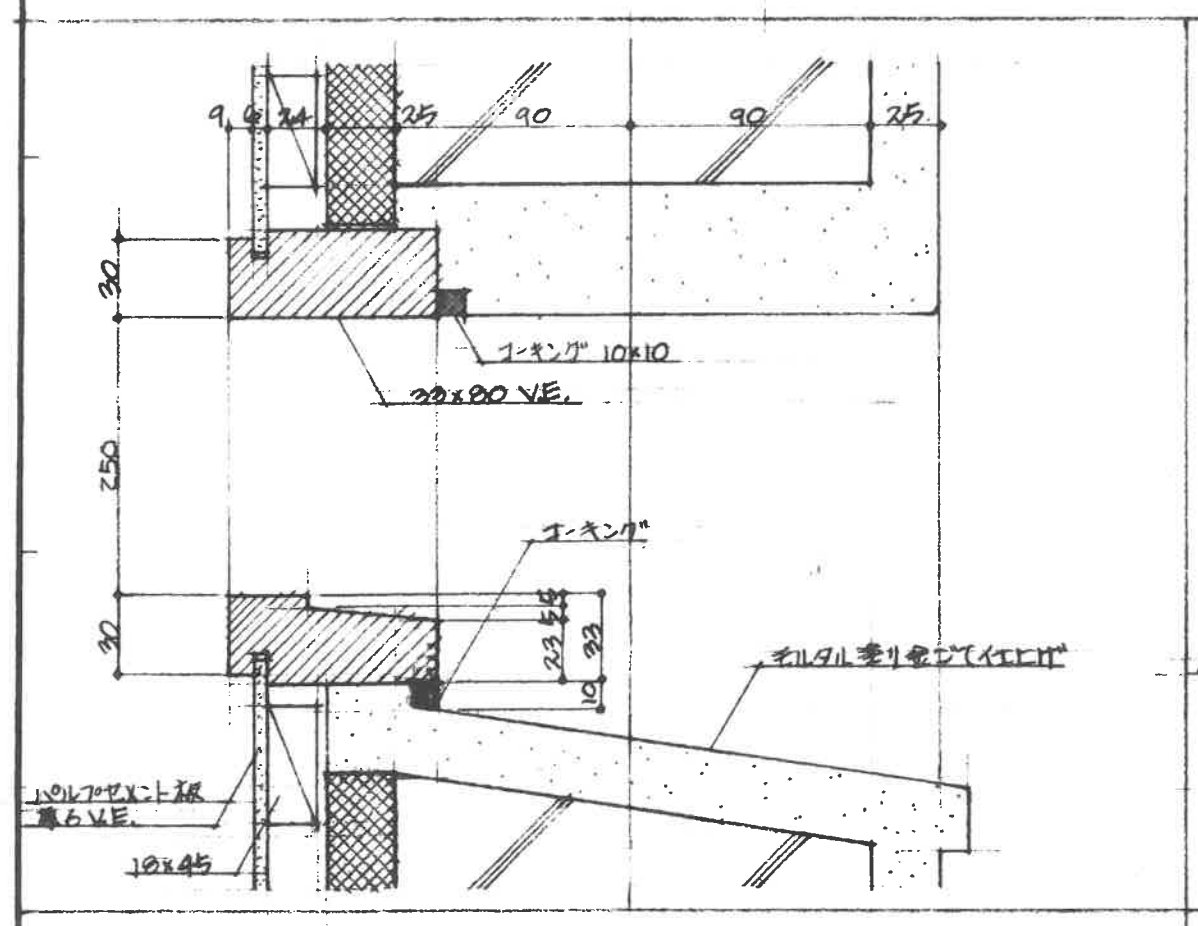

寸法、取り付け仕様等は BL-KJ メーカーの仕様によるものとする。

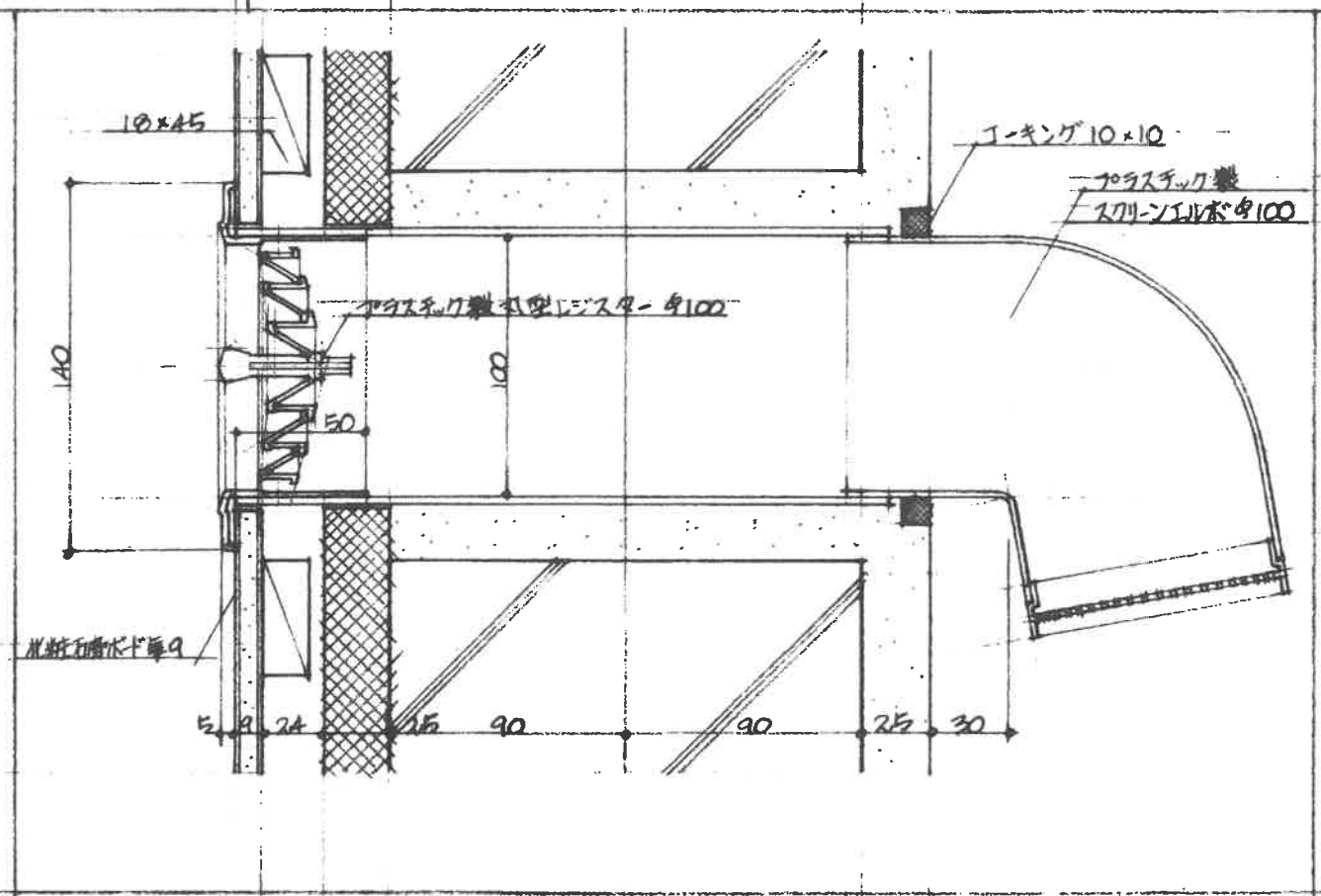
窓手摺 詳細図 S:1/3

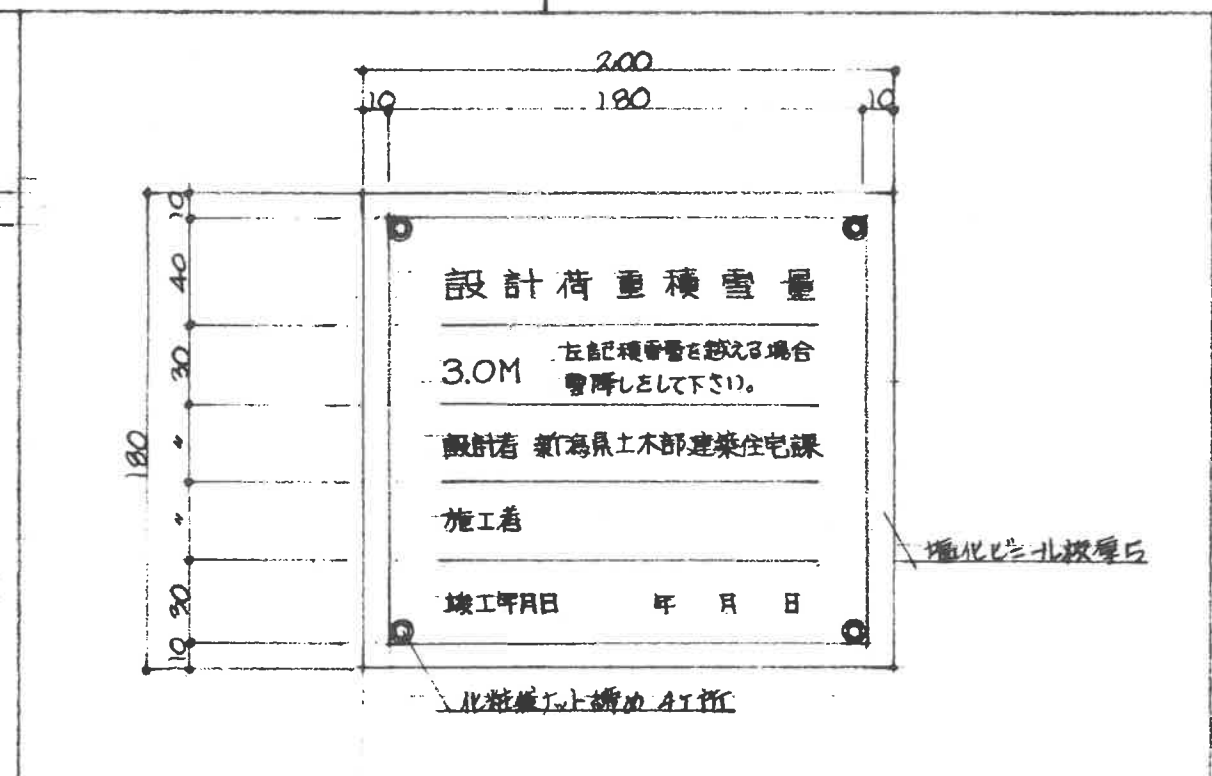

玄関 上がり框 詳細図 S:1/3


浴室 出入口 詳細図 S:1/3


バルコニー出入口 詳細図 S:1/3


換気扇用枠 詳細図 S:1/3


換気パイプ 詳細図 S:1/3


設計荷重積雪表示板 詳細図 S:1/3

註) 壁、化粧石膏ボード貼り部の チリは 9m/m とする事。
ドルオシン掃き出し窓以外の窓はアルミ水切板を使用する事。
各室の開口部枠、付け鴨居等の取り合いは施工図を提出し、監督員の承認を受ける事。

課長	課長補佐		主任	係		

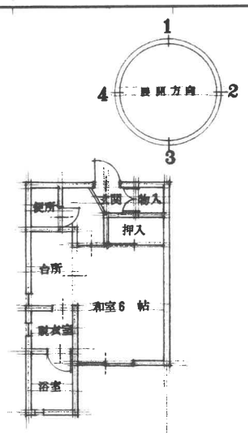
新潟県教職員住宅第?号宿舎建築 工事

各部 詳細図	図番	43 枚 No. 20
縮尺 S:1/3		昭和55年8月15日
審査	設計	

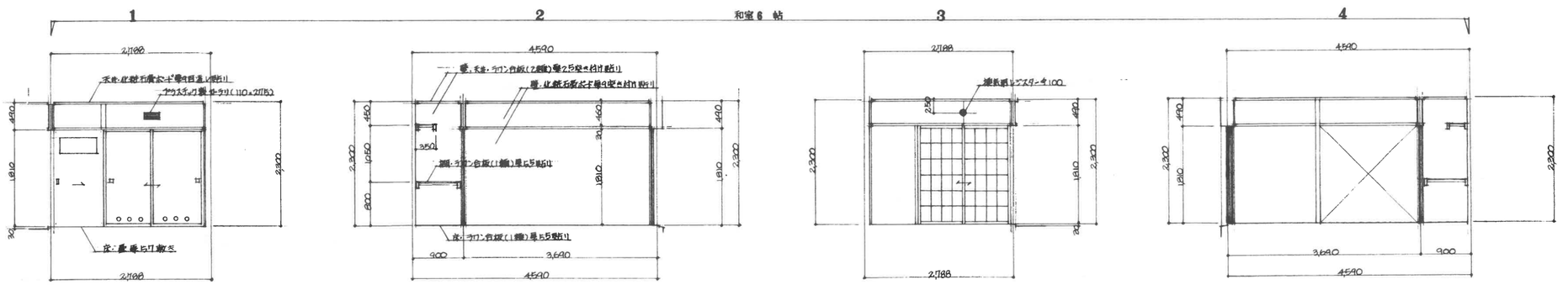
開設者 新潟県知事 登録番号 (ハ第640号) 理事長 一級建築士 三富 様
新潟県建築設計協同組合

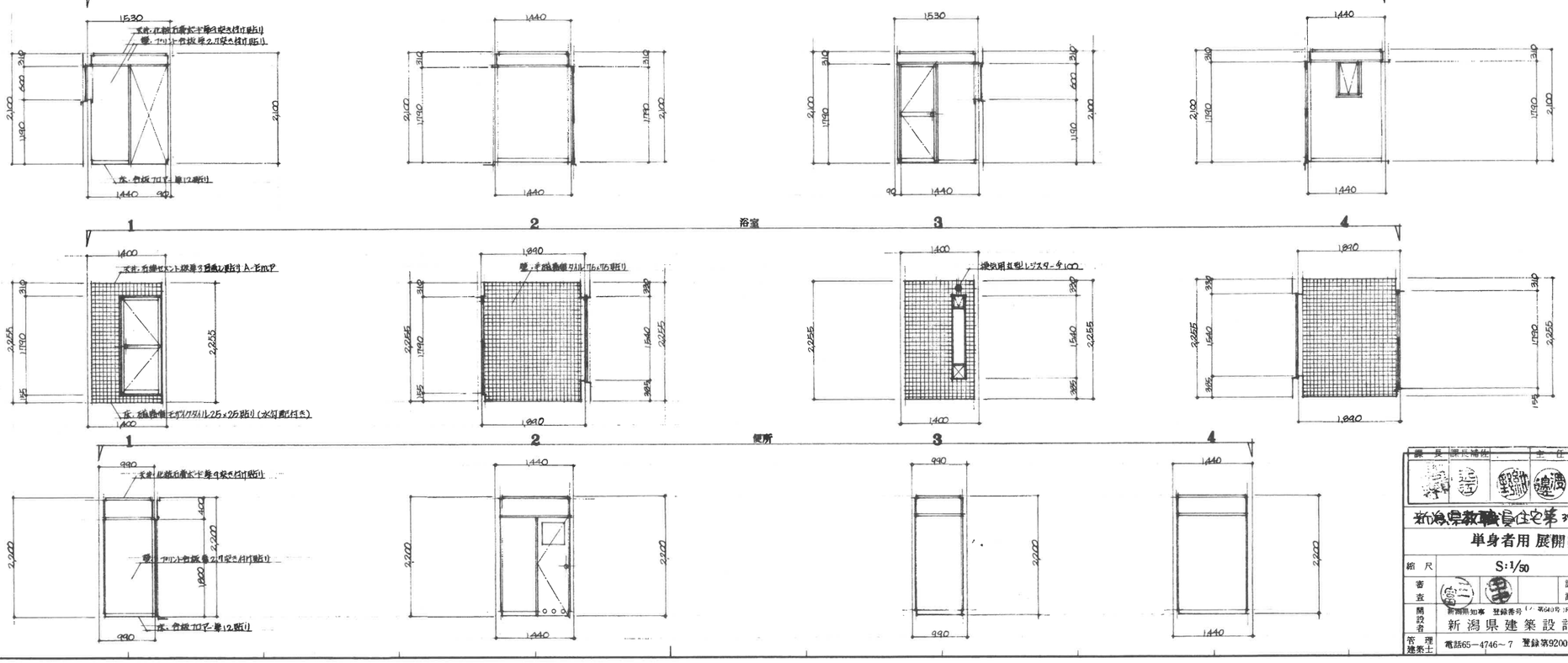
管理建築士 電話65−4746〜7 登録第9200号 一級建築士山本武夫

単身者用展開図　S:1/50



展開図キープラン





課長	課長補佐		主任		

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築　工事

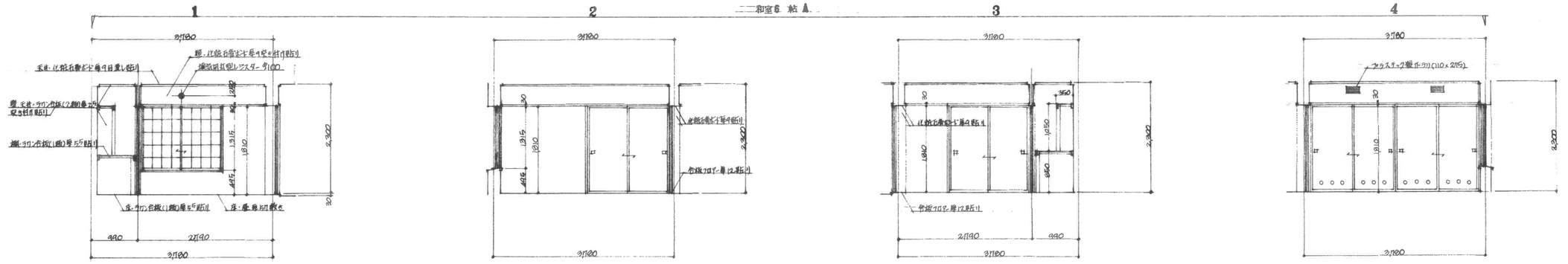
単身者用 展開図　図番 43枚 No. 21

縮尺 S:1/50　昭和55年8月15日

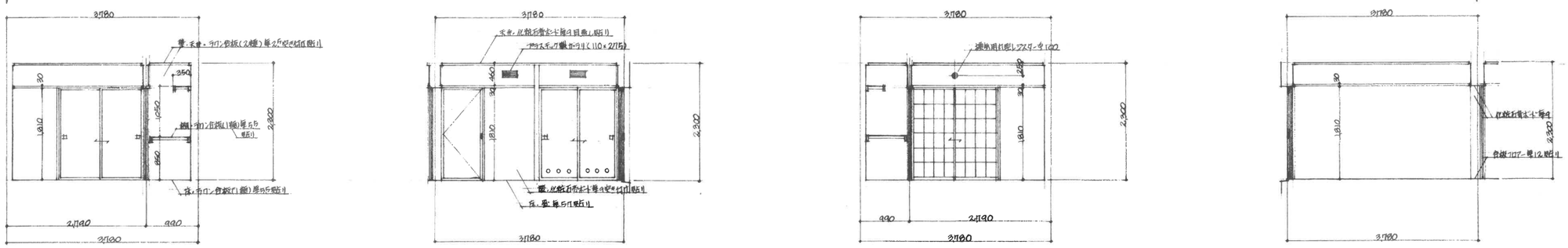
審査		設計	
開設者	新潟県知事　登録番号（ハ）第640号	一級建築士　三富	
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話65−4746〜7　登録第9200号　一級建築士	山本武夫	

世帯者用 展開図　S:1/50

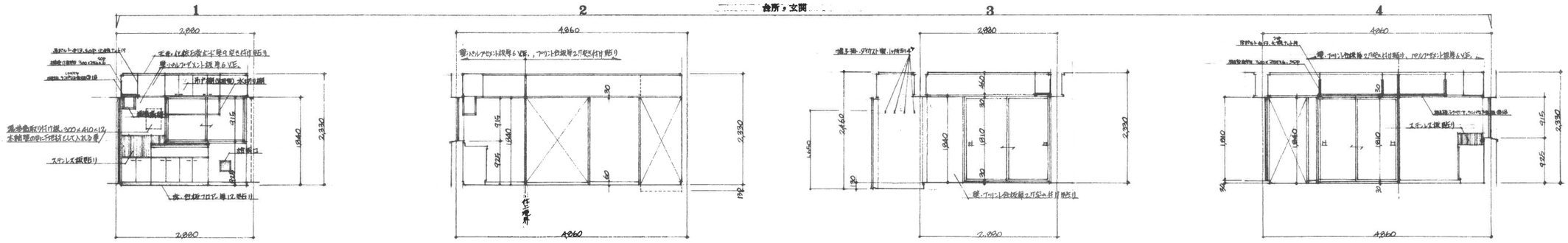
和室6 帖A

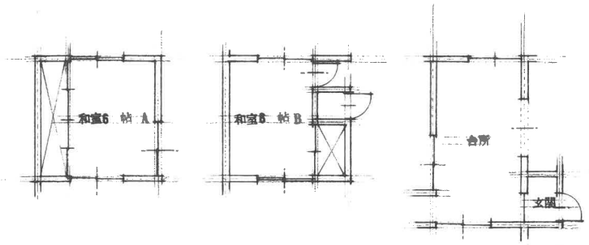


和室6 帖B

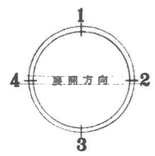


台所ヶ玄関





展開図キープラン



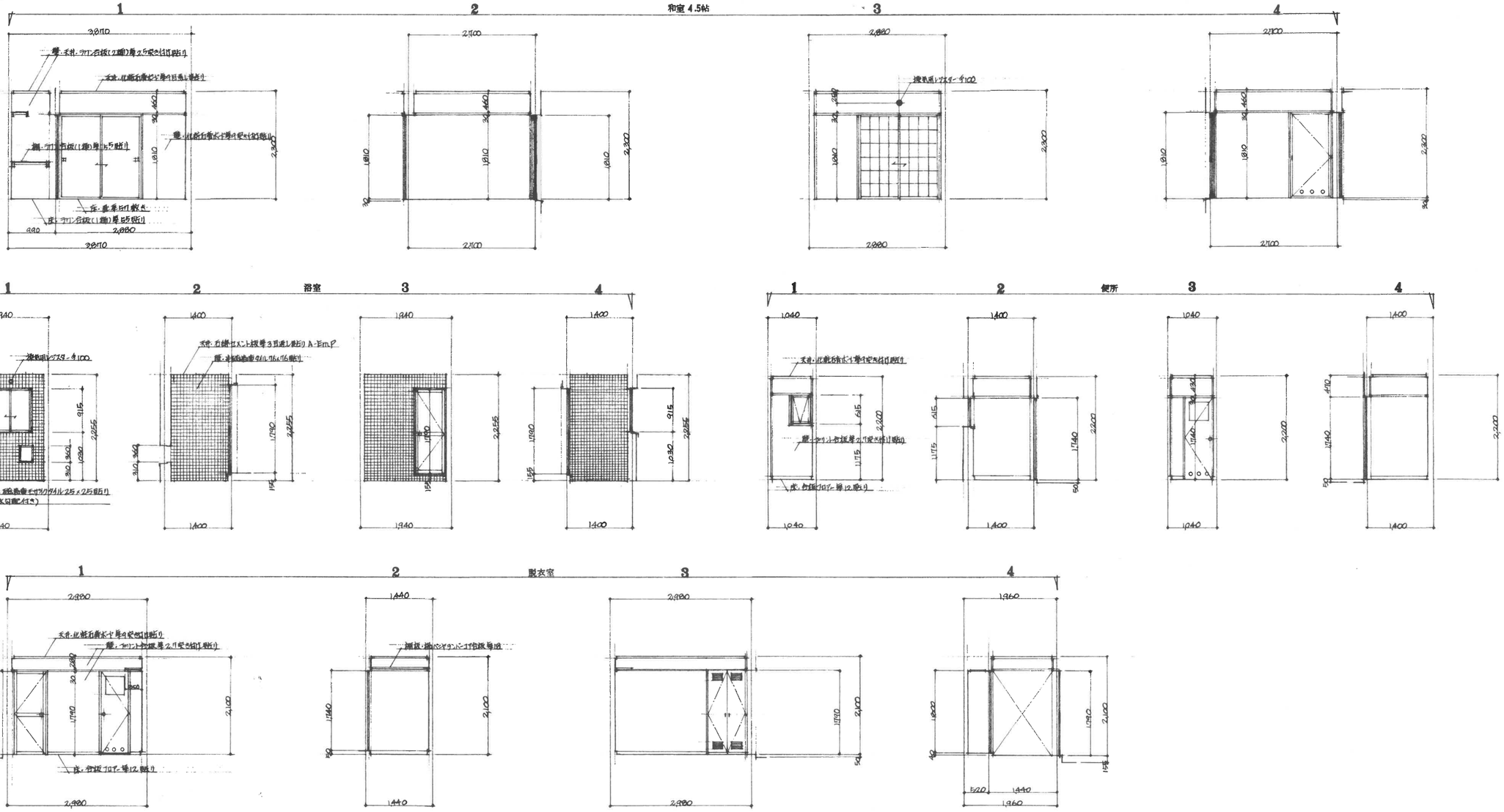
課長	課長補佐	主任	係		

新潟県教職員住宅第37号他2棟建築 工事

世帯者用展開図　図番 43枚 No. 22

縮尺	S:1/50			昭和55年 8月15日
審査			設計	
開設者	新潟県知事	登録番号	一級建築士 三宅	
管理建築士	新潟県建築設計協同組合			
	電話65−4746〜7	登録第9200号	一級建築士山本武夫	

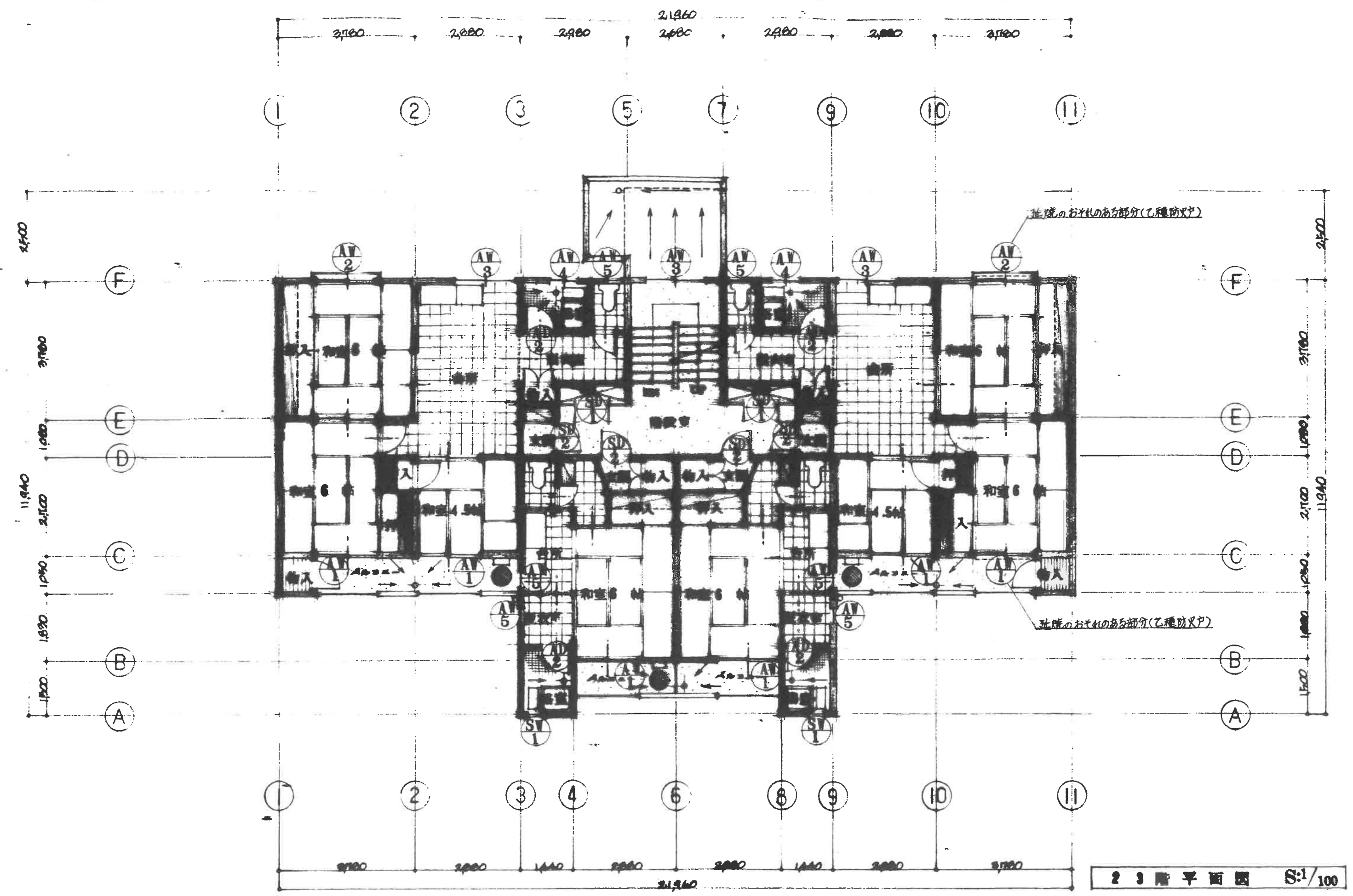
世帯者用展開図　S:1/50



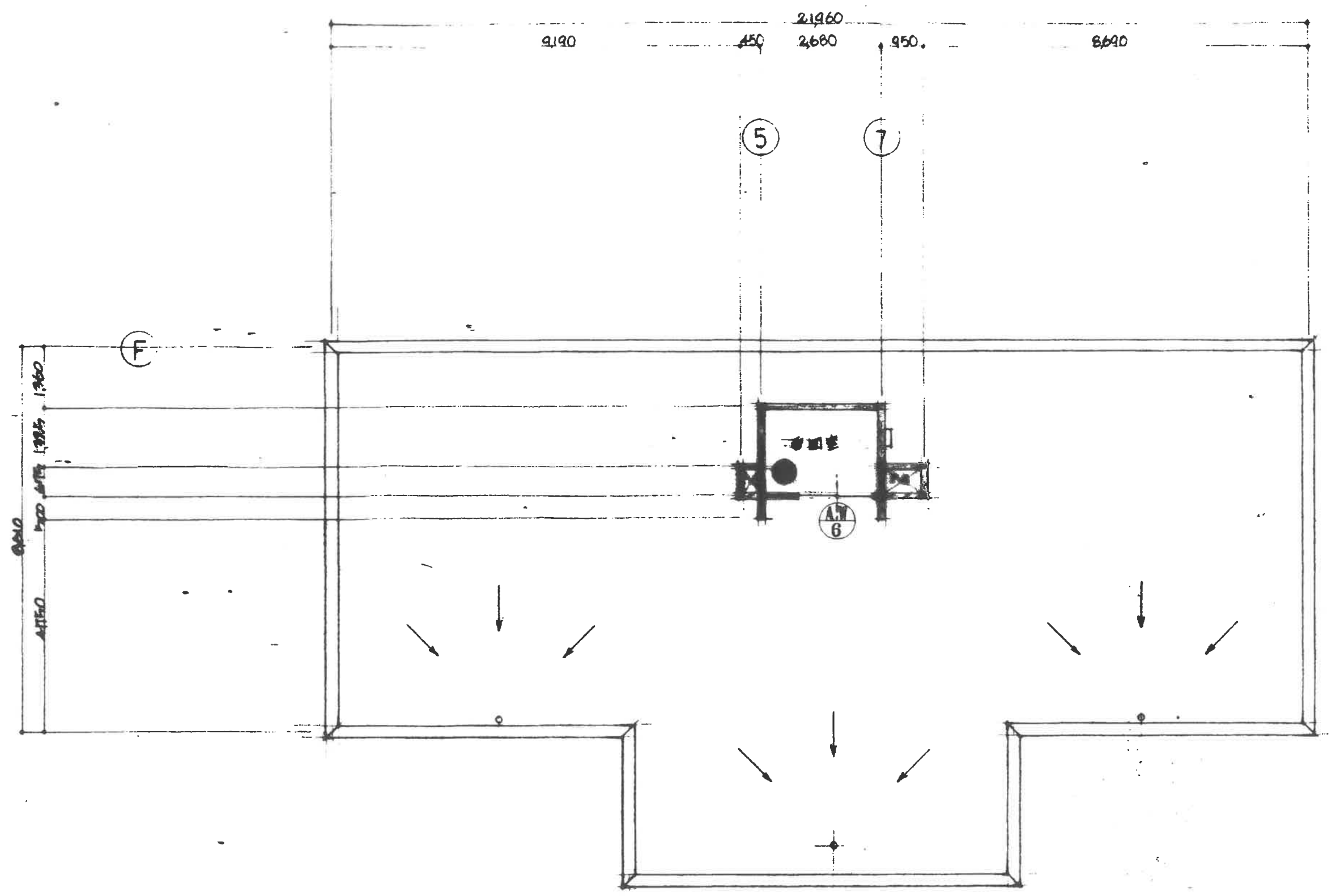
課長	課長補佐	主任	係		

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

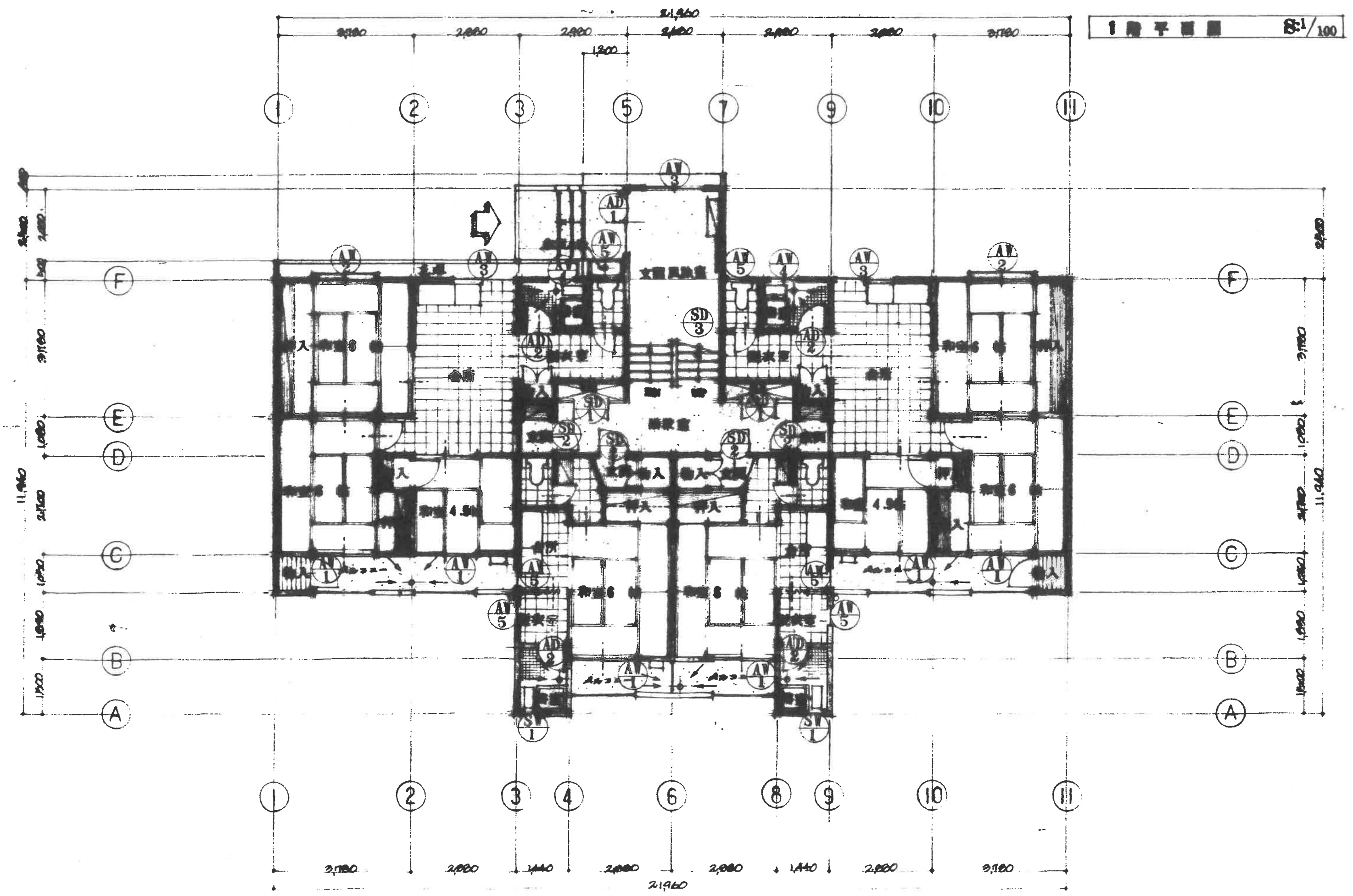
世帯者用展開図		図番	43枚 No. 23
縮尺	S:1/50	昭和55年8月15日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号(八)第640号	一級建築士 三宅	
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話65−4746〜7 登録第9200号 一級建築士山本武		



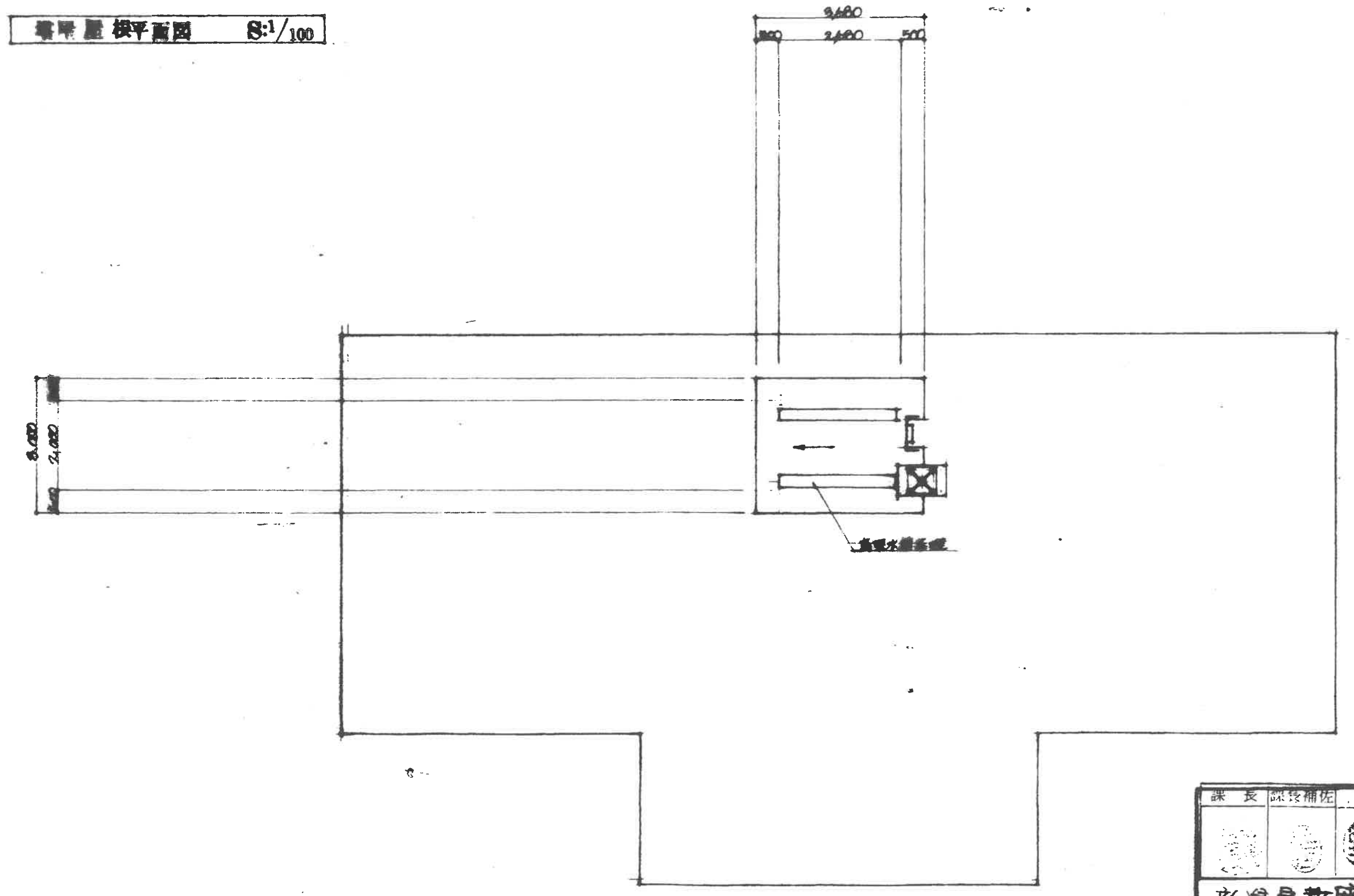
2 3 階 平 面 図 S:1/100



塔屋平面図 S:1/100



1 階 平 面 図 S:1/100



塔屋 屋根平面図 S:1/100

凡 例

	鉄筋コンクリート造壁
	コンクリートブロック造壁
	木造壁

課 長	課長補佐		主 任	係		

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

金属製建具配置図

図番 43 枚 No. 24

縮 尺 S:1/100 昭和 55年 8月 15日

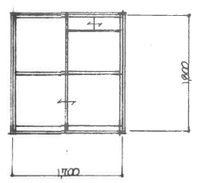
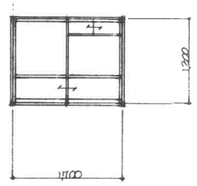
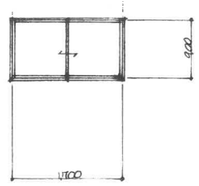
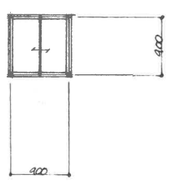
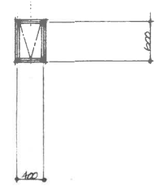
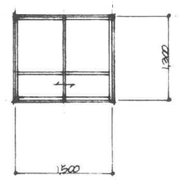
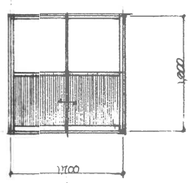
審査 設計

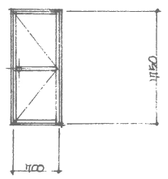
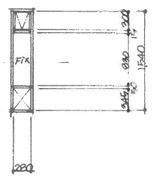
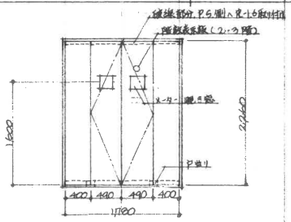
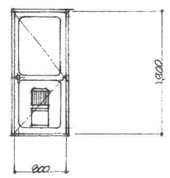
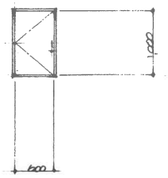
開設者 新潟県知事 登録番号 (八 第640号) 理事長 一級建築士 三 富 [illegible] 二

新 潟 県 建 築 設 計 協 同 組 合

管理建築士 電話65－4746～7 登録第9200号 一級建築士山本武夫

金属製建具表　S:1/50

記号	数量	AW 1	18	AW 2	6	AW 3	9	AW 4	6	AW 5	18	AW 6	1	AD 1	1
姿図															
位置		和室6帖 ・ 和室4.5帖		和室 6 帖		台所、風除室、暖房室		浴室(芒希着)		台所、脱衣室(単独着)、便所(芒希着)		書庫室		風除室	
形式		引違いサッシ、小窓付き。RM、網戸付き。BL-K型		引違い サッシ、小窓付き。RM、網戸付き。BL-K型		引違い サッシ。RM、網戸付き(台所のみ)。BL-K型		引違いサッシ。RM ・ BL-K型		内倒しサッシ。RM ・ BL-K型		引違いサッシ。RM ・ BL-K型		引違いサッシ。RM ・ BL-K型	
寸法		1700×1800 ・ 見込60%		1700×1300 ・ 見込60%		1700×900 ・ 見込60%		900×900 ・ 見込60%		400×600 ・ 見込60%		1500×1300 ・ 見込60%		1700×1900 ・ 見込60%	
仕上		無色アルマイト		無色アルマイト		無色アルマイト		無色アルマイト		無色アルマイト		無色アルマイト		無色アルマイト ・ 腰アルミパネル	
硝子		上段:普通板硝子透明3㎜、下段:型板硝子4㎜		普通板硝子透明3㎜		普通板硝子透明3㎜(風除室、暖房室)、積層硝子3㎜(台所)		型板硝子4㎜		型板硝子4㎜		型板硝子4㎜		型板硝子4㎜	
金物		標準附属金物一式		標準附属金物一式及びアルミ水切り板		標準附属金物一式及びアルミ水切り板		標準附属金物一式及びアルミ水切り板		標準附属金物一式及び面方アルミアングル		標準附属金物一式		標準附属金物一式(クレセント下妻)	
備考		2階、3階各1ヶ所ずつ道路のおそれがある部分なので硝子を上段:網入型板硝子、下段:網入型板硝子(厚さは共に6.8㎜)とする。		2階、3階各1ヶ所ずつ道路のおそれのある部分なので硝子を網入型板硝子3㎜とする。										敷桟廻り:ステンレス製 SUS304 3㎜×2㎜		

記号	数量	AD 2	12	SW 1	6	SD 1	6	SD 2	12	SD 3	1				
姿図															
位置		浴室		浴室(単独着)		P.S		玄関		階段下(床下点検口)					
形式		片開きドアー ・ RM ・ BL-K型		上:巧創し、中:嵌殺し、下:FB用サッシ。RM。BL-K型		両開き フラッシュ戸 ・ RM ・ BL-K型		片開きドアー ・ RM ・ BL-K型		片開きフラッシュ戸 ・ OM BL-K型					
寸法		700×1750 ・ 見込60%		280×1540 ・ 見込60%		1780×2260 ・ 見込50㎜		800×1900 ・ 見込60%		600×1000 ・ 見込60%					
仕上		無色アルマイト		ステンレス製		ステールS.O.P(両面、但し鉄部のみ) 錆止め不要		ステールS.O.P(両面)錆止め不要		ステールS.O.P(両面)					
硝子		型板硝子4㎜		網入り型板硝子6.8㎜		メーター覗き窓:網入り磨板硝子6.8㎜									
金物		標準附属金物一式及び戸当り		標準附属金物一式及びトップラッチ。内側レストッパー		KJ型パイプシャフトドアー仕様に依る		標準附属金物一式、扉吐錠、防犯メガネ及び覗き窓、ドアクローザー(KJ型)		標準附属金物一式及びシリンダー錠					
備考						戸当り。隣数表示板(1.2.3階)。メーター覗き窓(240×240)		郵便受、内鍵(3本刻)。防音ゴム。シリンダー面付錠。マスターキー付き。戸当り ※但し、郵便受、内鍵受は塗装なしとする事。							

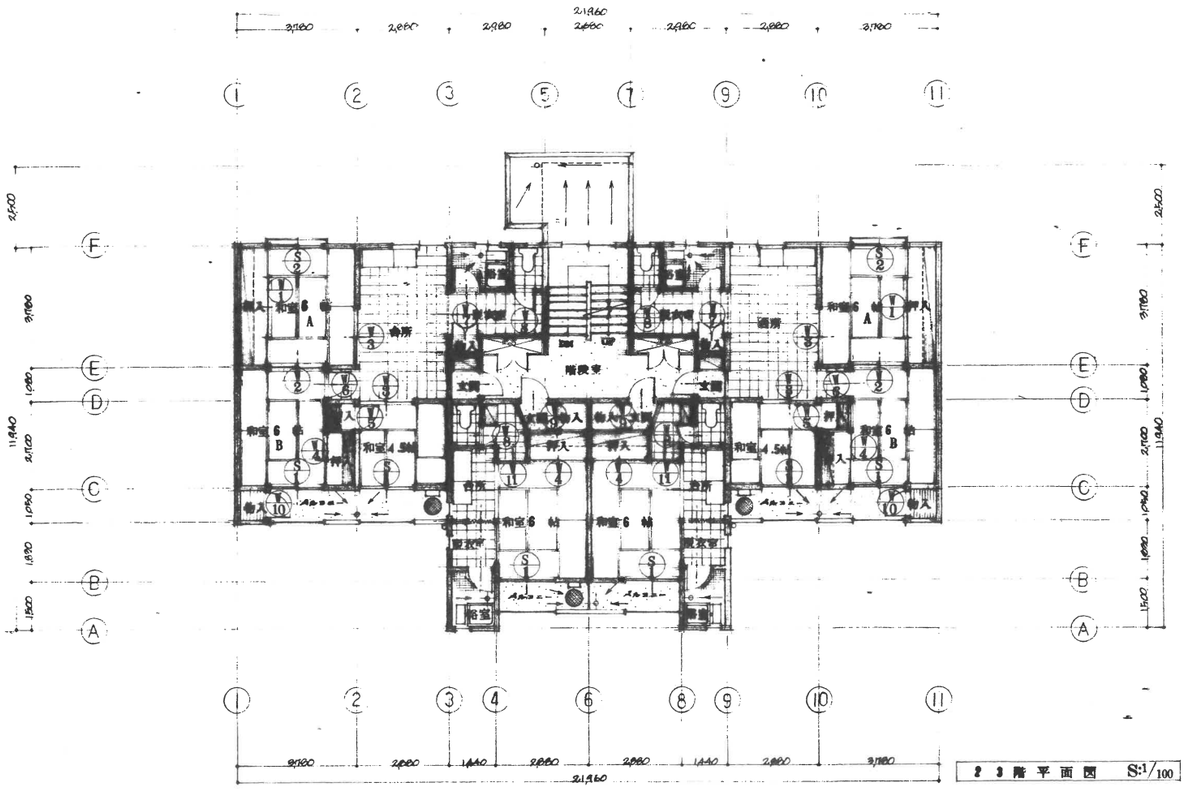
課長	課長補佐		主任	係		

新潟県教職員住宅第37号 建設工事

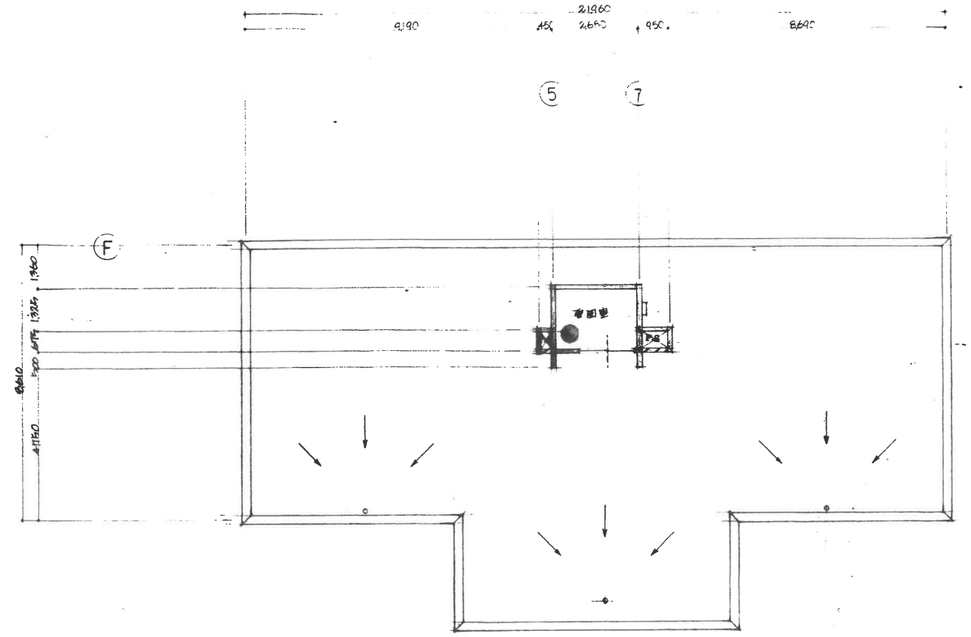
金属製建具表　㊙

図番	43枚 No. 25
縮尺	S:1/50
昭和55年8月15日	

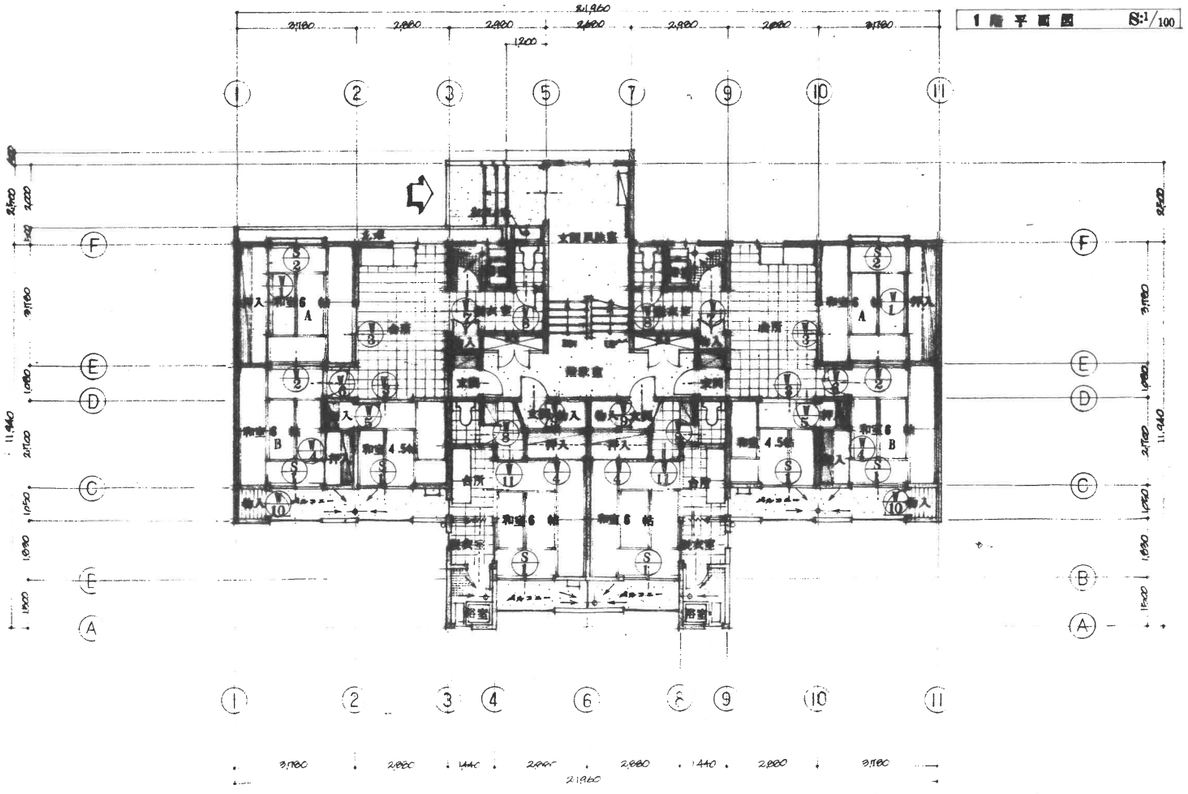
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号(イ)第640号 理事長	一級建築士 三富 謙上	新潟県建築設計協同組合
管理建築士	電話65−4746〜7 登録第9290号 一級建築士山本武考		



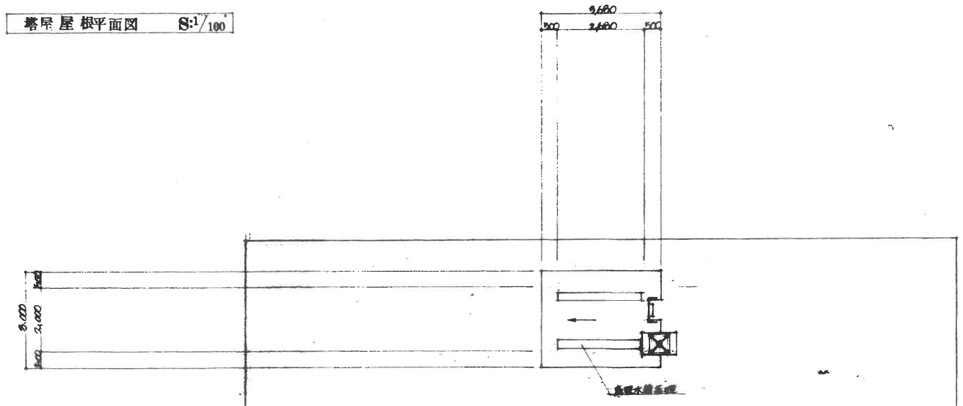
2 3 階 平 面 図 S:1/100



塔屋平面図 S:1/100



1 階 平 面 図 S:1/100



塔屋屋根平面図 S:1/100

尺 例

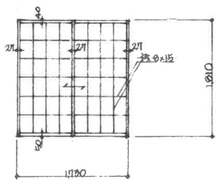
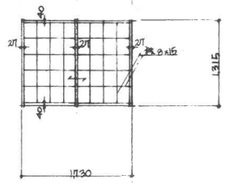
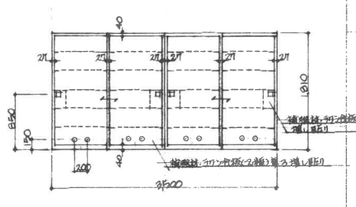
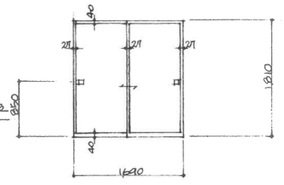
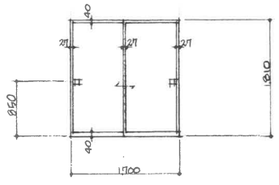
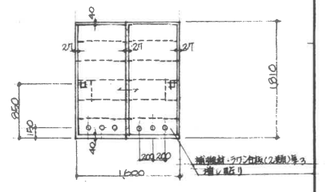
	鉄筋コンクリート造壁
	コンクリートブロック造壁
	木 造 壁

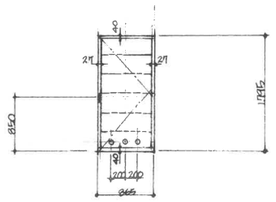
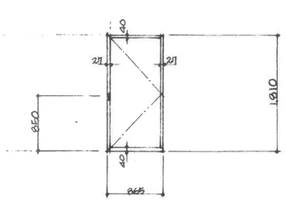
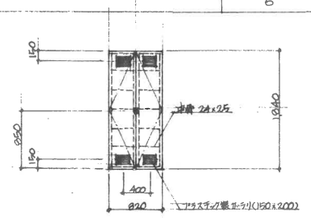
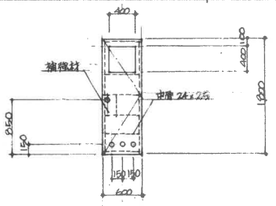
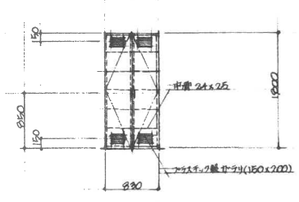
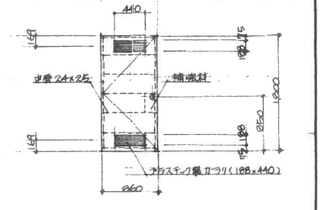
設計	設計補佐	主任	係	

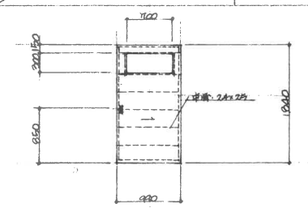
新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

木製建具配置図		図番	43枚 No. 26
縮尺	S:1/100	昭和55年 8月15日	
審査		設計	
設計者	新潟県知事 登録第 (ハ)第640号 一級建築士 三島 清 新潟県建築設計協同組合		
工事施行者	電話(0—4746—7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫		

木製建具表　S:1/50

記号	数量	S1	18	S2	6	W1	6	W2	6	W3	12	W4	12
姿図													
位置		和室6 帖B ・和室4.5帖		和室6 帖A		押入(和室6 帖A)		和室6 帖A～和室6 帖B		和室6 帖A～台所～和室4.5帖		押入(和室6 帖 和室6 帖B)	
形式		引違い 障子戸		引違い 障子戸		引違い板襖戸		引違い襖戸		引違い板襖戸		引違い板襖戸	
寸法		1,730×1,810 ・ 見込 27 ㎜		1,730×1,315 ・ 見込 27 ㎜		3,500×1,810 ・ 見込 27 ㎜		1,690×1,810 ・ 見込 30 ㎜		1,700×1,810 ・ 見込 30 ㎜		1,600×1,810 ・ 見込 27 ㎜	
仕上		障子紙貼り(巻紙割の事)		障子紙貼り(巻紙割の事)		ラワン合板(2類)厚2.5 ・ 新鳥の子紙貼り		新鳥の子紙貼り		新鳥の子紙貼り。台所側ビニールレザー貼り		ラワン合板(2類)厚2.5 ・ 新鳥の子紙貼り	
硝子													
金物						角型プラスチック製引手(60×60)。丈型プラスチック製重錠口(φ60)		角型プラスチック製引手(60×60)		角型プラスチック製引手(60×60)。プラスチック製ドアスペリ		角型プラスチック製引手(60×60)。丈型プラスチック製通錠口(φ60)。プラスチック製ドアスペリ	
備考													

記号	数量	W5	6	W6	6	W7	6	W8	12	W9	6	W10	6
姿図													
位置		押入(和室4.5帖)		和室6 帖B		物入(脱衣室)		便所		物入(玄関)(半身吾)		物入(メルコニー)	
形式		片開き板襖戸		片開き襖戸		両開き両面フラッシュ戸		片開き額入り両面フラッシュ戸		両開き両面フラッシュ戸		片開き両面フラッシュ戸	
寸法		865×1,795 ・ 見込 27 ㎜		865×1,810 ・ 見込 30 ㎜		820×1,840 ・ 見込 30 ㎜		600×1,800 ・ 見込 30 ㎜		830×1,800 ・ 見込 30 ㎜		660×1,800 ・ 見込 30 ㎜	
仕上		ラワン合板(2類)厚2.5 ・ 新鳥の子紙貼り		新鳥の子紙貼り。台所側ビニールレザー貼り		片面プリント合板厚2.7 ・ 片面ラワン合板(2類)厚2.5		両面プリント合板厚2.7		片面プリント合板厚2.7 ・ 片面ラワン合板(2類)厚2.5		両面ラワン合板(1類)厚3。S.O.P.(外側及び見込部のみ)	
硝子								型板硝子厚2.2 ㎜					
金物		中長ローラー型錠(中)。4ヶ所取付(真鍮)ℓ=100。普通丁番 175 ㎜		中長ローラー型錠(中)。4ヶ所取付(真鍮)ℓ=100。普通丁番 175 ㎜		マグネットキャッチ。4ヶ所取付(真鍮)ℓ=100。普通丁番 175 ㎜		ナイロン入り真鍮丁番(鋼板、メラミン焼付け) 89×89。ラッチ表示錠(握り手付)		マグネットキャッチ。4ヶ所取付(真鍮)ℓ=100。普通丁番 175 ㎜		1階シリンダー錠(ステンレス)。2,3階空錠(ステンレス)。普通丁番 175 ㎜	
備考		丈型プラスチック製重錠口(φ60)				プラスチック製ポカリ(150×200)。化粧縞4方		丈型プラスチック製通錠口(φ60)		プラスチック製ポカリ(150×200)。化粧縞4方 ・ 更現縞不要とする		プラスチック製ポカリ(100×440)。化粧縞4方	

記号	数量	W11	6
姿図			
位置		玄関～和室6 帖	
形式		片引き両面フラッシュ戸	
寸法		990×1,840 ・ 見込 27 ㎜	
仕上		両面プリント合板厚2.7	
硝子		型板ガラス厚2.2 ㎜	
金物		プラスチック製戸スペリ。ステンレス製紐掛戸引き 95 ㎜	
備考			

註) 建具寸法は現場当り
硝子の止め方は4方4引1(木製)真鍮釘止め
ステンレス製の金物はSUS430以上とする
襖の縁は生地仕上げとする
普通丁番は鋼板メラミン板付け塗装とする

課長	課長補佐		主任	係		

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

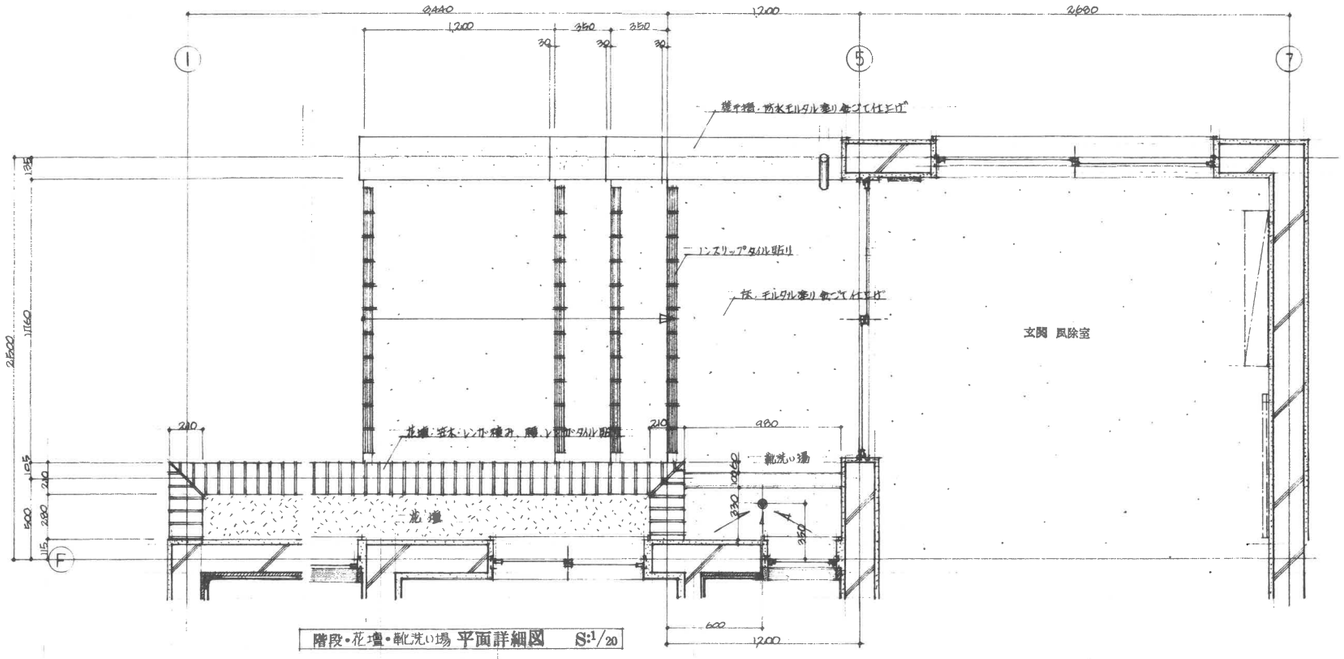
木製建具表　図番 43 枚 No. 27

縮尺 S:1/50　昭和55年8月15日

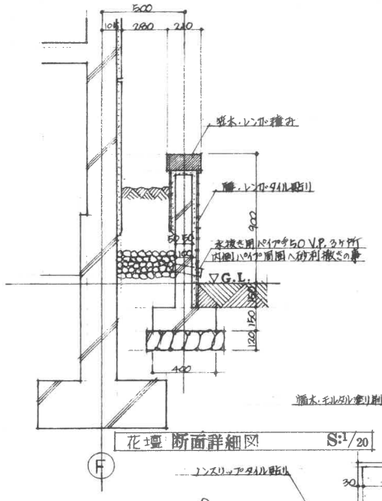
審査		設計	

開設者 新潟県知事 登録番号(ハ)第640号 一級建築士事務所 登録
新潟県建築設計協同組合

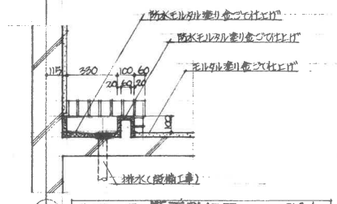
管理建築士 電話65－4746～7 登録第9200号 一級建築士 七山本武



階段・花壇・靴洗い場 平面詳細図 S:1/20

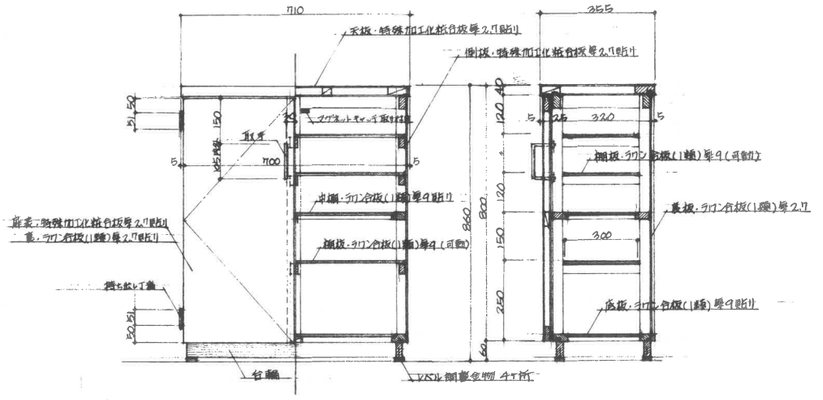


花壇 断面詳細図 S:1/20



靴洗い場 断面詳細図 S:1/20

階段 断面詳細図 S:1/20



仕様

木材	見え掛りは広葉樹(ラワン材以外)「農村の日本農林規格」1等とし、その他は2等とする。
合板	「普通合板の日本農林規格」1類2等品とする。
化粧合板	「特殊合板の日本農林規格」に依る特殊加工化粧合板の2類 印タイプとし淡色系統とする。
塗装	木部見え掛り クリヤラッカー塗りとし、色は茶褐色とする。内部はステイン固塗りとする。
金物	丁番ー錫鍍厚鋼鋳工物(専ロ)t=1.7/m 色シルバー、但し軸は肝前胴持ち広し丁番。 取手ー亜鉛ダイキャスト、クロームメッキ(105/m内外)又はプラスチック製とし、裏側よりネジ止めとする。 肝止めーマグネットキャッチ 2種式 2ヶ所 ビス、釘ー見え掛りは鉄製亜鉛メッキ又はユニクロームメッキとする。
製作	レベル調整金物ー鉄製亜鉛メッキ又はユニクロームメッキとし、下部台板補強付とする。 工場製作とし、框はほぞ組み又はだぼ組みとする。 接着は合成樹脂溶着剤を使用しプレスを行なう。又必要に応じ金物類を使用する。 天板は堅固な構造とする。又扉は反りの起こらない構造とする事。

下駄箱詳細図 S:1/10

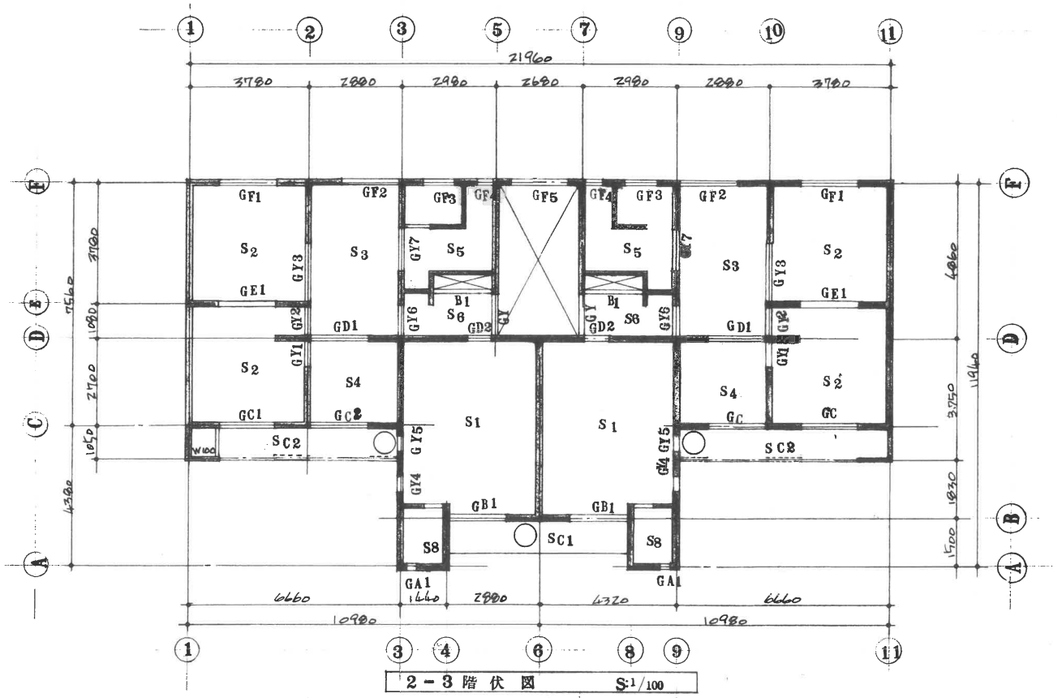
課長	課長補佐		主任	係			

新潟県教職員住宅第7号宿舎建築 工事

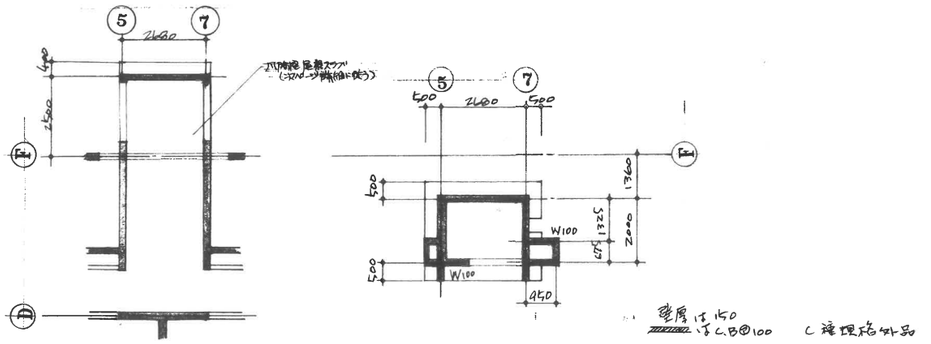
各部詳細図 図番 43枚 No. 28

縮尺 S:1/20 • S:1/10 昭和55年8月15日

審査			設計		
開設者	新潟県知事 登録番号		新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65—4746～7	登録第9200号 一級建築士	山本武男		

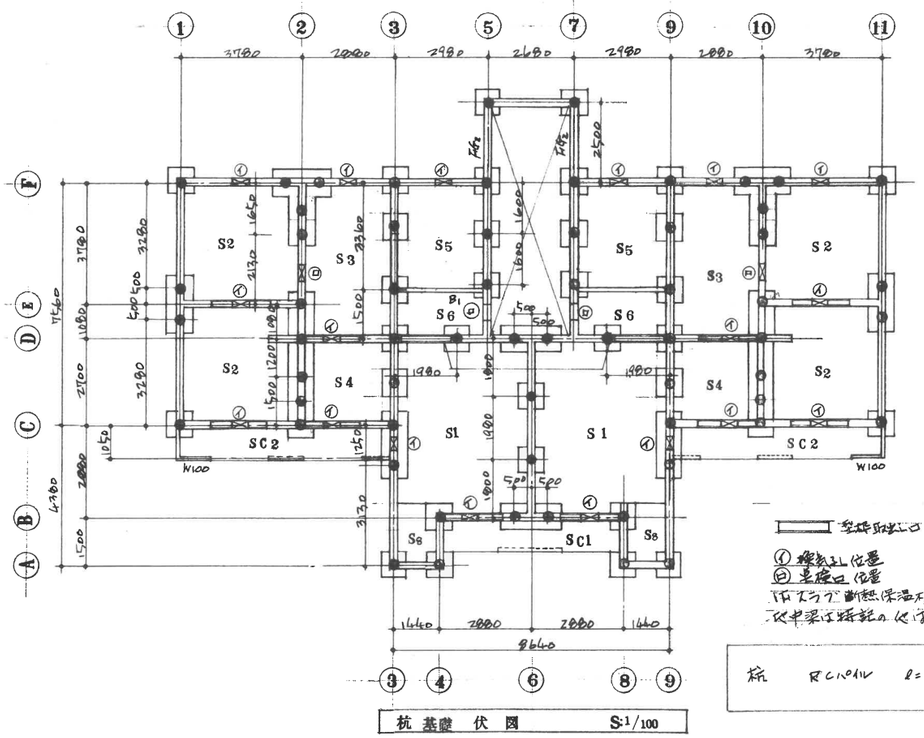


2－3階伏図 S:1/100

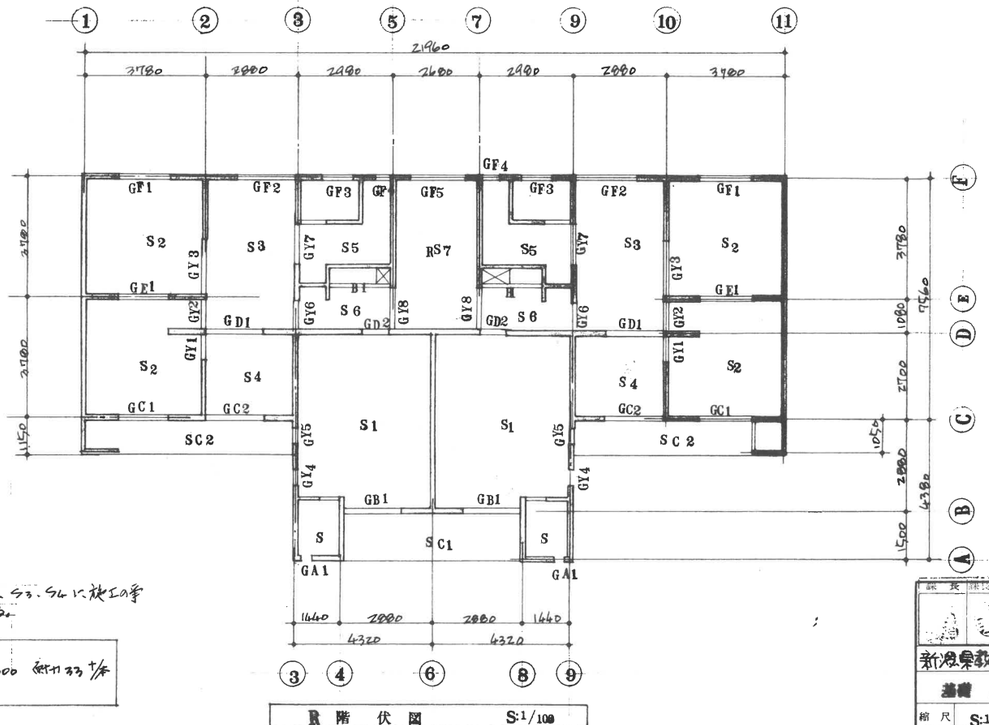


壁厚は150
ダブル@100 C種現場打品

番図 PS(梯段)伏図 S:1/100



杭基礎伏図 S:1/100



R階伏図 S:1/100

□ 型枠取はずし

① 機械ぬき位置
② 点検口位置

PSコンクリ断熱保温材厚30 ラ1、ラ2、ラ3、ラ4に施工の事
尚中梁は梯段の収まり全て打ち上げとする。

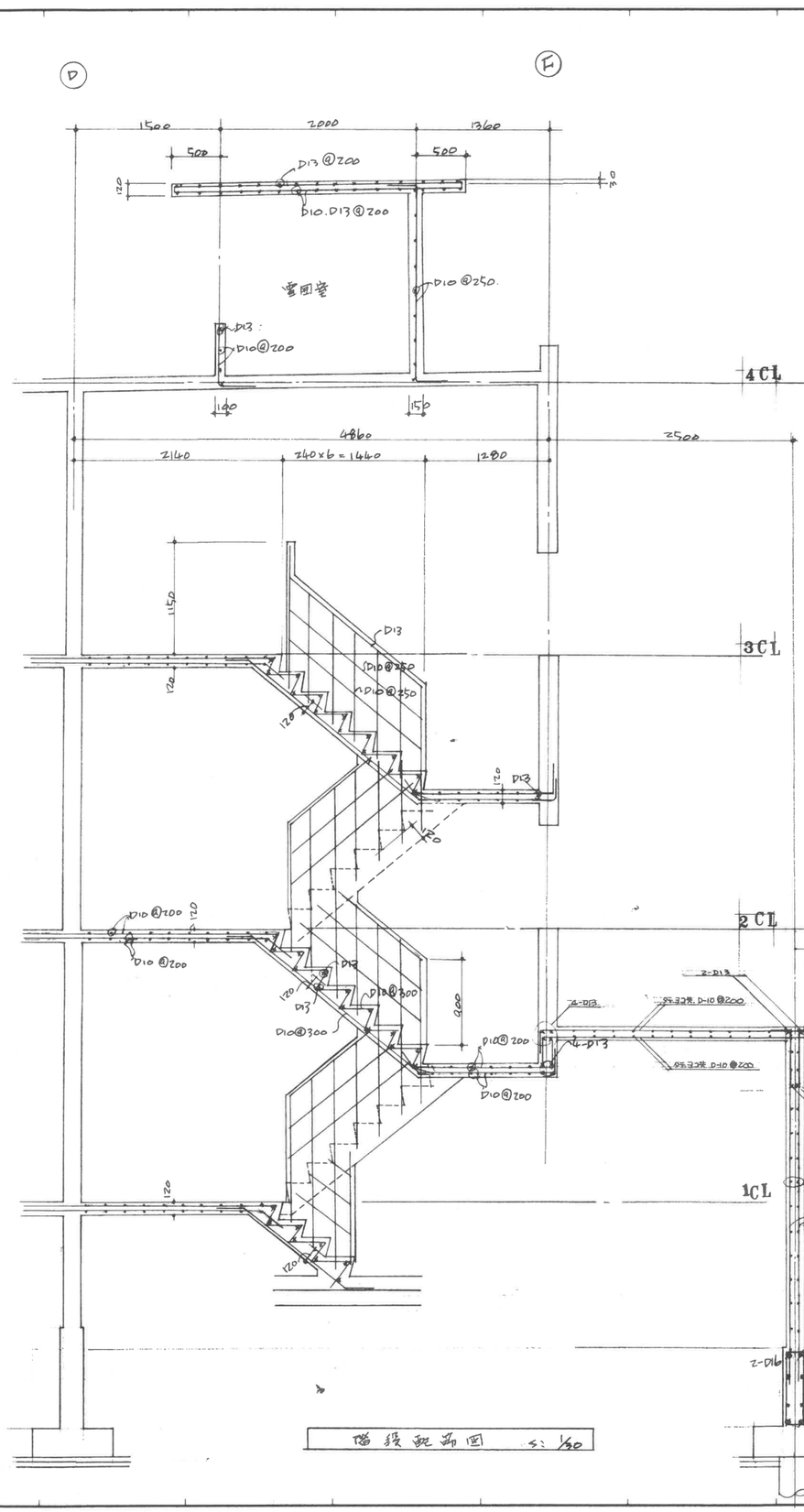
杭 RCパイル l=40m 径φ300 断面積 1/4

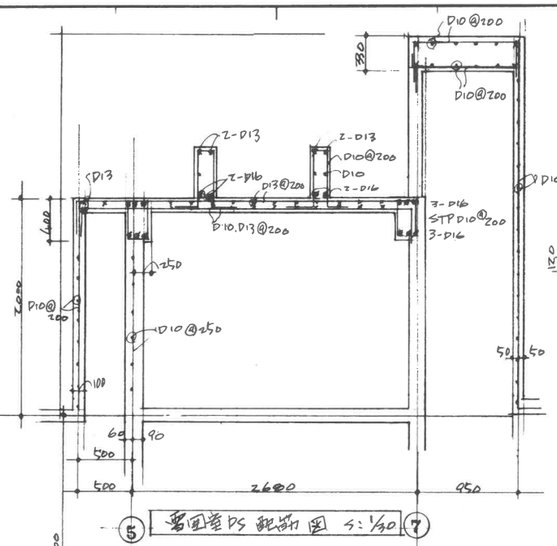
課長	係長	係	主任	係			

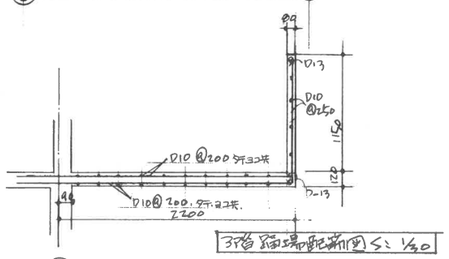
新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

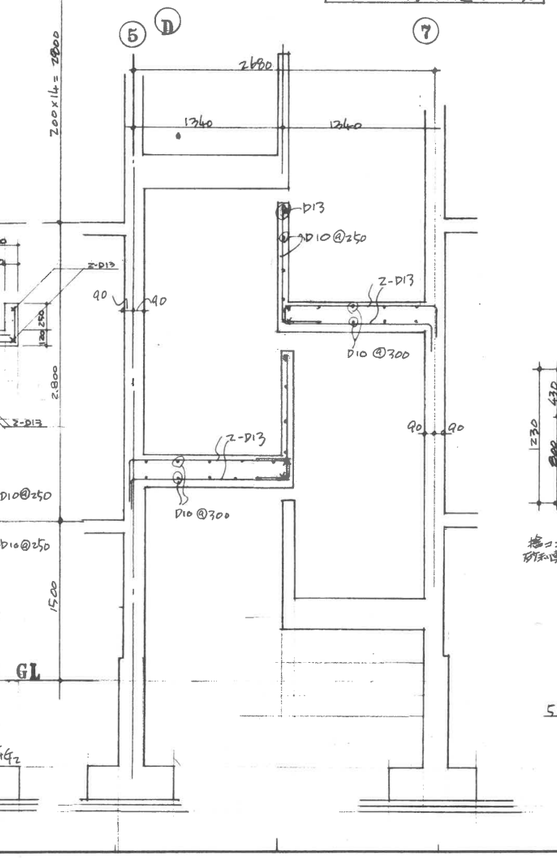
基礎	名階	伏図	図番 43枚 No. 29
縮尺	S:1/100		昭和45年8月15日
審査		設計	

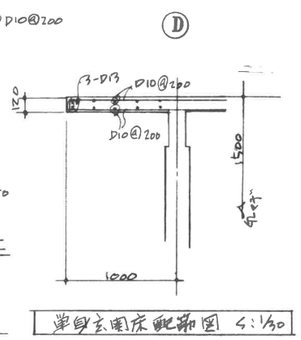
開設者 新潟県知事 登録番号 ハ-3540号 一級建築士 三富 淳
管理建築士 新潟県建築設計協同組合
電話65—4746～7 登録第9200号 一級建築士山本武夫

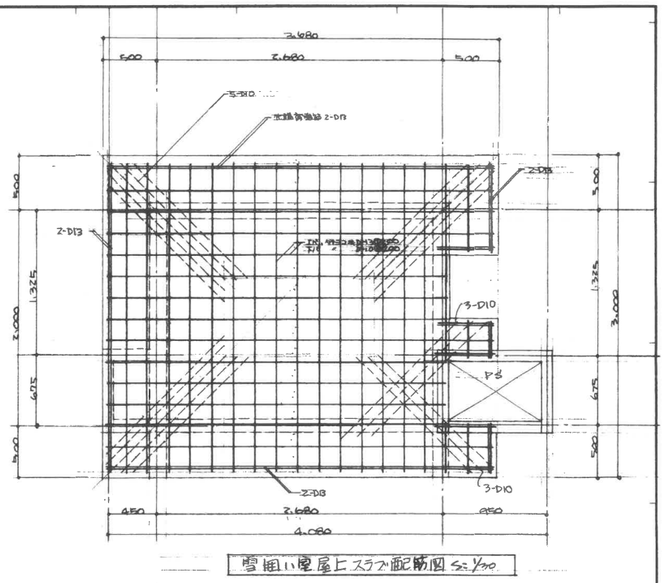


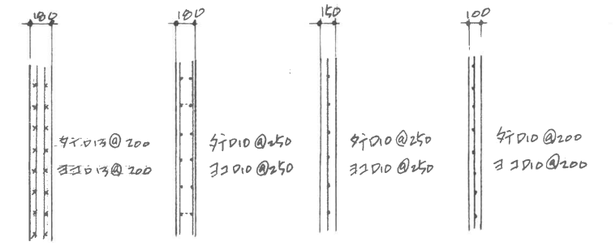


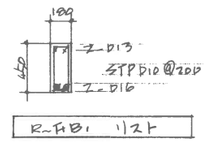


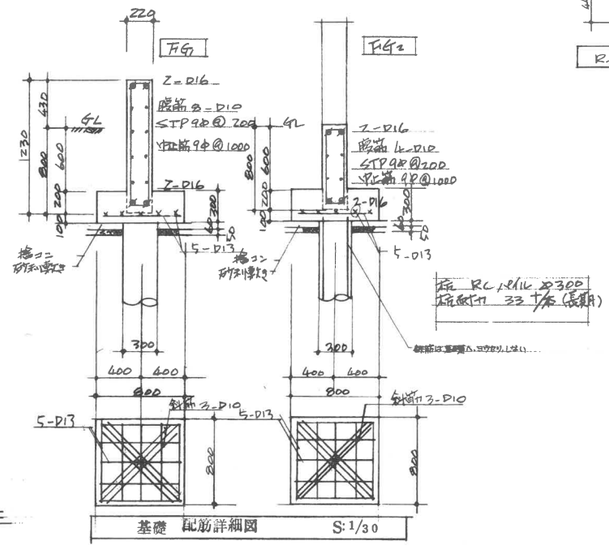








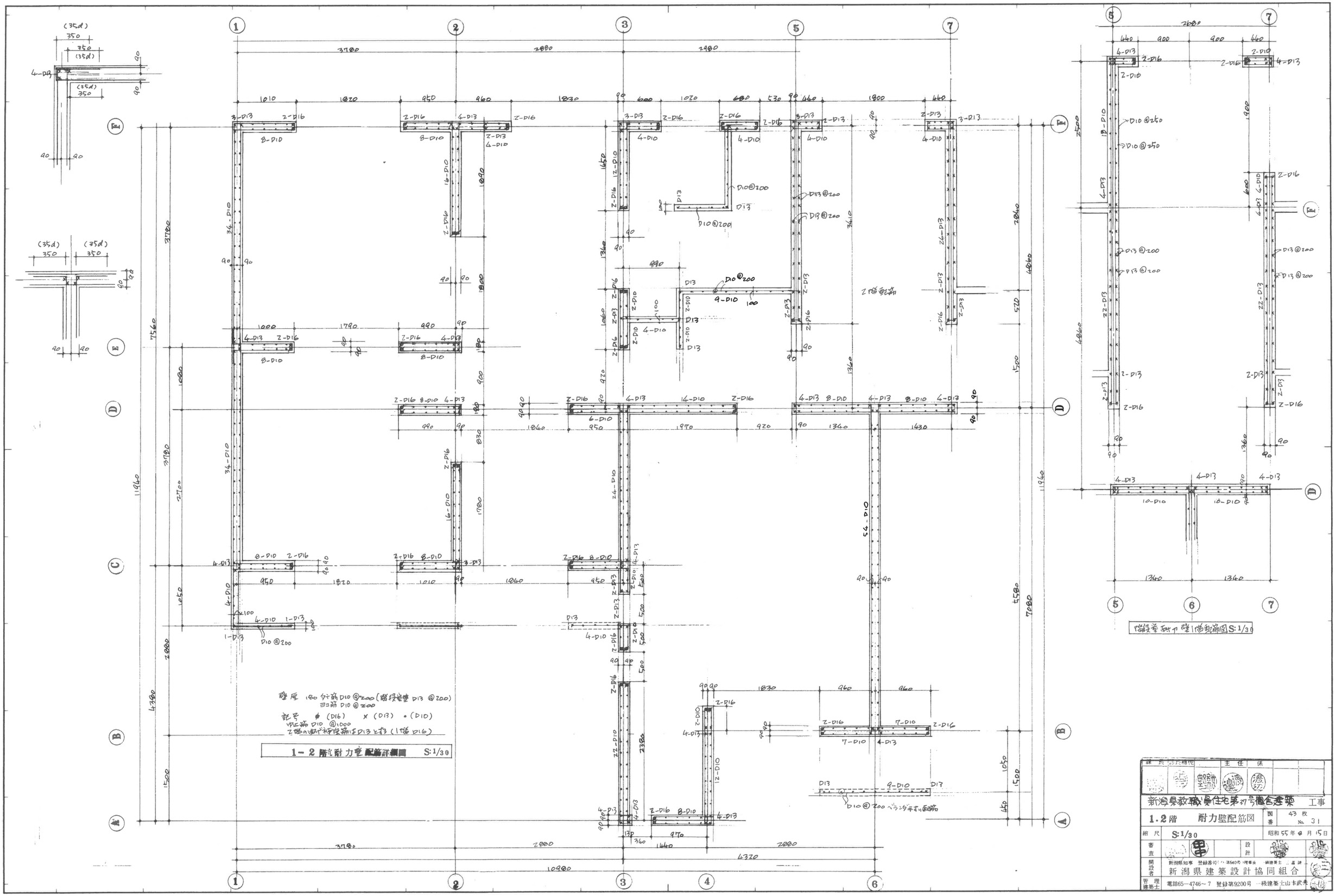




設計補佐			主任	係	

新潟県教職員住宅第27号自治建築 工事

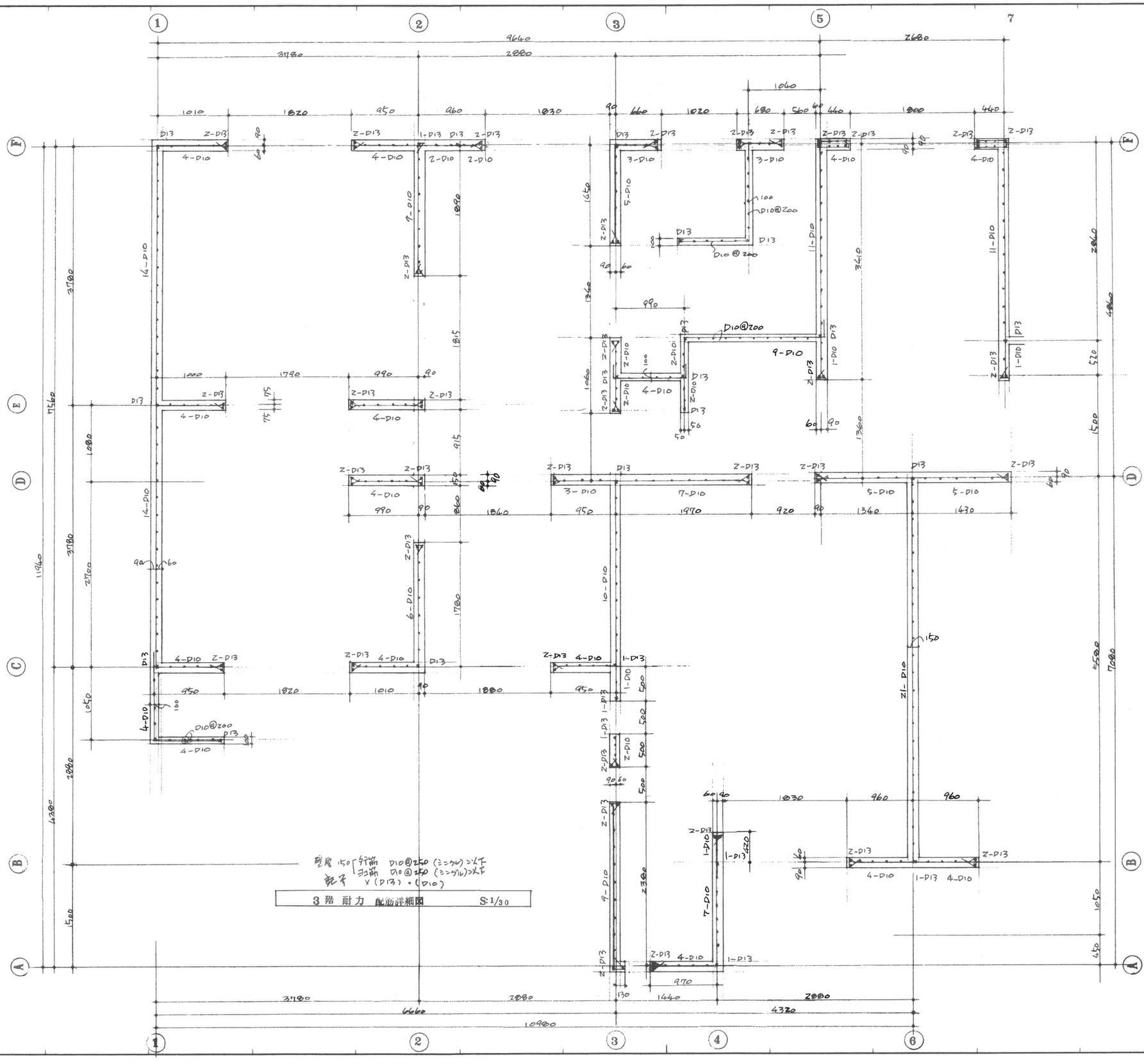
階段 配筋詳細図		図番	43 枚 No. 30
縮尺	S:1/30		昭和55年8月15日
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号(1)第640号 1理事長 一級建築士 三島 謙 新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65—4746～7 登録第9200号 一級建築士山本武夫		



課長	係長	課長補佐	主任	係	
					渡辺

新潟県教職員住宅第37号 複合建築 工事

1.2階	耐力壁配筋図	図番	43 枚 No. 31
縮尺	S:1/30		昭和55年6月15日
審査		設計	
開設者	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65—4746～7 登録第9200号 一級建築士		



3 階 耐力 配筋詳細図 S:1/30

課長	副長補佐		主任	係	

新潟県教職員住宅第17号宿舎建築 工事

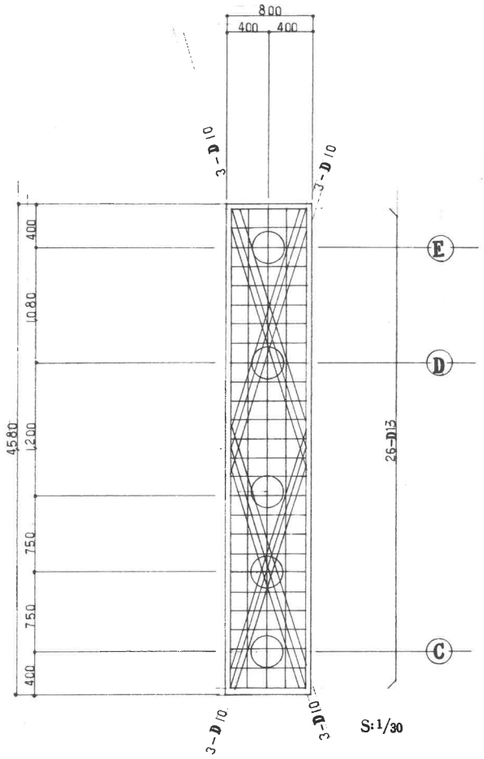
3階耐力壁配筋詳細図

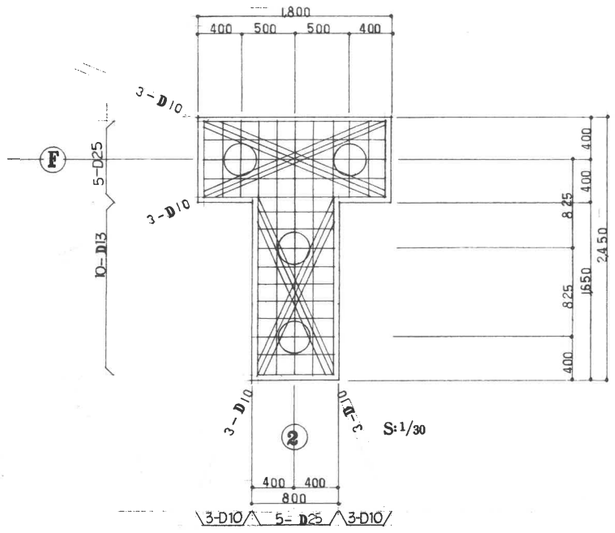
図番 43 枚 No. 32

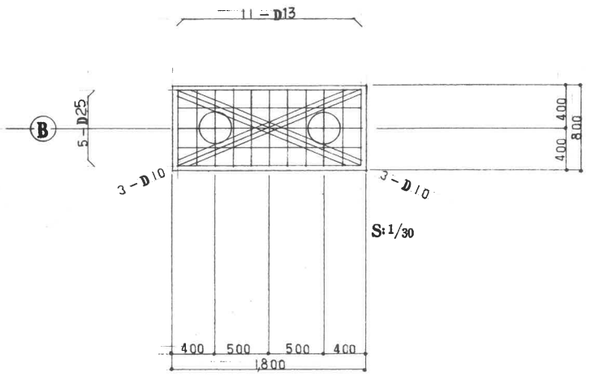
縮尺 S:1/30 S:1/5

昭和 55年 8月 15日

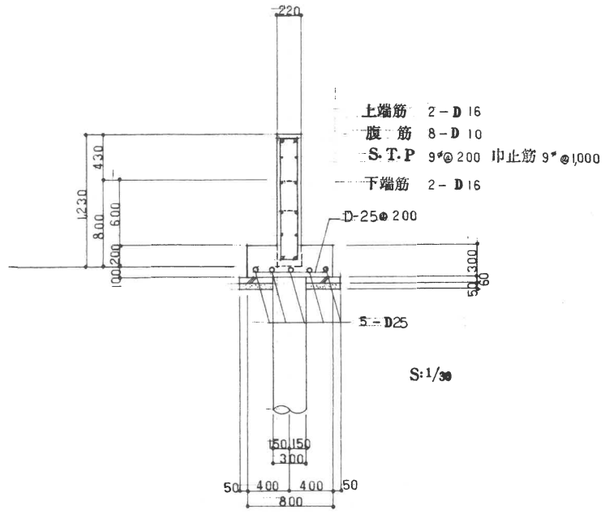
審査		設計	
開設者	新潟県知事	登録番号 ハ 第640号	管理建築士 一級建築士 三富 謙
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話65—4746～7 登録第9200号		一級建築士 山本武夫

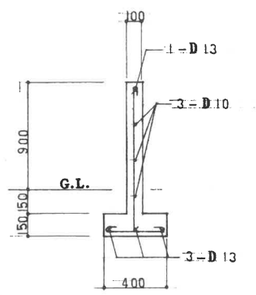




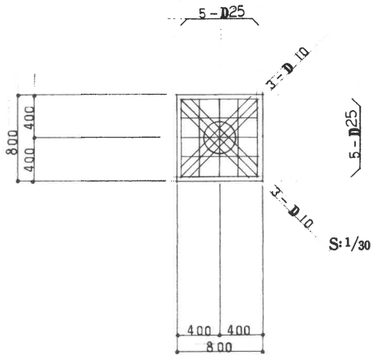


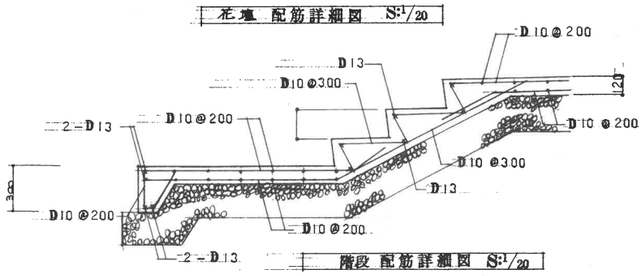
基礎配筋詳細図 S:1/30





花壇 配筋詳細図 S:1/20





階段 配筋詳細図 S:1/20

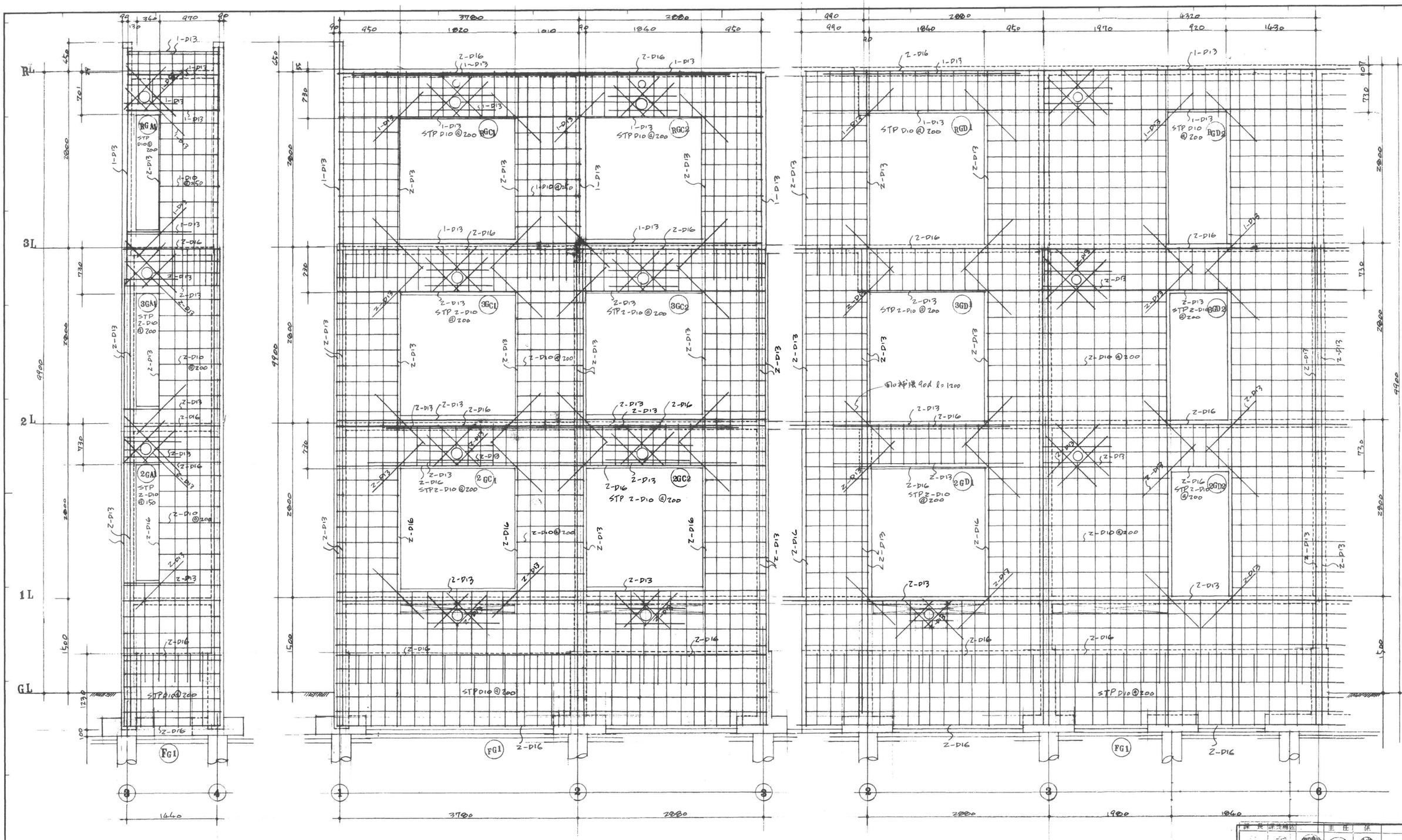
使用材料

鉄筋	SD30
コンクリート	Fc = 180 kg/cm²
コンクリートパイル RC φ300	ℓ=40M 33本

設計監理補佐			主任	係	

新潟県教職員住宅第17号他3棟建築 工事

基礎 配筋詳細図		図番	43枚 No. 33
縮尺	S:1/30 S:1/20	昭和55年8月15日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号	一級建築士 三富	
	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65-4746~7 登録第9209号 一級建築士		



A 通り 配筋詳細図 S:1/30

C 通り配筋詳細図 S:1/30

D 通り配筋詳細図 S:1/30

課長	課長補佐	主任	係

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

A C D 通り 配筋詳細図

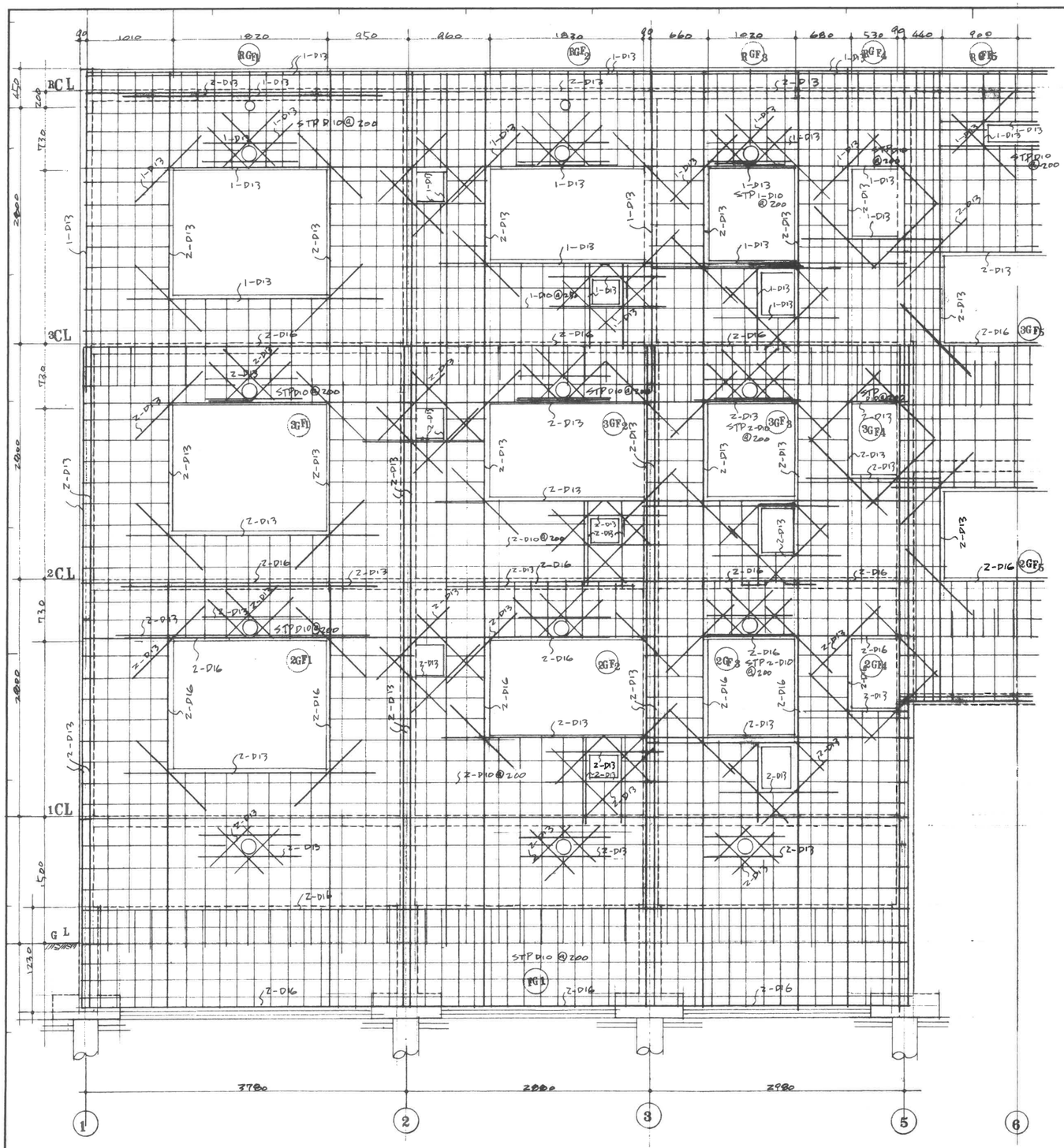
図番 43枚 No. 34

縮尺 S:1/30

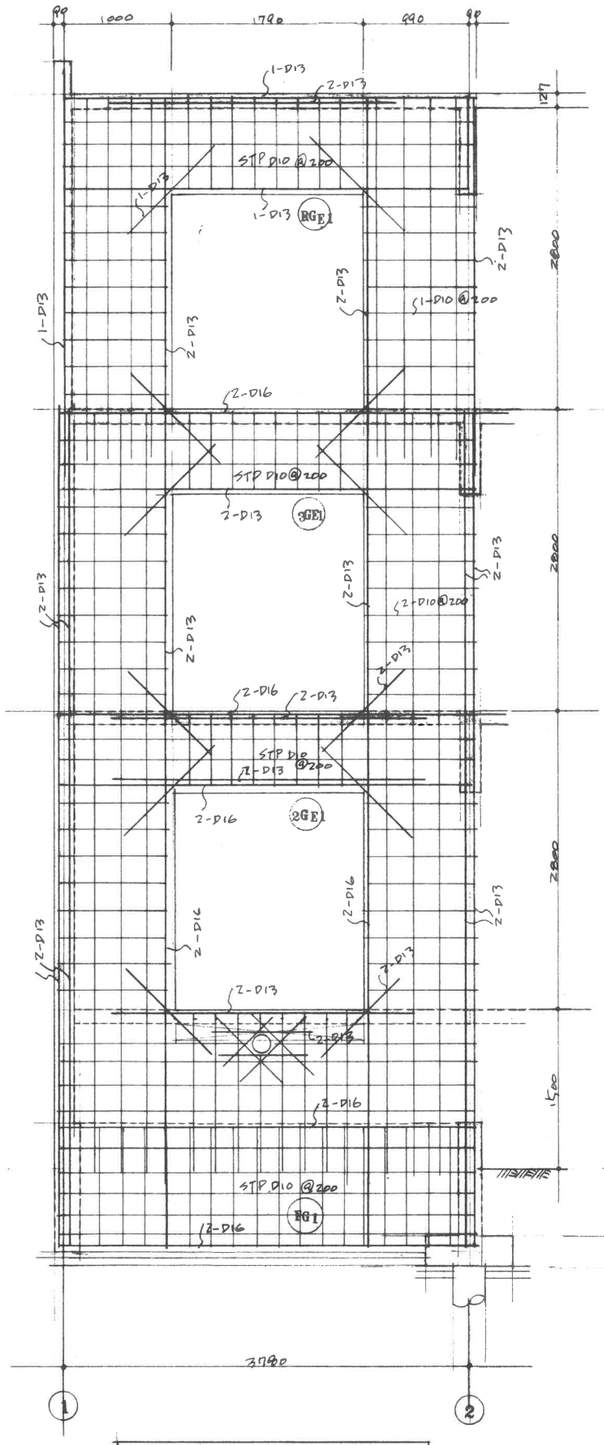
昭和55年8月15日

審査		設計	

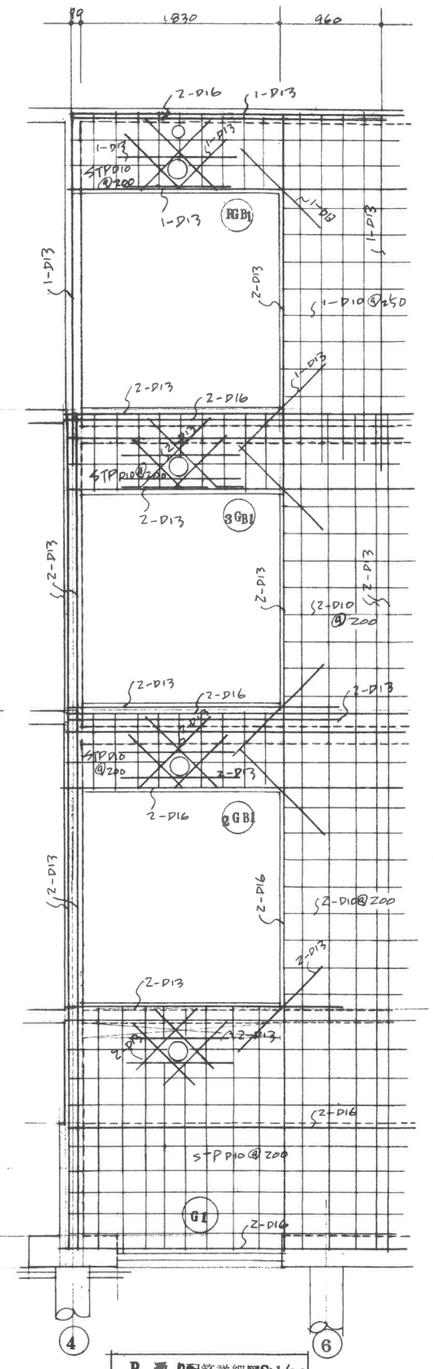
開設者	新潟県知事 登録番号(一)第6402号 理事長 一級建築士 三富 謙
	新潟県建築設計協同組合
管理建築士	電話65—4746～7 登録第8200号 一級建築士 古泉



F 通り配筋詳細図 S:1/30



E 通り配筋詳細図 S:1/30



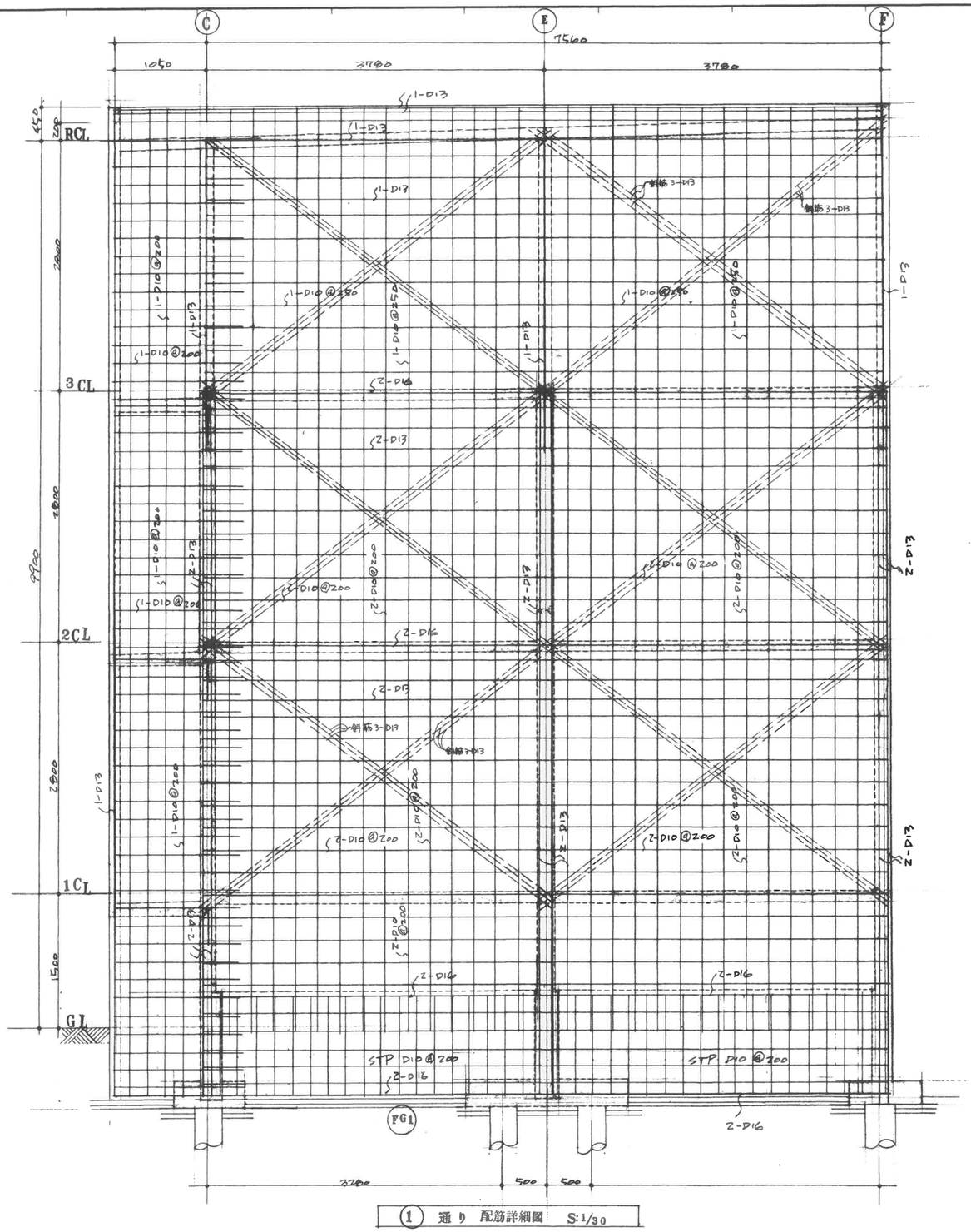
B 通り配筋詳細図 S:1/30

訂正 STP1F RGB1-D10@200
〃 〃 F~3階ロ-D10@200
〃 STP前 D10 @1000

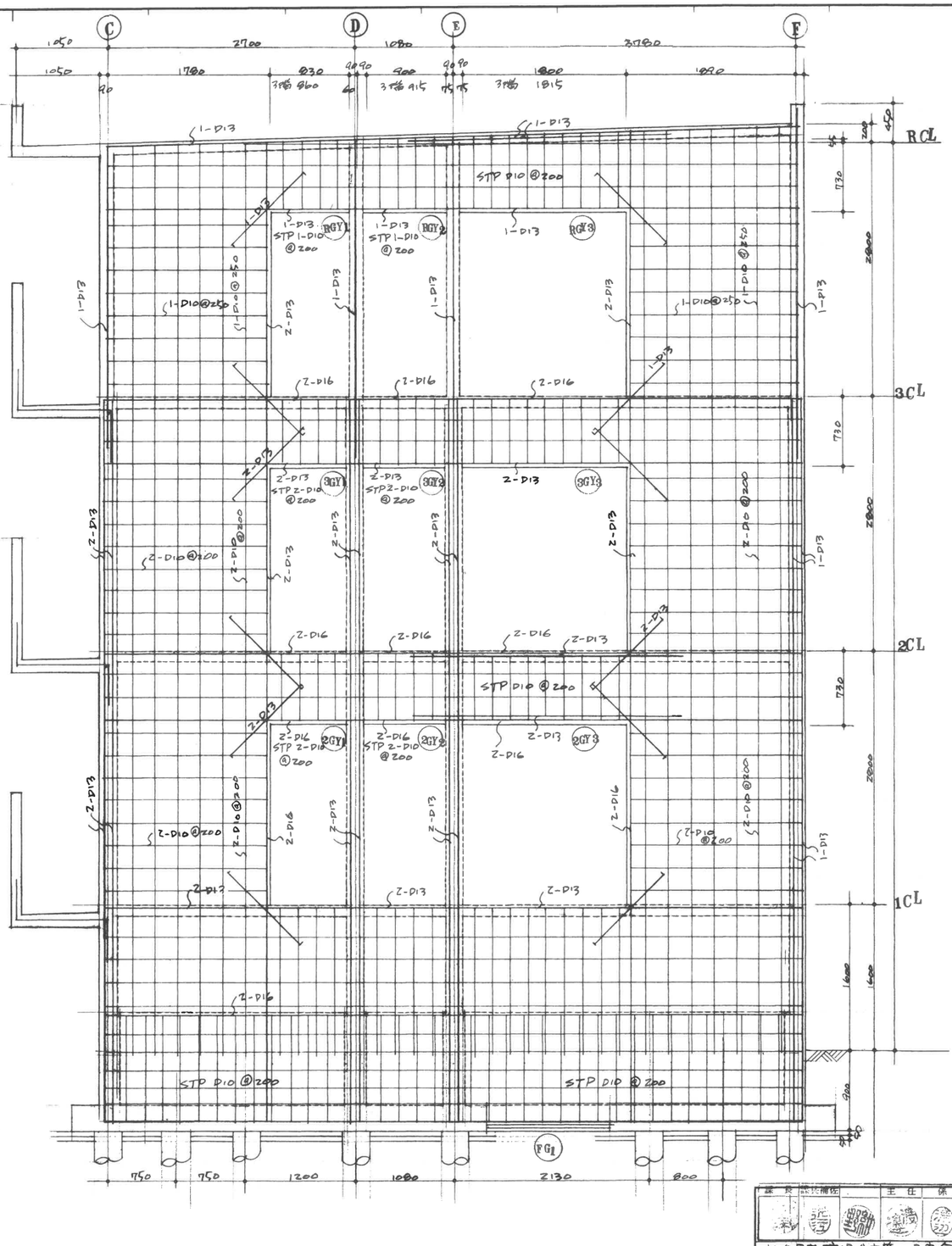
課長	課長補佐	主任	係

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

F E B 通り配筋詳細図		図番	43枚 No. 35
縮尺 S:1/30			昭和57年 8月15日
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号(イ-第6019号)理事長 一級建築士 三富謙 新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65-4746~7 登録第9200号 一級建築士山本新井		



① 通り 配筋詳細図 S:1/30

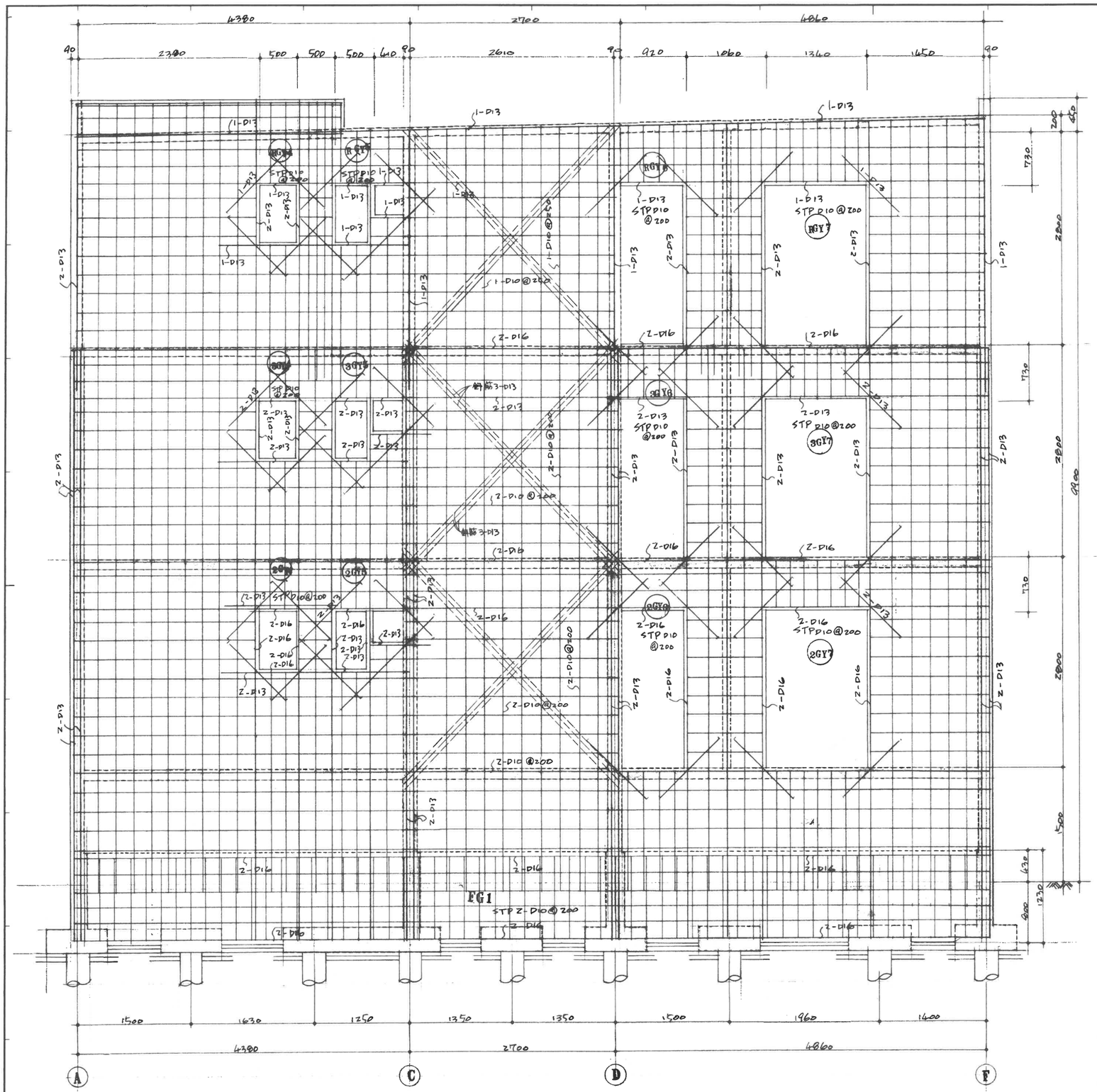


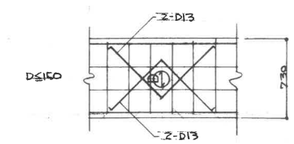
② 通り 配筋詳細図 S:1/30

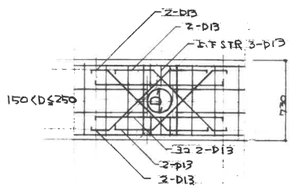
課長	設備担当		主任	係		

新潟県教職員住宅第37号他舎建築 工事

1－2 通り 配筋詳細図		図番	43枚 No. 36
縮尺 S:1/30			昭和55年8月15日
審査		設計	
開設者	新潟県知事	登録番号	一級建築士
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話65－4746－7	登録第9200号	一級建築士







(B種)梁貫通孔補強筋詳細図 S=1/30

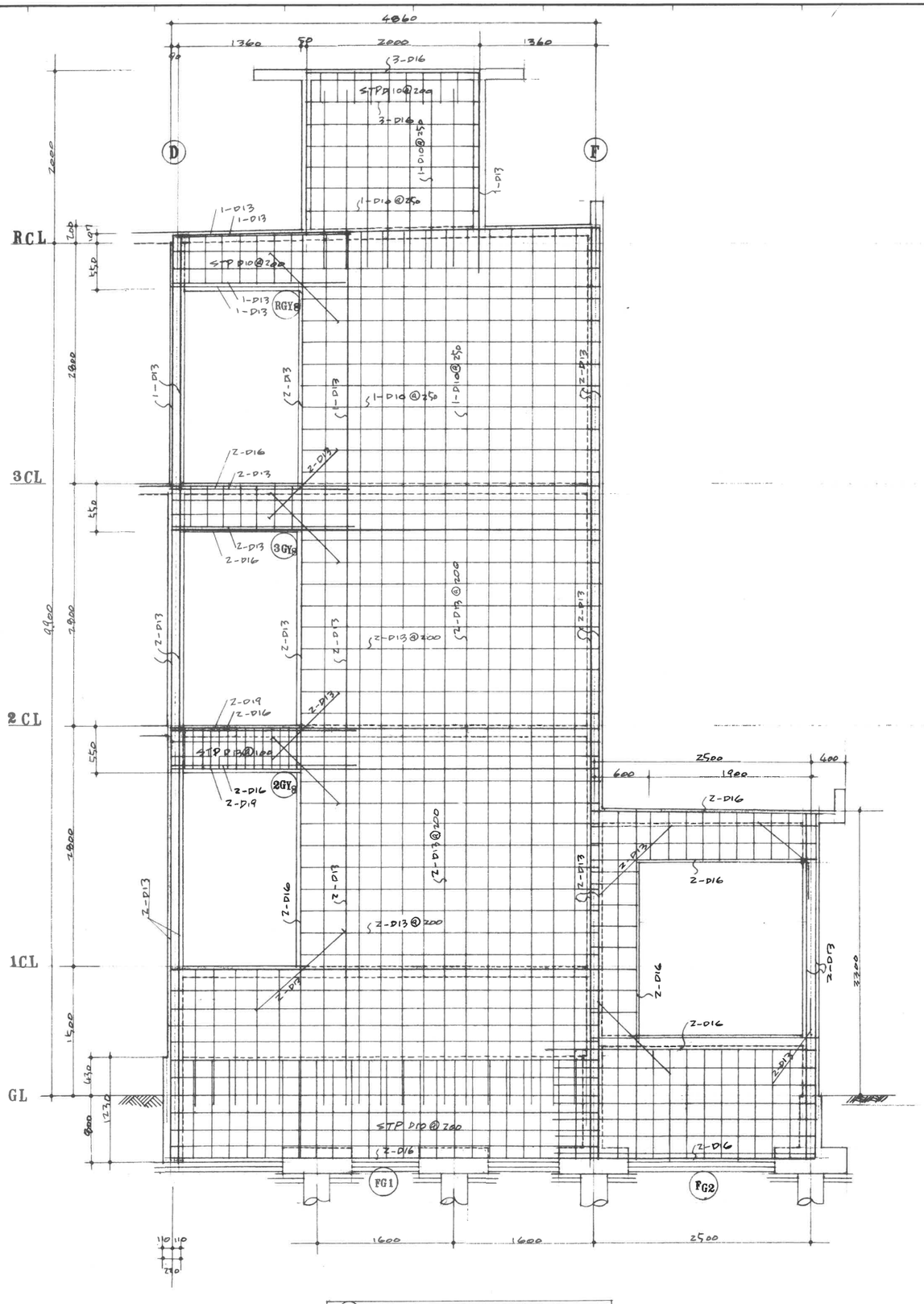
埋設外 STP 1R階 1-D10 @200
〃 〃 F~3階 2-D10 @200
〃 中止筋 D10 @1000

3 通り 配筋詳細図 S:1/30

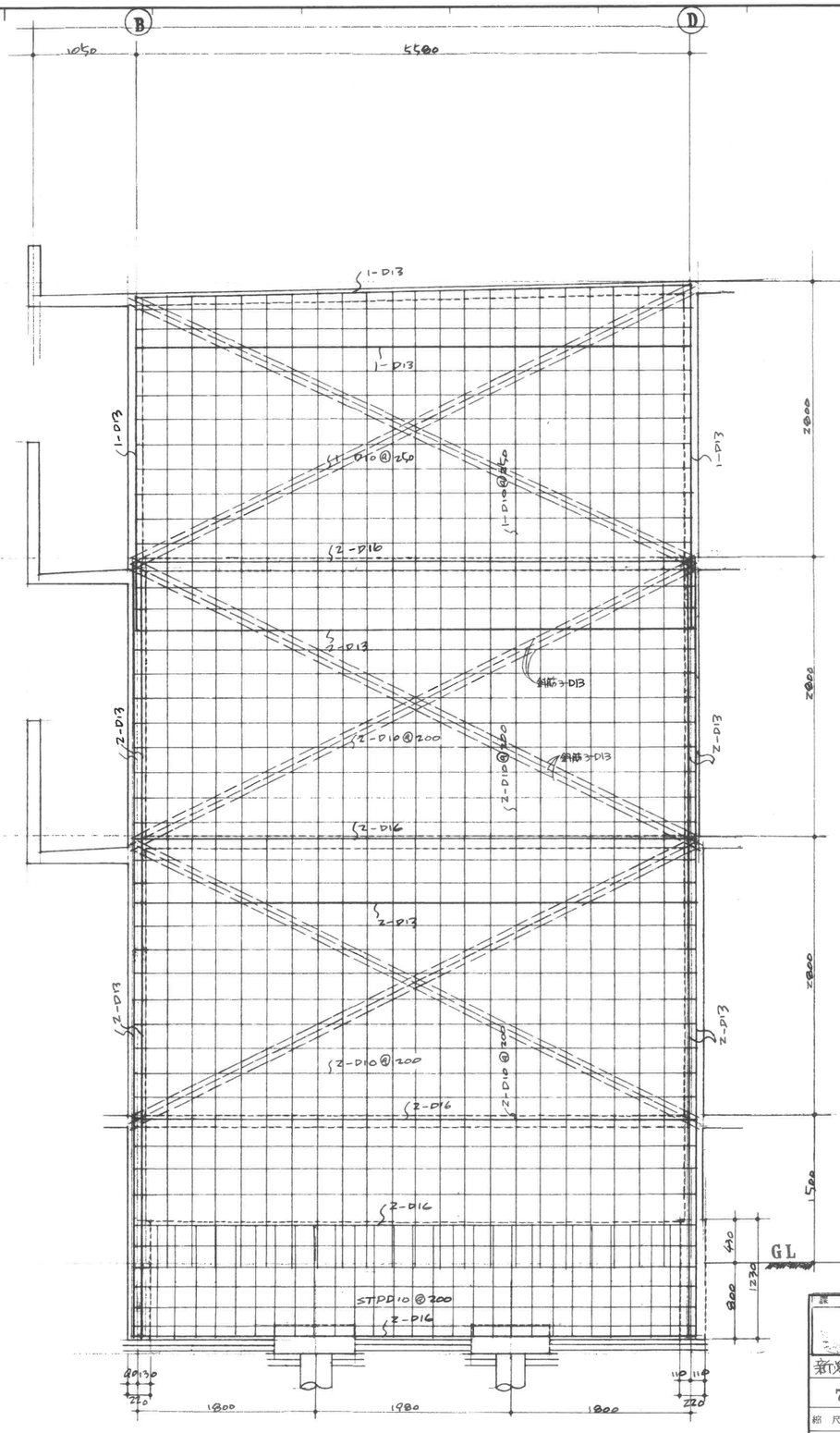
課長	課長補佐	主任	係		

新潟県教職員住宅第3ブロック倉害復旧 工事

3 通り 配筋詳細図		図番	43枚 No. 37
縮尺	S:1/30		昭和55年8月15日
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号(ハ)第6413号	一級建築士	登録
	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65−4746〜7 登録第9200号	一級建築士	登録



⑦ 通り配筋詳細図 S:1/30



⑥ 通り配筋詳細図 S:1/30

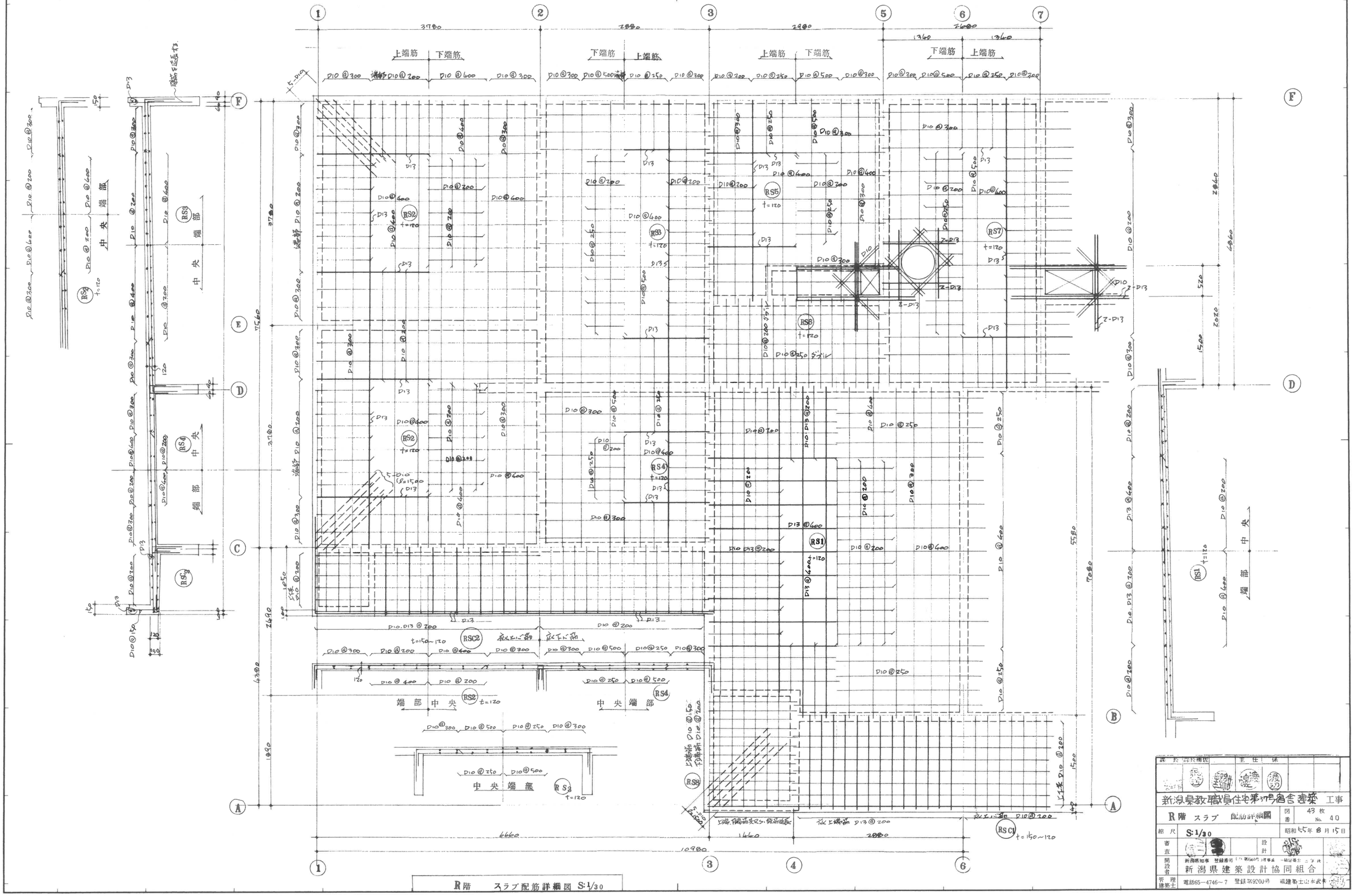
課長	課長補佐		主任	係	

新潟県教職員住宅37号宿舎建築 工事

7-6	配筋詳細図	図番	43枚 No. 38
縮尺	S:1/30	昭和55年 9月15日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号	新潟県建築設計協同組合	
管理建築士	電話65—4746～7	登録第9200号 一級建築士山本武男	

1 3階 スラブ配筋詳細図 S:1/30

課長	補佐		主任	係		
新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事						
1-3 スラブ配筋詳細図				図番	43 枚 No. 39	
縮尺	S:1/30			昭和55年 8月15日		
審査			設計			
開設者	新潟県知事 登録番号(イ)第640号 理事長		構造第七 三宮 譲			
	新潟県建築設計協同組合					
管理建築士	電話65-4746～7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫					



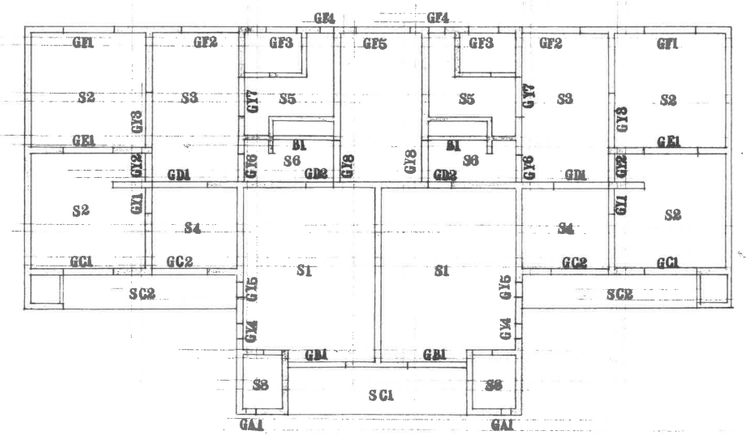
課長	設計補佐		主任	係	
新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事					
R階 スラブ 配筋詳細図			図番	49枚 No. 40	
縮尺	S:1/30			昭和55年8月15日	
審査		設計			
開設者	新潟県知事 登録番号(八)第160号 1級建築士 二宮 武				
管理建築士	新潟県建築設計協同組合				
	電話65—4746～7	登録第9200号	一級建築士山本武男		

梁断面リスト

階 ＼ 記号	G_{A1}	GB_1	GC_1 GC_2	G_{D1}	G_{D2}	G_{E1}	G_{F1}	G_{F2}	G_{F3} G_{F4}	G_{F5}		G_{Y1} G_{Y2}	G_{Y3}	G_{Y4}	G_{Y5} G_{Y6}	G_{Y7}	G_{Y8}
	150×(730-29)	150×730	150×(730+55)	150×(730+107)	150×(730+107)	150×(730+127)	150×(730+200)	150×(730+200)	150×(730+200)	180×(730+200)		150×730	150×730	150×730	150×730	150×730	150×550
R																	
上端筋	1-D13	2-D16	2-D16	2-D16	1-D13	2-D16	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13		1-D13	2-D13	1-D13	1-D13	1-D13	2-D16
下端筋	1-D13	1-D13	1 D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	2-D13		1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	2-D16
S.T.P	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200		D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730		180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×550
3																	
上端筋	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16		2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16 2-D13
下端筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13		2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D16 2-D13
S.T.P	2D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200		2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200
	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×730		180×730	180×730	180×730	180×730	180×730	180×550
2																	
上端筋	2-D16	2-D16 2-D13	2=D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D16	2-D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D16	2-D16		2-D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D16	2-D16 2-013	2-D19 2D16
下端筋	2-D16	2-D16	2-D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D16	2-D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D13	2-D16	2-D16			2-D16 2-D13	2-D16 2-D13	2-D16	2-D16	2-D19 2-D16
S.T.P	2-D10 @150	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200		2-D10 @200	2-D10 @200	2D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D13 @100

記号
- D10
- × D13
- D16
- ● D19

中止筋 D10 @1000

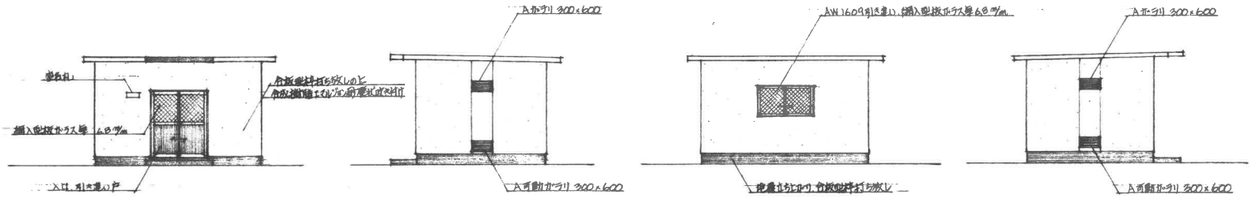


梁断面リスト キープラン S:1/100

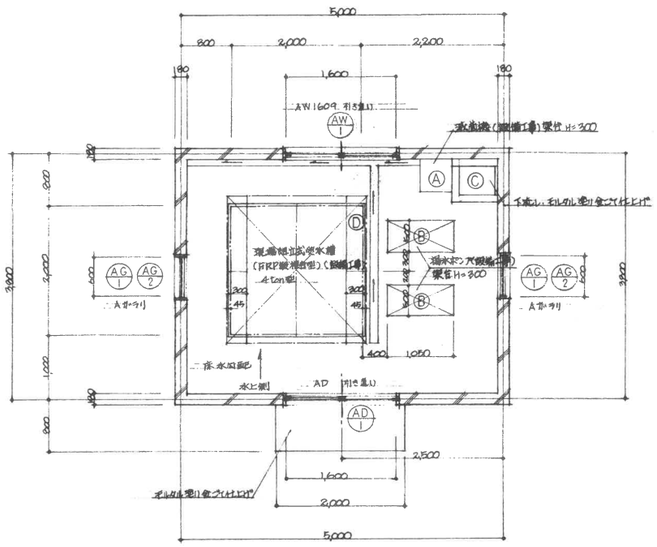
課長	係長	主任	係		

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

梁断面リスト 図	図番	43 枚	No. 41
縮尺 S:1/30		昭和55年 8月15日	
審査	設計		
開設者	新潟県知事 登録番号(ハ)第540号 理事長	新潟県建築設計協同組合	
管理建築士	電話65—4746～7 登録第9200号 一級建築士		



立面図 S:1/100

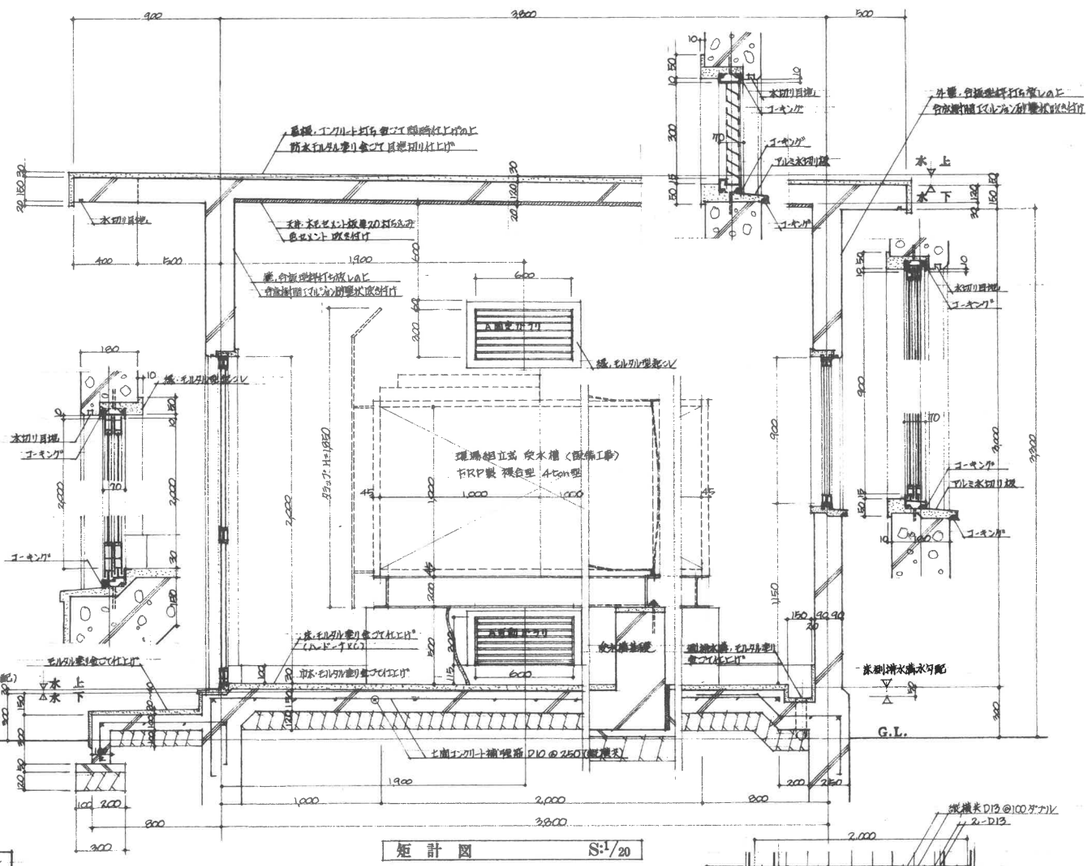


平面図 S:1/50

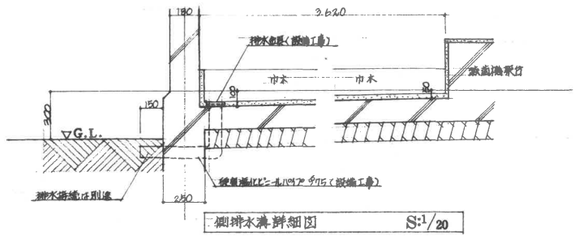
仕上表	
床	モルタル塗り金ごて仕上げ 防塵処理(ハードナー、K.C.)
巾木	モルタル塗り金ごて仕上げ
壁	合成型枠打ち放しの上 合成樹脂エマルション
庇	硝酸水処理を行う
天井	水モルタル厚 平均20㎜ 白色セメント吹き付け
その他	製缶、千流し、ポンプ台

建具表 S:1/50

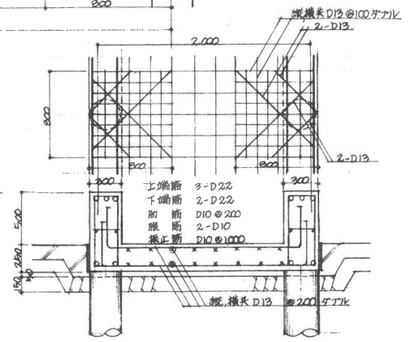
記号	AD 1 1ヶ所	AW 1 1ヶ所	AG 1 2ヶ所	AG 2 2ヶ所
姿図	2,000 / 1,600	900 / 1,600	300 / 600	300 / 600
名称	入口	窓	濾過口(上部)	排水口(下部)
形式	片開きドア(レバーハンドル)	引き違い(レバーハンドル)	固定ガラリ(ルーバーオーダー)	可動ガラリ(ルーバーオーダー)
見込	110㎜	110㎜	110㎜	110㎜
材質	アルミニューム	アルミニューム	アルミニューム	アルミニューム
硝子	網入型板硝子厚6.8㎜	網入型板硝子厚6.8㎜		
金物	錠1箇所(シリンダー錠)	補助用鍵受箱一式	補助用鍵受箱一式	補助用鍵受箱一式
備考	その他、補助用鍵受箱一式 網モルタル押シーリング詰入れとする	アルミ水切り板	アルミ水切り板	アルミ水切り板



矩計図 S:1/20

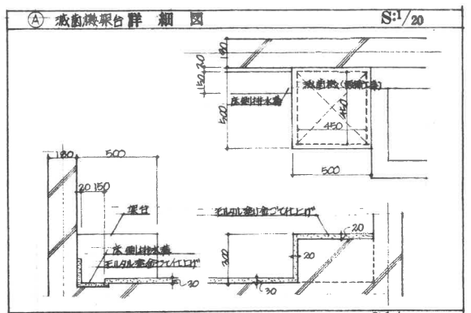


細排水溝詳細図 S:1/20

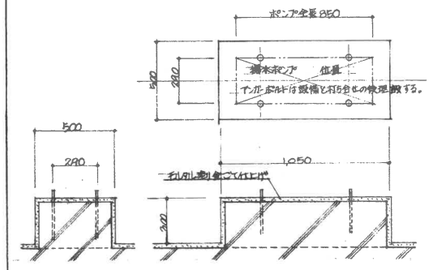


受水槽基礎配筋詳細図 S:1/30

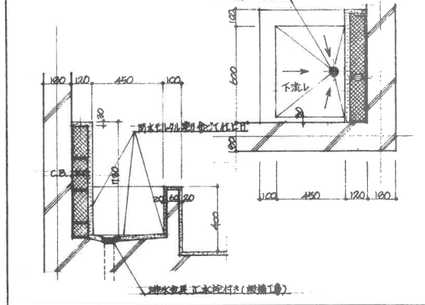
Ⓐ 洗面機架台詳細図 S:1/20



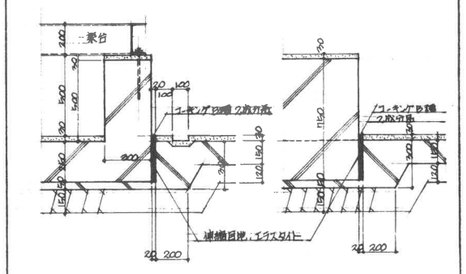
Ⓑ 湯水ポンプ架台詳細図 S:1/20



Ⓒ 下流し詳細図 S:1/20



Ⓓ 受水槽基礎と土間との取合い詳細図 S:1/20



課長	副課長	係長	主任	係			

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

4t型受水槽上家標準 図 図番 43 枚 No. 42

縮尺 昭和45年 8月15日

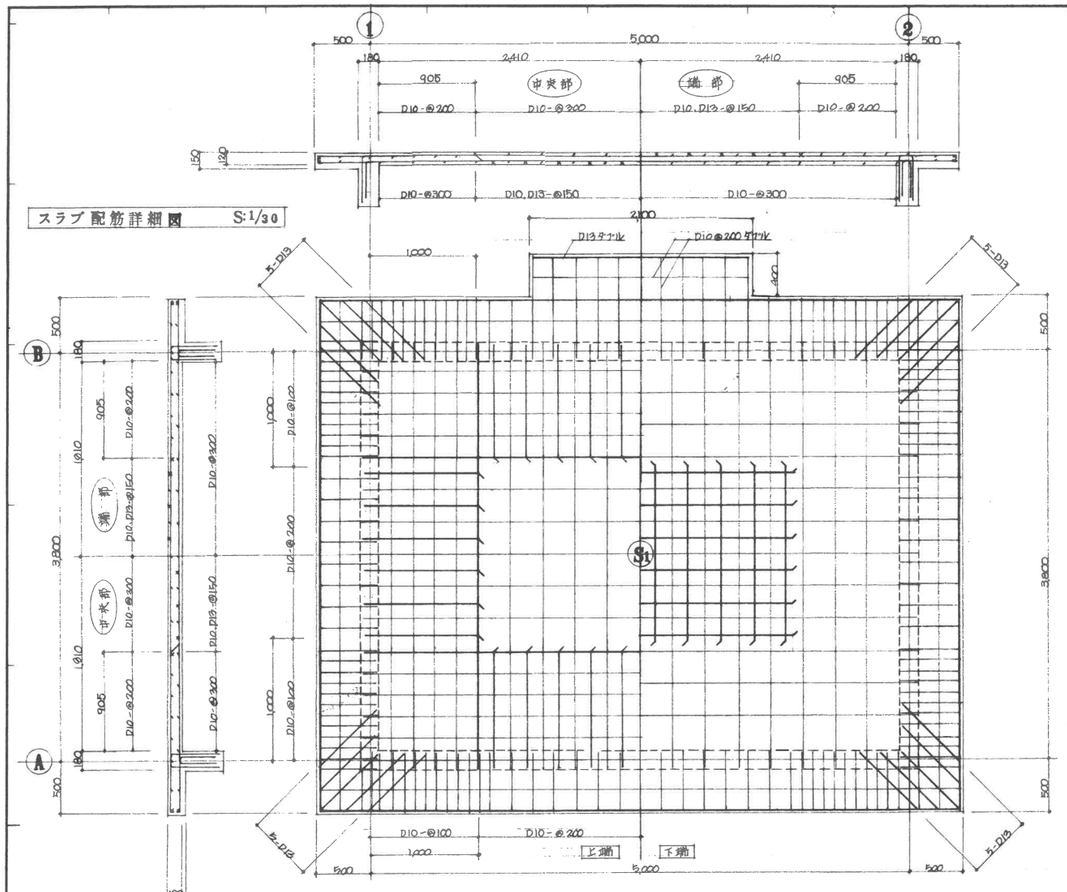
審査			設計		

開設者 新潟県知事 登録番号第640号 一級建築士 二宮 緑

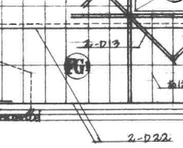
管理建築士 新潟県建築設計協同組合

電話65－4746～7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫

スラブ配筋詳細図 S:1/30

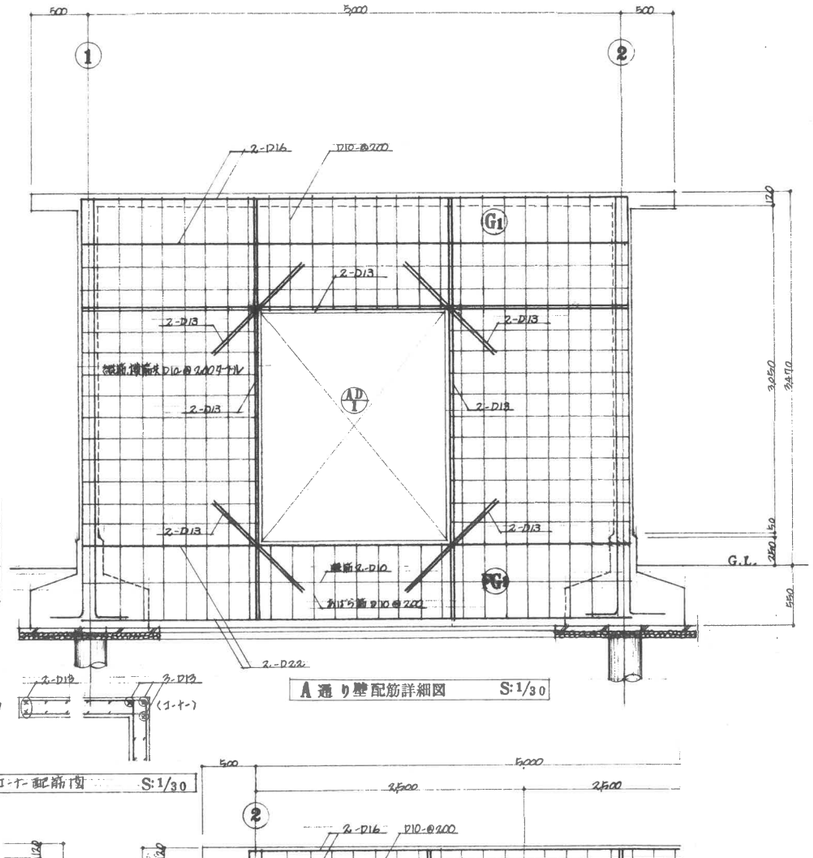


断面リスト S:1/30

	FG1	G1
位置	全断面	全断面
B × D	250 × 800	180 × 500
上端筋	2 - D22	2 - D16
断面		
下端筋	2 - D22	2 - D16
あばら筋	D10 - @200	D10 - @200

スラブ配筋リスト

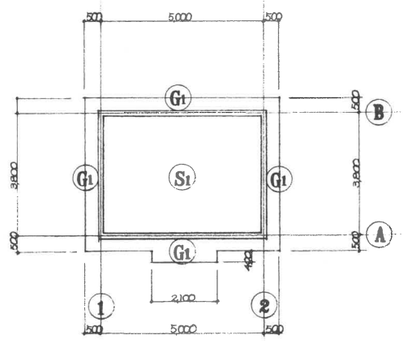
記号	位置	短辺方向（主筋） 中央部 端部		周端部	長辺方向（配力筋） 中央部 端部		周端部
		端部	中央	全域	端部	中央	全域
S1	上端筋	D10,D13-@150	D10-@300	D10-@200	D10,D13-@150	D10-@300	D10-@200
	下端筋	D10-@300	D10,D13-@150	D10-@300	D10-@300	D10,D13-@150	D10-@300



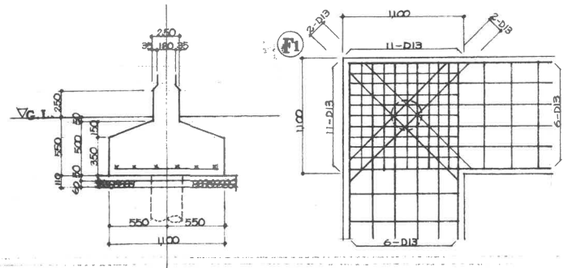
〈端部〉

A通り壁配筋詳細図 S:1/30

基礎伏図 S:1/100



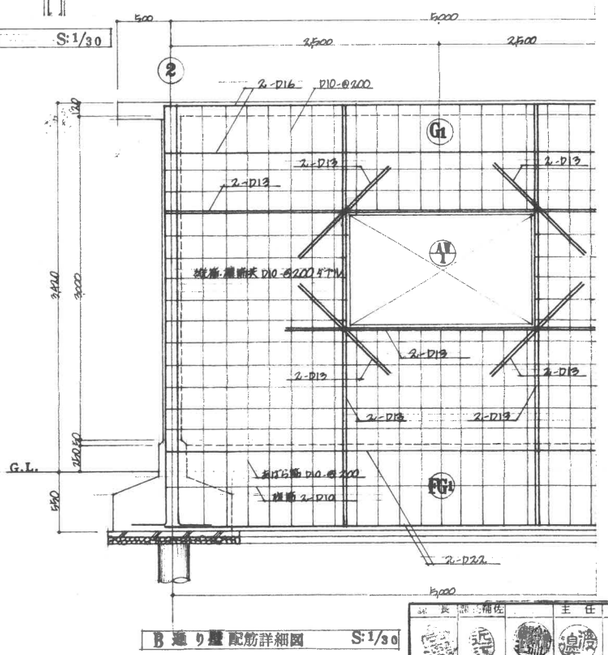
築伏図 S:1/100



基礎詳細図 S:1/30

使用材料	
無筋コンクリート	Fc = 135kg/cm²
鉄筋コンクリート	Fc = 180kg/cm²
鉄筋	SD30

1・2通り壁配筋詳細図 S:1/30



B通り壁配筋詳細図 S:1/30

端部・コーナー配筋図 S:1/30

主任	係

新潟県教職員住宅第37号宿舎建築 工事

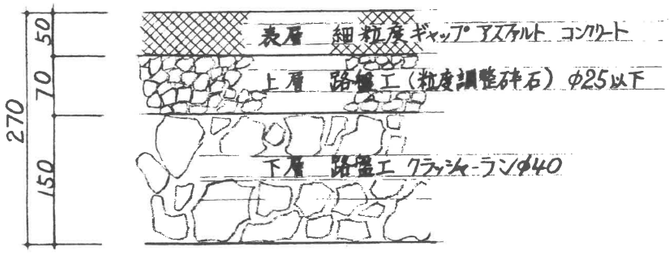
4t型受水槽上家機械 N0.2 図

図番	43枚 No. 43
縮尺	昭和 55年 8 月15日

審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号	一級建築士	
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話565—4746—7	登録第	号

アスファルト舗装 標準図

S 1:5

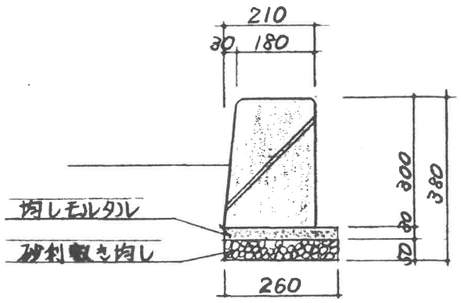


特記事項

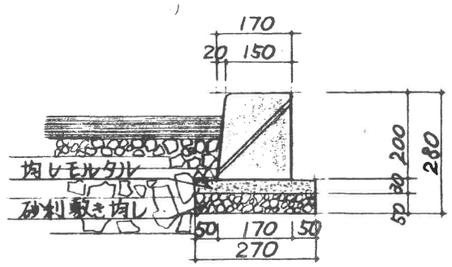
1. 舗装止めブロックの天端は舗装面+50又は+100とし アプローチと歩車境界ブロックの高さは平面図による
2. アスファルト舗装の試験はコアの採取を工区につき1回実施するものとし位置は監督員の指示による
3. アスファルト舗装及び側溝の勾配は施工に際し監督員と打合せのこと
4. 敷地の状況で止むを得ず標準図では納まらない場合は全体配置図を参照し協議すること
5. 植樹、設備排水蓋及びその他 給排水管に支障を来たさないよう打合せすること
6. 街きょ縁石及び側溝 材料 19-7-1(a)による 120型 U字溝は規格外品
7. ブロック,U字溝 据付モルタルの配合は 1:3 とする
8. ( ) はアプローチ 2,500型とし配置図による

敷地境界

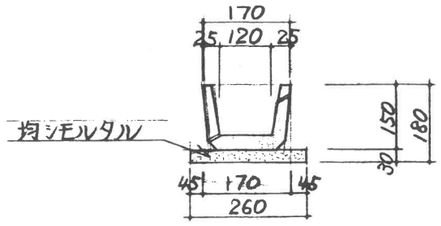
歩車道境界ブロックC種
180×210×300 ℓ=600



歩車道境界ブロックA種
150×170×200 ℓ=600

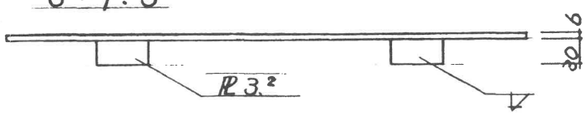


120型U字溝



縞鋼板蓋詳細図

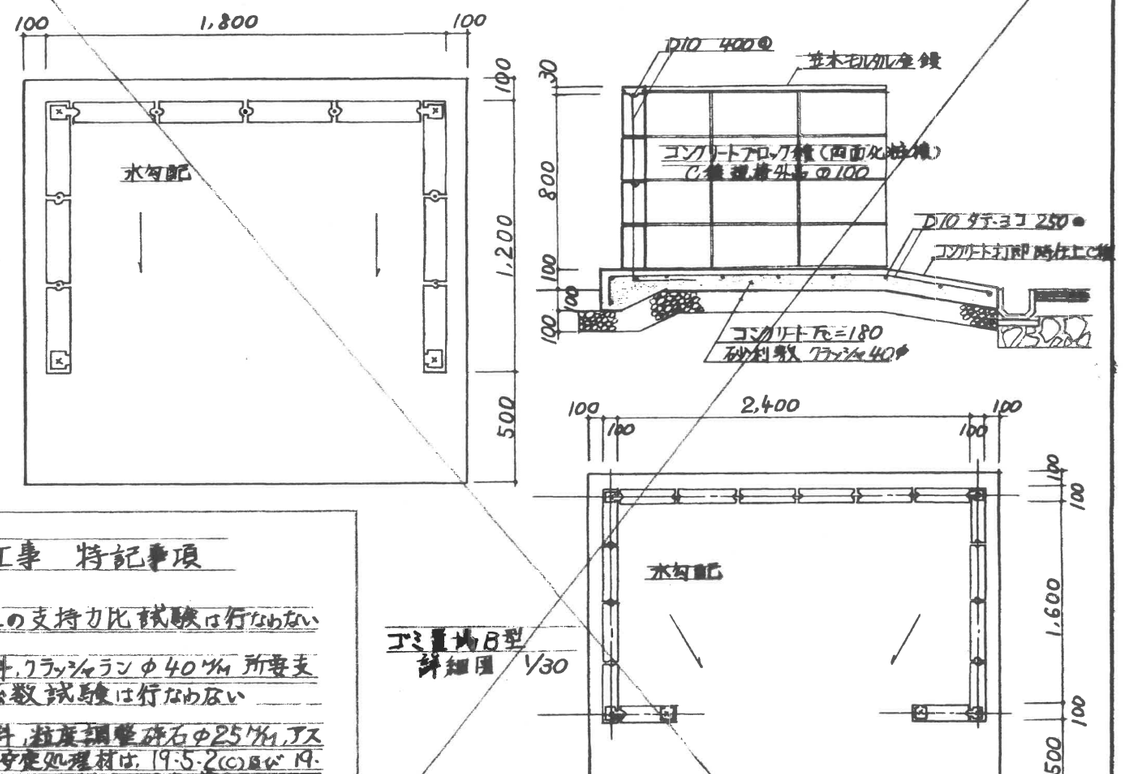
S=1:5



舗装工事 特記事項

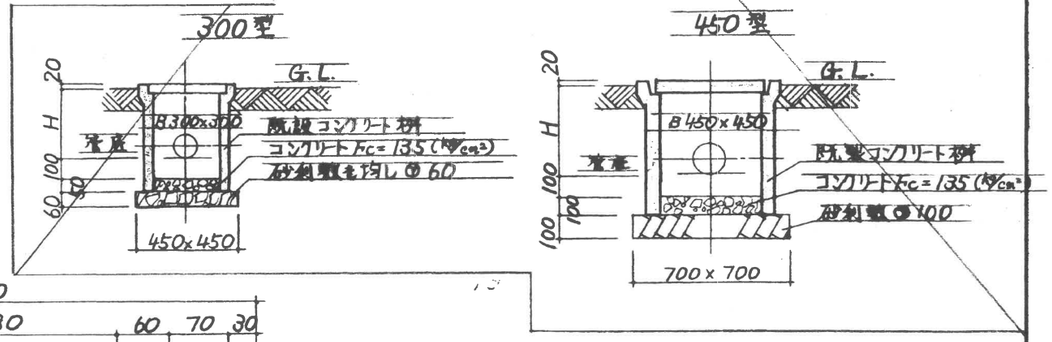
1. 路床、路盤工の支持力比試験は行なわない
2. 下層路盤 材料,クラッシャーラン φ40%以所要支持力係数試験は行なわない
3. 上層路盤 材料,粒度調整砕石φ25%以,アスファルト安定処理材は,19-5-2(c)及び19-3-1表による所要支持力係数試験は行なわない
4. 加熱式アスファルトコンクリート舗装
表層,細粒度ギャップアスファルトコンクリート(13F)土木④配合 アスファルト混合物の抽出試験は行なわない

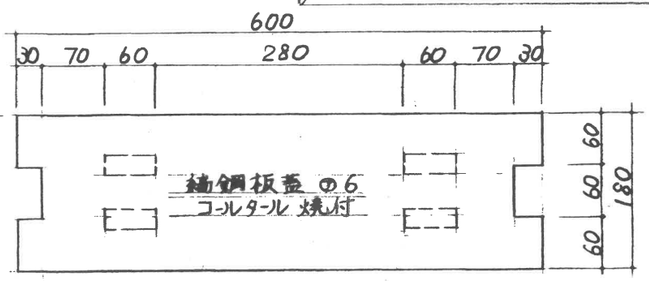
ゴミ置場A型詳細図 1/20



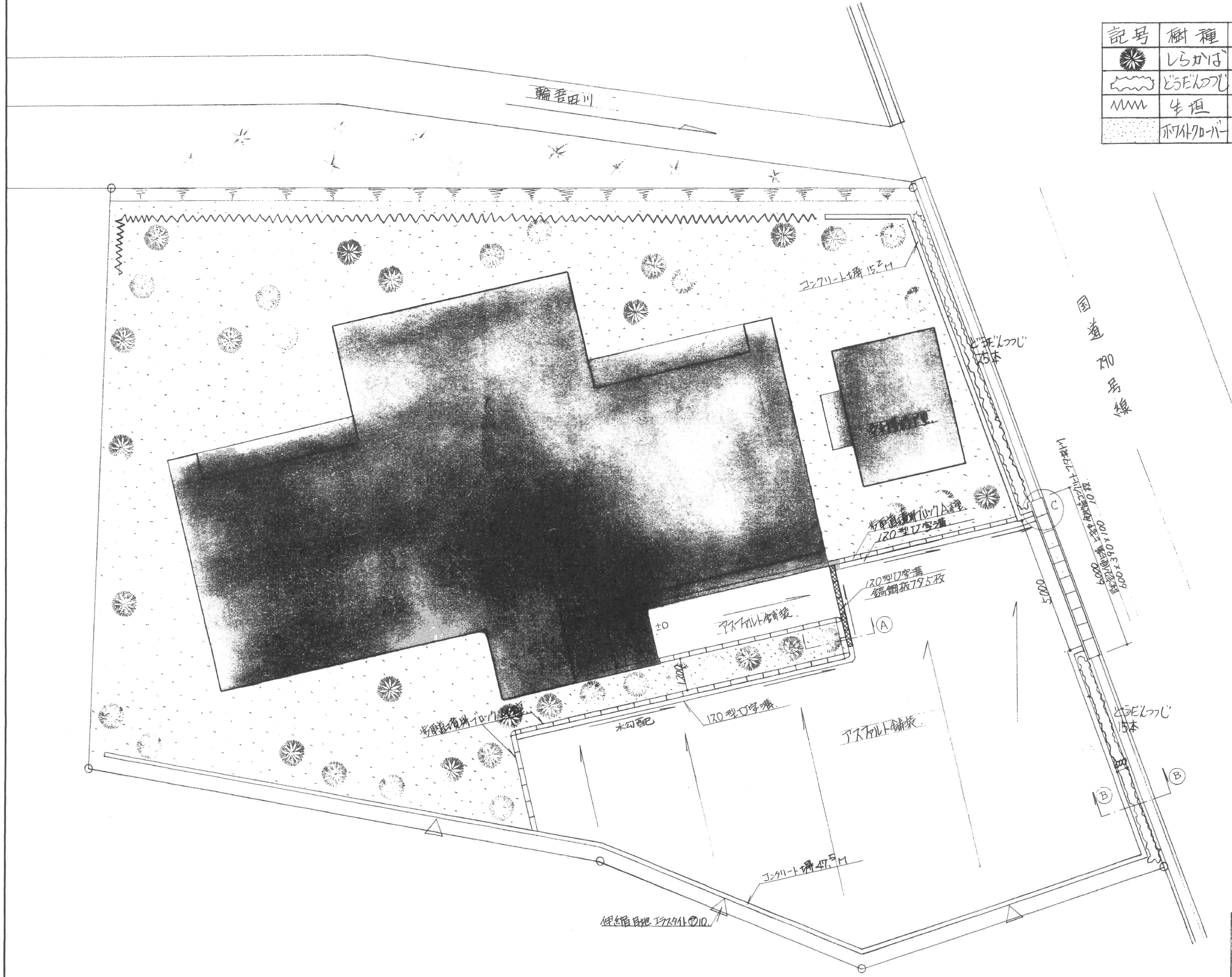
ゴミ置場B型詳細図 1/30

雑排水桝 標準図



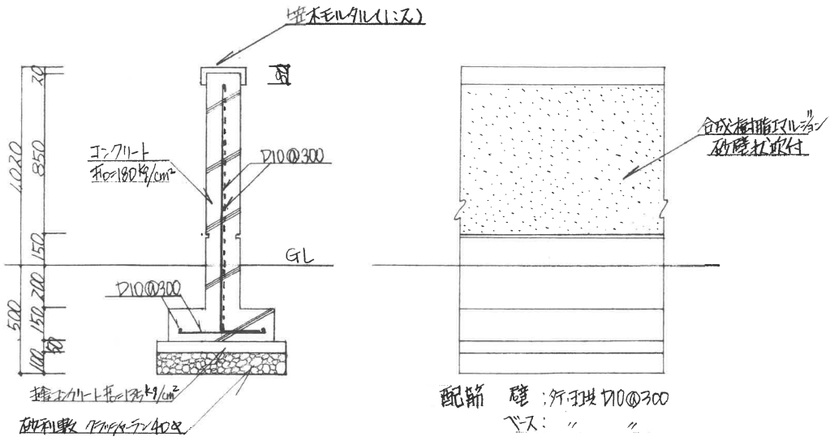


工事名	新潟県公共海岸保全施設整備事業（[illegible]）工事設計図
昭和 55 年度	3 枚 1 号 SCALE
図面名称	屋外附帯 標準図
新潟県土木部 建築住宅課	課長 係長 主任 主任

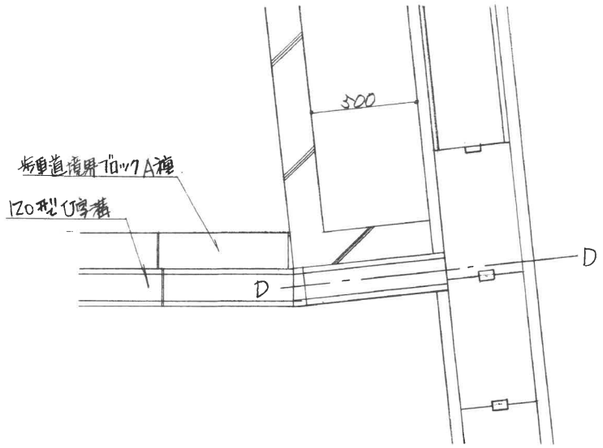


記号	樹種	適用	備考	数量
(symbol)	しらかば	H=4.0M 目通幹廻0.18M 枝張1.5M	二脚鳥居	40本
(symbol)	どうだんつつじ	H=0.8M		40本
(symbol)	生垣	H=1.2M（苗木：まさき H=1.2M）	四目垣	27M
(symbol)	ホワイトクローバー			$253.6M^2$

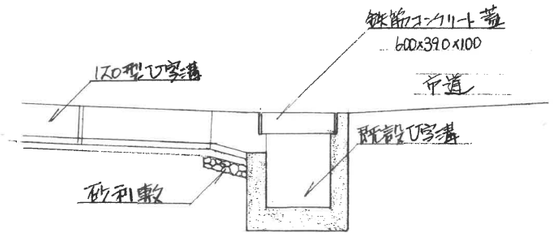
工事名 新潟県教職員住宅オ37号宿舎建築(屋外附帯)工事設計図			
昭和 55 年度	3 枚 2 号	SCALE	1/100
図面名称 配置図			
新潟県土木部 建築住宅課	課長	補佐	係長 / 主任 / 設計



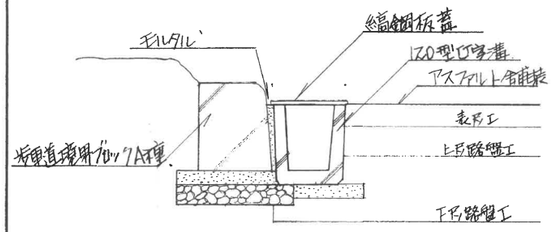
コンクリート塀標準図 1/20



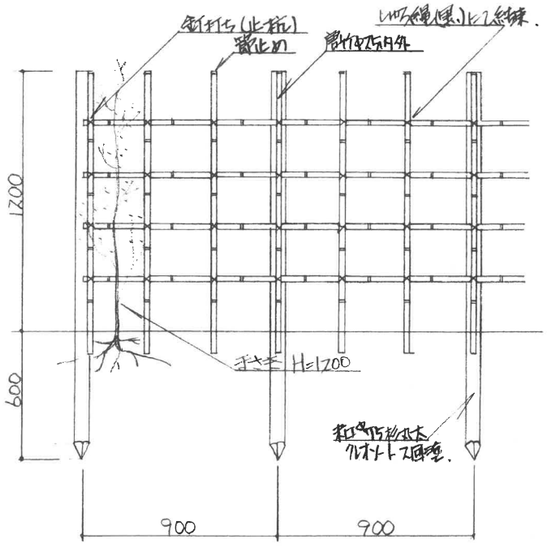
C部 詳細図 1/20



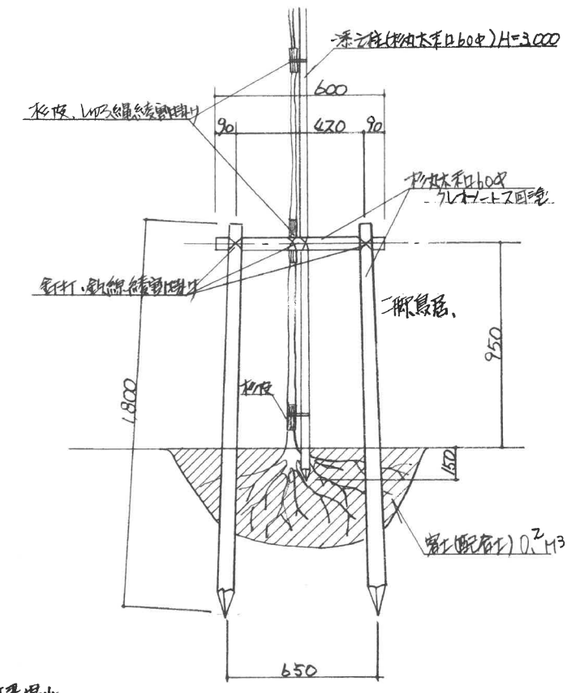
C~D 断面図 1/20



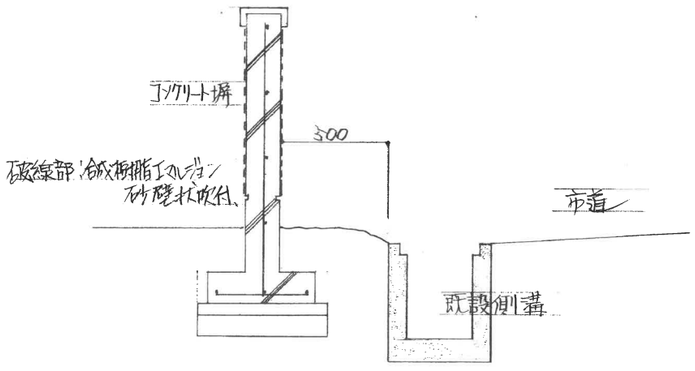
A~A 断面図 1/10



生垣(ささ) 詳細図 1/20



しらかば 詳細図



ち~ち 断面図 1/20

植栽植栽工事 特記事項

保証 保証期間 引渡しの日より1年間、保証書提出

客土(配合土) 1M³当り ピートモス700ℓ バーク堆肥42kg
苦土石灰 1kg 畑土の力M³

ホワイトクローバー 100M²当り、ホワイトクローバー種3.2kg
バーク堆肥100kg

しらかば	配合土:1本当り	0.2M³
まさき	〃 〃	0.015M³
どうだんつつじ	〃 〃	0.015M³

工事名 新潟県教職員住宅(3戸建)給排水衛生(屋外附帯)工事設計図

昭和55年度 | 3枚 3号 | SCALE 1/10 1/20

図面名称 各部詳細図

新潟県土木部 建築住宅課 課長 補佐 係長 主任 設計

新潟県教職員住宅オ37号宿舎(新尾)電気 工事特記仕様書

工事場所　新潟県西蒲原郡巻町大字巻潟2丁目1278番地2号

Ⅰ 電気設備工事特記仕様

1. 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて新潟県電気設備工事共通仕様書(昭和52年版)による。
2. 特記仕様
   (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
   特記事項は⊙印のついたものを適用する。
   (2) ⊙印のない場合は、※のあるものを適用する。
   ⊙印と※のある場合は共に適用する。
   (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、電気設備工事共通仕様書の当該項目又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	(1) 適用基準等	設計図書等の優先順位は次の通りとする。 1. 現場説明書　2. 特記仕様書　3. 図面　4. 共通仕様書　5. 設計書 建築工事写真撮影要領（新潟県土木部制定　S50.9）
	(2) 機材等	機材の製造所・製品及び施工業者などは、建築資材製造者等指定名簿（新潟県土木部制定S.5.5）及び特記されたものとする。
	(3) 電気主任技術者	電気主任技術者を工事現場に　•おく。　⊙おかない。　(1.1.7) 電気主任技術者は、次の資格者とする。 •第1種電気主任技術者　•第2種電気主任技術者　•第3種電気主任技術者 •自家用電気工作物電気主任技術者として認定できる者。ただし、履歴書及び技術を認定できる書類を提出し監督員の承諾を受けた者とする。 ※自家用電気工作物においても法令で定める電気工事士とする。
	(4) 施工従事者	•発生材料調書とともに監督員に引渡す　•監督員の指示により処理　•構内に集積
	(5) 発生材の処理	⊙構外搬出適切処理　(1.1.10)
	(6) 完成図等	•提出する（•完成図　•保守指導案内書）　•提出しない　(1.6.2) ⊙設計変更した場合に提出する。　⊙完成図　•保守指導案内書)
	(7) 工事写真等	工事施工状況写真を　※1部　•　部提出する。　(1.6.2) 完成写真を　⊙2 部提出する。 完成写真は　•カラー写真とする。　⊙カラー写真は監督員の指示による。
	(8) 足場・さん橋等	※別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　(2.1.1) •本工事で定置する。
	(9) 監督員事務所等	※設けない。　•設ける。（•1号•2号•3号•4号•5号　•　㎡）　(建2.3.1.表) •仮設事務所の中に監督員用空間を　㎡程度確保する。
	(10) 工事用電力・水等	工事用電力　構内既存の施設　※利用できる。　(※有償　•無償)　⊙利用できない。 工事用水　構内既存の施設　※利用できる。　(※有償　•無償)　⊙利用できない。
	(11) 残土処分	※構内指示の場所に敷ならし　•構内指示の場所にたい積　•構外搬出適切処置　(2.2.1)
	12. 地業工事	種別　•割り石地業　※玉石地業　•砂利敷き締固め　•砂利敷き　(2.3.1)
	13. 鉄筋	目つぶし砂利及び砂利の種別　※砂利　•砕石 •丸鋼　•A種　•B種　(2.4.1)(建5.1.1表) •異形鉄筋　•SD30　•SD35
	(14) コンクリート工事	粗骨材　※砂利　•砕石　•砂利と砕石の混合（　*/wt以下）　(2.4.1)(建6.2.2) 細骨材　※洗砂　• 鉄筋コンクリート　※レデーミクストコンクリート（※Ⅰ類　•Ⅱ類）　(建6.1.1表) •現場練りコンクリート　※手練り(1:3:6)　•機械練り(•容積•重量) 設計基準強度（kg/cm²） •210　施工箇所（　） •180　施工箇所（　） •150　施工箇所（　） •135　施工箇所（　） •現場練りコンクリート　施工箇所（　） 無筋コンクリート　※レデーミクストコンクリート　（※Ⅰ類　•Ⅱ類）　(建6.9.1表) •現場練りコンクリート　※手練り(1:3:6)　•機械練り(•容積•重量) 設計基準強度（kg/cm²） •180　施工箇所（　） ⊙150　施工箇所（打放者硬） •135　施工箇所（　） •現場練りコンクリート　施工箇所（　） 強度試験　※強度を指定されたコンクリートは強度試験を実施する。 •下記のコンクリートは強度試験を省略することができる。 （　）
	(15) 塗装	塗料の品質　⊙JIS規格品　•規格品外　(2.7.1)(2.7.2) 塗料の規格種別 さび止めペイント　鉄部　※（JISK5622～5625）　•（JISK5621） 亜鉛めっき面　※（JISK5627） 調合ペイント　合成樹脂系　※（JISK5516）　油性系•（JISK5511～5515） アルミニウムペイント　※（JISK5492） 絶縁ワニス　⊙位置ボックス類の内面は絶縁ワニスを使用することができる。
	(16) ねじなし電線管の使用	※　使用してよい。　•使用しない。
	(17) フラッシュプレート	種別　⊙樹脂製フルカラー　•ステンレス製　※新金属製 通信用　•丸形　※角形
	(18) プレートの用途別表示	ジョイントボックス用　•丸形　※角形 ※ジョイントボックス及び器具を実装しないプレートには略様などを用いて用途を明示する。
	(19) インサート	本工事に　※含む。　•含まない。
	(20) 貫通孔のスリーブ	※スリーブは鋼管製又は鋼板製とする。　(建22.3.1)(機1.8表) ⊙下記以外の箇所でやむを得ない場合は、監督員の承諾を受けて紙製又は合成樹脂製スリーブを使用することができる。ただし、型わく取外し後完全に取除くものとする。 ※　防火区画の（※はり　•床　•壁）を貫通する箇所 ※　幅が（※300mm　•350mm）以上のはり ※　ピット及び水槽などに接するはり及び壁

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	(21) 他工事との取合い	電気一次側電源供給の別契約機器の接地は（※本工事　•別途）とする。 電気二次側の機器及び特記のある機器の接地は（•本工事　※別途）とする。 鉄筋コンクリートの躯体（はり、壁、床）の貫通スリーブは（※本工事　•別途）とする。 壁、床を貫通する仮わく（分電盤　端子盤　プルボックス等）入れは（※本工事　•別途）とする。ただし、換気扇の仮わくは（•本工事　※別途）とする。 貫通スリーブ及び仮わくの補強鉄筋は（•本工事　※別途）とする。 埋込形器具の取付場所の天井ボード類、下地の切込み、下地の補強は（•本工事　※別途）とする。 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の補強及びドアーチエック、フロアーヒンジは（•本工事　※別途）とする。
2 電灯設備	(1) 電気方式	幹線　⊙単相3線式　200/100V　•直流2線式　100V 分岐　⊙単相2線式　100V　•直流2線式　100V
	(2) 非常用照明電源	⊙電池内蔵形　•電源別置形
	3. フロアボックス	•アウトレットボックスとする。
	4. フロアプレート	※水平高低調整式　•水平調整式　•簡易式 （いづれの場合も工具締め形又は空転防止形とする。）
	5. ハイテンションアウトレット	•内部固定形　※外部固定形　•飛出し形
3 動力設備	(1) 電気方式	⊙三相3線式　200V
	(2) 電動機の接地	•単独接地　•共通母線式 ⊙全鳥常接地（11kw以上の電動機は単独接地又は共通母線式とする。）
	(3) 電極棒	本工事に　※含む。　•含まない。
	4. フロートスイッチ	本工事に　•含む。　※含まない。
	(5) 進相用コンデンサー	本工事に　⊙含む。　※含まない。
4 受変電設備	1. 電気方式	•三相3線式　KV
	2. 盤形式	•閉鎖形　•半閉鎖形　•開放形
	3. 接地	※第1種　第3種共用　第2種単独　•単独　•共同（3Ω以下） ただし、避雷器接地は単独とする。
	4. 屋外キュービクル基礎	本工事に　•含む。　•含まない。
	5. 配線ピット及びふた	本工事に　•含む。　※含まない。
5 自家発電設備	1. 電気方式	•三相3線式　•6KV　•200V　•単相100V
	2. 原動機の始動方式	•電気始動式　•空気始動式
	3. 制御方式	※自動式　•手動式
	4. 基礎	本工事に　•含む。　※含まない。
	5. 電線ピット及びふた	本工事に　•含む。　※含まない。
	6. 貯油槽	本工事に　※含む。　•含まない。
	7. 給排水	本工事に　•含む。　※含まない。
	8. 認定証票	※消防法にかかわる設備は自家発電設備認定委員会の認定証票が貼付されたものとする。
6 避雷針設備	1. 突針部	•突針　•むね上導体
	2. 引下げ導線	鉄骨又は鉄筋を　•利用する。　•利用しない。
	3. 基礎	本工事に　•含む。　•含まない。
7 電話配線設備	1. フロアボックス	•アウトレットボックス　とする。
	2. フロアプレート	※水平高低調整式　•水平調整式　•簡易式 （いずれの場合も工具締め形　又は空転防止形とする。）
	3. ボタン電話用位置ボックス	•大形四角アウトレットボックス深形とする。
	4. ローテーションアウトレット	•一般用　個　•ボタン電話用　個
	(5) 保安器用接地	本工事に　⊙含む。　•含まない。
	6. 電話機取付台数	•　台
	7. 配線	•電話線1台につきTIV(0.65~2Φ) 20m　1号ワイヤープロテクター1.5m以上をみこむ。
8 構内交換設備	1. 交換機形式	•ボタン電話装置　•クロスバ分散形中継式 •クロスバ簡易キャビネット形中継台式 •クロスバキャビネット形中継台式　•クロスバ架形中継台式
	2. 中継台の種類	※無ひも式　•有ひも式
	3. 電話機の色別	•黒電話　•色電話
9 電気時計設備	1. 親時計	•自立形　•壁掛形
	2. 時報子時計	親時計に　※内蔵　•別置
	3. チャイム	親時計に　※内蔵　•別置
10 拡声設備	1. 増幅器	•卓上形　•キャビネットラック形　•デスク形 出力　W
	2. マイクロホン	※単一指向性ダイナミック形
	3. マイクスタンド	•床上形　•卓上形
	4. テープレコーダー	•カセット式　•オープンリール式
	5. アンテナ	本工事に　•含む。（•ホイップ　•FM　素子）　※含まない。
	6. 接地	本工事に　※含む。　•含まない。
11 表示電鈴設備	1. 電圧	•DC　V　•AC　V　•AC100V
	2. 表示器用位置ボックス	6窓を超えるものは　•大形四角アウトレットボックス深形　•特殊ボックス
	3. 電鈴	•埋込形　•露出形
	(4) チャイム	⊙AC100V　音量調整式

章	項目	特記事項
12 インターホン設備	1. 電源	•AC100V　•
	2. 通話方式	•電話形同時通和　•電話スピーカ形同時通話　•スピーカ形交互通話
	3. 通話網の方式	•親子式　•相互式　•複合式
	4. 形式	親機　•卓上形　•壁掛形 子機　•卓上形　•壁掛形　•天井埋込形
	5. 位置ボックス	•大形四角アウトレットボックス深形　•特殊ボックス
13 テレビ共聴設備	(1) 配線方式	※直列ユニット　•幹線分岐式
	(2) アンテナ	⊙VHF12素子以上　⊙UHF 20素子以上
	(3) 増幅器	⊙含む　•含まない
	4. アンテナ取付ボルト	•13φ　個以上設ける
	5. 避雷器	※設置する。　•設置しない。
	(6) 基礎	本工事に　•含む。　⊙含まない。
14 火災報知設備	1. 受信機	•P形　級　回線
	2. 副受信機	•　回線
	3. 発信機	•P形　級
	4. 総合盤	•消火栓箱(別途)に組込む。　•専用
	5. 表示灯	※AC24V　•AC100V
	6. 消火栓ポンプ始動	•発信機と連動　•単独
	7. 付属品	※P形1級受信機の場合は、携帯用送受話器を1個付属させる。ただし、副受信機を併用する場合は、その台数を加えた個数とする。
	8. 連動制御器	•　回線
	9. 自動閉閉装置	•防火戸用は本工事に　（※含む。　•含まない。）
		•防火シャッタ用は本工事に　（※含む。　•含まない。）
		•防火ダンパー用は本工事に　（•含む。　※含まない。）
	10. 非常警報	•設ける。　•設けない。
15 防配電設備	1. 受信機	•　回数（予備電源付）
	2. 警戒方式	•無線式　•赤外線式　•有線式
	3. ベル	⊙AC100V　150Φ　90ネ2巻以上
16 構内配電線路	1. 電気方式	•高圧　三相3線式　KV　⊙低圧　三相3線式　200V ⊙低圧　単相2線式　100V　•低圧　単相　線式　V
	2. 配線方式	⊙地中線式（•直埋式　⊙管路式）　•架空線式
	3. 道路横断箇所	※直埋式の場合、道路横断箇所は管路とする。
	4. 耐塩機材	•使用する。　•使用しない。
	5. 高圧ケーブルの標識シート	※設ける。　•設けない。
	(6) 外灯接地	⊙単独とする。ただし、埋設標は設けない。
	(7) 外灯基礎	※含む。　•含まない。
17 弱電内配線路	1. 配線方式	•地中線式（•直埋式　•管路式）　•架空線式
	2. 道路横断箇所	※直埋式の場合、道路横断箇所は管路とする。

Ⅱ 機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

	名称	測点	取付高㎜
電力共通	取引用計器	地上－上端	※2,000　•
	引込開閉器	〃	※1,800　•
電灯	分電盤	床上－中心	※1,500(上端1,900以下)　•
	タンブラスイッチ	〃	※1,300　•
	コンセント（一般）	〃	※ 300　•
	〃（和室）	〃	※ 200　•
	〃（台上）	台上－中心	※ 150　•
	ブラケット（一般）	床上－中心	※2,100　•
	〃（踊場）	〃	※2,500　•
	〃（鏡上）	鏡端－中心	※ 150　•
	〃（浴室）	床上－中心	※天井高×0.9　•
動力	壁掛形制御盤	床上－中心	※1,500　•
	手元開閉器	〃	※1,500(上端1,900以下)　•
	操作スイッチ押ボタン	〃	※1,300　•
電話	室内端子盤	床上－下端	※ 300　•
	中間端子盤	床上－中心	※1,500　•
	保安器箱	〃	※天井高×0.9　•
	壁付位置ボックス		
	〃（一般）	床上－中心	※ 300　•
	〃（和室）	〃	※ 200　•
時計・拡声	壁掛形親時計	床上－中心	※1,500(上端1,900以下)　•
	子時計	〃	※天井高×0.9　•
	壁掛形スピーカ	〃	※天井高×0.9　•
	壁付音量調整器	〃	※1,300　•
表示・電鈴	表示器	床上－中心	※天井高×0.9　•
	壁付発信器	〃	※1,300　•
	ブザー・ベル	〃	※天井高×0.9　•
	押ボタン	〃	※1,300　•
インターホン	壁付インターホン	床上－中心	※1,500　•
	壁付位置ボックス		
	〃（一般）	〃	※ 300　•
	〃（和室）	〃	※ 200　•
テレビ	分配器箱	床上－中心	※天井高×0.9　•
	テレビアウトレット		
	〃（一般）	〃	※ 300　•
	〃（和室）	〃	※ 200　•
火災報知	受信機・副受信機	床上－操作部	※ 800～1,500　•
	専用総合盤	床上－中心	•
	発信器	〃	•
	ベル	〃	※天井高×0.9　•
	消火栓・表示灯	〃	※天井高×0.8　•

Ⅲ 試験

試験は下表により実施し、監督員に試験成績表を提出する。　(1.4.4)(1.5.5)

名称・項目	現場試験 実施する	現場試験 実施しない	機材試験表	備考
照明器具 点灯試験	※	•	※	共仕2 1.9.2 2.18.2 及び 1.9.2表
照明器具 絶縁抵抗試験	※	•	※	
照明器具 耐電圧試験	•	⊙	※	
照明器具 人力試験	•	⊙	※	
照明器具 力率試験	•	⊙	※	
照明器具 温度上昇試験	•	⊙	※	
照明器具 熱変形試験	•	⊙	※	
照明器具 熱衝撃試験	•	⊙	※	
照明器具 防水試験	•	⊙	※	
照明器具 騒音試験	※	•	※	
照明器具 切替動作試験	※	•	※	
照明器具 光束比試験	•	⊙	※	
分電盤・制御盤 散水試験	•	⊙	※	
分電盤・制御盤 動作試験	※	•	※	
分電盤・制御盤 絶縁抵抗試験	※	•	※	
分電盤・制御盤 耐電圧試験	•	⊙	※	
分電盤・制御盤 シーケンス試験	※	•	※	
分電盤・制御盤 温度試験	•	⊙	•	
配電盤 散水試験	•	•	※	
配電盤 機構動作試験	※	•	※	
配電盤 継電器特性試験	※	•	※	
配電盤 シーケンス試験	•	•	※	
配電盤 温度試験	•	•	※	
配電盤 絶縁抵抗試験	※	•	※	
配電盤 耐電圧試験	※	•	※	
配電盤 ⊙				
しゃ断器 耐電圧試験	•	•	※	
しゃ断器 無電圧開閉試験	※	•	※	
変圧器 耐電圧試験	•	•	※	
変圧器 絶縁抵抗試験	•	•	※	
変圧器 無負荷試験	•	•	※	
変圧器 誘導試験	•	•	※	
変圧器 インピーダンス試験	•	•	※	
コンデンサー 耐電圧試験	•	•	※	
コンデンサー 絶縁抵抗試験	•	•	※	
コンデンサー 容量試験	•	•	•	
コンデンサー 損失試験	•	•	•	
断路器 耐電圧試験	•	•	※	
断路器 無電圧開閉試験	•	•	※	
計器用変成器 耐電圧試験	•	•	※	
計器用変成器 絶縁抵抗試験	•	•	※	

名称・項目	現場試験 実施する	現場試験 実施しない	機材試験表	備考
直流電源装置 動作試験	※	•	※	共仕4 1.8.2 及び 2.4.2
直流電源装置 特性試験	•	•	※	
直流電源装置 シーケンス試験	※	•	※	
直流電源装置 温度試験	•	•	※	
直流電源装置 絶縁抵抗試験	※	•	※	
直流電源装置 耐電圧試験	•	•	※	
自家発電設備 温度上昇試験				
自家発電設備 （発電機）	•	•	※	
自家発電設備 （機関）	•	•	※	
自家発電設備 耐電圧試験	•	•	※	
自家発電設備 絶縁抵抗試験	※	•	※	
自家発電設備 瞬時電圧変動率	•	•	※	
自家発電設備 始動停止試験	※	•	※	
自家発電設備 保安装置試験	※	•	※	
自家発電設備 速度特性試験	•	•	※	
自家発電設備 負荷試験	※	•	※	
自家発電設備 燃料消費率試験	•	•	※	
自家発電設備 シーケンス試験	※	•	※	
自家発電設備 振動試験	•	•	※	
自家発電設備 配管耐圧試験	•	•	•	
通信設備 動作試験	※	•	※	共通 （表示試料） 共仕5 1.11.2 及び 2.21.2 (2.19.1)
通信設備 絶縁抵抗試験	※	•	※	
通信設備 耐電圧試験	•	⊙	※	
通信設備 温度上昇試験	•	⊙	•	
通信設備 （通気時計）				
通信設備 子時計表端パルス電圧	•	•	※	
通信設備 （テレビ共聴）				
通信設備 電界強度測定	※	•		
通信設備 アウトレット端子電圧	※	•		
通信設備 （火災報知・非常）				
通信設備 回路導通試験	※	•		
通信設備 同時動作試験	※	•		
通信設備 低電圧試験	※	•		
構内公衆設備 絶縁抵抗試験	※	•	※	共仕6 1.8.2 及び 2.3.2
構内公衆設備 耐電圧試験	•	•	•	
構内公衆設備 動作試験	※	•		
構内公衆設備 監視警報試験	※	•		
構内公衆設備 施工共通 導通試験	※	•		架空ケーブル等
構内公衆設備 施工共通 絶縁抵抗試験	※	•		
構内公衆設備 施工共通 接地抵抗試験	※	•		
構内公衆設備 施工共通 絶縁耐力試験	•	•		
構内公衆設備 施工共通 動作試験	※	•		
構内公衆設備 施工共通 （通熱・漏電の有無）				

追加特記事項

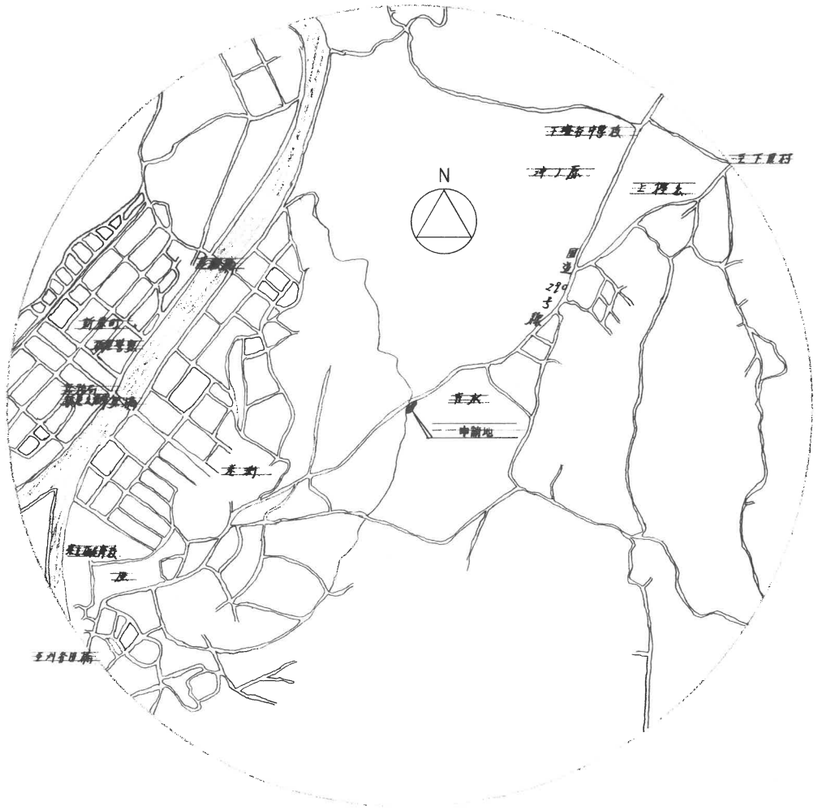
補佐係長	係	
高		

新潟県教職員住宅オ37号宿舎(新尾)電気工事
特記仕様書　図　縮尺　・　No.1　8枚
昭和55年8月　日

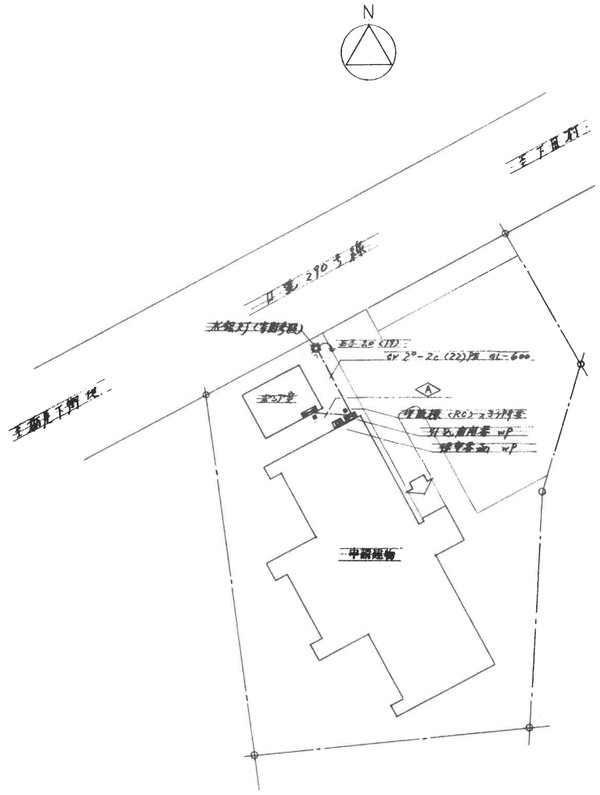
管理	設計	製図

新潟県知事登録番号い第540号 一級建築士 三宮保二
新潟県建築設計協同組合
〒950-21 新潟市紫竹山6丁目7番1号 電話(265)4746～7 登録第9200号 一級建築士山本武夫

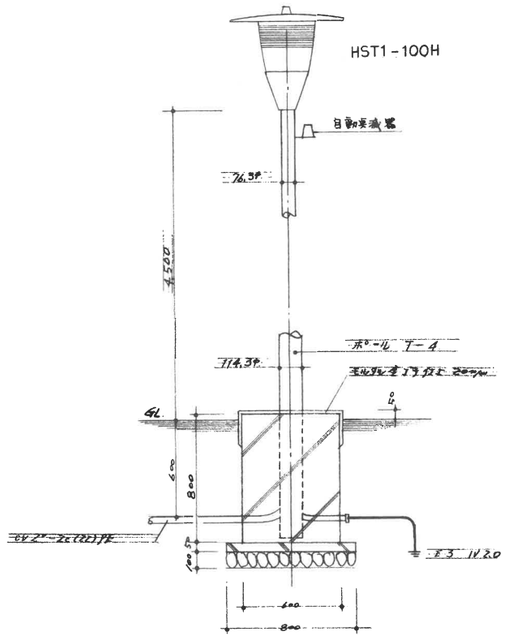
電気設備工事特記仕様書　新潟県土木部



案内図



配置図 S=1:250



灯柱字図 1/20

注記

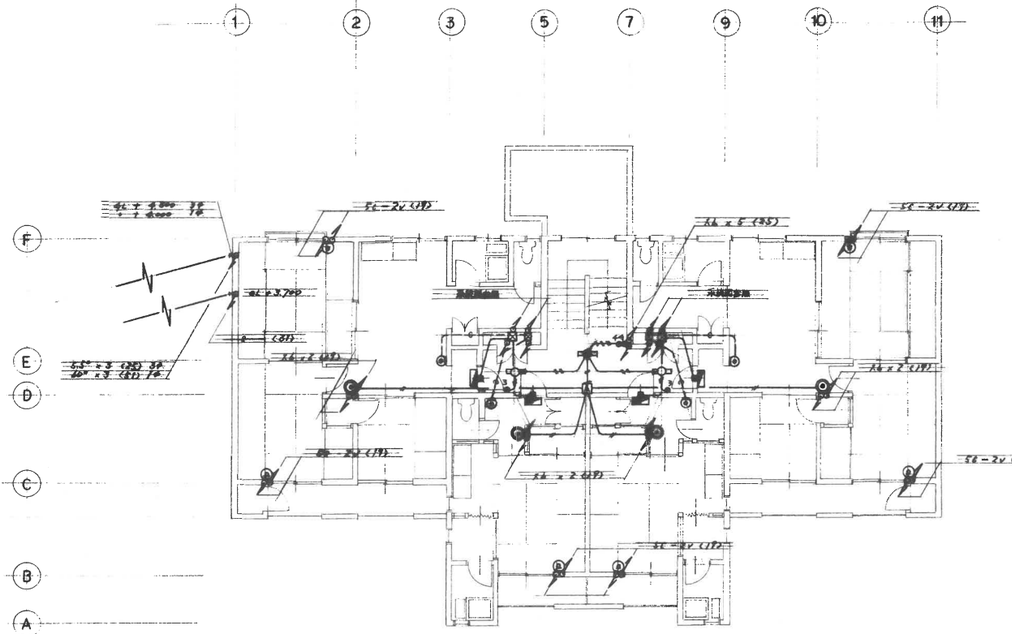
◇ 計配線 GL-600

CV 3.5φ-2c (22)PE P-1 1φ
〃 5.5φ-3c (28) 〃 〃 3φ
600V 2φ-2c (22) 〃 ケイホウ
〃 2φ-5c (28) 〃 LF-5

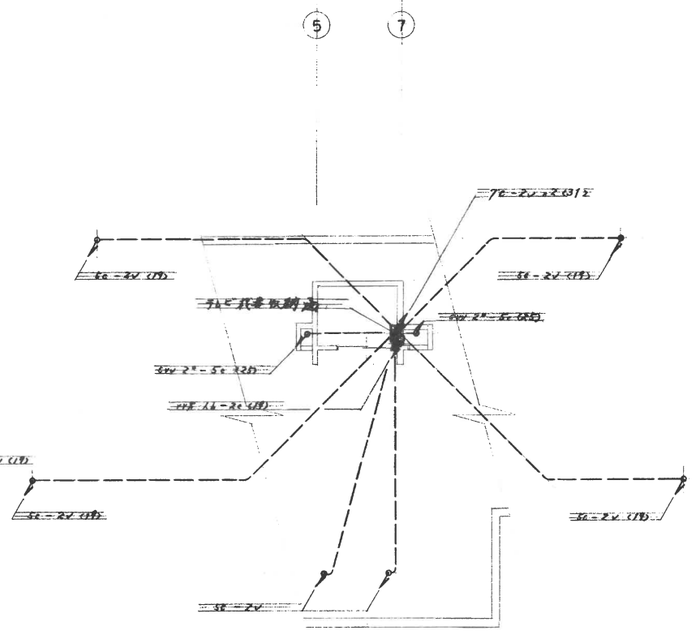
課長補佐	係長		係			
高					渡	

新潟県殿私員住宅オヨび宿舎(福見)周辺工事

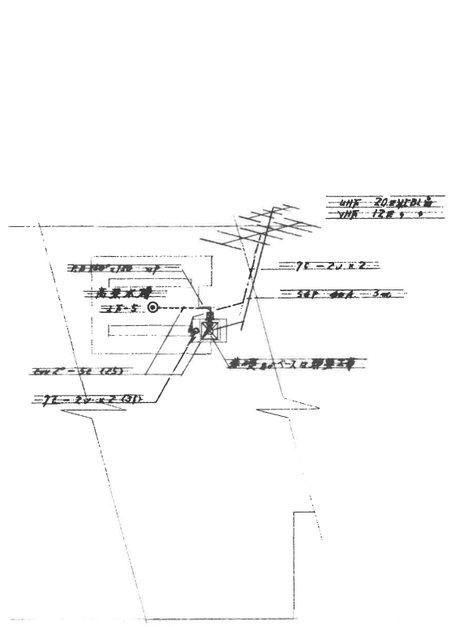
配置図, 案内図		図番	8枚 No.2
縮尺	S=1:250	昭和55年8月	日
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号 (ハ)第640号 1種事務所 一級建築士 三富		
管理建築士	新潟県建築設計協同組合		
	電話65-4746~7 登録第9200号 一級建築士		



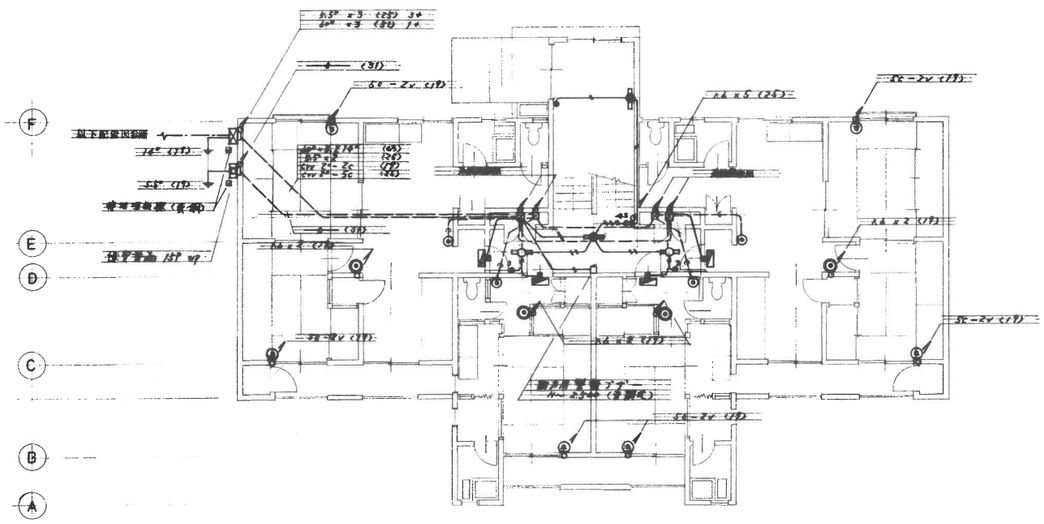
2 階 平 面 図



塔屋1階 平 面 図



屋 階 平 面 図



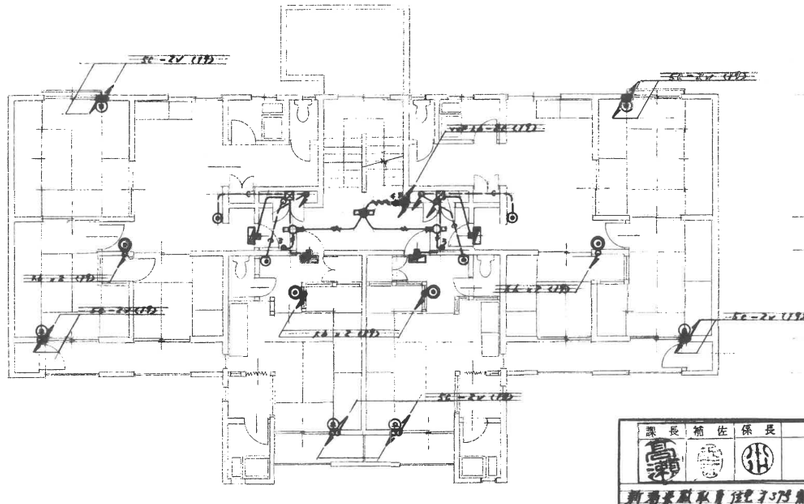
1 階 平 面 図

主開灯設 明書表

主開灯設書	K1	FBF1 - 201GL x 1
開設書	SK1	FSS4 - 201GL x 3
〃		FSS4 - 201GL x 6

注 記

1. 主開灯の敷線書 開設各は下記の様る。
   - 14 x 2 (17)
   - 14 x 3 (17)
   - 14 x 4 (25)
   - 14 x 7 (31)
   - 8.5 x 2 (22)
   - 〃 (17)
2. その他は全て屋設自手配の事。

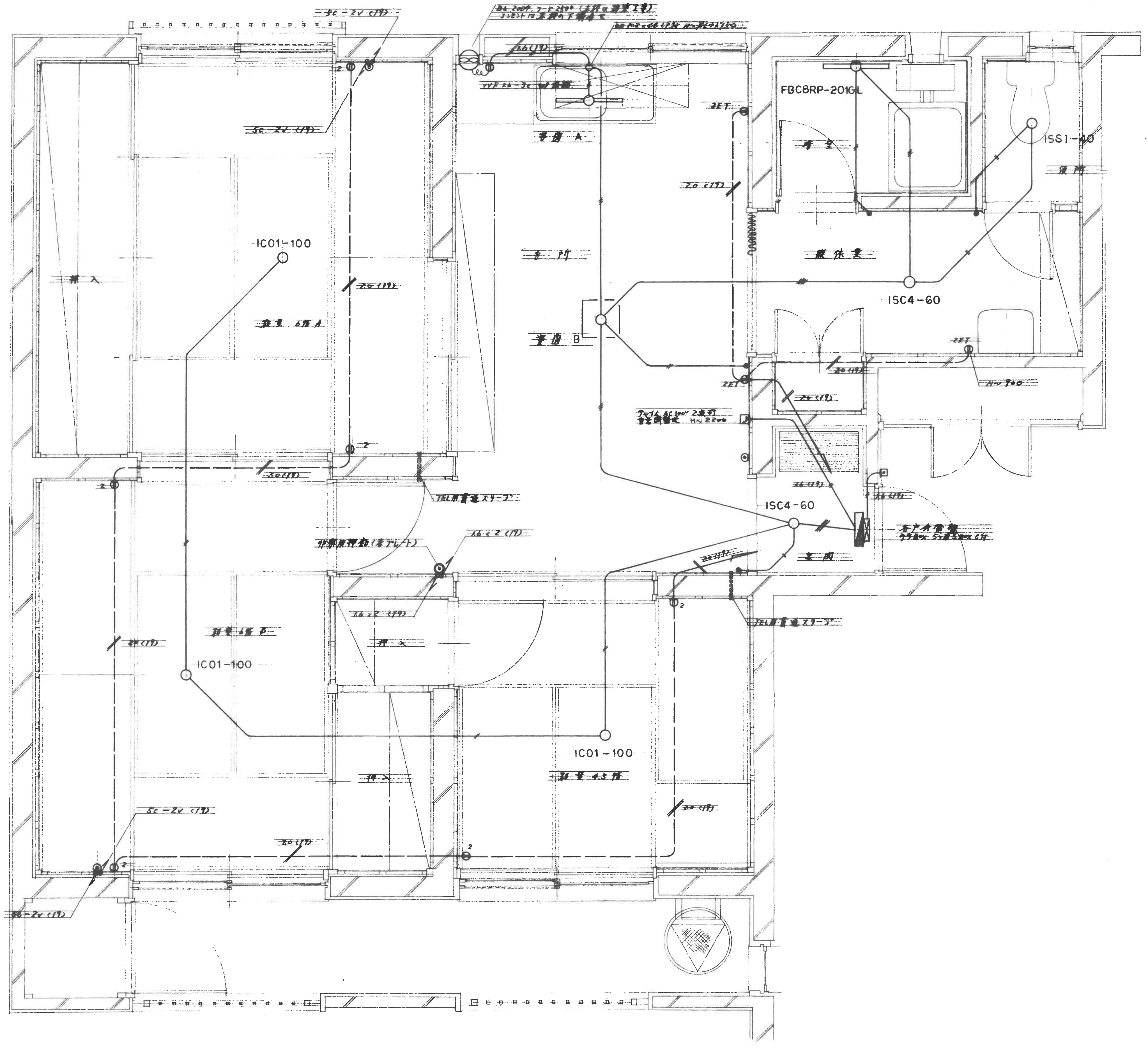


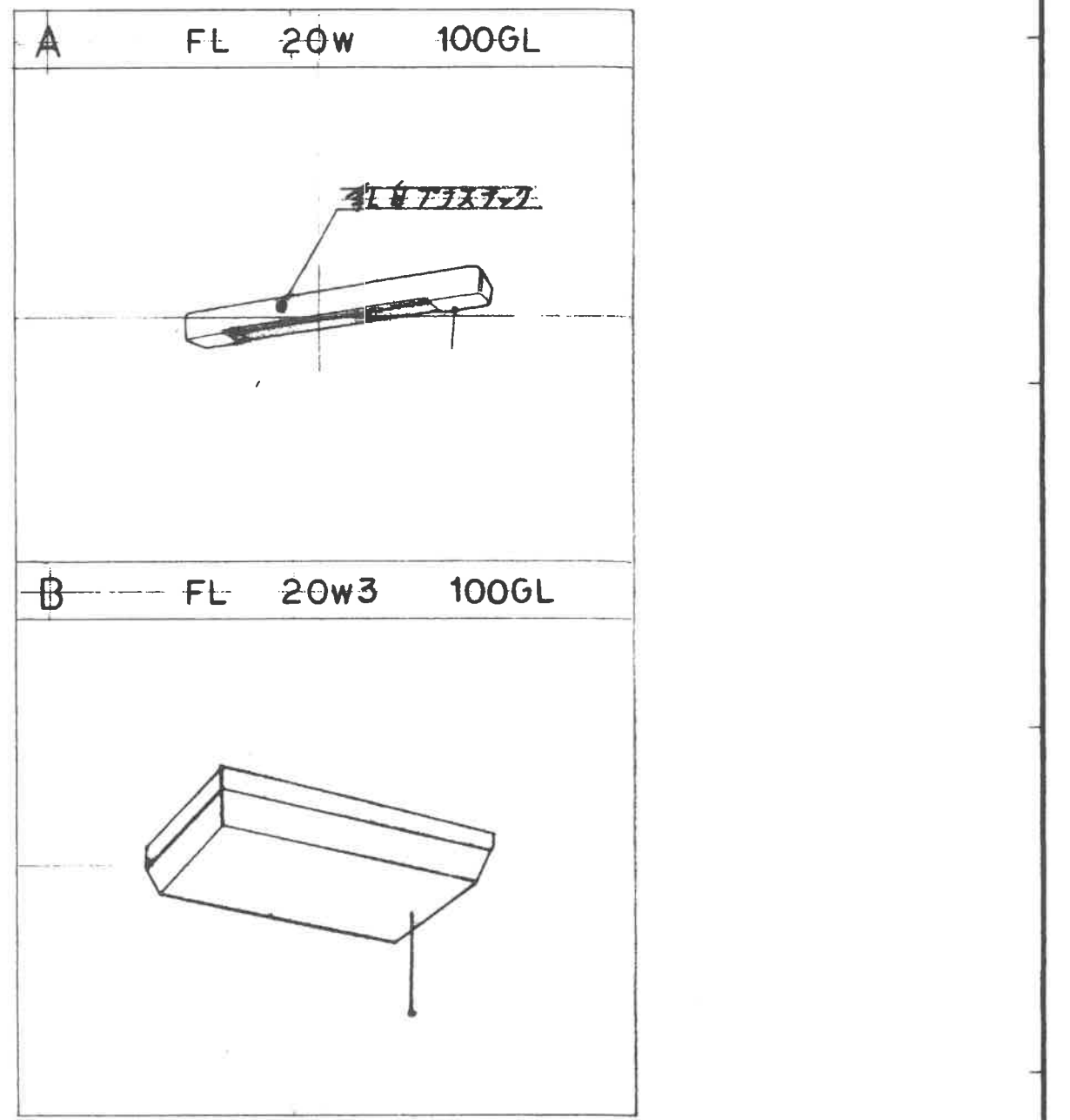
3 階 平 面 図

課長	補佐	係長		係		
高瀬		小田			渡辺	

新潟県職員住宅その他新築(高尾)建設 工事

幹線, 主開灯, 弱電設備図		図番	8 枚 No. 3
縮尺	S=1:100		昭和57年 8 月 日
審査	宮二	設計	宮二
開設者	新潟県知事 登録番号 (ハ-3640号)理事長 一級建築士 三富勝		
管理建築士	新潟県建築設計協同組合 電話65-4746~7 登録第9200号 一級建築士山本武夫		





注 記

1. 記入なき配線は下記に依る。

VVF	1.6－2C	立上り保護	(19)
〃	1.6－3C	〃	(25)
〃	1.6－2C ×2	〃	(〃)
〃	2.0－3C	〃	(25)

2. 各機器取付高さは下記を標準とする。

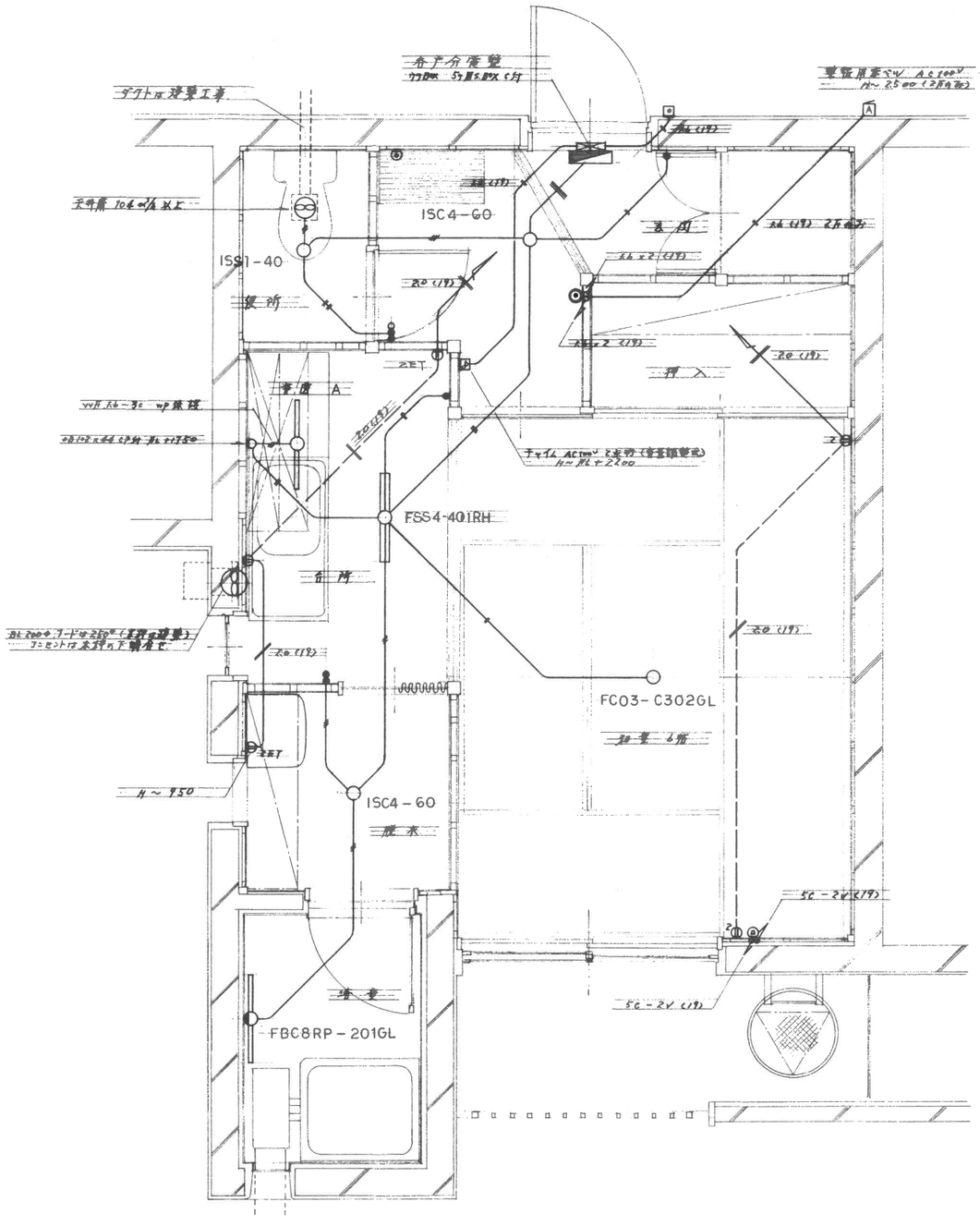
スイッチ及び押釦	FL	＋1.300
コンセント (一般)	〃	＋300
〃 (和室)及びTV	〃	＋200
TEL	〃	＋1.000
チャイム	〃	＋2.200
浴室ブラケット	天井	－300

3. 和室は角型引掛シーリング(逆り端子付)配線とし其の他の照明器具は位置ボックス ○B 102×54C付を取付る。

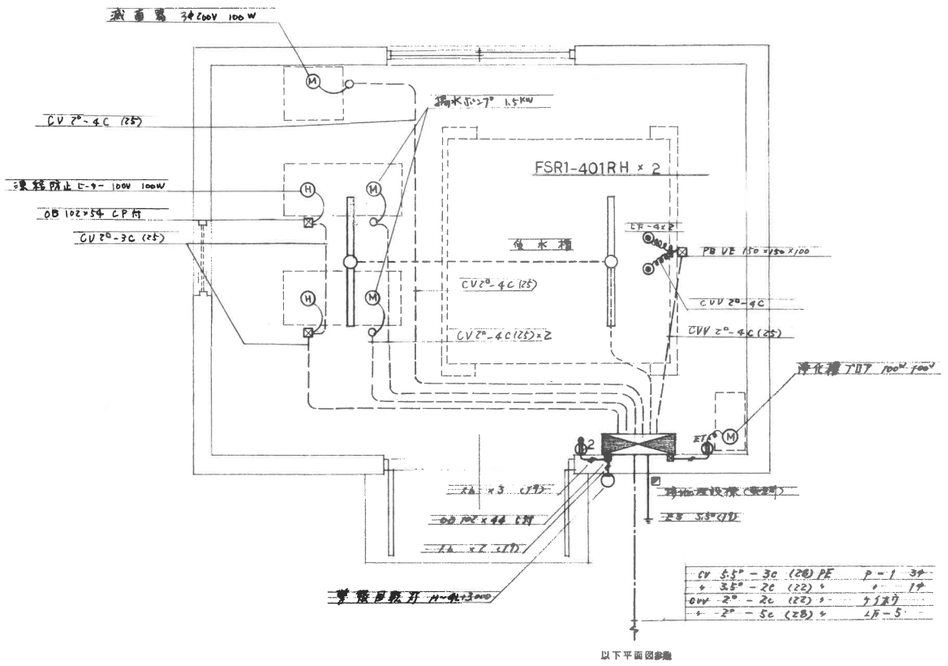
4. 白熱灯の電球は全て 110V 定格とする。

5. コンセント 2P15A×2は接地式とする。

課長	補佐	係長		係	
新潟県職員住宅第37号宿舎(職員) 電灯 工事					
世帯用詳細図				図番	8枚 No. 4
縮尺	S＝1:20			昭和55年8月 日	
審査				設計	
開設者	新潟県知事 登録番号(八第640号)理事長 一級建築士 三富 謙 新潟県建築設計協同組合				
管理建築士	電話65－4746～7 登録第9200号 一級建築士山本武夫				



単身者用詳細図 1/20

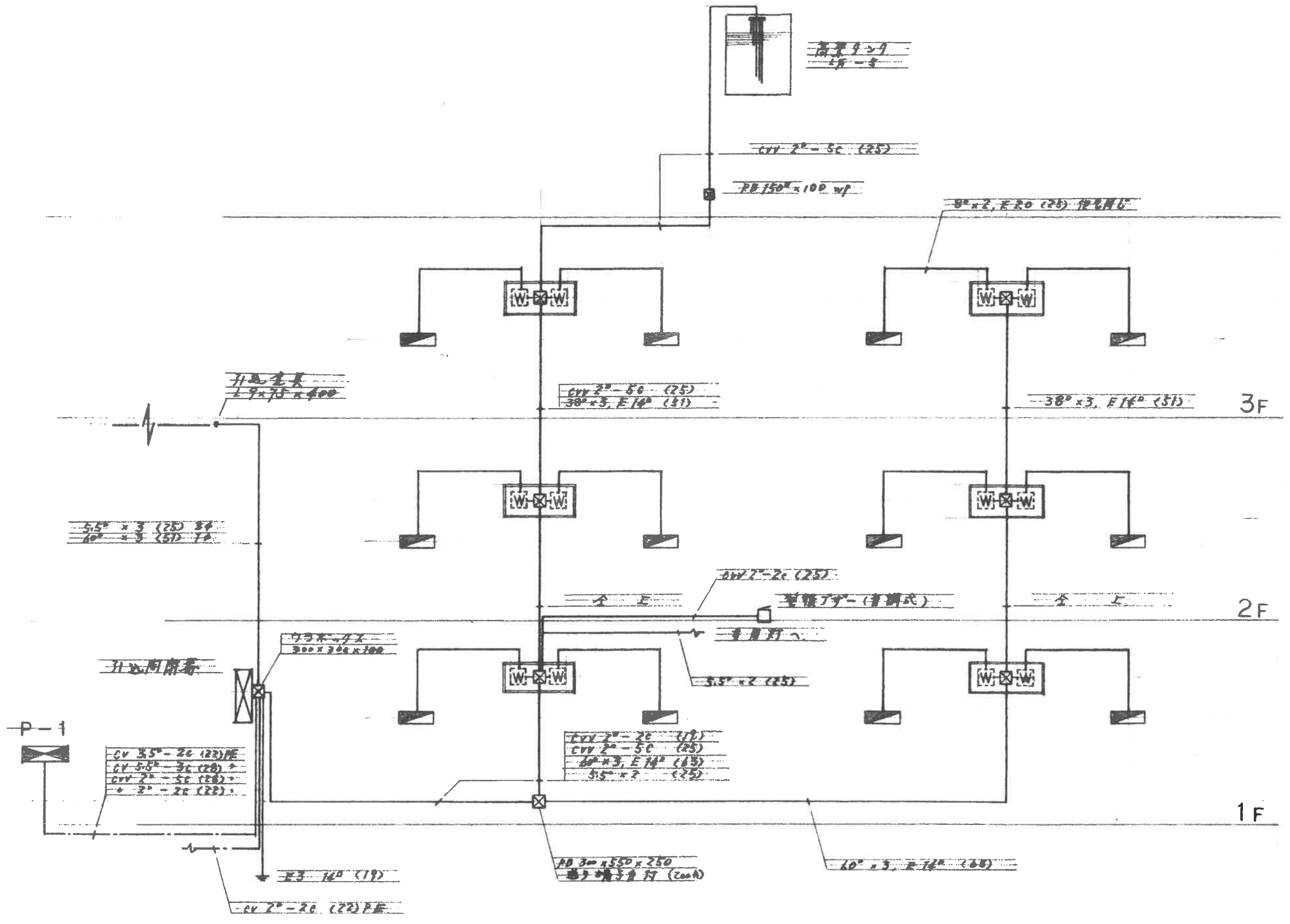


ポンプ室詳細図 1/30

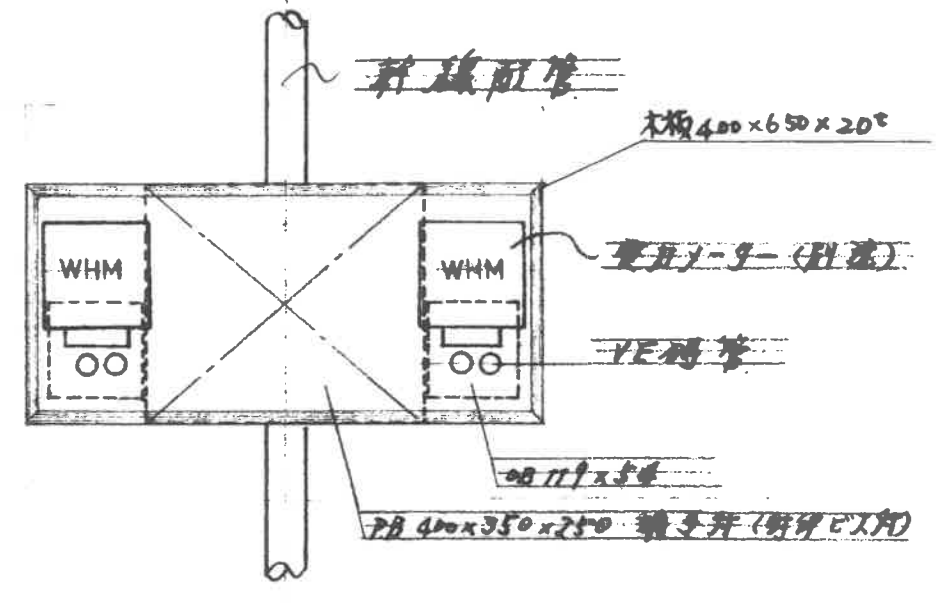
課長	補佐	係長		係	

新潟県営水泳プール（仮称）建設工事

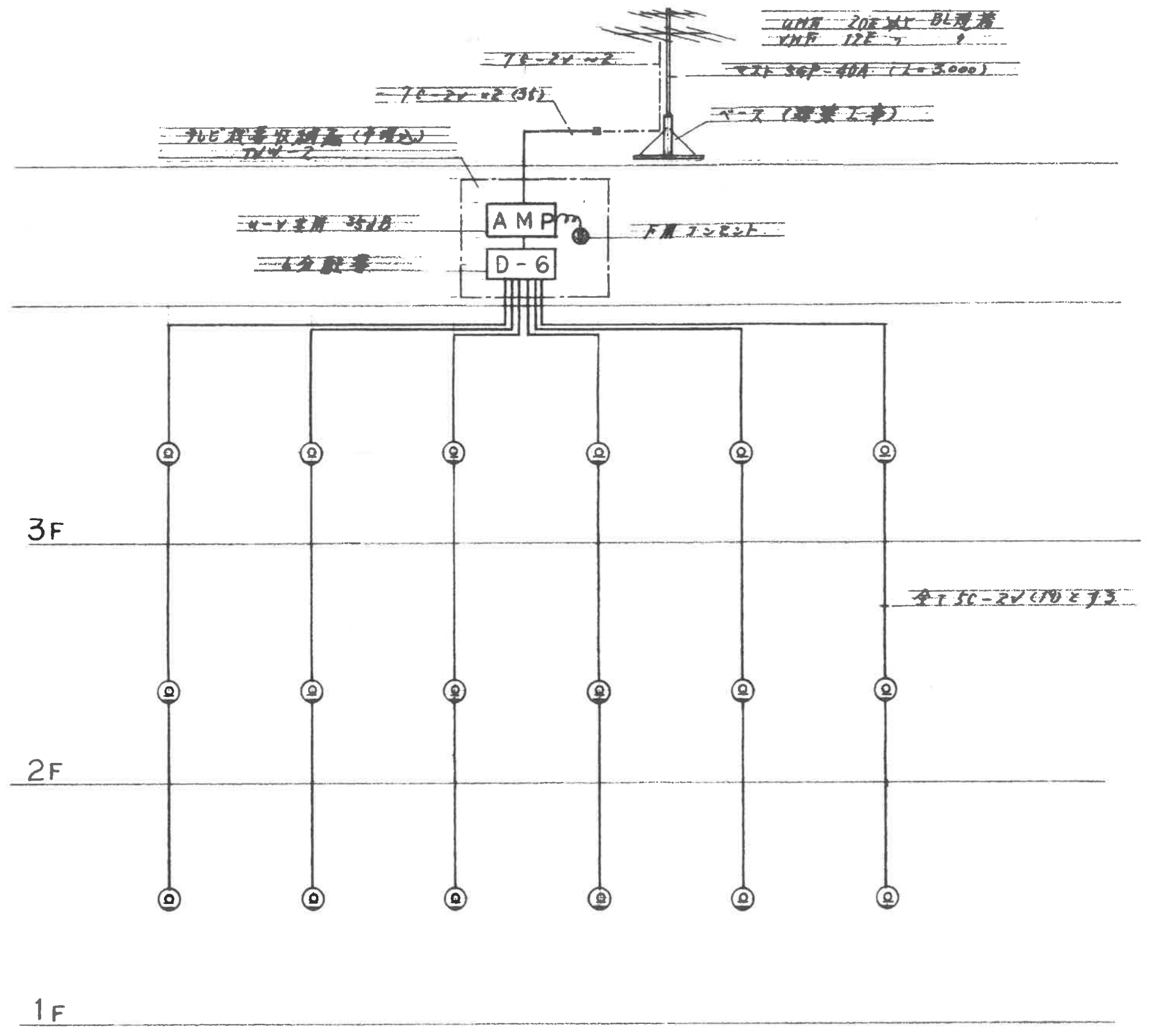
単身者用詳細図、ポンプ室詳細図		図番	8枚 No. 5
縮尺	8=1:20 8=1:30	昭和35年 月 日	
審査		設計	
関係設計者	新潟県知事 登録番号（ハ）第640号	一級建築士 三富 建	新潟県建築設計協同組合
管理建築士	電話65−4746〜7	登録第9200号	一級建築士 山本武夫



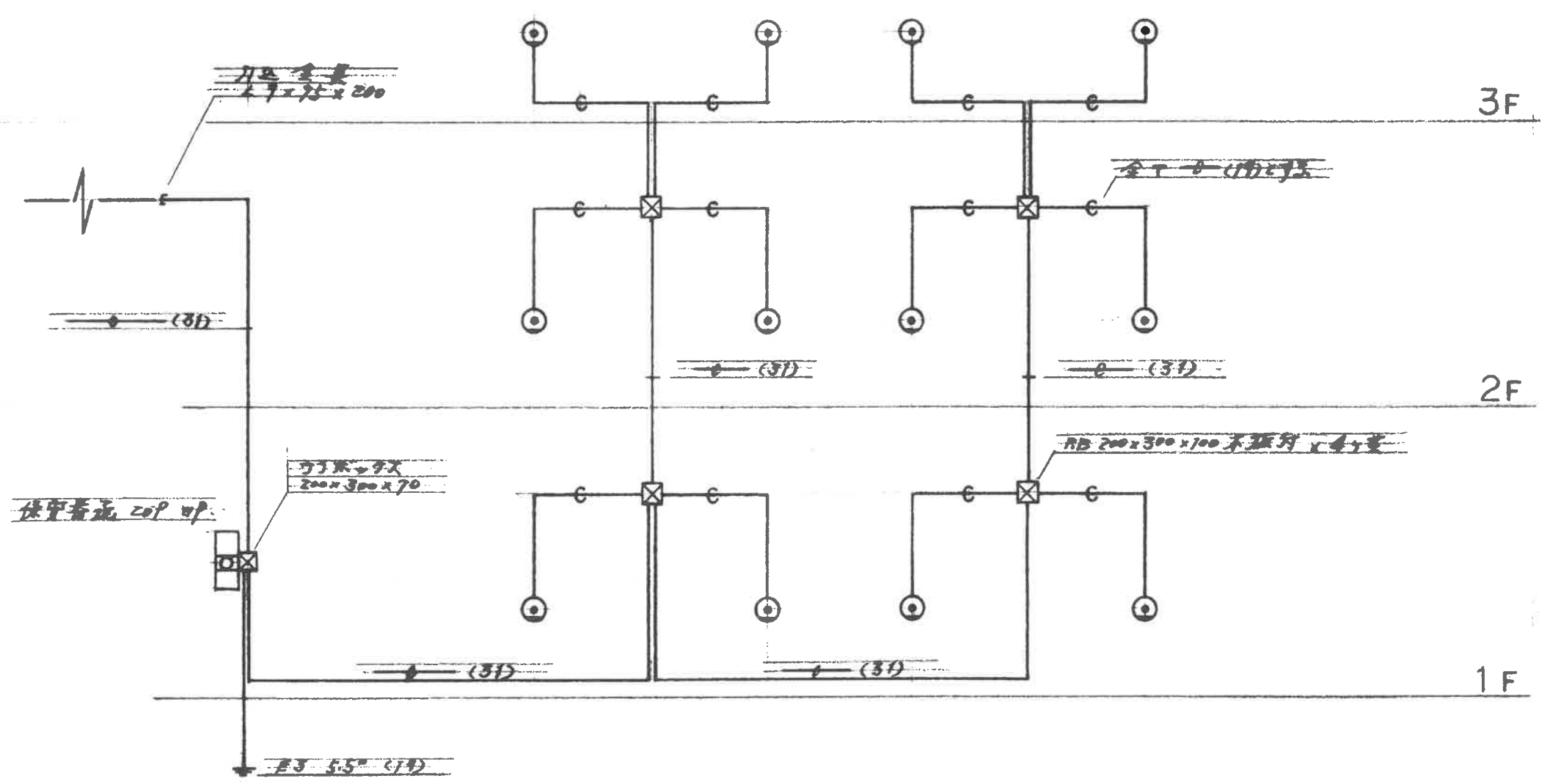
幹線設備系統図



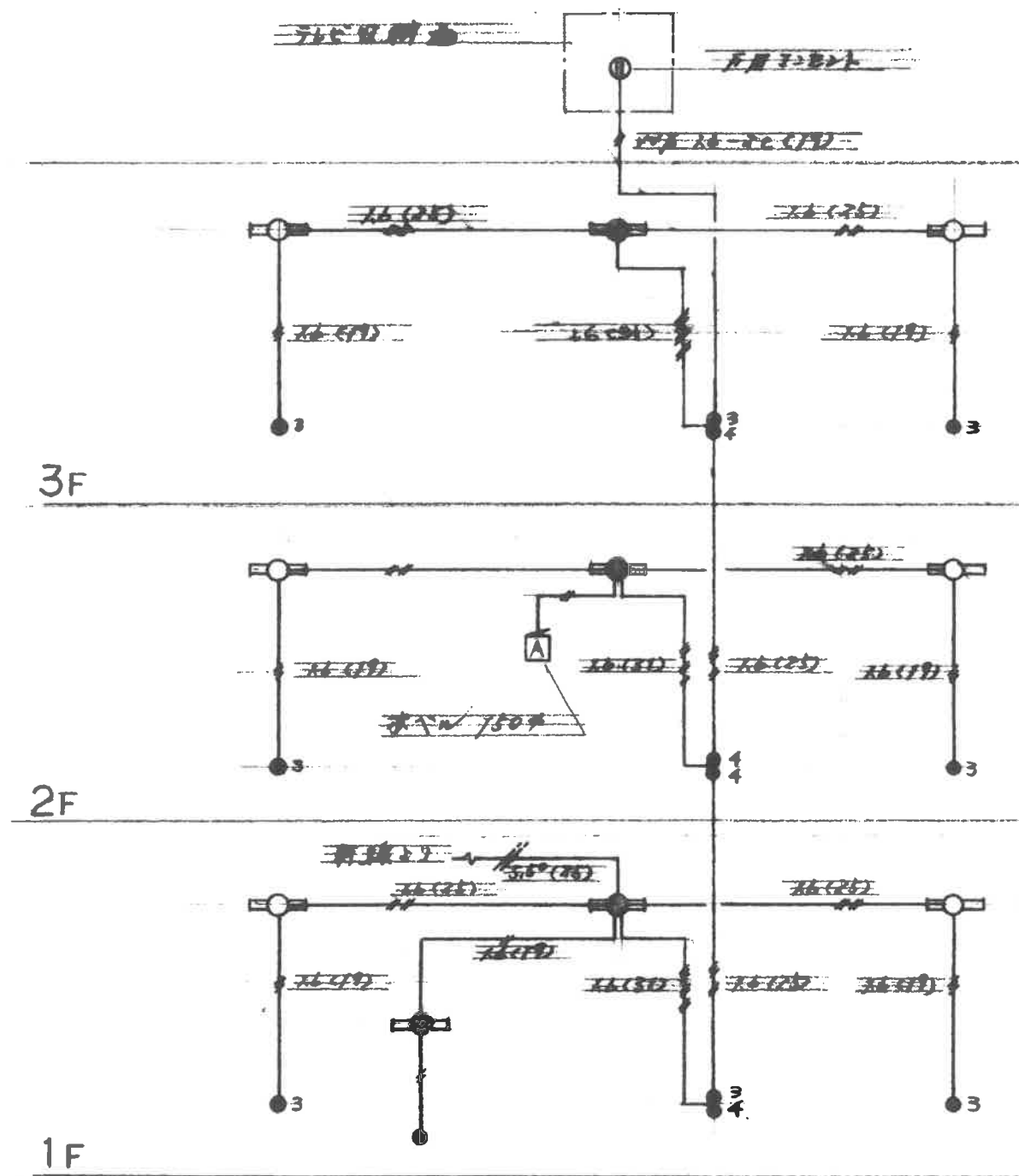
幹線PB取付参考図 1/10



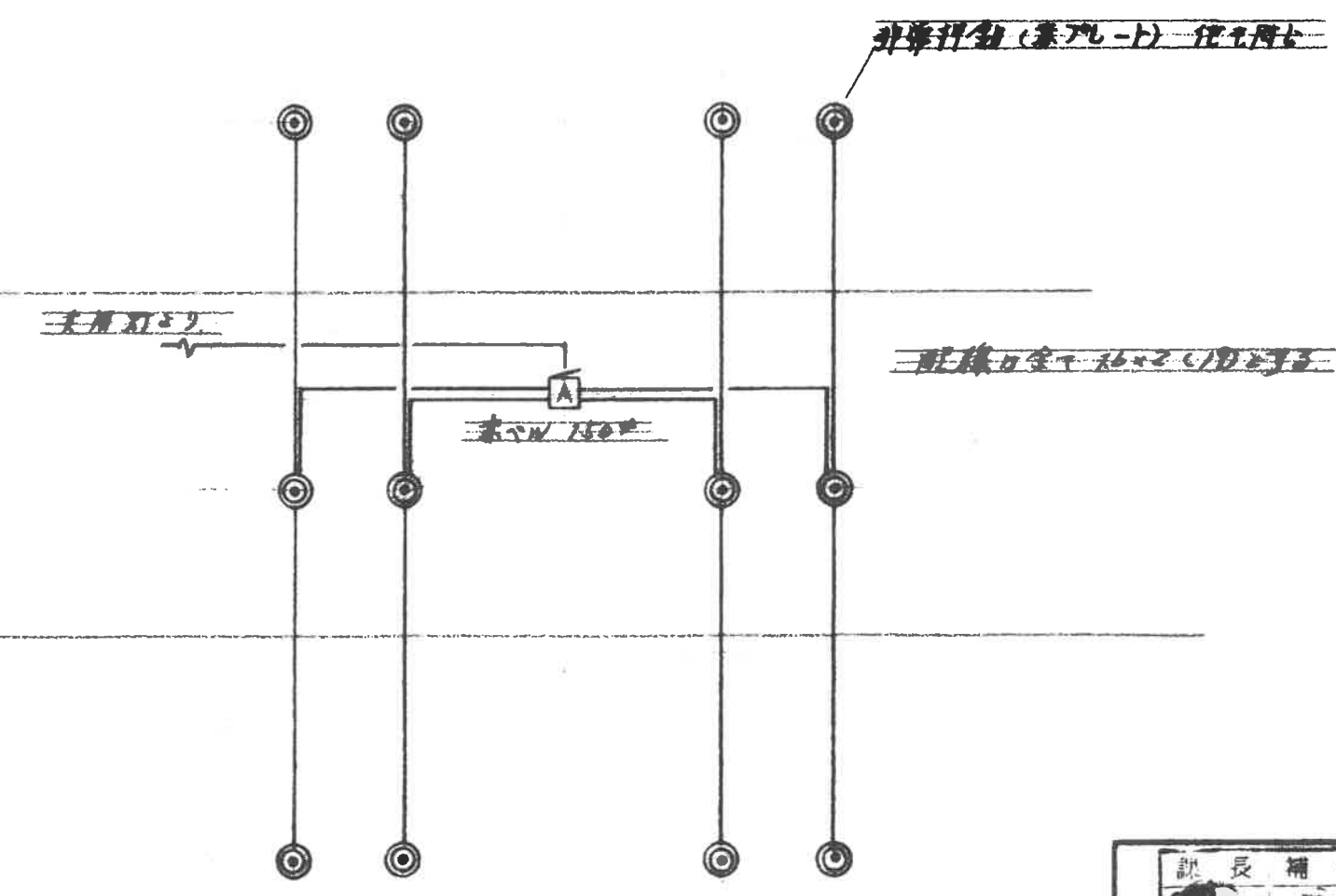
テレビ共聴系統図



電話配管系統図



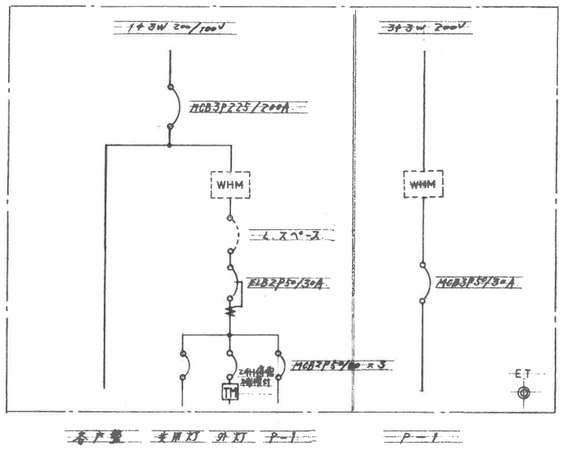
共用灯系統図



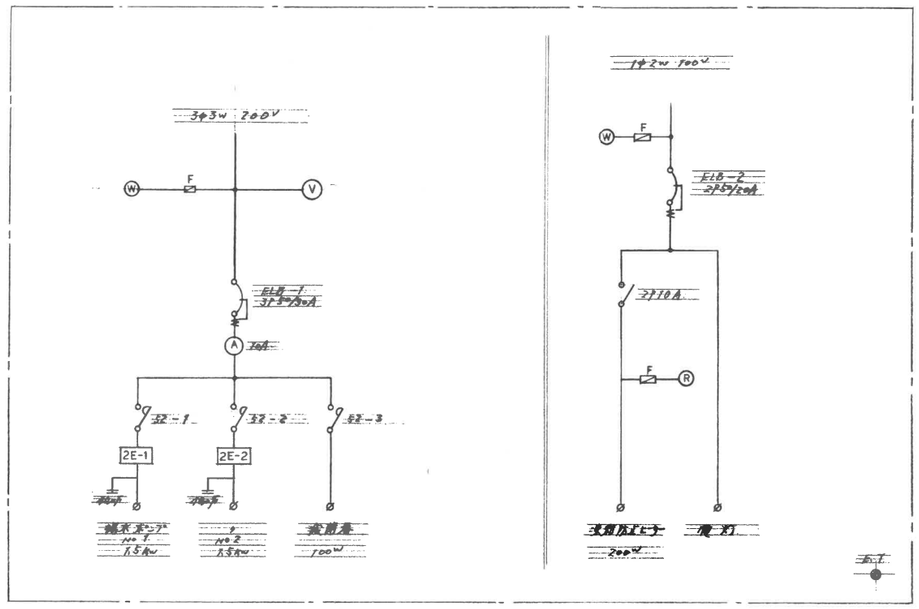
非常警報系統図

課長	補佐	係長		係		

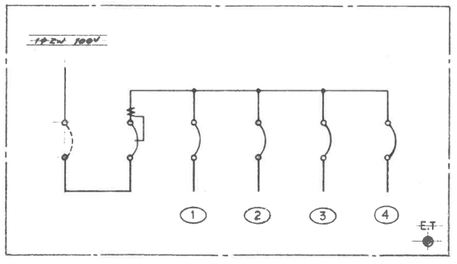
新潟県職員住宅 [illegible] 工事			
系統図		図番	8 枚 No. 6
縮尺		昭和 35 年 8 月 日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号 (八 第640号)理事長 一級建築士 三富 … 新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65—4746～7 登録第9200号 一級建築士山本武夫		



引込用番盤 （屋外，防水型）

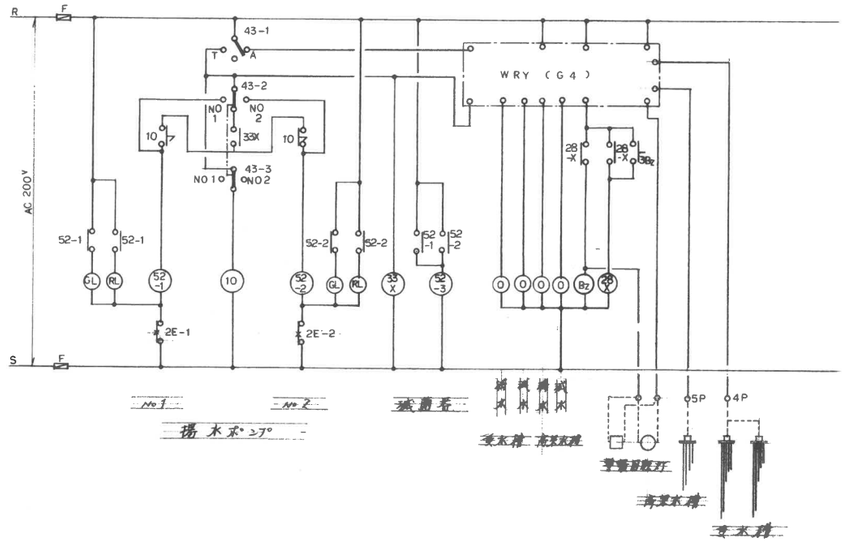


取刀盤結線図 （屋内機点盤）



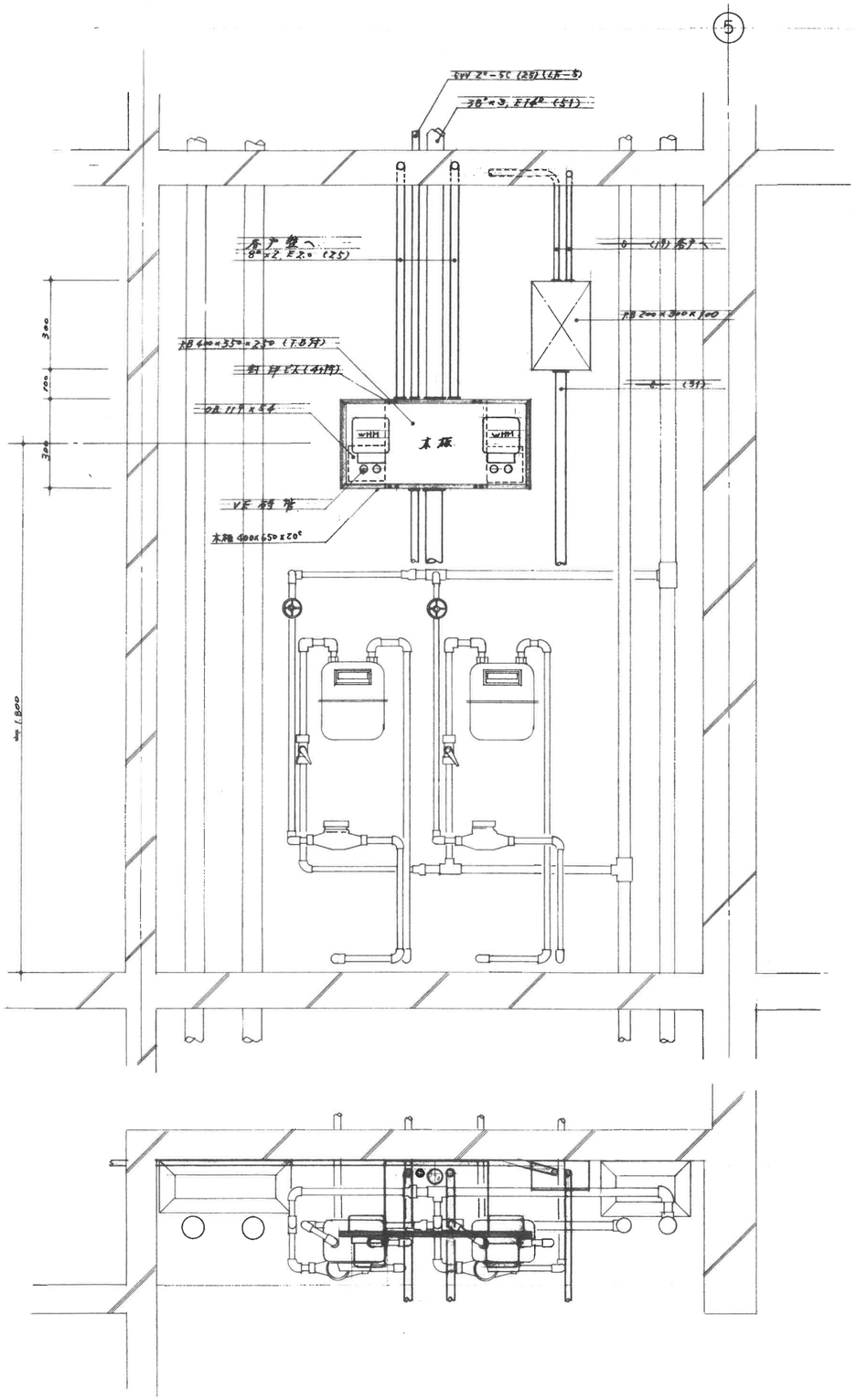
スペース x 1
ELB2P30/15mA 0.1秒 x 1
NOB2P 3φ/20A x 4

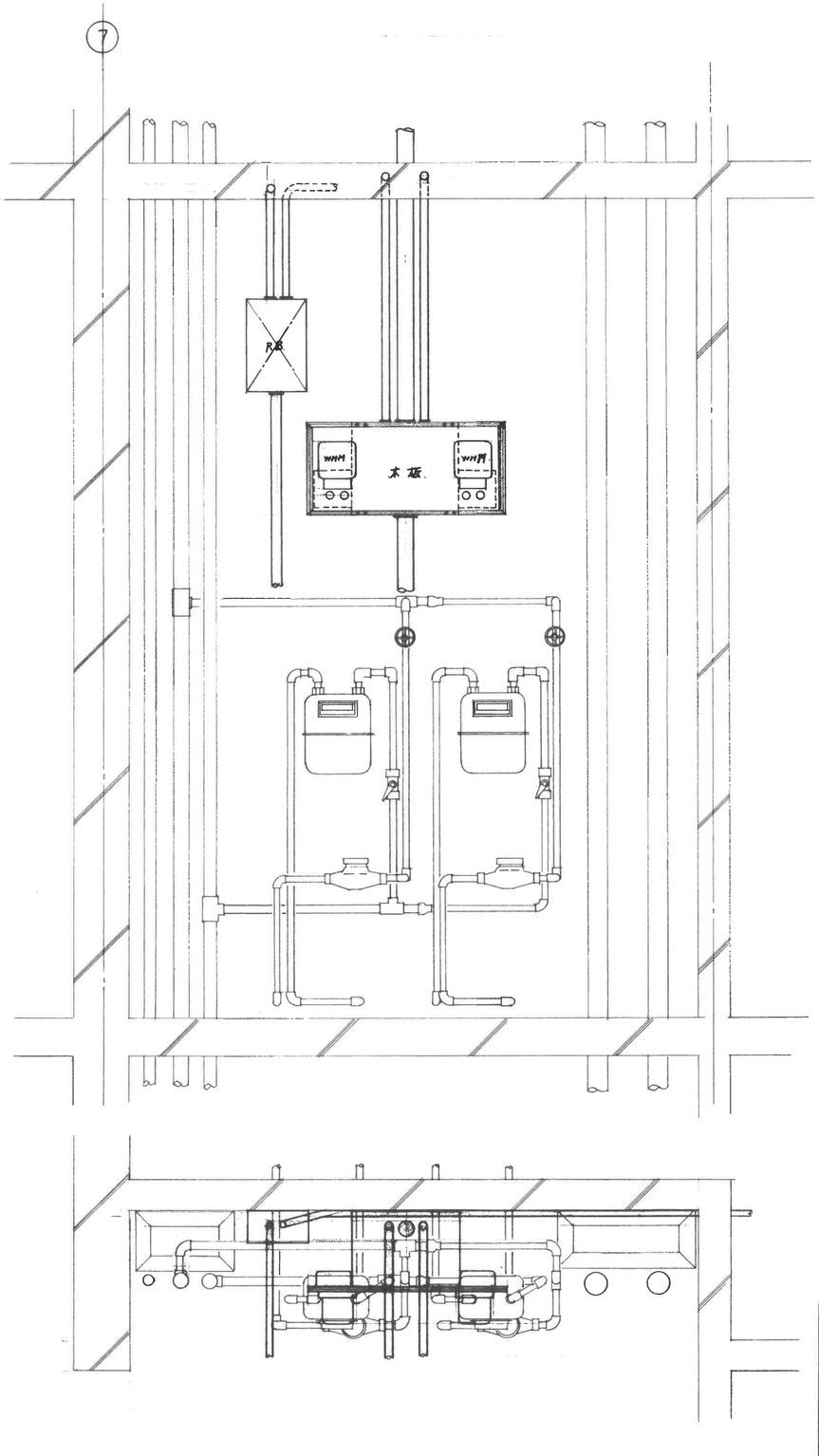
幹戸分電盤 （測量室，応接室）



揚水ポンプ

補佐係長			係			
新潟県取水場建設(その3)予備含(測量)増設工事						
分電盤結線図			図番	8枚 No.7		
縮尺				昭和55年3月 日		
審査			設計			
開設者	新潟県知事 登録番号 1ハ第0049号	一級建築士 三[illegible]				
管理建築士	新潟県建築設計協同組合					
	電話65－4746～7	登録第9200号 一級建築士山本武夫				



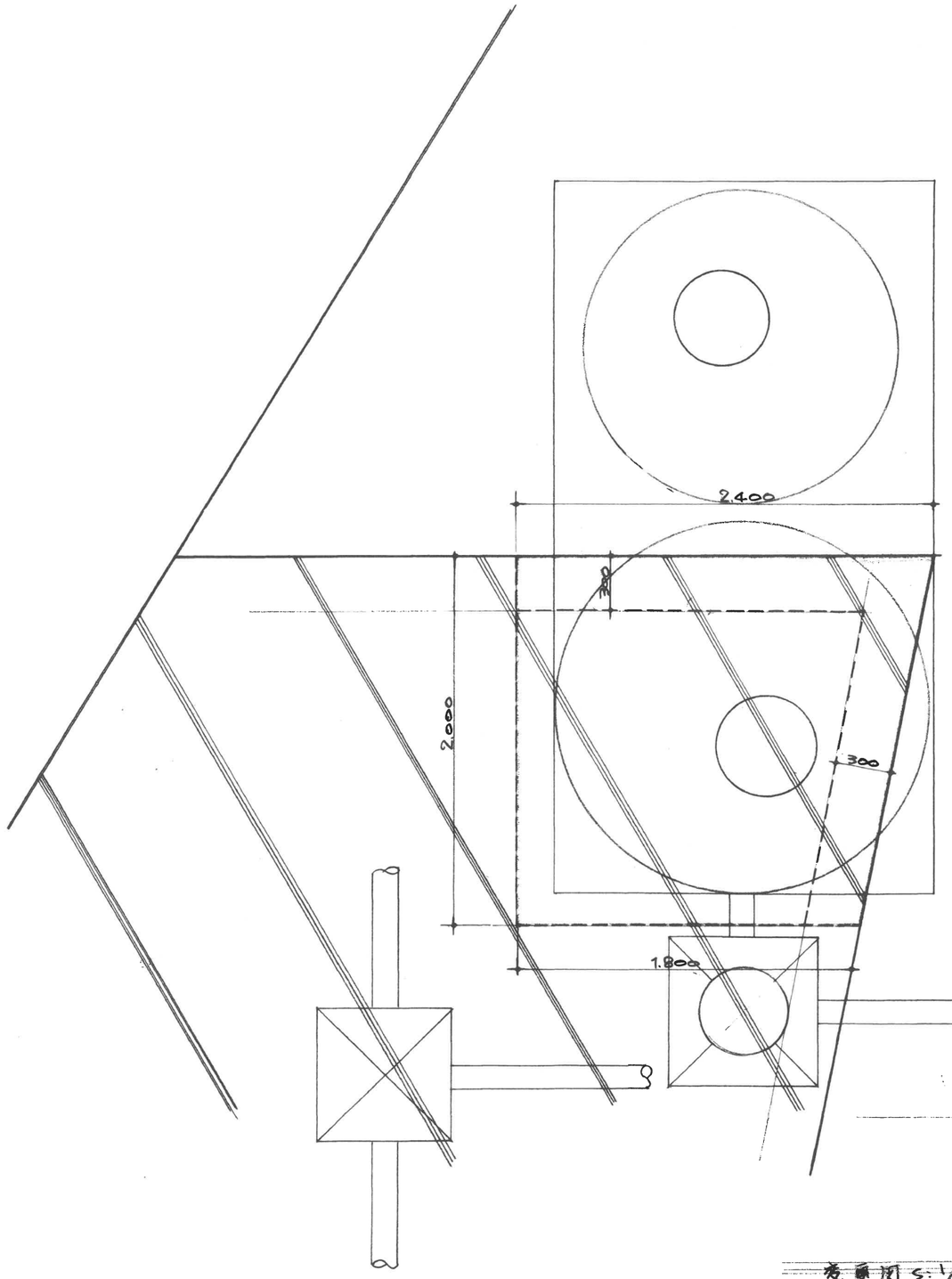


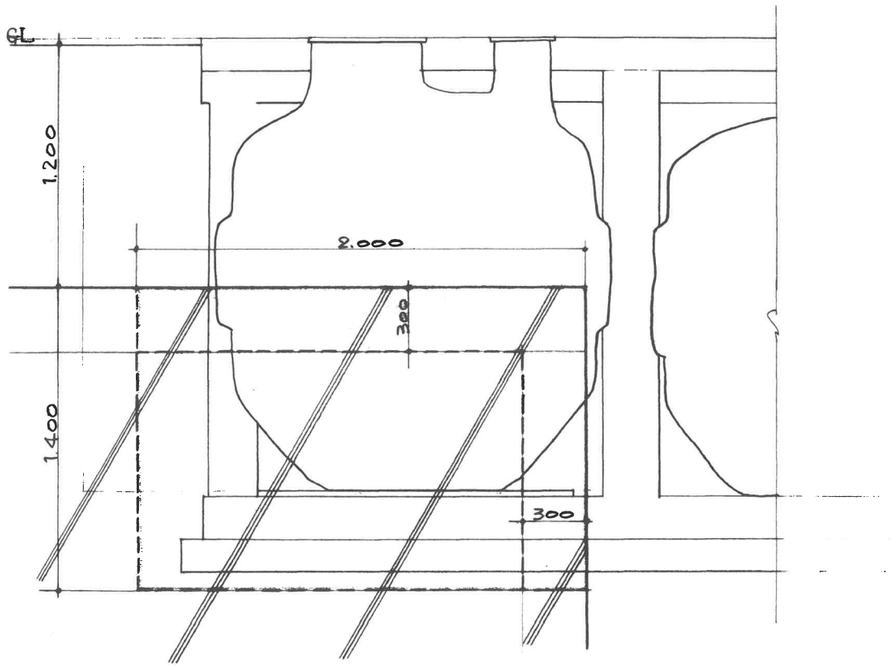
建設部長	課長補佐		係		

新潟県職員住宅 3-3-5 号舎（坂尻）屋外 工事

P.S 詳細 図		図番	8 枚 No. 8
縮尺 1/10		昭和 55年 8月 日	
審査	設計		

開設者 新潟県知事 登録番号（ハ）第640号 一級建築士 三輪 繁
管理技術者 新潟県建築設計協同組合
電話65－4746～7 登録第9200号 一級建築士 由本武夫



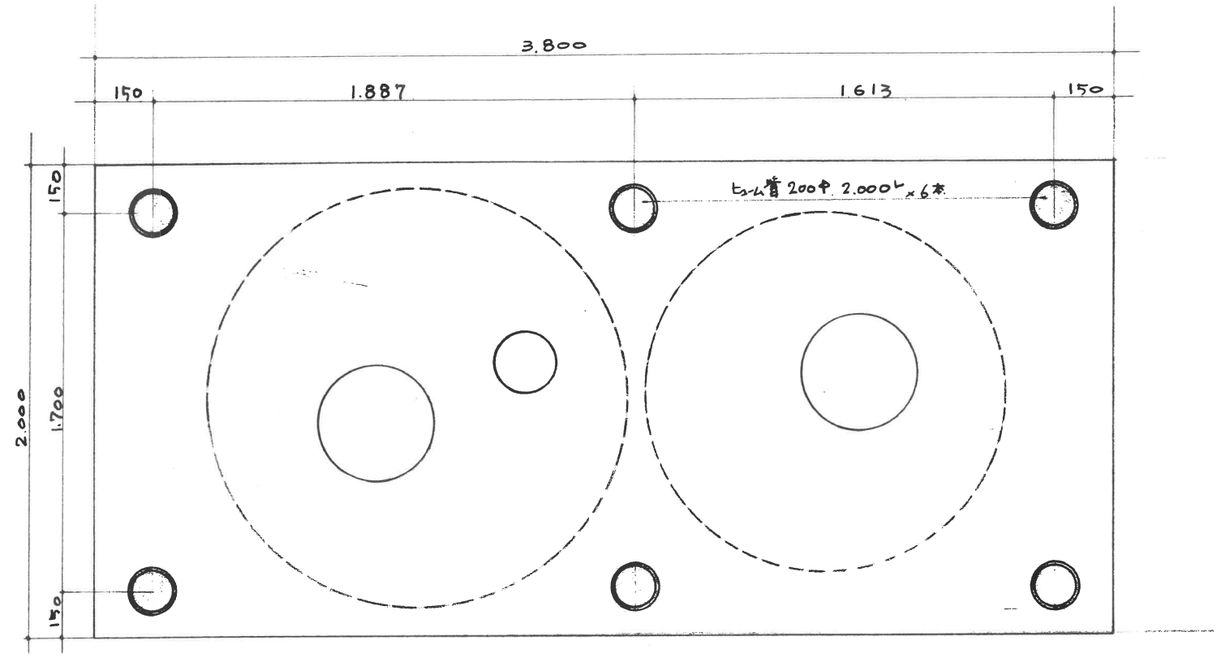


設計要領書　所要強度のコンクリートを得る

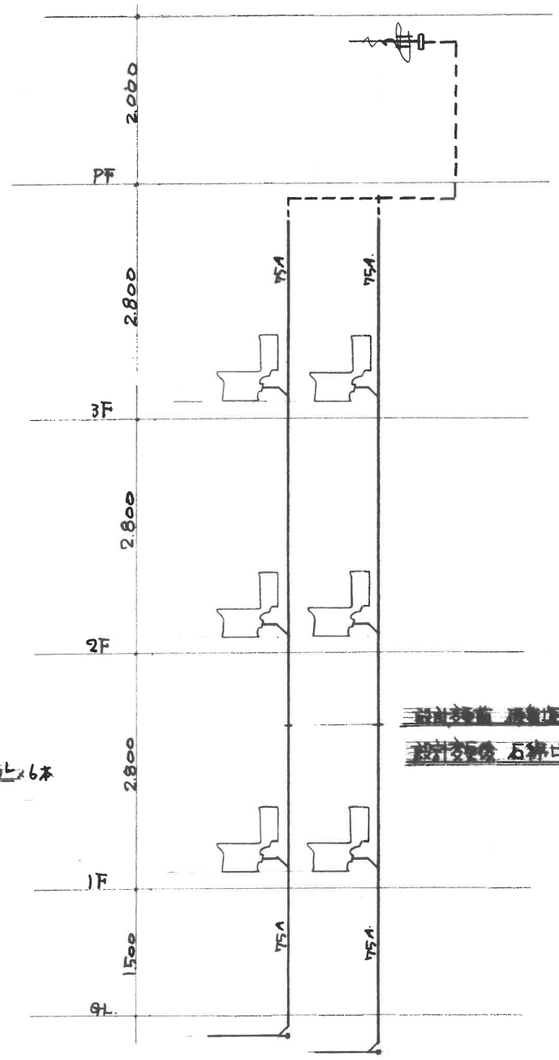
　　の所のコンクリートの配筋はD13@200

参考図 S:1/20

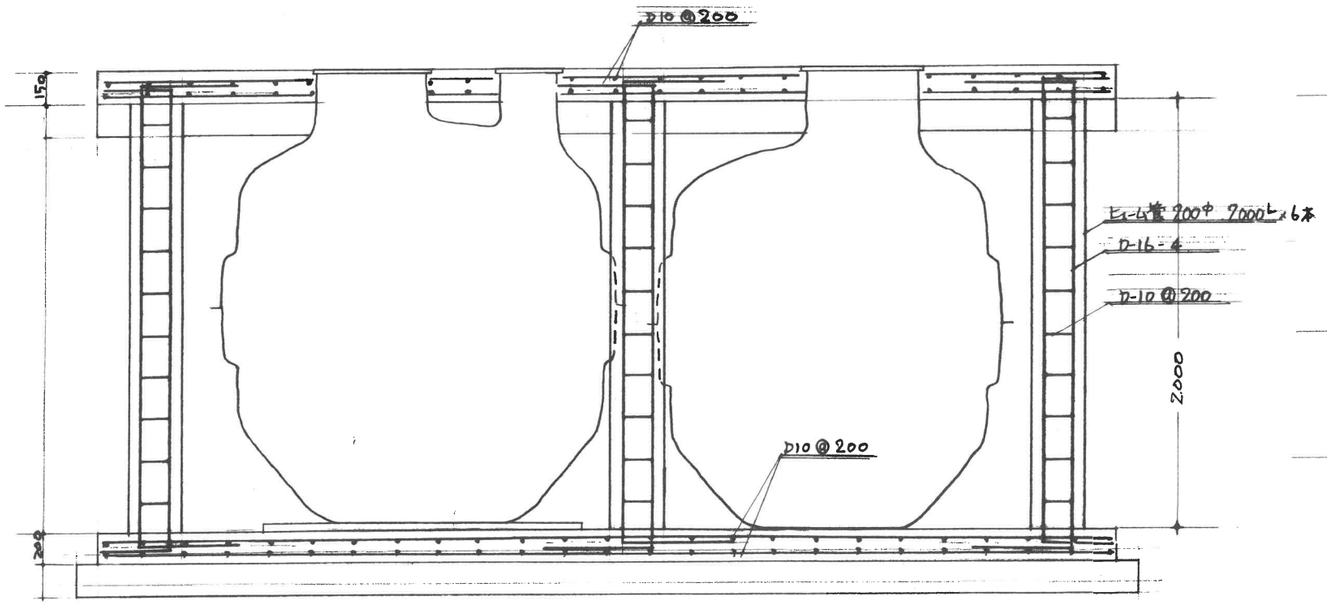
工事名	新潟県知事公舎ほか7号官舎 煙突支設備		工事設計図
昭和55年度	1枚 1号	SCALE	1/20
図面名称	参考図		
新潟県土木部 建築住宅課	課長	係長	担当



浄化槽 変更図 S: 1/20



汚水立管系統図 S: 1/50



工事名	青池団地改良住宅37号館合築き設備		工事設計図
昭和 55 年度	1 枚 1 号	SCALE	1/20
図面名称	変更図		
新潟県土木部 建築住宅課			

昭和55年度

新潟県教職員住宅第37号宿舎

衛生設備工事設計図

図面目録

No	図面名	縮尺
1	図面目録	
2	特記仕様書	
3	案内図配置図	S=1:250
4	系統図	S=FREE
5	給排水衛生設備図	S=1:100
6	各部詳細図 No.1	S=1:20
7	各部詳細図 No.2	S=1:20
8	各部詳細図 No.3	S=1:20
9	各部詳細図 No.4	S=1:20
10	受水槽高置水槽詳細図	S=1:20, S=1:30
11	浄化槽詳細図	S=1:20
12		
13		

課長	補佐係長	主任	係		

新潟県職員住宅 平37号 消雪化主設備 工事

図面目録 図	図番	11枚 No.1
縮尺	昭和55年8月 日	
審査	設計	

開設者 新潟県知事 登録番号 (ハ-第640号) 理事長 一級建築士 三高 [illegible]

新潟県建築設計協同組合

管理建築士 電話565—4746～7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫

新潟県教職員住宅 才37号住宅 他2棟 **工事特記仕様書**

工事場所 新発田市地内

衛生設備工事特記仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されない事項は、すべて新潟県機械設備工事共通仕様書（昭和52年版）による。
2. 特記仕様
   (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
   特記事項は◎印のついたものを適用する。
   (2) ⊙印のない場合は※印のあるものを適用する。
   ⊙印と◎印のある場合はともに適用する。
   (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、機械設備工事共通仕様書の当該項目又は当該表を示す。

一般共通事項

章	項目	特記事項
①	① 適用基準等	設計図書の優先順位は、次のとおりとする。 1. 現場説明書　2. 特記仕様書　3. 図面　4. 共通仕様書　5. 設計書 建築工事写真撮影要領（新潟県土木部制定　S 50　）
	② 機材等	機材の製造所及び製品などは、建築衛生製造者等指定名簿（新潟県土木部制定　S 55　）及び特記されたものとする。 機材の試験は、共通仕様書第1編別表1により、機器表の当該項で指定した機材について行う。ただし、これによることが困難な場合は、別途指示する。
	③ 発生材の処理	◉構外搬出適切処理　• 発生材調書とともに監督員に引渡す　• 構内に集積　(1.1.10)
	④ 完成図等	⊙提出する。◎完成図　⊙竣工指導案内書）　(1.6.2) • 設計変更した場合提出する。（• 完成図　• 保守指導案内書）
	⑤ 工事写真等	工事施工状況写真を　※1部　•　部指定出する。　(1.6.2) 完成写真を　⊙2部　• 3部　提出する。 完成写真は　• カラー写真とする　⊙カラー写真は監督員の指示による。
	⑥ 足場、さん橋等	※別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。　• 木工事で定置する。　(2.1.1)
	⑦ 監督員事務所等	※設けない　• 設ける。（• 1号　• 2号　• 3号　• 4号　• 5号　•　㎡）　(建2.3.1表) • 仮設事務所の中に監督員用空間を　㎡程度確保する。
	⑧ 工事用電力、水等	工事用電力　構内既存の施設　※利用できる。（※有償　※無償）　• 利用できない。 工事用水　構内既存の施設　※利用できる。（※有償　※無償）　• 利用できない。
	⑨ 残土処分	※構内指示の場所に敷ならし　• 構内指示の場所にたい積　• 構外搬出適切処理　(2.2.1)
①	⑩ 地業工事	割り石及び玉石地業　(2.3.1) 種別（• 割り石地業　※玉石地業）　目つぶし砂利種別（※砂利　• 砕石） 砂利地業 種別（• 砂利敷き締固め　• 砂利敷き）　砂利種別（※砂利　• 砕石）
	⑪ 鉄筋工事	• 丸鋼　• A種　• B種　(2.4.1) ⊙異形鉄筋　⊙SD30　• SD35　(建5.1.1表)
	⑫ コンクリート工事	軽骨材　※砂利　• 砕石　• 砂利と砕石の混合（　*/wt 以下）　(2.4.1) 細骨材　※洗砂　•　(建6.2.2)
		⊙鉄筋コンクリート　※レデーミクストコンクリート（※Ⅰ類　• Ⅱ類）　(建6.1.1表) • 現場練りコンクリート　※手練り（1：3：6）　• 機械練り（• 容積　• 重量） 設計基準強度（kg／㎠） • 210　施工箇所（　） ⊙180　施工箇所（浄化槽スラブ） • 150　施工箇所（　） • 135　施工箇所（　） • 現場練りコンクリート　施工箇所（　）
		⊙無筋コンクリート　※レデーミクストコンクリート（※Ⅰ類　• Ⅱ類）　(建6.9.1表) ⊙現場練りコンクリート　※手練り（1：3：6）　• 機械練り（• 容積　• 重量） 設計基準強度（kg／㎠） • 180　施工箇所（　） • 150　施工箇所（　） • 135　施工箇所（　） ⊙現場練りコンクリート　施工箇所（網類、浄化槽スラブ）
		※強度試験　※強度を指定されたコンクリートは、強度試験を実施する。 ⊙下記のコンクリートは強度試験を省略することができる。 （網類、浄化槽スラブ）
	⑬ 塗装	塗装の品質　⊙JIS規格品　• 規格外品 塗料の規格種別 さび止めペイント　鉄部　※（JIS K 5622～5625）　• 亜鉛めっき面　※（JIS K 5627）　• 調合ペイント　油性系　•（JIS K 5511～5515） 合成樹脂系　※（JIS K 5516） アルミニウムペイント　※（JIS K 5492） 2．1表に記載のほか、下記機材は製造者の標準塗装とすることができる。　(2.7.1) ※制御盤類　※屋内消火栓箱その他これに類するもの　•
	⑭ 貫通孔のスリーブ	※スリーブは鋼製又は鋼板製とする。　(1.8表) ⊙下記以外の箇所でやむを得ない場合は、監督員の承諾を受けて紙製又は合成樹脂製スリーブを使用することができる。ただし、型わく取外し後、完全に取除くものとする。　(建22.3.1表) ※防火区画の（※はり　• 床　• 壁）を貫通する箇所 ※幅が（※300㎜　• 350㎜）以上のはり ※ピット及び水槽などに接するはり及び壁 •
	⑮ 他工事との取合い	⊙電気一次側電源供給の機器の接地は（• 本工事　※別途）とする。 二次側の機器及び特記のある機器の接地は（※本工事　• 別途）とする。 ⊙鉄筋コンクリートの躯体（はり、壁、床）の貫通孔のスリーブは（※本工事　• 別途）とし、補強鉄筋は（• 本工事　※別途）とする。 ⊙壁、床を貫通する仮わく（盤類、消火栓、大便器など）入れは（※本工事　• 別途）とし、補強鉄筋は（• 本工事　※別途）とする。 ⊙天井及び壁のボード類の下地の切込み及び補強は（• 本工事　◉別途）とする。

章	項目	特記事項
①	⑯ 保温	• 2.5表～2.8表による。　(2.8.3) ※2.5表～2.8表による保温の施工種別は、下表により適用する。

屋内配管の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序 ※グラスウール • ロックウール	管種及び保温の厚さ (㎜)	材料及び施工順序 • フォームポリスチレン	管種及び保温の厚さ (㎜)	使用区分
a	1 保温筒 2 鉄線 3 原紙 4 鋼帯	給水管、排水管、通気管、消火管、給湯管（※グラスウール） 15～ 80A 20 100～ 150A 25 200A 40	1 保温筒 2 粘着テープ 3 原紙 4 鋼帯	給水管、排水管、通気管、消火管 15～ 150A 20 200A 30	屋内露出配管
b	1 保温筒 2 鉄線 3 原紙 4 ビニルテープ		1 保温筒 2 粘着テープ 3 ビニルテープ		天井内、パイプシャフト内及び水遮蔽中配管
c	（給湯管の場合） 1 保温筒 2 鉄線 3 原紙 4 アルミガラスクロス	給水管、排水管、通気管、消火管（• ロックウール） 15～ 50A 20 65～ 150A 25 200A 40	—		
d	1 保温筒 2 鉄線 3 アスファルトフェルト 4 防水麻布	給湯管（• ロックウール） 15～ 80A 20 100～ 150A 25 200A 40	1 保温筒 2 粘着テープ 3 アスファルトフェルト 4 防水麻布		床下、暗渠内及びコンクリート内配管

※給湯管でロックウール使用の場合は、b種及びc種の原紙を除く。
※防水麻布巻きは、アスファルトプライマー2回塗りスは焼付け仕上げとする。
※配管の床貫通箇の保護管種（ステンレス鋼板）の高さは75㎜以上とする。

屋外配管の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序 ※フォームポリスチレン	管種及び保温の厚さ (㎜) 防凍仕様	管種及び保温の厚さ (㎜) 一般仕様	摘要
e	1 保温筒 2 粘着テープ 3 アスファルトフェルト 4 鉄線 5 亜鉛鉄板 ステンレス板	給水管、消火管、給湯管 15～ 200A 40	給水管、消火管、 15～150A 30 200A 30	※防凍仕様による • 一般仕様による

機器の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序 ※ロックウール	機種及び保温の厚さ (㎜)	摘要	材料及び施工順序 ※フォームポリスチレン	機種及び保温の厚さ (㎜)	摘要
g	1 鋲 2 保温板（1号） 3 アスファルトルーフィング 4 鉄線 5 アルミニウム板	圧力水槽 50 減圧水槽	圧力水槽保温（◎要　※不要） 減圧水槽保温（• 要　※不要）	1 接着剤又は鋲 2 保温板 3 粘着テープ 4 アスファルトルーフィング 5 鉄線 6 アルミニウム板	鋼板製水槽 25 消火用呼水槽保温	鋼板製水槽保温（※要　• 不要） 消火用呼水槽保温（• 要　※不要）
h	1 ブランケット 2 鉄線 3 亜鉛鉄板	排気筒 50 膨張、逃道 （ガス湯沸器排気筒は天井内届ベい部）	排気筒保温（※要　• 不要） 膨張、逃道保温（※要　• 不要）	—	—	—
i	1 ブランケット 2 鉄線 3 アルミニウム板	貯湯槽 50	貯湯槽保温（※要　• 不要）	—	—	—

章	項目	特記事項
②	1. 大便器洗浄弁	※バキュームブレーカ付とする。　(1.1.4)
衛生器具設備	2. 小便器用ハイタンク	• 露出　• 隠ぺい（• 防露形）
	3. 小便器用洗浄管	※埋込　• 露出　(1.1.5)
	4. 化粧棚	• 陶器製（※露出形　• 埋込形）　• ガラス製（※レールなし　• レール付）　(1.1.7)
	5. 水石けん入れ	※横形　• 立形　容量（※0.35ℓ　• 0.75ℓ）　(1.1.8)
	6. 既製流し台など	形式　• KJ 部品　• 市販形 ※水槽は深しぼりとし、水切部との接合はシーム溶接とする。（トラップ付） 材質　• ステンレス鋼板（• SUS 304　• SUS 430） •
	⑦ 陶器類	⊙便器、洗面器 ユニットは B.L 製とする
③	① 給水方式	• 水道直結式　⊙高置水槽式（※市水　• 井水）
給水設備	② 量水器	◉親メーター（※貸与　• 買取り） ⊙子メーター（• 貸与　※買取り）
	③ 量水器きょう	◉親メーター用　水道事業者指定品（• 貸与　※買取り）　• 鋳鉄製市販形 ⊙子メーター用　水道事業者指定品（• 貸与　※買取り）　• 鋳鉄製市販形
	④ 量水器例	※県標準設計図による。　• 水道事業者の指定仕様による。
	⑤ 弁類	◉水道直結部分　JIS（• 5kgf/㎠　※10kgf/㎠） ⊙その他の部分　JIS（※5kgf/㎠　• 10kgf/㎠）
	⑥ 弁きょう	⊙水道事業者指定品（• 貸与　※買取り）　• 鋳鉄製市販形
	⑦ 弁例	※県標準設計図による。　• 水道事業者の指定仕様による。
	⑧ 管類	◉屋内（• 水道用亜鉛めっき鋼管　• 水道用硬質塩化ビニル管　(1.6.1) ※ライニング鋼管（• 黒　※白）　• 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 ◉屋外（• 水道用亜鉛めっき鋼管　• 水道用硬質塩化ビニル管 ※ライニング鋼管（• 黒　※白）　• 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 • 水道用ポリスチレン管　•
	⑨ 防振継手	※共通仕様書第2編1.6.9.による。ただし、円筒形の場合は下記による。　(1.6.9)

管径 ㎜	80以下	100～ 125	150～ 250
全長 ㎜	300	400	500

10. 可撓継手の長さ	※		(1.6.10)

管径 ㎜	50以下	65～ 150	200以上
全長 ㎜	300～ 500	300～ 800	1,000

⑪ 機械室配管のつり金物	※		

機械	室名			
防振	シングル	※	※	※
つり金物	ダブル	•	•	•
施工範囲		揚水室、消火室		

章	項目	特記事項
④	① 排水方式	⊙建物内汚水と雑排水（※分流　• 合流） ⊙建物外放流先　汚水　• 直放流下水管　⊙し尿浄化槽 雑排水　• 直放流下水管　• 下水管　⊙側溝　• し尿浄化槽　•
排水設備	② 管類	◉水道用亜鉛めっき鋼管　• コーティング鋼管　• 排水用鋳鉄管（コーキング接合）　(1.6.1) • ラバージョイント形排水用鋳鉄管（メカニカル及びスクリュー形を含む） ◉硬質塩化ビニル管（VP）　• 遠心力鉄筋コンクリート管（• A形　※B形）
	③ 排水金具・ふた等	※標準図に示す機材に準じた汎用形のものとする。　(1.7.1～8) (1.8.1)
	④ 洗面器等の排水管	⊙洗面器及び手洗器に直結する排水管寸法は、器具トラップよりワンサイズアップとする。 ⊙既製流し台等の床上露出部分の配管は、硬質塩化ビニル管(VP)でもよい。
	⑤ 排水桝類	※桝類は、県標準設計図による。
	6. 満水試験継手	※図示箇所に取付ける。　(2.3.3)
	⑦ 試験	※通水試験　• 煙試験　• 満水試験　(2.3.4)

章	項目	特記事項
⑤	1. 管類	※鋼管　• 水道用亜鉛めっき鋼管　(1.6.1)
給湯設備	2. 電触防止継手	• 取付ける。　• 取付けない。
	3. 弁類	JIS（※5kgf/㎠　• 10kgf/㎠）
	4. ガス湯沸器	• 使用ガス（※都市ガス　• 液化石油ガス） 発熱量　Kcal/㎥・kg • バランス形以外のものは、排気連動装置付とする。
	5. 煙突その他	• 給湯ボイラー　煙突（• 本工事　※別途） • 給湯ボイラー　煙道（※本工事　• 別途） 鋼板厚（※3.2㎜　•　㎜） • ガス湯沸器排気筒（※本工事　• 別途）　(1.3.5) 材質　ステンレス鋼板（• SUS 304　• SUS 430）　厚さ（※0.3㎜　•　㎜） ※湯沸器から水栓までのコンクリート壁埋込配管は、防水麻布巻きのみとする。
	6. 保温	
⑥	1. 消火設備の種類	• 屋内消火栓　• スプリンクラー装置　• ハロゲン化物消火装置 • 泡消火装置　• 粉末消火装置　• 屋外消火栓 • 連結送水管　• 連結散水装置
消火設備	2. 管類	※水道用亜鉛めっき鋼管　(1.6.1) • ハロゲン化物消火用は、圧力配管用炭素鋼鋼管スケジュール40以上とする。
	3. 屋内消火栓箱	• HB－1A（埋込形）に準ずるものの寸法（㎜）は（H　×W　×T　） • HB－1B（露出形）に準ずるものの寸法（㎜）は（H　×W　×T　）
	4. 屋外消火栓箱等	屋外消火栓箱（• 壁掛形　• 自立形架台付） • HB－2Cに準ずるものの寸法（㎜）は（H　×W　×T　） 屋外消火栓ホース格納箱（自立形） • HB－2Cに準ずるものの寸法（㎜）は（H　×W　×T　）
	5. ホース掛	※くし形　• かご形
	6. 消火栓弁	※10kgf/㎠　• 20kgf/㎠　• 圧力調節弁付
	7. 試験	• ハロゲン化物消火装置の放出試験には、二酸化炭素を代用してもよい。　(2.5.4)
⑦	① 種類	⊙都市ガス（発熱量10,000 kcal/㎥）　• 液化石油ガス（発熱量　kcal/kg）
ガス設備	② 管類	◉配管用炭素鋼鋼管（白）　• 圧力配管用炭素鋼鋼管（高圧側）　②PLP鋼管（地中埋設管）　(2.1表) (3.1表)
	③ ボンベ	• 別途（• 10kg　• 20kg　• 50kg）　本
	④ メーター	◉貸与品　• 買取り
	⑤ 試験	※気密試験結果のチャートを提出する。　(2.2.5) (3.2.5)
⑧	1. 管類	※配管用炭素鋼鋼管（• 黒　※白）　• 屋内配管用ステンレス鋼管
B給油設備	2. 弁類	JIS（※5kgf/㎠　• 10kgf/㎠） • 中継タンクに設置する仕切弁は、所轄消防署の承認するものとする。
	3. 緊急遮断装置	※防爆形電磁弁（通電時開）バイパス付
	4. 地下貯油槽用付属品	※標準図に示す機材に準じた汎用形とし、かつ、下記による。 鋳鉄製油標ふた（※中ふたス　• 1枚ふた式　） 漏えい検査口用ボックス（• 取付ける。　• 取付けない。）
	5. 標識等	※緊急遮断装置には見易い箇所に幅100㎜以上、長さ250㎜以上の板に地を赤色、文字を白色とした標識を設ける。また点検のために設けた開口部にある配管ごとに、地を幅300㎜の黄色とし、黒色の文字で取扱う危険物の物品名を表示する。 • 標識板材質（• 塩化ビニル製　• アクリル樹脂製　•　）
	6. 油配管の防食	※地中配管する場合は、コールタール（• 1回　※2回）塗りのうえ防水麻布巻きとする。
	7. 消火器の設置	• 下記の箇所に消火器を設置する。 • 中継タンク室　単位 • 地下タンク貯蔵所　単位　• 格納庫（• 鋼板製　•　）
	8. 試験	※試験は空気圧試験とし、最大常用圧力の1.5倍の圧力とする。なお試験結果のチャートを提出する。
⑨	① 処理対象人員	※　50　人
し尿浄化槽設備	2. 処理水量	※　㎥/c・d
	③ 放流水質	• 水素イオン濃度（PH）　以上　以下　(1.4表) • 生物化学的酸素要求量（BOD）　90　ppm 以下 • 浮遊物質量（SS）　ppm 以下
	④ 処理種別	◉単独処理（• 腐敗タンク方式　(1.1表) ※長時間ばっき方式（※単相　• 3相　V　kw） ⊙分離接触ばっき方式（※単相　100V　100W　） • 合併処理（※長時間ばっき方式 •
	⑤ 形式	⊙ユニット形　• 現場施工形
	6. 施工範囲	• 現場施工形　(1.2) • 腐敗タンク方式　コンクリート躯体工事は（• 本工事　• 別途）とする。 内部設備（共通仕様書第7編1.2による）は（• 本工事　• 別途）とする。 排気筒、排水管及びポンプすえ付け工事は（※本工事　• 別途）とする。 • 排気筒　地上部　※硬質塩化ビニル管（VP） 地中埋設部　※硬質塩化ビニル管（VP） • 遠心力鉄筋コンクリート管（• A形　※B形） • 排水管　• 硬質塩化ビニル管　• 水道用亜鉛めっき鋼管 • 長時間ばっき方式　コンクリート躯体工事は（• 本工事　• 別途）とする。 装置などの施工範囲は1.2表によるほか、下記による。

項目	単独処理	合併処理（散気式）
ハ 副水路	—	•
ニ 破砕装置	—	•
ワ スカム除去装置	•	•
カ 消泡ノズル	—	•
ツ 送風機室	•	•
ネ 防臭さく	•	•
ナ 消泡配管工事	—	•

機器表

• ボイラー

記号	形式	最高使用圧力	定格熱出力	伝熱面積	温水出口温度	備考
B－	• 給湯ボイラー　• 簡易給湯ボイラ　•	kg/㎠	Kcal/h	㎡	℃	

燃料	燃料消費量	形式	制御方式			
• A 重油　• 灯油	ℓ/h	※ガンタイプ　• ロータリ	※オンオフ　• ハイロー　• 比例	相　V	kw	※
※ガス（　Kcal/㎥）	㎥/h	※押込通風先混合形	※全自動　•		ℓ	
			ボイラー基礎（• 本工事　• 建築工事）			

送風機類

名称	記号	形式	仕様	基礎種別	台数	備考
• 送風機 排風機	F－	多翼形（• 片吸込　• 両吸込）	NO　×　㎥/h×静圧　mmAq　kw	• A　※B　• C		※

天井つり形のつり金物　• 配管の防振（標準図のシングル図）による。　• 配管の防振（標準図のダブル図）による。　床置形基礎（• 本工事　• 建築工事）

名称	記号	形式	仕様	台数	備考
• 換気扇	F－	• 普通形　• 圧力形　• 天井埋込形　• 吸排筆用形	mmφ　㎥/h×静圧　mmAq　kw		•
• 自動シャッター　• 連動シャッター　• ウェザーカバー　• ベントキャプ			貫通孔仮わく入れ（• 本工事　• 建築工事）		

ポンプ類

名称	記号	仕様	電動機	基礎種別	台数	備考
◉補水ポンプ	Pw－1	40mmφ×100ℓ/min×20 mAq	3 相 200V 1.5 kw	※A • B • C	2	フート弁（※要　⊙不要） 凍結防止用ヒータ（※要　• 不要）
• 消火ポンプ	Pw－	mmφ×　ℓ/min×　mAq	相　V　kw	※A • B • C		フート弁（※要　• 不要） 凍結防止用ヒータ（※要　• 不要）
• 温水循環ポンプ	Pw－	mmφ×　ℓ/min×　mAq	相　V　kw	※A • B • C		※
• 油ポンプ	Po－	mmφ×　ℓ/min×　kg/cm	相　V　kw	※A • B • C		
• 排水ポンプ	Pw－	mmφ×　ℓ/min×　mAq	相　V　kw	—		※水中形（• 汚水　• 汚物）
				ポンプ基礎（• 本工事　⊙建築工事）		

槽類

名称	記号	規格	仕様				
• 地下貯油槽	OT－	容量　ℓ　• OT形による　• 図示による	タンク室	コンクリート工事	タンク保護材		※
			• 設けない時	※水上事　※建築工事	• モルタル塗り		
			• 設ける時	※水上事　※建築工事	※アスファルト塗り		
• オイル中継タンク	Tos－	容量　ℓ　• OST形に準ずる　• 図示による	寸法（㎜）	W　×　×H　×t	基礎	• 本工事　• 建築工事	•
• オイル戸別タンク	Top－	容量　ℓ　• 図示による	寸法（㎜）	W　×　H　×t　ボールタップ（耐油パッキン）付			
⊙受水槽	Tw－1	容量 4,000ℓ　⊙図示による　• 県標準設計による	※FRPサンドイッチ製　• FRP単板製　※現場組立式　• 成形品（　形）	基礎	• 本工事　⊙建築工事		
⊙高置水槽	Twh－1	容量 2,000ℓ	※FRPサンドイッチ製　• FRP単板製　※現場組立式　※成形品（　形）	基礎	• 本工事　⊙建築工事		•
• 消火用高置水槽	Twh－	容量　ℓ	※FRPサンドイッチ製　• FRP単板製　※現場組立式　※成形品（　形）	基礎	• 本工事　• 建築工事		
• 消火用呼水槽	Th－	容量　ℓ	※鋼板製既製品（減水警報装置付）				
• 膨張水槽 減圧水槽	Te－	容量　ℓ　• ET形による　• 図示による	寸法（㎜）	W　×　H　×t	基礎	• 本工事　• 建築工事	

温沸器類

名称	記号	仕様				
• 貯湯式ガス湯沸器	GH－	容量　ℓ　ガス消費量　㎥・kg				•
• 瞬間式ガス湯沸器	GH－	号（　ℓ/min 25°上昇）　ガス消費量　㎥・kg　• バランス形　• 排気連動装置付				

備考　基礎種別記号Aは標準基礎A、Bは標準基礎B、Cは防振基礎を示す。

追加特記事項

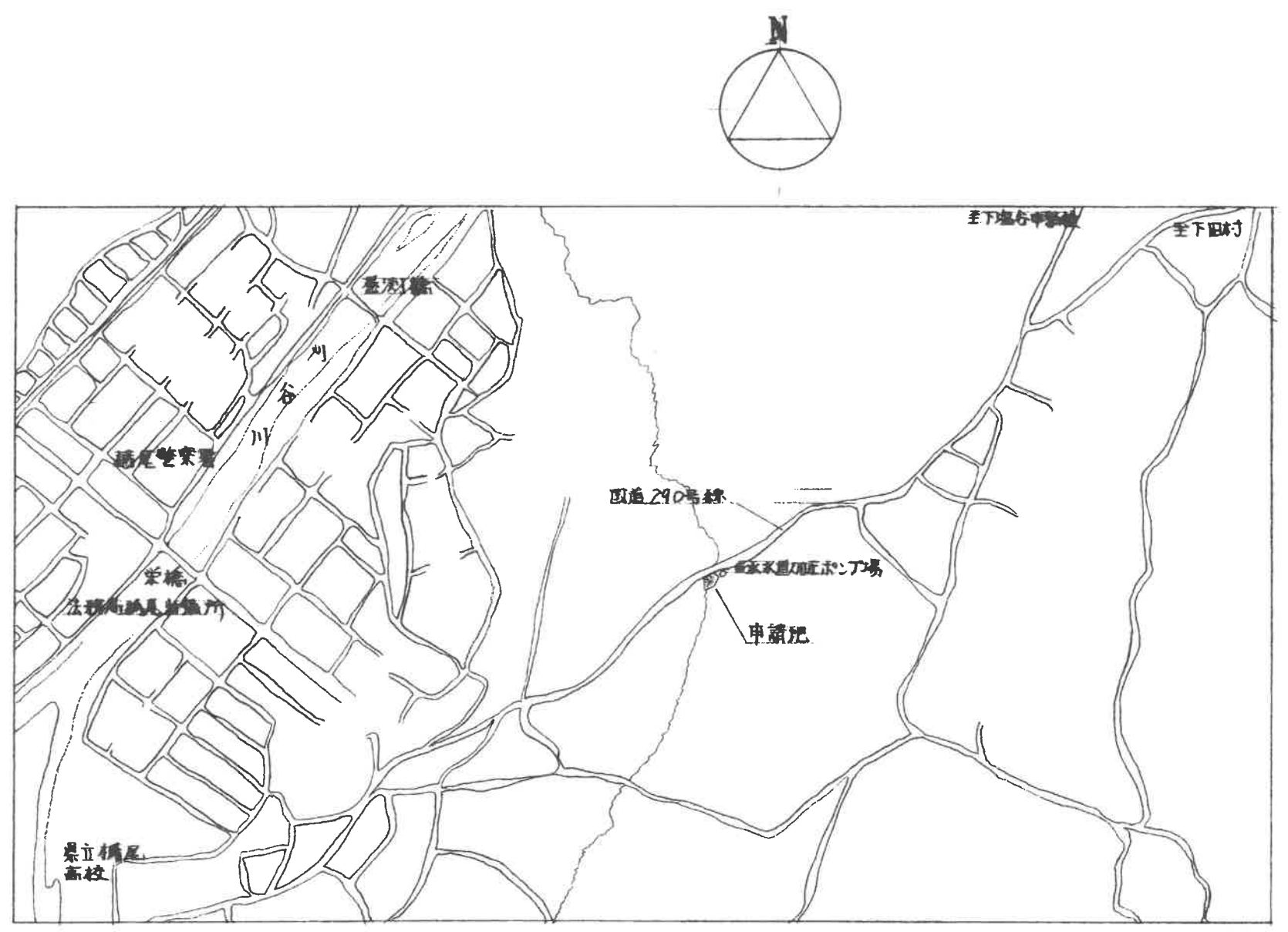
※ 給水ガス管の地中埋設管は防食テープ(0.4%JIS Z 1901)と畜覆とする
※ 給水ガス屋外管のスラブエコロガン、本屋内配管はSGP-Gとする。
※ 屋内露出管については、鋼帯仕上をビニルテープ巻と読みかえる

課長 消防係長 主任 係

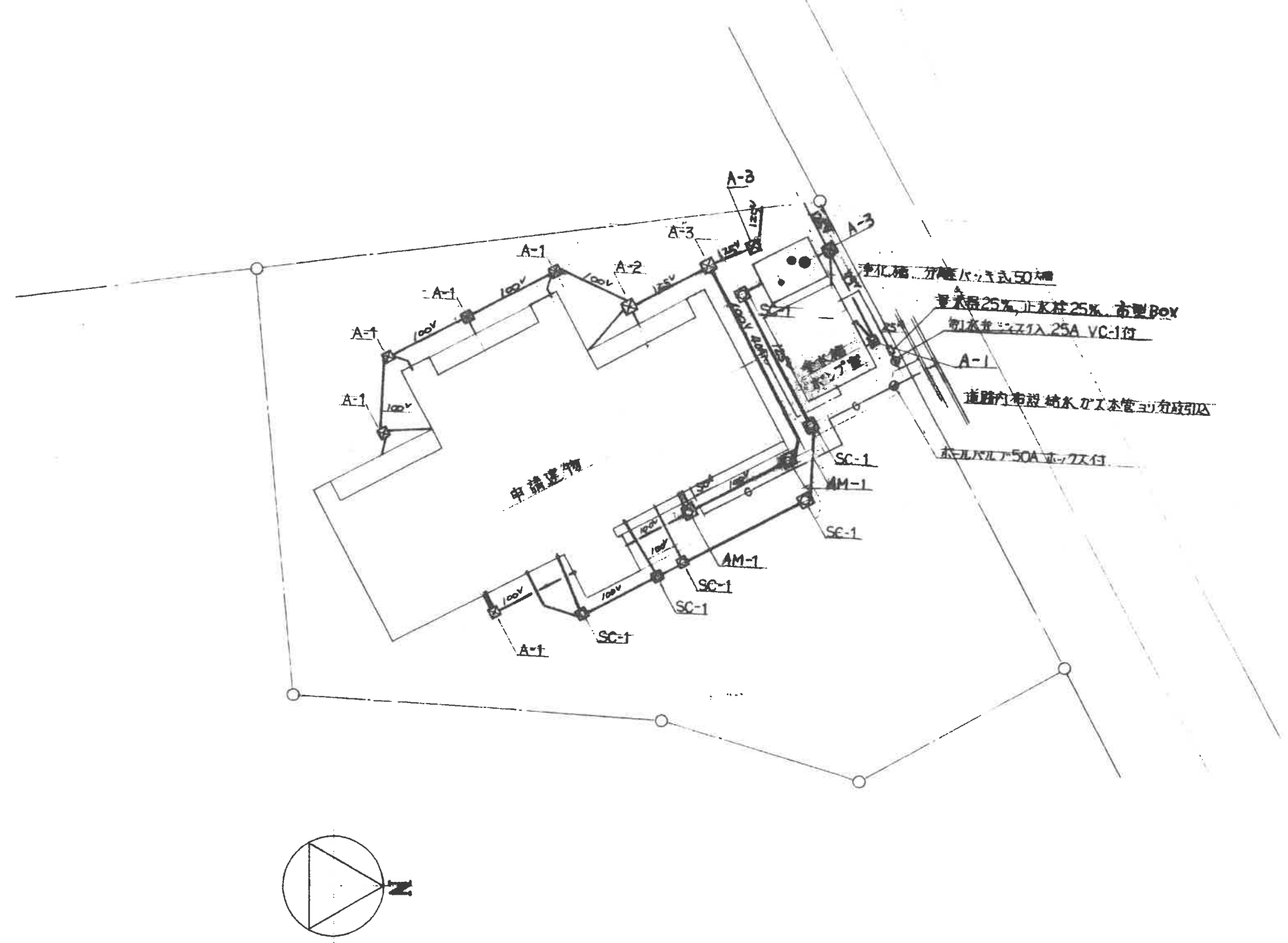
新潟県教職員住宅 才37号住宅 他2棟 工事
特記仕様書 図 縮尺 11枚 No. 2
昭和55年8月 日

設計 新潟県建築設計協同組合
電話65-4746～7 登録第9200号 一級建築士 山本武夫

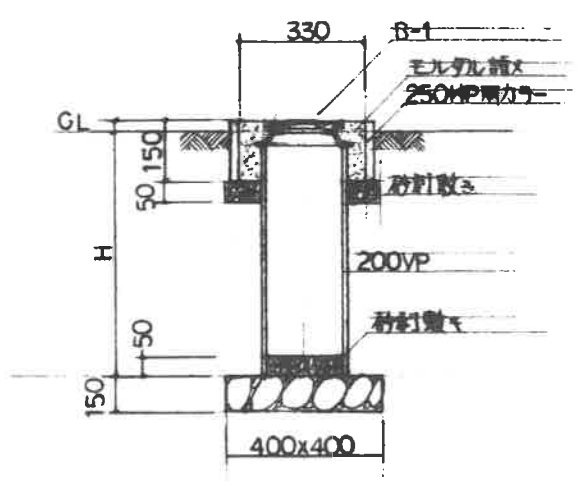
衛生設備工事特記仕様書　**新潟県土木部**



案内図

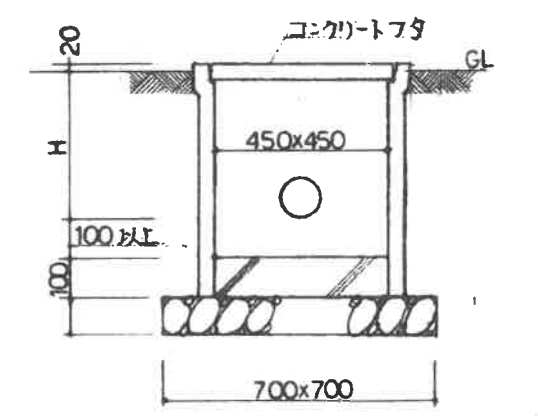


配置図 S: 1/250

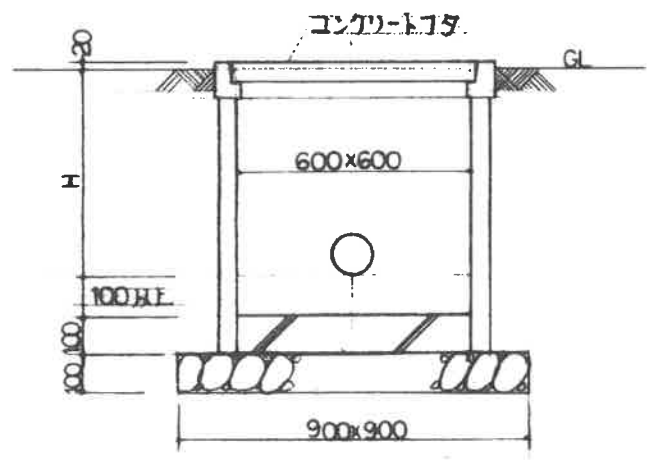


VC-1 弁桝

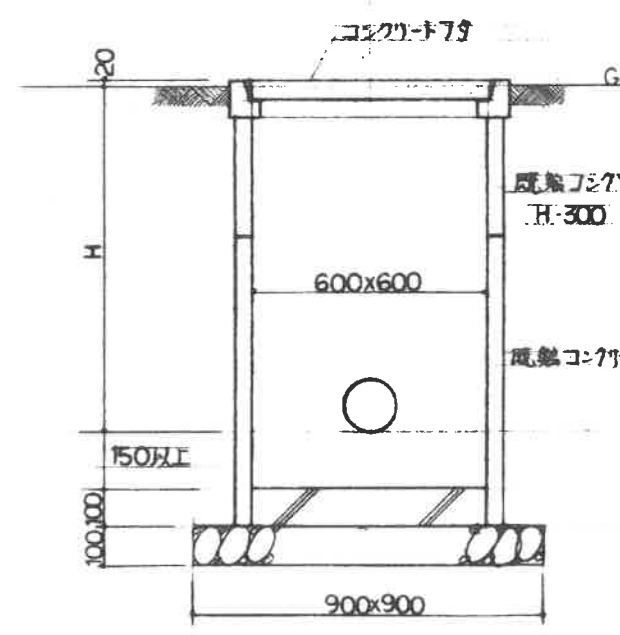
注：Hハ配管埋設深サニヨリ決定スル



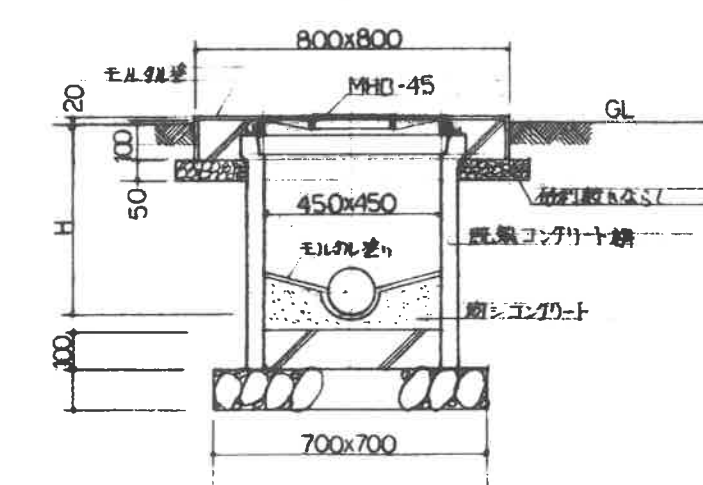
A-1 (H=220~380)



A-2 (H=390~530)



A-3 (H=540~780)

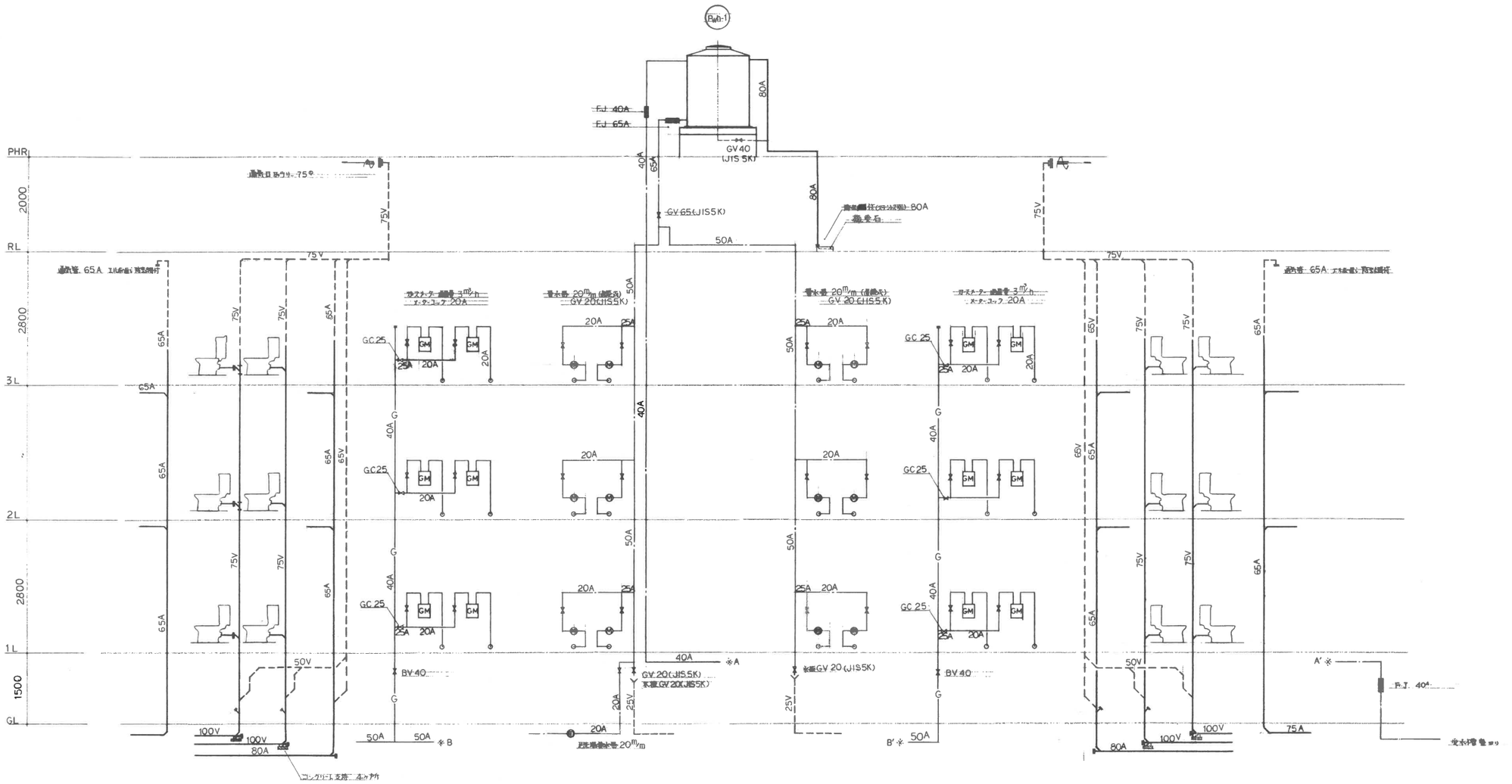


SC-1 (H≦490)

課長	補佐	係長	主任	係	

新潟県教職員住宅 第37号宿舎 衛生設備 工事

案内図，配置図		図番	11 枚 No. 3
縮尺	S: 1/250		昭和55年8月 日
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号 (八 第640号) 理事長 一級建築士 三 新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65-4746~7 登録第9200号 一級建築士 山本武		

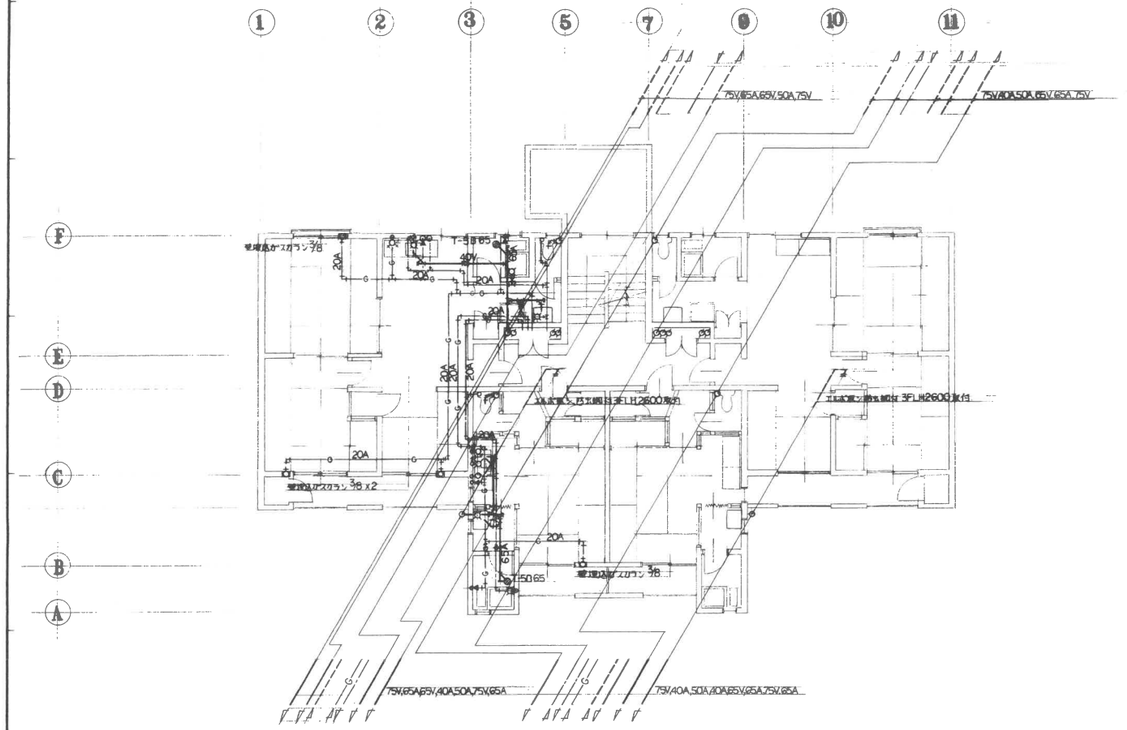


系統圖 S=1/100

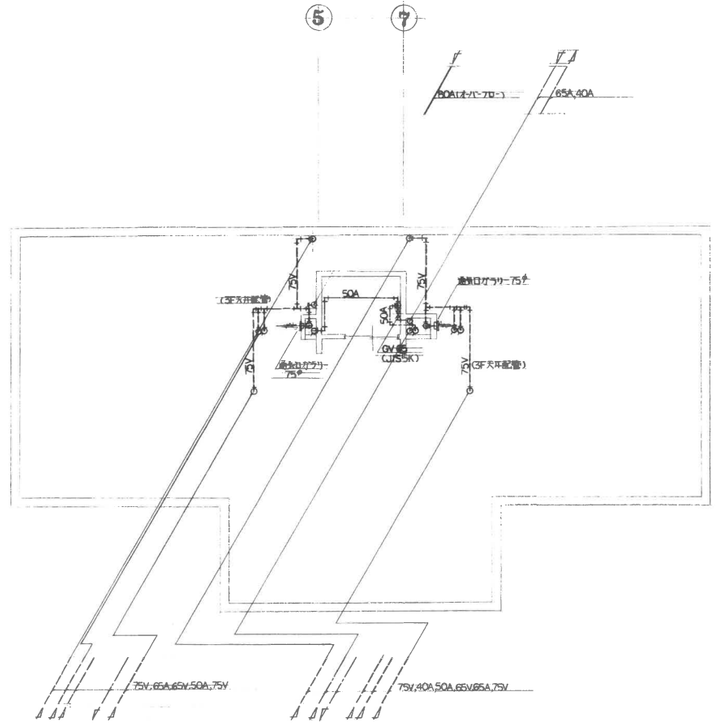
課長	補佐	係長	主任

新潟景観公園住宅 37号 商店 衛生設備 工事

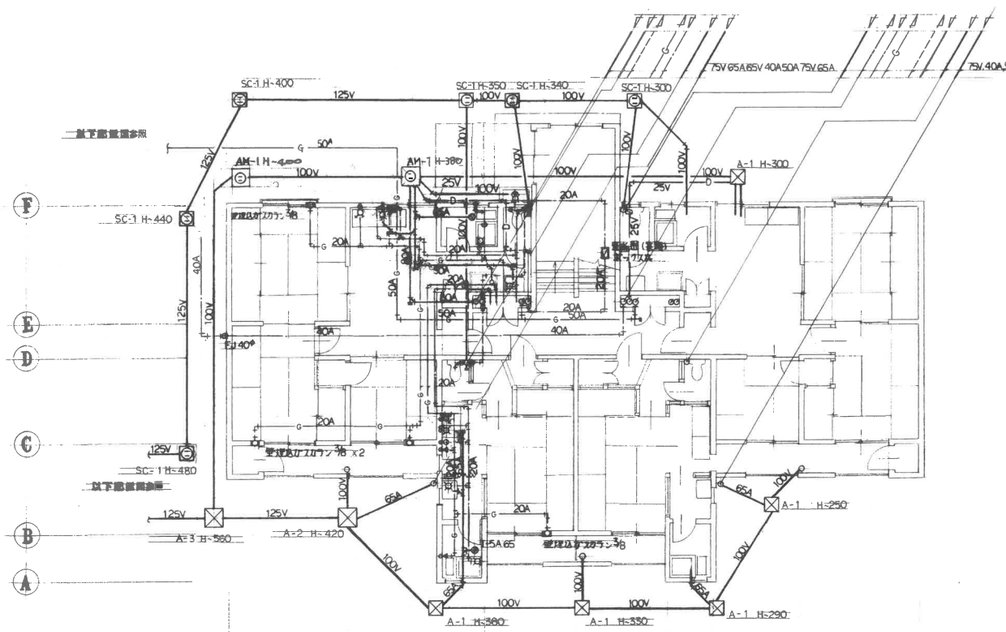
系統	図	図番	11 枚 No. 4
縮尺	S=FREE	昭和 55年 8月 日	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号 [ハ-2390号] 博多生 一級建築士 三富 謙 新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65—4746—7 登録証9200号 一級建築士 山本武夫		



2階平面図 S=1:100

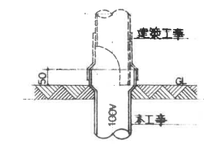


塔屋1階平面図 S=1:100

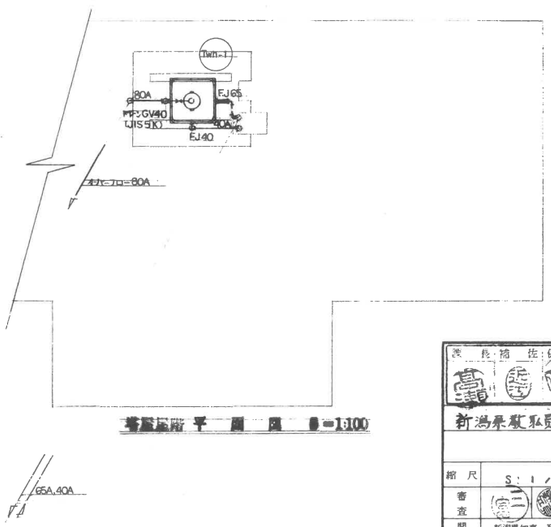


1階平面図 S=1:100

室名	器具名	品番	仕様	数量
便所	洋風便器	DL-LUW型	手洗付ロータンク節水型 紙巻器	12
			給水金具、埋産、他、附属品一式	
			注：世帯毎居住居ニハ子供用便座付トイル	
台所	流シ台		建築工事	
	自在水栓	13-F5	注：世帯毎居住居ニ給水栓取付開口(埋職：TN-52A13)	12
	2口Y型バネカン	3/8		12
	ストレート止水栓	13		12
	パロコム管コック	1/2		12
脱衣室	洗濯機ユニット	DL-500型	給水金具、万能ホーム立水栓、排水金具、	12
			Sトラップ、他、附属品一式	
	化粧キャビネット	370x650x175D	(参考：東陶Y3507)	12
	洗濯パン	800x620x86H	排水トラップ位ヒキ型 附属品一式	6
			注：世帯毎居住居ノミ	
浴室	浴槽		建築工事	
	バランス管		〃	
	自在水栓	13-F5		12
	パロコム管コック	1/2		12
	床排水金具	T-5A 65		4
	〃	T-5D 65		8
和室	管埋込ガスカラン	3/8		24
足洗イ場	足洗イ流シ		建築工事	1
	銅湯ノ肌水栓	13-F6		1
	排水金具	D-100		1



雨横排水詳細図 S:1/10

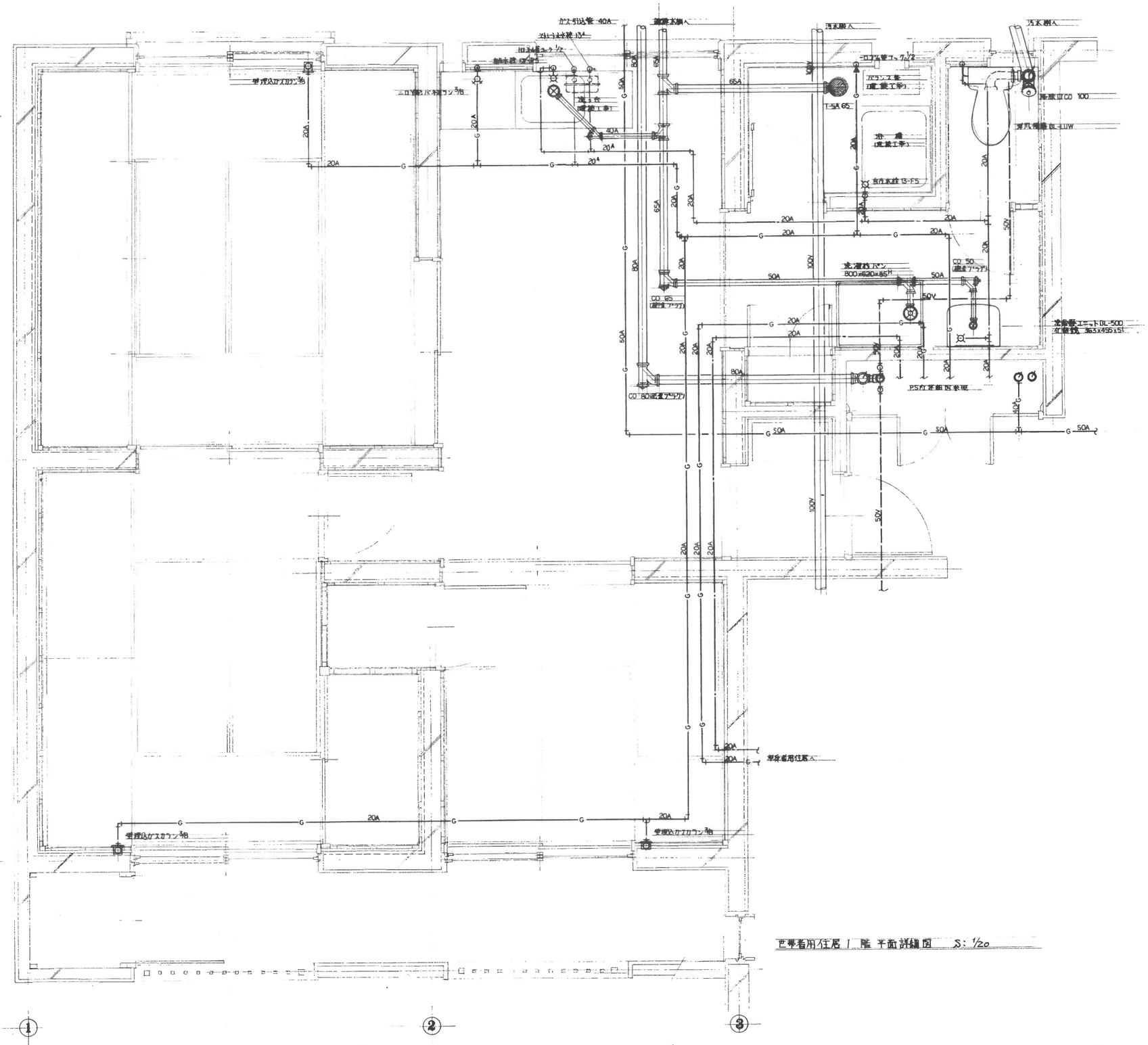


塔屋屋階平面図 S=1:100

承認	指導	係長	主任	係			
鷹	佐	鳴	海	春	遠		

新潟県職員住宅 才37号 南魚沼住宅設備 工事

図	図番	〃 枚 No. 5
縮尺	S:1/100, 1/10	昭和55年 月 日
審査	設計	
開設者	新潟県知事 登録番号 (ハ)3640号 1種事務 一級建築士 三富	
管理建築士	新潟県建築設計協同組合 電2565—4746～7	登録第9200号 一級建築士山本泰夫



芒帯着用住居 1 階 平面詳細図 S: 1/20

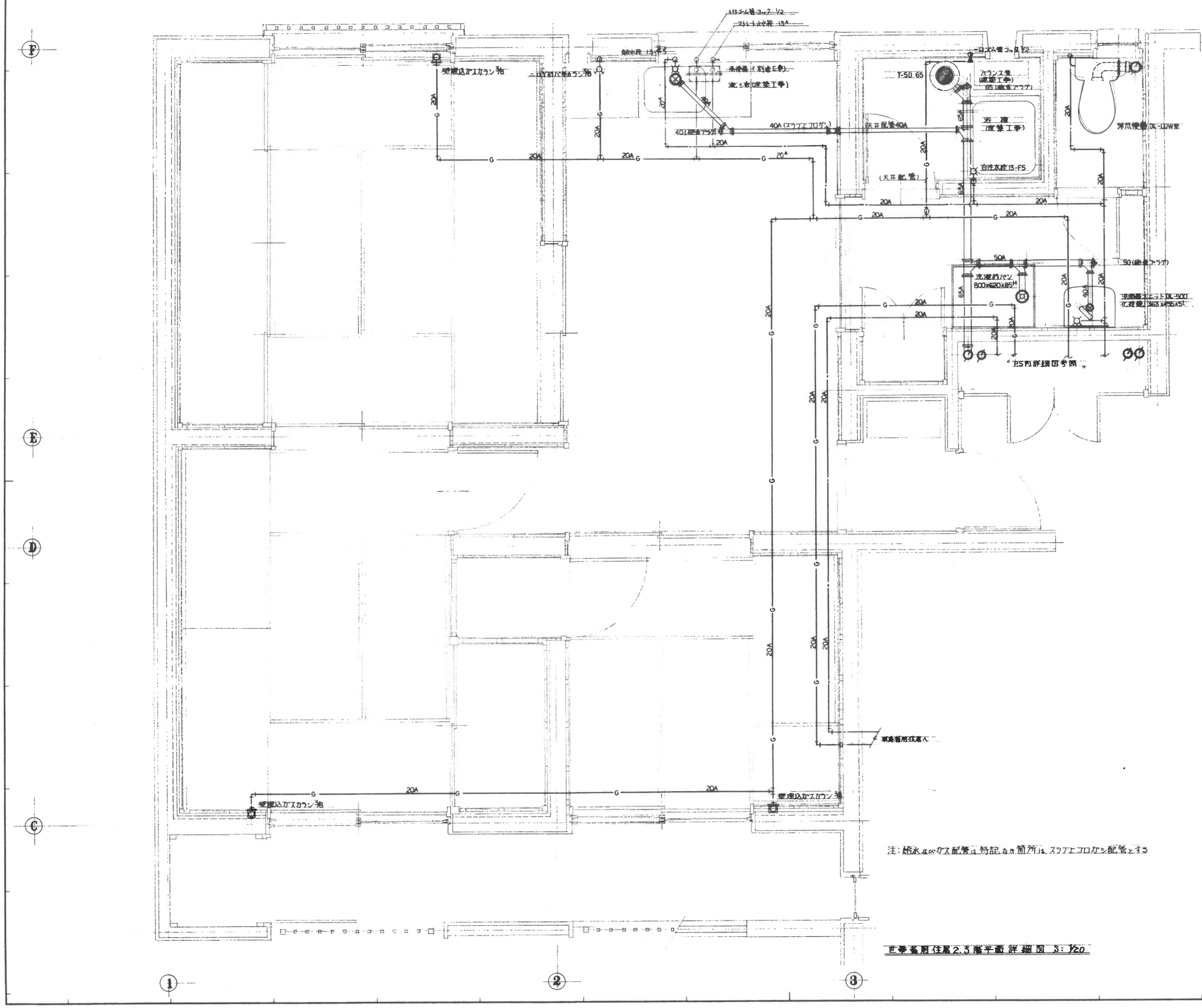
課長	指佐	係長	主任	係	

新潟県公営住宅 37号 自治 省エネ設備 工事

名称	詳細 No 1 図	図番	11 枚 No. 6
縮尺	S: 1/20	昭和 55年 8月 日	
審査		設計	

開設者 新潟県知事 登録番号 (ハ)第640号 理事長 一級建築士 三富 功
新潟県建築設計協同組合

管理建築士 電話65—4746—7 登録第9200号 一級建築士 山本貞夫



注：給水およびガス配管は特記なき箇所は、スラブ上コロガシ配管とする

世帯着用住居2.3階平面詳細図 S:1/20

課長	補佐	係長	主任	係	

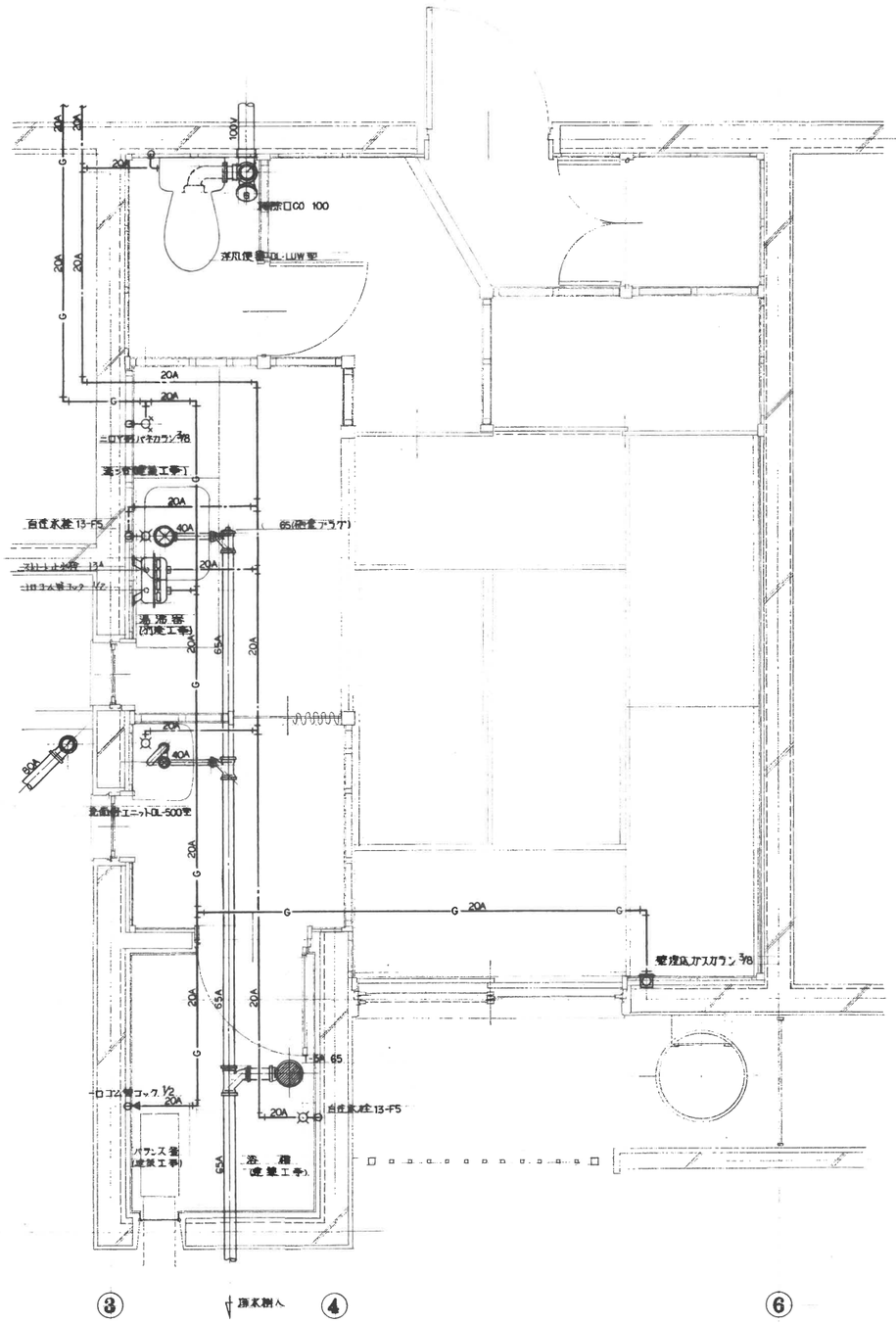
新潟県営駅前住宅オ37号館他 給水設備 工事

各部詳細図 No.2	図	図番	〃 枚 No.7
縮尺 S:1/20			昭和55年8月 日
審査		設計	

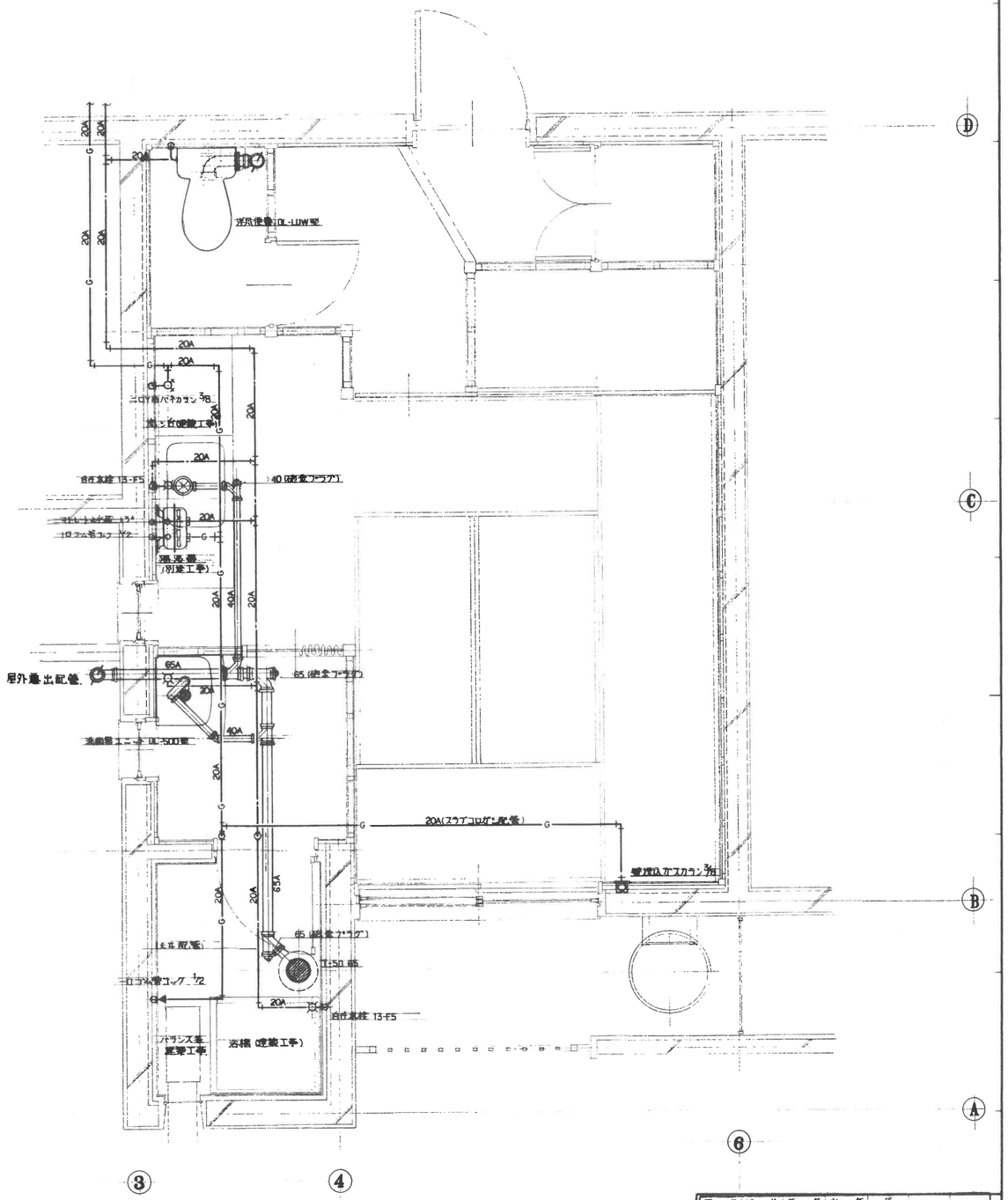
開設者 新潟県知事 登録番号 (ハ)第640号 一級建築士 三

管理建築士 新潟県建築設計協同組合

電話65－4746～7 登録第9200号 一級建築士山本武夫



単身者用1階平面詳細図 S:1/20

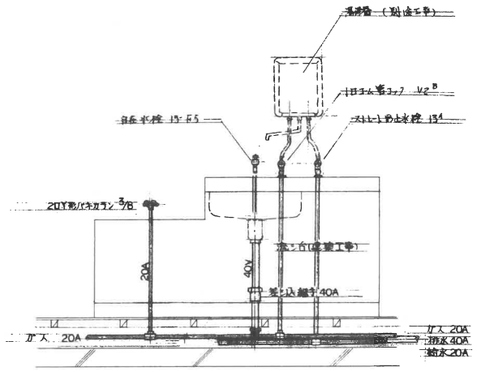


単身者用2.3階平面詳細図 S:1/20

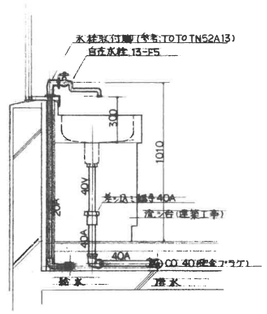
課長	補佐	係長	主任	係	

新潟県営取壊住宅 オ37号館 他1棟解体工事

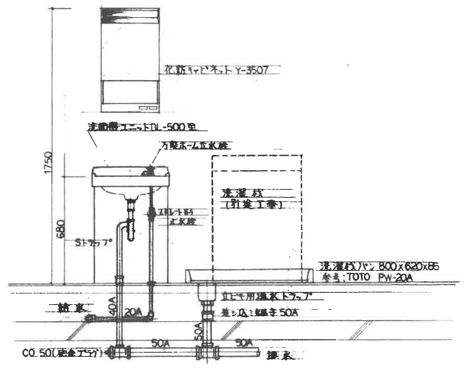
各部詳細 No.3 図		図番	11 枚 No. 8
縮尺	S:1/20	昭和55年8月	
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号 (ハ-566)号	理事長 一級建築士	三富
	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話565-4746~7	登録第9200号 一級建築士	山本



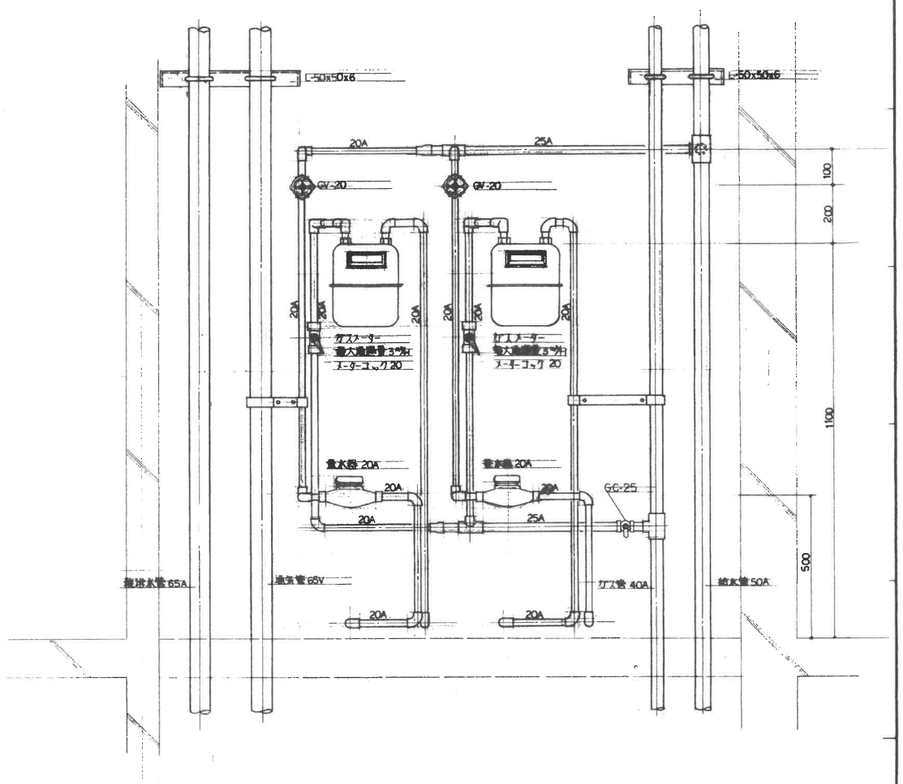
流し台立面詳細図 S:1/20

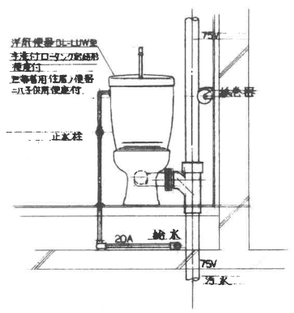


流し台断面詳細図 S:1/20

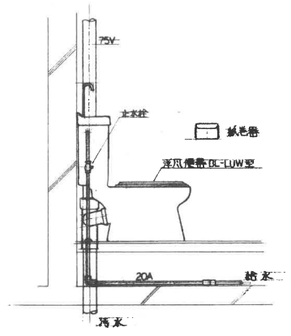


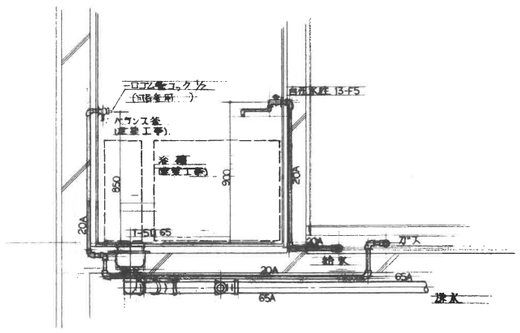
脱衣室立面詳細図 S:1/20



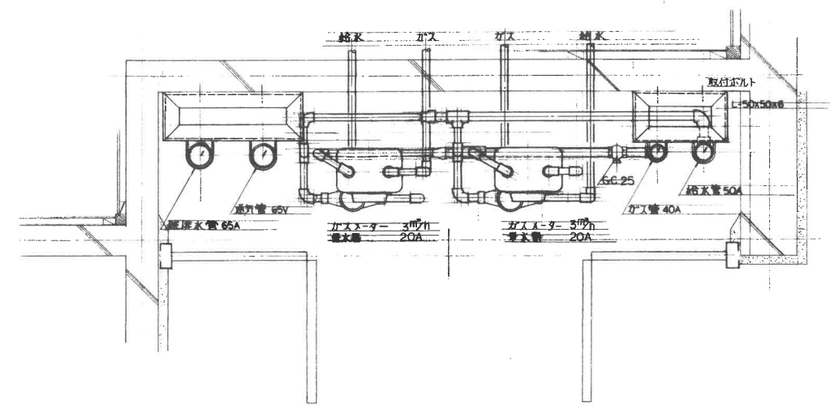


便器廻り立面詳細図 S:1/20





浴室立面詳細図 S:1/20

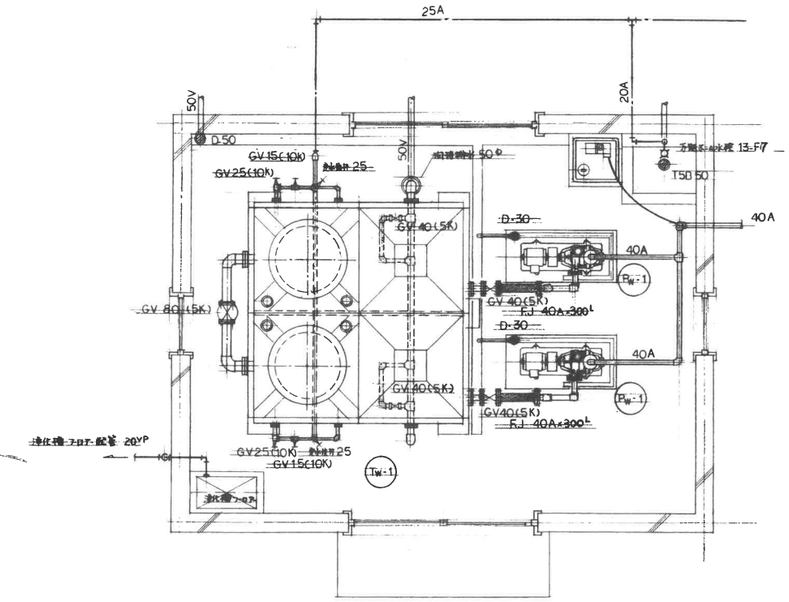


パイプシャフト内詳細図 S:1/10

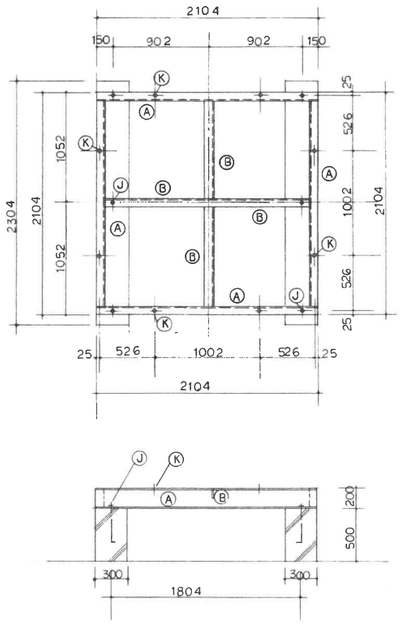
下長	治佐	係長	主任	係			

新潟県営私費住宅才37号新台 江玉線橋 工事

各部詳細 No.1図		図番	11 枚 No. 9
縮尺	S:1/20, S:1/10.	昭和55年8月 日	
審査		設計	
関改者	新潟県知事 登録番号 (ハ-第640号) 理事長 一級建築士 三富		
	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65—4746—7	登録第9200号 一級建築士 山本武夫	



受水槽平面詳細図 S=1:30



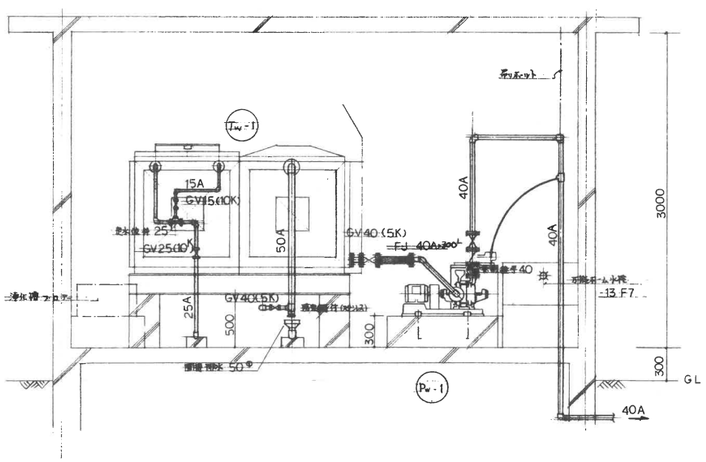
受水槽架台詳細図 S=1:30

Ⓐ	[-200×80×7.5
Ⓑ	L-75×75×6
Ⓙ	6-18Φ アンカーボルト用
Ⓚ	8-14Φ タンク据付孔
	アンカーボルト 6-16Φ×300L

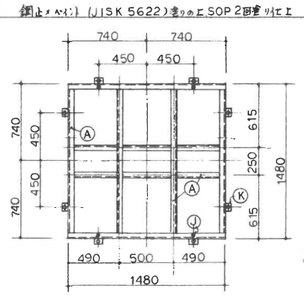
※ 加工および溶接ドスミ、錆止め塗装は SOP 2回塗

機器表

名称	数量	仕様
揚水ポンプ	2台	40mm × 100l/min × 20m × 1.5kW 3Φ200V
		CV, GV, ゴム製可撓継手, 圧力計, 長管形, 最低限定圧力100V
減圧弁	1台	電動式ダイヤフラムポンプ 3Φ 200V 15W 吐出圧 10kg/cm²
		重錘タンク 100l, フート弁, ストレーナ付止弁, 残留塩素測定器
受水槽	1基	F.R.P 製 複合版二槽式受水槽 4.0 m³
		中間仕切板, 点部排水トレンチ付, マンホール
		梯子(ステンレス)付
		外標示 - 銅管製 管20Φ 標10Φ ヤ375, ピッチ300
		内標示 - 塩ビ製 管40Φ, 標20Φ ヤ300, ピッチ300
支持用アングル		L-50×50×4
		鋼よりベンド (JIS K 5622) 塗りのち SOP 2回塗りにて



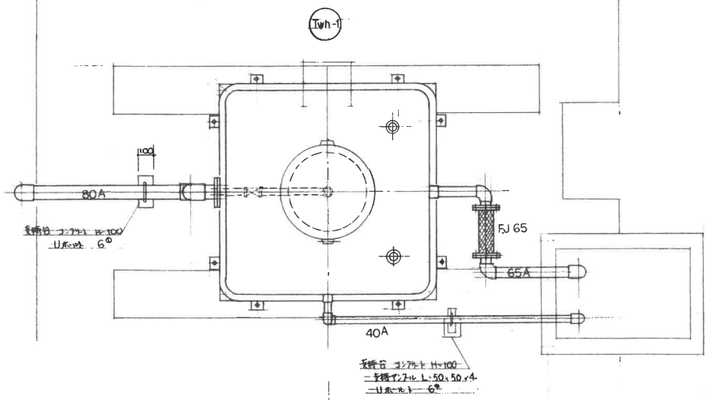
受水槽立面詳細図 S=1:30



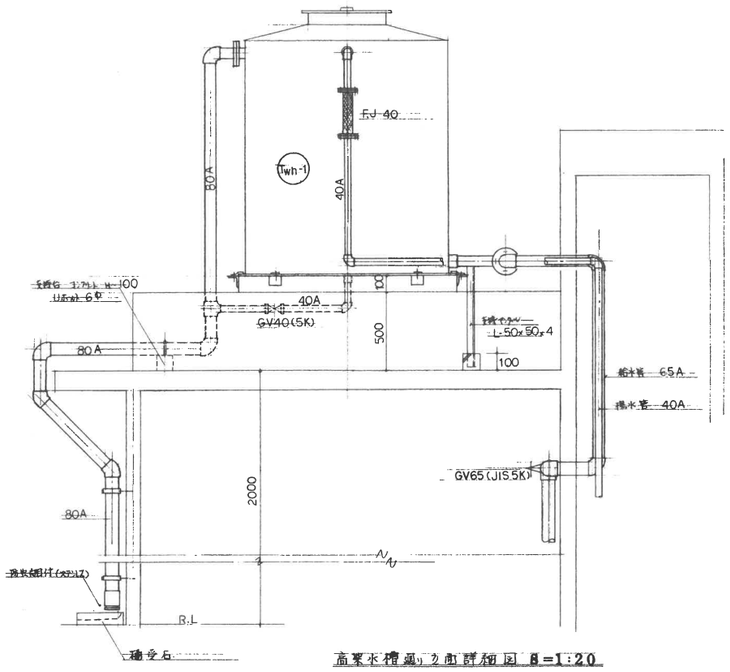
高架水槽架台詳細図 S=1:30

A	[-100×50×5
K	L-65×65×5×100l
	タンク据付孔 8-22Φ
J	4-18Φ アンカーボルト孔
	アンカーボルト 4-16L×300l

※ 加工および溶接ドスミ、錆止め塗装は SOP 2回塗



高架水槽廻り平面詳細図 S=1:20



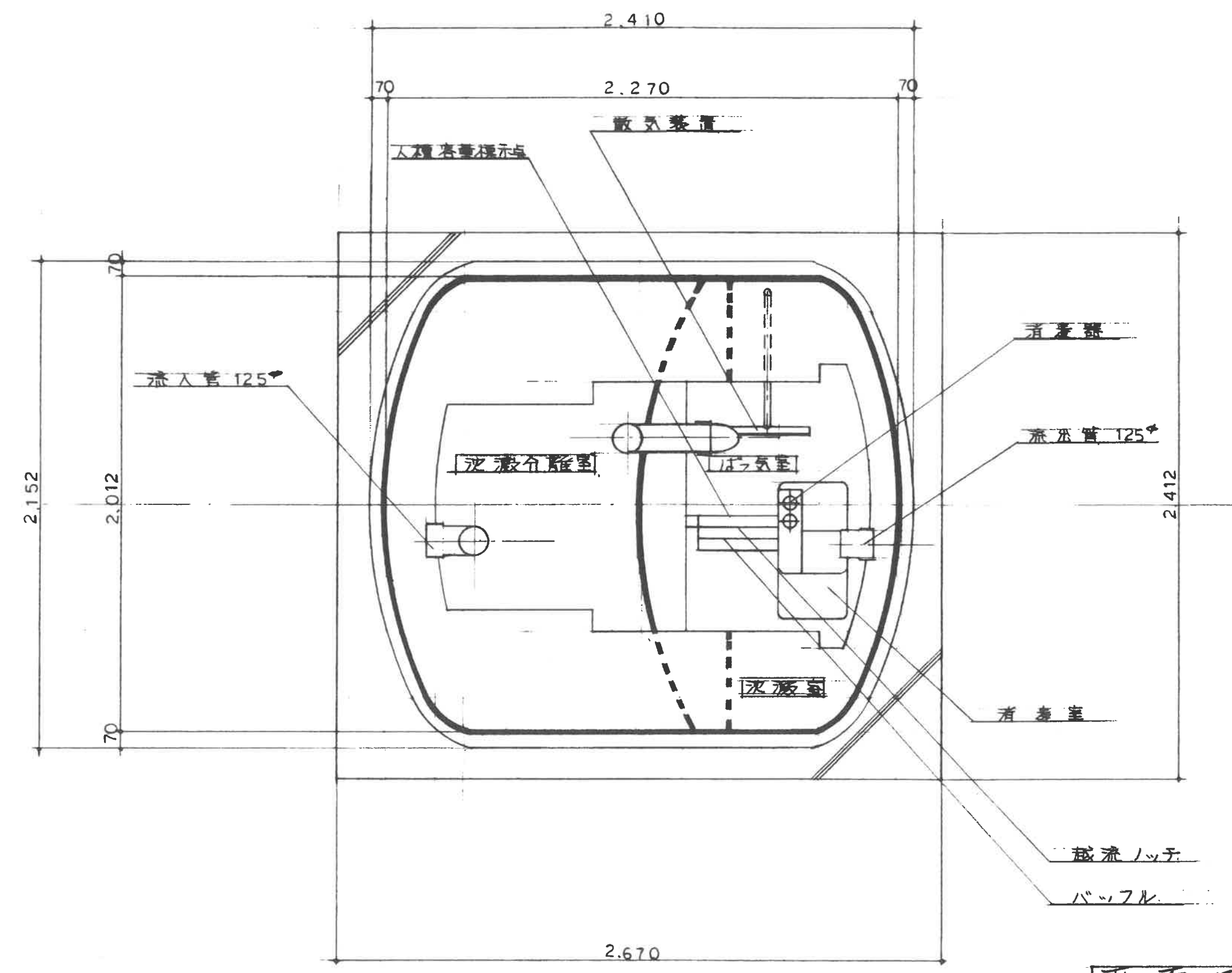
高架水槽廻り立面詳細図 S=1:20

課長	補佐	係長	主任	係		

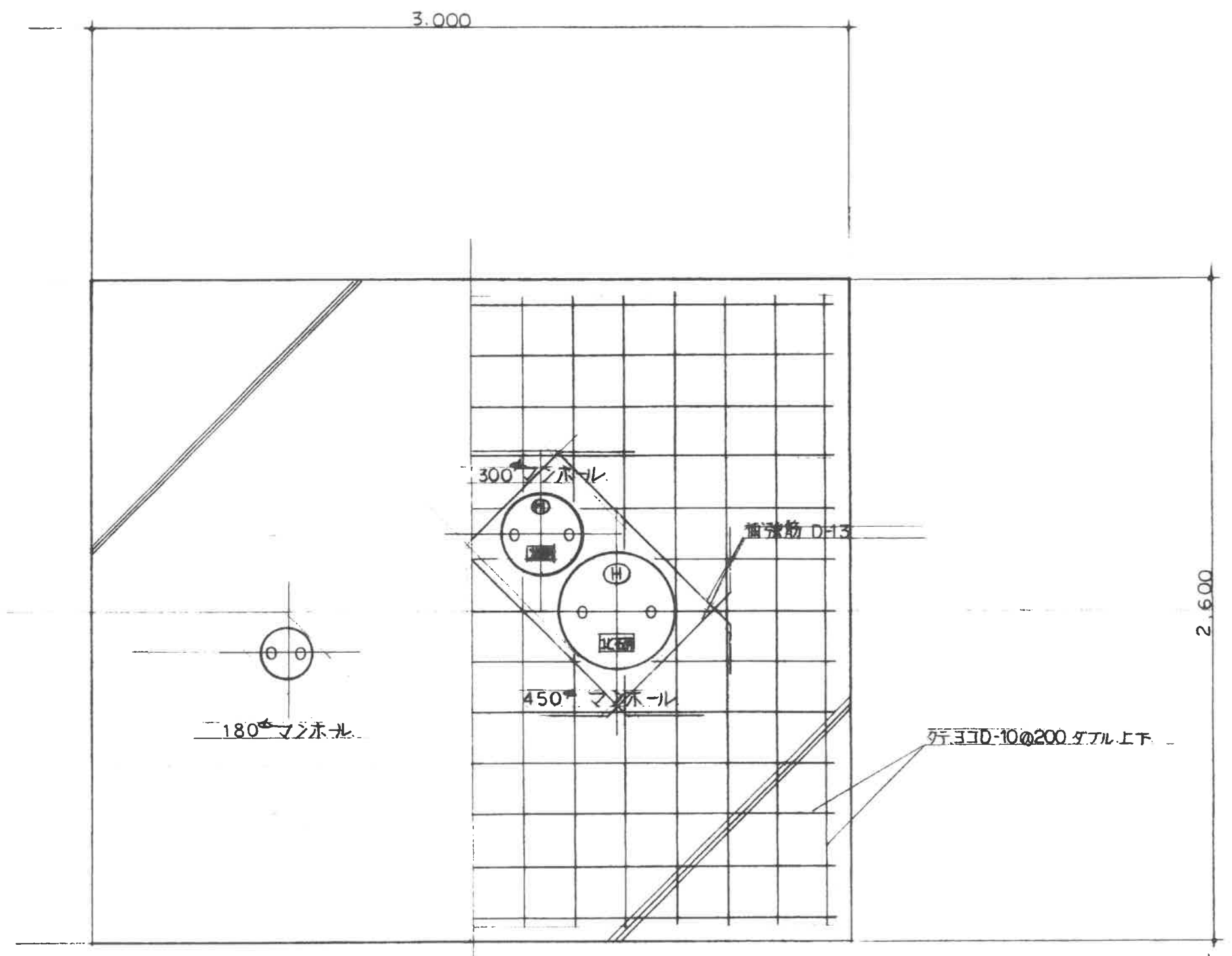
新潟県収入証紙 注ヲ 375号 物置 他1棟 工事

受水槽、高置水槽詳細図 | 図番 11 枚 No. 10

縮尺	S=1:30 S=1:20	昭和55年8月	日
審査		設計	
開設者	新潟県知事 登録番号 (ハ-3640号) 一級建築士 三富		
	新潟県建築設計協同組合		
管理建築士	電話65-4746-7	登録第9200号 一級建築士 山本武夫	



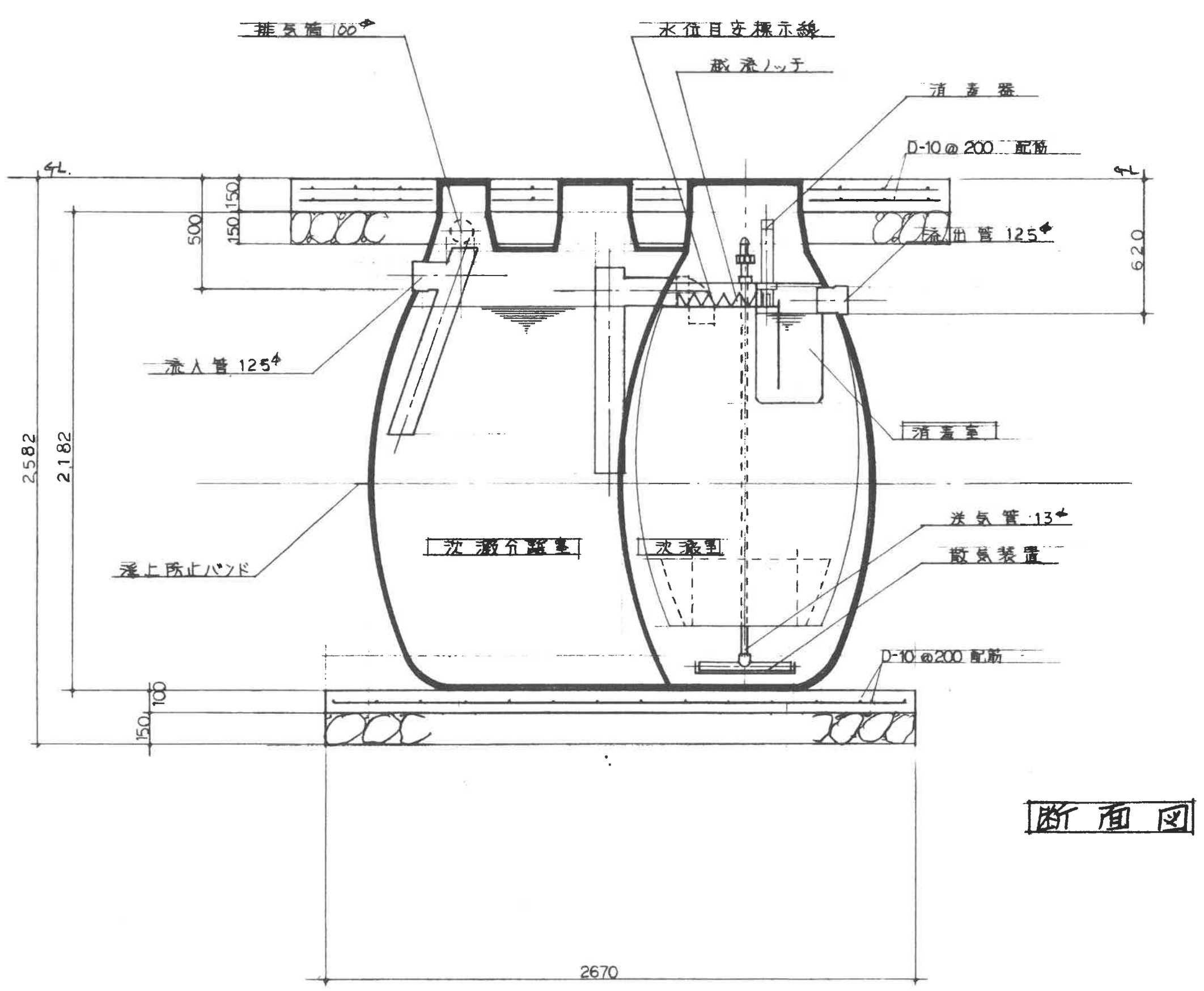
平面図



スラブ平面図

分離ばっ気式浄化槽（建設省告示第1726号第1の2の(2)）						
S50						
名称	沈澱分離タンク m³	ばっ気室 m³	沈澱室 m³	消毒室 m³	合計 m³	ブロワー仕様
容量	3.315	1.971	0.543	0.046	5.875	100V 100W 80ℓ/min

鉄筋仕様：	底盤 D10φ @200 シングル　上スラブ D10φ @200 ダブル配筋
埋戻し：	山土にて埋戻し



断面図

課長	補佐	係長	主任	係		

新潟県教職員住宅才37号 浄化設備 工事

浄化槽 詳細 図		図番	11枚 No. 11
縮尺	S: 1/20	昭和55年8月　日	
審査		設計	

開設者　新潟県知事　登録番号（ハ 第640号）理事長　一級建築士 三富…
新潟県建築設計協同組合

管理建築士　電話65−4746〜7　登録第9200号 一級建築士山本武夫